第七　名著解說篇　第一　冊　函　號

チョウサの「キャンタベリ物語」（中山竹二郎）
スティーヴンスンの「寶島」（上田義雄）
ベネットの「老妻物語」（富田彬）
エドマンド・スペンサーの「フェアリ・クキイン」（大和資雄）
マシュー・アアノルドの「批評論」（荒川龍彦）
ウオールタ・ペイタと「享樂主義者マリウス」（堀大司）
マーク・トウェインの「ハックルベリ・フイン」（柾不二夫）
シエイクスピアの「ハムレット」と「ヘンリ四世」（本多顯彰）
エミリ・ブロンテの「嵐が丘」（大和資雄）
ヴアヂニア・ウルフの「ダロウエイ夫人」（原一郎）
オニールの「奇妙な幕間狂言」（清野暢一郎）
ヂヨン・バニヤンの「天路歷程」（倉長眞）
リトン・ストレイチの「ヴイクトリア女王」（戸川秋骨）
フランク・ノリスの「オクトパス」（杉木喬）
ミルトンの失樂園（佐藤清）
ハーデイの「デイナスツ」（澤村寅二郎）
ムアの「一青年の告白」（田邊慶治）
リードの「英國詩歌の諸相」（土居光知）
ワーヅワスの「序詩」（北村常夫）
ニューマンの「我が生涯の辯」（石田憲次）
ポウの「短篇集」（島田謹二）
シングレアの「ポストン」（彫口三津雄）
ホーソーンの「緋文字」（志賀勝）
スターンの「トリストラム・シヤンデイ」（野上豐一郎）
ゴールドスミスの「ウエークフイールドの牧師」（老田三郎）

第八　名著解說篇　第二

ホプキンズの詩（福永和利）
シエイクスピアの「リア王」と「嵐」（中西信太郎）
オウフラハーデイの「密告者」（菊池重三郎）
サミユエル・バトラーの「萬人の路」（中野好夫）
テイー・エス・エリオットの「荒地」（井上思外雄）
ヘミングウエイと「武器よさらば」（佐久間原）
トマス・ハーデイの「ダーバヴイル家のテス」（高見顯治）
ギヤスケル夫人の「メアリ・バートン」（村山英太郎）
ドライサアの「ジエニイ・ゲルハート」（陶山務）
ジエリン・オーステンの「自負と偏見」（小山順）
ヂヨウゼフ・コンラツドの「水仙丸の黒ん坊」と「偶然」（茗荷幸也）
シヤーウツド・アンダスンの「ワインズバーグ・オハヨ」（吉田甲子太郎）
バアーナード・ショーの「人と超人」（市川又彦）
オールダス・ハツクスレの「戀愛曲對位法」（佐山榮太郎）
シンクレア・ルイスの「エルマ・ギヤントリ」（佐藤東四郎）
ワイルドの「サロメ」（菊地裕）
エリア隨筆集（平田禿木）
コウルリヂの文學論（工藤好美）
ホイツトマンの「草の葉」（長沼重隆）
デイツケンズ作「二都物語」（森田草平）
フロイソ・デルの「野薔薇の茂み」（高垣松雄）
ドス・パソスの「北緯四十二度」と「一九一九年」（杉木喬）
ブラウニングの「指輪と本」（曾根保）
サツカレの「虛榮の市」（西崎一郎）
ブロンテイの「デエイン・エア」（十一谷義三郎）

G・エリオツトの「サイラス・マーナー」（片山俊）
H・G・ウエルズの「トーノ・バンゲイ」（稻村松雄）
ゴオルズワアジイの「フオーサイト物語」（鹽谷榮）
デイケンズの「デエヴイツド・カツパフイールド」（森田草平）
メレヂイスの「我意の人」（百瀨甫）
ロレンスの「息子と愛人」（安藤一郎）
ルイスの「神を眞似る猿」（南條勝代）
バリイの「メアリ・ロウス」（山本修二）
ブリツヂズの「美の遺言」（酒井善孝）
メルヴイルの「白鯨」（豐田實）
ヂエイムズ・ジヨイス作「ユリシーズ」（名原廣三郎）

英語英文學論叢特別號　英語英文學論叢編輯室發行　昭和八　一　六三八　四七

第一輯　現代英國劇作家研究（廣島文理科大學英語英文學研究室編）

英語英文學論文集　第一、二輯　日本英文學會編　昭和六、七　二　六二一　七三

英語音韻の研究　安原基輔　昭和九　一　六六五　二三七

英語英文學論集　第一至三輯　大塚英文學茶話會編　昭和八至一〇　二　六三三　一三九

英語學パンフレット　研究社發行　昭和八至一〇　三　六三三　一三九

第一編　現代英語の文法的變化（サクリソン著　久野朔郎譯）　一五　六二五　三〇二

第二編　頭韻と近代英國文化（シユワルツ著　前島儀一郎譯）

第三編　音調と強調（コウルマン著　岩崎民平譯）

第七編　强意的直喩の研究（スヴアルテングレン著　佐々木達譯）

エイコ

第八編　人名の普通名詞化（エストベルク著　鈴木重威譯）　一　五八二　二九三

第九編　複合詞の音聲變化（クライン著　重見博一譯）　四　五九四　九〇

第一〇編　英語の形態と機能（ホルン著　山本忠雄譯）　一　五七九　一九三

第一一編　混成語の考察（バウンド著　若林秀善譯）　一　五七九　五九

第一二編　他動性表現の種々相（ローデ著　北畠經夫譯）

第一三編　シンタクスの短路的傾向（スミス著　高谷信一譯）　一　三七八　三一九

第一四編　韻律論（イエスペルセン著　清水護譯）　一　六〇四　三七〇

第一五編　品詞の機能（フンケ著　中島文雄譯）　一　六〇〇　二七八

第一六編　動詞狀名詞の發達（カーム著　小林淳男譯）

第一七編　形容詞と韻律（ドラート著　中山竹二郎譯）　一　六五八　一〇六

第一八編　單語と文化史（マツクナイト著　久野朔郎譯）

英語から佛語へ　德尾俊彥　昭和五

英國を眺めて　上、中A、中B、下卷　萩原清次郎　昭和四至九

英國及米國に於ける少年職業指導　西山哲治　昭和四

英國海運會議所年報　一九二七年度　遞信省管船局譯　昭和三

英國海外移住委員會報告概要　一九二九年度　拓務省拓務局編　昭和六

英國海事協同會年報　一九三〇年　同會編　對米船舶提供記念財團譯編　昭和五

英國恐慌史論　パラノウキスキー著　鍵本博譯　昭和六

英國金融市場論　奥田勳著　昭和二

英國近世唯美主義の研究　本間久雄　昭和九

英國金本位制停止と日本金本位制の危機　木村禧八郎　昭和六

	冊	函	號
英國皇族グロスター公殿下歡迎記 同殿下歡迎東都學生聯盟編 昭和四	一	五七九	三六四
英國皇族御撮影藝術寫眞展覽會記念 日本各宮殿下御賛助御出品 東京朝日新聞社編 昭和五	一	四二四	一九
英國皇族御撮影藝術寫眞展覽會圖錄 東京朝日新聞社編 昭和五	一	五九〇	四一三
英國皇帝ジョージ五世陛下 葛岡常治 昭和一〇 (民衆文庫第一〇一篇)	一	雜 五六	五七
英國經濟學史 ブライス著 石渡六三郎譯 昭和三	一	五八〇	九九
英國經濟史及學說(アシュレー) アシュレー著 野村兼太郎譯 昭和七	一	六二四	一七
英國經濟組織の史的考察(アシュレー) アシュレー著 德增榮太郎譯註 昭和五	一	五八六	三四六
英國經濟大觀 (一九二七年) 上巻 (松山晋二郎報)編 外務省通商局 昭和三	一	五八〇	一〇三
英國契約法(原アンソン氏著) 上巻 昭和三 松本匡石譯 八版	一	五八七	七五
英國劇講話 阿部孝 昭和四	一	五八八	四五
英國憲政史 占部百太郎 昭和二	一	五六一	一八七
英國憲政論 バジョット著 吉田世民譯 昭和六 (世界興亡史編第八巻)	一	五一五	一三九
英國現代史 畑山專太郎 昭和五	一	六一〇	一八
英國現代隨筆集 藤野滋 昭和七 (春秋文庫第一部第五二)	一	三三八	四四〇
英國ケント州に於ける教育放送實驗報告 英國放送協會編 日本放送協會關東支部譯 昭和四	一	五九〇	二一〇
英國憲法要論 都富佃 昭和六	一	六〇〇	二二一
英國憲法原理 藤井新一譯 昭和五	一	六〇〇	一一八
英國憲法論 ダイシー著 高塚謙譯 昭和八	一	六三七	三八
英國憲法論綱 藤井新一 昭和五	一	五七二	二四六
英國小作制度の歷史的考察 伊藤藤次郎 昭和二	一	五六四	二三六
英國最近通商政策ニ關スル調査 外務省調査部編 昭和一〇 二九三頁	一	六九八	二三
英國產業の合理化問題 協調會調査課編 昭和六	一	六〇六	二三七
英國自然美文學の研究 金子健二 昭和三	一	五六八	二六二
英國私犯法 アンダーヒル著 挾間鐵石譯 昭和六	一	五六五	二七一
英國私犯法 中央大學々生英法研究會譯 昭和三 謄寫版	一	五七九	一九一
英國資本主義成立史 野村兼太郎 昭和三	一	五八〇	一三七
英國社會主義史 第一、二 (昭和四、世界大思想全集第二期第二一、二二卷) ベエヤア著 加田哲二譯	二	五六六	五三
英國信託業務論 スチーヴンスン著 中根不羈雄譯 昭和一〇 四三一頁	一	六九〇	二九
英國政府ノ輸出信用保險及輸出金融制度の概說 商工省商務局貿易課(石田祐次郎譯)編 昭和四	一	五七九	三四八
英國小說研究 寺井邦男 昭和九	一	六五五	一一九
英國小說史 佐治秀壽 昭和二	一	五五一	二六九
英國小品文學 竹友藻風 昭和八	一	五六八	二一七イ
英國船主事情 伊坂市助 昭和五	一	五七二	二一四
英國總罷業の政治的意義 マーフィー著 和田健三譯 昭和二	一	五七五	三四
英國道路交通法 鐵道省監督局編 昭和七	一	三七二	五四六
英國手形法要論 大野義昌 昭和五	一	六〇〇	一四一
英國鐵道會社道路運輸法 鐵道省監督局編 昭和七	一	六二五	二〇一
英國動產賣買法 (原文付、米國法對照) 穗積重威 昭和九	一	六七八	三一
英國都市計畫法 復興局計畫課編 (昭和二)	一	五二四	七六四
英國ト自治領、印度、殖民地等トノ法律的關係 外務省調査課編 昭和一〇	一	六七三	二四一
英國とその成人教育 鈴木誠治編 昭和九	一	二七五 六	四七
英國內務省 トルーブ著 綱島覺左衛門譯 昭和六	一	五九九	三四七イ
英國に學校放送の主要問題 英國に於ける 大阪中央放送局譯編 昭和九	一	二五九	六四八
英國に於ける現今の教育學說 生井武久 昭和五	一	二五三	四三五
英國に於ける裁判と警察 リック著 尾後貫莊太郎譯 昭和九 (司法資料第一八六號)	一	一四五	五四
英國に於ける自然主義 第一、二 ブランデス著 宮島新三郎譯 昭和八 (春秋文庫第三部第一七、一八)	二	六二九	四三
英國に於ける失業及其對策 協調會編 昭和六	一	五九九	二九六
英國に於ける職業指導運動 中央職業紹介事務局編 昭和二	一	五二四	六九三
英國に於ける新農業金融制度 日本勸業銀行調査課編 昭和五	一	六〇四	一五七
英國に於ける生產論の史的發展 立谷菁治 昭和六	一	五九一	三〇五
英國に於ける成人教育運動の新傾向 協調會譯編 昭和八	一	二七五 六	四一
英國に於ける成人教育放送聽取團體 日本放送協會總務局計畫部譯編 昭和九 謄寫版	一	二七五 六	五三
英國に於ける石炭利用の科學的研究 トーマス著 小川碇一譯解 昭和一〇 二一二頁	一	六二七	二九六
英國に於ける勞資協調機關 協調會調査課編 昭和三	一	五七九	四五
英國に於ける勞働災厄賠償制度の研究 水島密之亮 昭和一〇 六〇五頁	一	六八五	一二八
英國の新しい學校 吉田惟孝 昭和三 (新學校叢書第二編)	一	二五九 五	一〇三
英國の株式銀行 橋爪明男 昭和六 (社會科學叢書第三二編)	一	五八三	一九
英國の危機 ジークフリード著 早坂二郎譯 昭和六	一	五七五	二七三
英國の議會政治 玉井茂 昭和一〇 三五二頁	一	六七九	一三九
英國の機密室 アストン著 隅井幸次譯 昭和六	一	六〇七	三九五

英國の經濟機構と農業　外務省調査部編　昭和一〇　一五九頁　一　函　六五三　號　三五五
英國の縣と縣會の制度　小川市太郎　昭和三　一　五七九　一三七
英國の工藝　石丸重治編　昭和五　一　六〇五　七一
英國の綿業を視る　新井幸長　昭和五　一　五九〇　三一五
英國の勞働黨と人物　馬郡健次郎　昭和四　一　五九九　一七
同　五版　昭和五　一　五九九　一七イ
英國の戀愛と結婚風俗の研究　加藤東知　昭和二　一　五七三　八一
英國陪審の組織資格選定召集等に關する省取調委員會報告書　第二卷其二（司法資料第一〇三號）　安田幹太　昭和二　一　一四五　五四
英國法制研究　穗積重威　昭和九　一　六六〇　一七五
英國法提綱　エルダート著　末包留三良譯　昭和六　一　五九一　三〇四
英國婦人消費組合運動　ウエッブ著　正田淑子譯　昭和七　一　六二一　一九
英國婦人勞働運動史　ドレーク著　赤松克麿等譯　昭和二　一　五七五　一九三
英國文學巡禮　濱林生之助　昭和五　一　五一七　六八四
英國辯護士制度　マーチャント著　鹽谷恒太郎譯註　昭和三　一　五八七　五四
英國民間航空政策と英帝國航空路會社　滿洲航空株式會社編　康德四　二二八頁　一　六四一　二〇一
英國綿業の現狀　外務省通商局編　昭和四　一　五六三　二七八
英國勞働運動史　ブレブス・リーグ編（稻岡運譯改造文庫第一部第七三篇）　昭和七　一　五六九　一四三

英國勞働階級運動略史　コール著　荻原隆吉譯　昭和二　一　函　五六一　號　一四三
英國勞働爭議法　日本工業倶樂部調査課編　昭和五　一　六〇四　一六四
英國勞働黨叢書　千倉書房發行　昭和四、五　三　五九八　三一
第一編　英國勞働黨の組織、沿革、政策（藤井悌）
第二編　英國勞働黨のイデオロギー　附　勞働黨首領ラムゼー・マクドナルド（河合榮治郎）
第三編　英國の勞働組合（永上鐵治郎）
英國勞働黨の政策及現勢　川村貞四郎、佐伯數美　昭和三　一　五七五　一〇六
英國浪漫詩研究　源馬治郎　昭和七　一　六二三　二五
英語會話の實際と應用　タイサリッヂ、相良佐　昭和二　一　三二三　八一一
英語教授研究所主催第十回英語教授研究大會記念論文集　開拓社編　昭和九　一　二六三　八　二三
英語教授研究叢書　第一一回　開拓社編　昭和一〇　一　二六三　八　三三
英語研究叢書　十條書房發行　大正一五　一　三二三　七二〇
英語原書の讀方　田中眞　昭和九　英作文の新研究（東京外語學校英文研究會編）　一　六六五　一二四
英語自修叢書　北星堂發行　昭和三　第四編　ナショナル第四讀本解釋（山崎貞）　一　三二三　四二六
英語實用商業通信　前田定之助　昭和八　一　六四一　五
英語商業用の手紙　宮原景一編　昭和四　一　五五二　二七五

英語箋階梯　鳥之部　阿部喜任著　服部雪齋畫　慶應三　一　一二〇　一五三
英語單語と其の用例　三笠新、白井文彦　昭和七　一　六二〇　一四二
英語と米語の比較研究　ミッチェル、相良佐　昭和二　一　三二三　七八一
英語ニュー・ハンドブック　長井氏最編　昭和八　一　五六九　四三九
英語の生長と構造　イエスペルゼン著　須貝清一、眞鍋義雄譯　昭和九　一　六六五　一〇七
英語の電話と會話　河村正二（昭和二「題簽等ノ冠稱ニハ「會話秘訣」トアリ）　昭和一　一　三二三　七三九
英語の發達　ブラッドリー著　大塚高信譯　昭和六　一　五八二　三〇五
英語の類語研究　井上義昌　昭和二　一　三二三　七六三
英語發達史　金子健二　昭和七　一　六二三　六
英語發達史に據る單語の覺え方　石黑魯平　昭和二　一　三二三　七六一
英語・ペン字入新修辭典　藤村作、山口啓志編　昭和九　英語の學位　一　六四七　六七
世界見物（日本より米國へ）　山城春二　昭和八　一　六四三　一九六
英語類語辭典　井上義昌編　昭和九　一　六六五　一四四
英語論文の書き方　松本環　昭和一〇　五五七頁　一　六八八　六七
英才兒と鈍才兒　（その心理と教育）　ウッドロー著　大伴龍子譯　昭和八　一　二五三　五　二〇四
顯才集　黑本植（綠堂）編（「兒童鑑」ト合綴）　昭和九　一〇　二一五　二四八
叡山電氣鐵道鋼索線　山本和七　昭和二　一　三三三　一一五
英詩概論　齋藤勇　昭和一〇　二六四頁　一　六九二　一三三
英詩から見た和歌形式論　八木又三　昭和九　英詩から見た瑞西擧ポスター集　朝日新聞社編　昭和二　一　六五五　一一四　イ

詠史句集　鴇田東皐編　昭和三　一　五六八　三二〇
嬰兒殺し　山本有三（改造文庫第二部第一五六篇）　昭和五　一　五六九　一四二
英詩選釋　厨川白村　昭和三　一　五八二　一〇六
同　昭和四　一　五八二　一〇六イ
英詩選釋　厨川白村（改造文庫第一部第九四篇）　昭和八　一　五六九　一四三
英詩と漢詩　津田振二　昭和五　一　五一七　六七〇
英詩について　ブラッドビー著　會根保譯　昭和九　一　六六五　一九二
英習字の理論と實際　吉田一郎　昭和七　一　六一七　二四八
英詩文鑑賞　南日恒太郎　昭和七　一　六二〇　五二
英詩文叢攷　尾島庄太郎　昭和一〇　三七八頁　一　六九七　五
英詩文の片影　岡田哲藏　昭和七　一　六二〇　一七一
永正記　（群書類從第二九輯雜部ノ內　昭和九）　一　五八三　一四
同　（新校群書類從第二二卷雜部ノ內　昭和七）　一　五八四　五
營城子　（關東州前牧城驛沙崗子屯附近の漢代壁畫甎墓寺）　森修、內藤寬　昭和九　特　一　四二四　五三
永正十五年中堂供養記　（群書類從第二四輯釋家部ノ內　昭和三）　一　五八三　一四
同　（新校群書類從第一九卷釋家部ノ內　昭和七）　一　五八四　五
英俊傳　中村孝也　昭和三　一　五七八　五一
詠進の栞　大日本歌道會編　昭和七、九　二　六二五　一五七
英選擧ポスター集　朝日新聞社編　昭和二　一　五六二　一六八

衛生講話　神奈川縣衛生課編　昭和五　一冊　函　三九三　一

衛生學講義　横手千代之助　訂一五版　昭和五　一　六一　一ル

同　前編　改訂一六版　昭和一〇　一　六一　一ヲ

衛生行政法　龜山孝一　昭和七　一　六一　四一三

衛生局年報　大正一五年昭和元、六、七年　内務省衛生局編　昭和三至九　三　一四、六ハ　一〇

衛生勤務ニ必要ナル經理ノ概要　北川文松、嘉悦三毅夫　昭和七　一　一四、六ハ　二七〇

衛生化學　池口慶三、瀬川林次郎　訂四版　昭和二　一　九三　一四〇チ

同　增訂五版　昭和四　一　九三　一四〇リ

同　訂七版　昭和九　一　六一　四四一ホ

衛生化學撮要　後編（實驗法）　稻垣清二郎　昭和九　一　六一　四三八

衛生工學上水道　岩崎富久　補　昭和一〇　三四一頁　一　五三七　五六イ

衛生工學術語集　衛生工業協會編　昭和八　一　六四七　四〇

衛生工業便覽　昭和八年衛生工業協會編　昭和九　一　六五八　七九

同　昭和八年　昭和九　一　六五八　七九イ

衛生相談　都新聞社編　昭和六　一　六一　四〇五

衛生試驗室彙報　岐阜縣衛生課編　昭和五　一　一四、六ハ　二五一

衛生試驗所彙報　第三一、三二、三六至四〇號　衛生試驗所編　昭和三至七　内務省　八　二九　雜七九

衛生視察南米紀行　石原喜久太郎　昭和六　一　六一　四〇七

衛生大觀　大阪市衛生組合聯合會編　昭和二　一　六一　三七七

衛生長壽法　三宅秀　昭和四　一　六一　二ル

衛生調査書　臺灣總督府警務局衛生課編　昭和二至一〇　六　一四、六ハ　二〇

（基本調査の六）臺灣死因統計（年齡の部）
（基本調査の七、八）臺灣死因統計（月別之部、乳幼兒死亡の部）
第一一輯（實地調査の三）生活篇（本島人）
第一二輯（實地調査の四）乳幼兒篇（本島人）
第一三輯（實地調査の五）第二體格編（本島人）

衛生取締概要　昭和四年昭和五年　岐阜縣警察部衛生課編　一　一四、六ハ　二四七

衛生法典　上、下卷　内務省衛生局編　昭和七　特　三枚　別七　二八〇

英照皇太后御大葬　耕畊畫　明治三〇　一　一四、六ハ　二七〇

營繕管財局營繕事業年報　第一、二輯（大正一四年度至昭和五年度）　同局編　昭和九　三　一四五　四〇三

詠千首和歌　藤原爲伊（新校群書類從第七卷和歌部ノ內　昭和三）　一　五八四　五

同　藤原師兼（新校群書類從第七卷和歌部ノ內　昭和三）　一　五八四　五

同　宗良親王（新校群書類從第七卷和歌部ノ內　昭和三）　一　五八四　五

英泉百美人書譜　尾崎久彌編　昭和五　一〇　一四一　二四一

詠太神宮二所神祇百首和歌　度會元長（新校群書類從第一卷神祇部ノ內　昭和七）　五八四　五

英對暖語（春抄一）　爲永春水（近代日本文學大系第二〇卷ノ內　昭和三）　五六〇　九

同　昭和八　一　六二九　二八

永代橋之眞景（一名所一）　歌川廣重畫　〔明治八〕　特　三枚　別七　二四八

叡智　ヴェルレエヌ著　河上徹太郎譯　昭和一〇　二一〇頁　一　六八〇　八八

英帝國航空路會社ノ概況　遞信省航空局編　昭和二　一　五三四　七三七

英帝國の野心　ジョンソン著　時事新報外報部編　昭和八　一　六四四　一四八

永德以下行幸勘例　（新校群書類從第二卷帝王部ノ內　昭和四）　五八四　五

永德御讓位記　德大寺實時（群書類從第七輯公事部ノ內　昭和四）　五八三　一四

同　（新校群書類從第五卷公事部二ノ內　昭和七）　五八四　五

英獨潛水艦戰　福田一郎　昭和四〔扉等ニハ「英獨」ノ二字ナシ〕　一　五九七　一六七

永德と山樂　中井宗太郎　昭和二　一　五六三　六九

英獨佛露四國語對照文法　乾輝雄　昭和一〇　一　六六五　二一六

英獨和機械用語新辭典　伊藤榮三郎　昭和八　一　六五七　三

英獨和工業用語新辭典　水野常吉　昭和八　一　六四三　七四

英獨和法律經濟用語新辭典　菊地潔　昭和九　一　六四七　七一

永仁御卽位用途記　安部親景等（群書類從第七輯公事部ノ內　昭和四）　五八三　一四

同　（新校群書類從第四卷公事部一ノ內　昭和六）　五八四　五

永年七曜原理　柳一宣　昭和五　一　六〇八　六三

英法概論　田中和夫　昭和八　一　六四九　一

詠百寮和歌　實長（新校群書類從第四卷官職部ノ內　昭和六）　五八四　五

永福寺餘暇　中川一政　昭和九　一　六五七　二三〇

永福門院歌合　（嘉元三、乙巳年正月四日後二條御在位）（新校群書類從第九卷和歌部ノ內　昭和五）　五八四　五

永福門院百番御自歌合　（新校群書類從第一〇卷和歌部ノ內　昭和四）　五八四　五

永德御讓位記　德大寺實時（群書類從第七輯公事部ノ內　昭和四）　五八三　一四

永德以下行幸勘例　（新校群書類從第二卷帝王部ノ內　昭和四）　五八四　五

英獨佛露四國語對照文法　乾輝雄　昭和一〇　一　六六五　二一六

英獨和機械用語新辭典　伊藤榮三郎　昭和八　一　六五七　三

英獨和工業用語新辭典　水野常吉　昭和八　一　六四三　七四

英獨和法律經濟用語新辭典　菊地潔　昭和九　一　六四七　七一

永仁御卽位用途記　安部親景等（群書類從第七輯公事部ノ內　昭和四）　五八三　一四

同　（新校群書類從第四卷公事部一ノ內　昭和六）　五八四　五

永年七曜原理　柳一宣　昭和五　一　六〇八　六三

英法概論　田中和夫　昭和八　一　六四九　一

詠百寮和歌　實長（新校群書類從第四卷官職部ノ內　昭和六）　五八四　五

永福寺餘暇　中川一政　昭和九　一　六五七　二三〇

永福門院歌合　（嘉元三、乙巳年正月四日後二條御在位）（新校群書類從第九卷和歌部ノ內　昭和五）　五八四　五

永福門院百番御自歌合　（新校群書類從第一〇卷和歌部ノ內　昭和四）　五八四　五

英佛獨和語（和譯）航空（飛行機）用語辭典　航空用語普及會編　昭和一〇　一四四頁　一　六八一　五七

英佛獨和保險用語新辭典　下村重美　昭和五　一　五九九　二一七

英文解釋の知識　米本新次　昭和一〇　五〇七頁　一　六八七　一五五

英文解釋法精講（構文一研究一）　紀太藤一　再版　昭和三　一　五八三　一九五

英文學を如何に讀むか　福原麟太郎　昭和二　一　五六八　一九

英文學講義叢書　健文社發行　昭和八、九　三　六五一　三六

第一三　全悲喜劇役者講義（メレディス著　上阪泰次譯註）
第一四　續エリア隨筆講義（ラム著　幡谷正雄譯註）
第一六　颱風講義（コンラッド著　鳴澤寡愁譯註）

英文學研究　第六卷　第三　帝大英文學會編　大正一五　一　三九〇　二四

同　第一至三　三　三九〇　二四イ

英文學研究　研究社發行　大正一一至一五　初、再版　二　三九〇　二四イ

別冊　第一　愛蘭文學研究（佐藤清）　二四イ

同　第二、シエリ研究（東大英文學會編）　二四イ

英文學研究の道程　伊東勇太郎　昭和七　一　六二〇　一五一

英文學散策（隨筆一集一）　平田禿木　昭和八　一　六三三　二一八

英文學史要　嶽山有策　昭和二　一冊
英文學の感覺　土居光知　昭和一〇　一　六七　四三
四四三頁
英文學の修業　福原麟太郎　昭和四　一　三七　二九
英文學の知識　十二谷義三郎（高有知識文庫第三六）　一　六四　一
英文學風物誌　中川芳太郎　昭和八　一　五五　八
英文學名著選　健文社發行　大正一四　三　五六　三七
英文學名著選集　外語研究社發行　昭和八　二　五五　二四
英文學夜話　加藤朝鳥　昭和二　一　五六
英文學論攷　竹友藻風　四版　昭和五　一　六二　二
英文鑑賞　藤井寛補　昭和三　一〇　一　六三　六九
英文經濟記事の讀方　米本新次　昭和一〇　一　六五　三六
英文語法の型と例證　（英文語法研究起要）　大村盛芳　昭和一〇　一　六七　一七五
英文商業便覽　關信一　男治六　四一丁　一〇　一　六三　六六
英文商業通信　前田定之助　昭和一〇　一　六五　三四
英文世界名著全集　同刊行所等編　昭和二至四　四〇　五九　三〇

第一篇　サロメ（ワイルド著　荒川金之助譯註）
第二篇　デチカートライス　イヤートルス　ケンルズズ　クリスマス・カロル（編英四郎譯註）　英雄崇拜論（狩田藏之助譯註）
第一〇篇　綠玉冠事件（ドイル著　同譯）
第一一篇　海へ乘り行く者（シング著　同譯）
第一二篇　豚の話　附　夢子供（ラム著　幡谷正雄譯）
第一三篇　機關車の運轉手
第一四篇　燒

英文學名著選集　外語研究社發行　昭和八　二　五五　二四
英文叢書　英學生新聞社發行　昭和三　一　三三　八〇四
英文の鑑賞と分析　高垣松雄　昭和八　一　六六　三五
英方丈記　原文付　デキンズ　昭和八　一　六二　三六
英文法研究（增訂補正）　市河三喜　一七版　昭和九　一　六三　二八
英文法詳論（英語冠詞及關係代名詞の研究）　ヴァカリ　昭和八　一　六二　二三五
英文法精講　櫻井役　昭和八　一　六四　三

同　第一、二、三、三二卷　三　五九　三〇ィ
英文叢書　英學生新聞社發行　昭和三　一　三三　八〇四
英文の鑑賞と分析　高垣松雄　昭和八　一　六六　三五
對英照支中國及滿洲國人名地名便覽　タイムス出版社編　昭和八　一　六六　三五
第一篇　サロメ（ワイルド著　荒川金之助譯註）
英方丈記　原文付　デキンズ　昭和八　一　六二　三六
英文法研究（增訂補正）　市河三喜　一七版　昭和九　一　六三　二八
英文法詳論（英語冠詞及關係代名詞の研究）　ヴァカリ　昭和八　一　六二　二三五
英文法精講　櫻井役　昭和八　一　六四　三

第二篇　デチカートライス　イヤートルス　ケンルズズ　クリスマス・カロル（編英四郎譯註）　英雄崇拜論（狩田藏之助譯註）
第一〇篇　綠玉冠事件（ドイル著　同譯）
第一一篇　海へ乘り行く者（シング著　同譯）
第一二篇　豚の話　附　夢子供（ラム著　幡谷正雄譯）
第一三篇　機關車の運轉手
第一四篇　燒

英文學名著選集　外語研究社發行　昭和八　二　五五　二四
英文叢書　英學生新聞社發行　昭和三　一　三三　八〇四
英文の鑑賞と分析　高垣松雄　昭和八　一　六六　三五
對英照支中國及滿洲國人名地名便覽　タイムス出版社編　昭和八　一　六六　三五
第一篇　サロメ（ワイルド著　荒川金之助譯註）
英方丈記　原文付　デキンズ　昭和八　一　六二　三六
英文法研究（增訂補正）　市河三喜　一七版　昭和九　一　六三　二八
英文法詳論（英語冠詞及關係代名詞の研究）　ヴァカリ　昭和八　一　六二　二三五
英文法精講　櫻井役　昭和八　一　六四　三

同　第一、二、三、三二卷　三　五九　三〇ィ
英文叢書　英學生新聞社發行　昭和三　一　三三　八〇四
英文の鑑賞と分析　高垣松雄　昭和八　一　六六　三五
對英照支中國及滿洲國人名地名便覽　タイムス出版社編　昭和八　一　六六　三五
第一篇　サロメ（ワイルド著　荒川金之助譯註）
英方丈記　原文付　デキンズ　昭和八　一　六二　三六
英文法研究（增訂補正）　市河三喜　一七版　昭和九　一　六三　二八
英文法詳論（英語冠詞及關係代名詞の研究）　ヴァカリ　昭和八　一　六二　二三五
英文法精講　櫻井役　昭和八　一　六四　三

同　四版　昭和八　一　六二　二三五
英文商業通信　前田定之助　昭和一〇　一　六五　三四
英文世界名著全集　同刊行所等編　昭和二至四　四〇　五九　三〇

第一卷　シャーロック・ホウムズ（ドイル著　山崎貞譯）　冊
第二卷　スコット物語（木原順一譯）
第三卷　ツルゲネフ散文詩（ガーネット著　岡本芳夫譯）
第四卷　ソンソン短篇集（ヘンソン著　清水起譯）
第五卷　ハネールソン短篇集（ヘンソン著　花園像定譯）
第六卷　騰馬紀行（スティブンソン著　澤村貢二郎譯）
第七卷　ネルスソン傳（サウヂ著　上井磯吉譯）
ロビンソン・クルーソー（デフォ著　内ヶ崎浩一）
第八卷　ベルタザール・クレンタ・ビイユ（フランス著　小暮

第一卷　クリスマス・キアロル（ディッケンス著　堀英四郎譯）
第一六卷　春雨（ロセッティ著　高垣松雄譯）
第一七卷　青い鳥（メーテルリンク著　飯田敏雄譯）
第一八卷　ドン・キホーテ（セルヴァンテス著　池田政一譯）
第一九卷　コンラッド短篇集（コンラッド著　乙骨五郎譯）
第二〇卷　カンタベリ物語（チョーサー著　高見敏治譯）
第二一卷　英雄物語（キングスレー著　長瀬英一郎譯）
第二二卷　リトル・ウイメン（オルコット著　平田発木譯）
第二三卷　スケッチ・ブック（アウヒングン著　佐久間原譯）
第二四卷　アラビアンナイト（中村仲譯）
第二五卷　天路歷程（バンヤン著　布上荘衛譯）
第二六卷　春（ギッシング著　山本修平譯）
第二七卷　ダンテ神曲物語（大槻憲二譯）

英文法通論　ヴァカーリ　昭和六　一　五六　三五四
同　一五版　昭和九　一　五六　三五ィ
英文簿記　渡部明　昭和三　一　七九　二三九

英文名作文庫
第一冊　第二冊　第三冊　第四冊　第五卷、第六卷　英文學社發行　昭和四、五　四　五九　二三
第二、三、八、九卷　第一〇、一一、一二卷　第一三卷　第一四卷　第一五卷　第一六卷　第一七卷　第一八卷　第一九卷　第二〇卷　第二一卷　第二二卷　第二三卷　第二四卷　第二五卷　第二六卷　第二七卷　第二八卷　第二九卷　第三〇卷　第三一卷　第三二卷　第三三卷　第三四卷　第三五卷　第三六卷　第三七卷　第三八卷　第三九卷　第四〇卷

英文名著全集（註譯）　英文學社發行　昭和四、五　四　五九　二三
第一冊　第二冊　第三冊　第四冊　第五卷、第六卷　英文學社發行　昭和四、五　四　五九　二三
第一冊　第二卷　英雄崇拜論（カーライル著　狩田藏之助譯）
第一冊　第三卷　思ひ出の記（コンラッド著　日高只一、白石靖譯編）
第一冊　第四卷　寶島（スティヴンソン著　勝田孝興譯）
第一冊　第五卷　野性の呼聲（ロンドン著　花園雄定譯）

英文譯註叢書　外語研究社發行　昭和八　二　五五　三六
對英照支新訂獨逸文法　（教科參考書）　櫻田保之助　昭和八　一　六三　二九

第一六篇　アンクル・トムズ・ケビン（津田芳雄譯註）
第一五篇　若きウェルテルの悲しみ（加藤健兒註）
第一〇篇　希臘英雄物語（長瀬英一郎譯註）
第六二篇　聖書物語（井手義行譯註）
第六一篇　母のリンゴ（岡本芳夫譯註）
第六〇篇　散文詩（ガーネット著　岡本芳夫譯）
第五九篇　ヴィクトル・ユーゴ（ヴィクトル・ユーゴ著　石井庵雄譯）
第五八篇　ヘンリー・ライクロフトの手記（山本修平譯）
第五七篇　ダンテ神曲物語（大槻憲二譯註）
第五六篇　人形の家（林健夫郎譯註）
第五五篇　シギスムンド（マクファーシス著　大槻憲二譯註）
第五四篇　春の卷（山本修平譯）

第六七篇　バイロン劇詩マンフレッド（若目田武次譯註）

（研究社）英文譯註叢書　同社編　昭和四至一〇　四三　五六九　一四一

第一　イソップ物語　一三版（寺田武夫譯註）
第二　ワグネル物語　四版（萩原恭平譯註）
第三　なるほど物語　四版（キップリング著　福原麟太郎譯註）
第四　驚異の物語　五版（ウエルズ著　村上貢譯註）
第五　漁夫とその魂　三版（ワイルド著　佐伯有三譯註）
第六　バブルクンドの沒落（ダンセイニ著　舟橋雄譯註）
第七　希臘英雄傳　一一版（キングスリ著　武井亮吉譯註）
第八　シエクスピア物語　二七版（ラム著　勝田孝興譯註）
第九　ポー短篇集　一七版（ポー著　大橋榮三譯註）
第一〇　英國童謠集（竹友藻風譯註）
第一一　ウエセックス初代の伯爵夫人（ハーデイ著　平田喜一譯註）
第一二　一幕もの（佐伯有三譯註）
第一三　聖書物語　四版（長澤英一郎譯註）
第一四　水の子等　六版（キングスリ著　佐伯有三譯註）
第一五　スケッチ・ブック　一三版（アーヴイング著　篠田錦策譯註）
第一六　デイキル博士の奇譚一一版（スティヴンスン著　石井正雄譯註）
第一七　傳記物語　九版（ホーソン著　青木常雄譯註）
第一八　フイフテイ・フエイマス・ストーリズ　一四版（ボールドウイン著　後藤一郎譯註）
第一九　ガリヴアの旅行記　九版（清水繁譯註）
第二〇　不思議國のアリス　再版（カロル著　岩崎民平譯註）
第二一　怪談　一五版（ハーン著　萩原恭平譯註）

第二二　グリム物語　五版（武井亮吉譯註）
第二三　アンダーセン童話集　四版（寺西武夫譯註）
第二四　ピイタア・パン　七版（バリー著　平田喜一譯註）
第二五　幼年詩園、續幼年詩園　三版（スティーヴンスン著　左右田實譯註）
第二六　ロビンソン漂流記　七版（デフォー著　清水繁譯註）
第二七　漂泊人種の血　他五篇　四版（舟橋雄譯註）
第二八　トルストイ童話集（佐伯有三譯註）
第二九　チョーサー物語（吉田幾次郎譯註）
第三〇　ヒューマンインターコース（ハマートン著　清水繁譯註）
第三一　黒檀の函（ウッド著　佐伯有三譯註）
第三二　鳳來三人男　外二篇　四版（ハーデイ著　大橋榮三譯註）
第三三　客待つ晩餐（ハーデイ著　平田喜一譯註）
第三四　サーテイ・モア・フエイマス・ストーリズ（ボールドウイン著　後藤一郎譯註）
第三五　ワンダー・ブック　巻一、二（ホオソーン著　高垣松雄譯註）
第三六　ヴアイオリン彈き（ハーデイ著　平田喜一譯註）
第三七　マークハイム・氷車小屋のウイル（スティヴンスン著　武井亮吉譯註）
第三八　現代短篇集（梅本誠一譯註）
第三九　クオレ　第一、二卷（アミーチス著　久保田正次譯註）
第四〇　トワイス・トウルド・テイルズ（ホーソン著　長澤英一郎、今田耶生子譯註）

同　第一至一〇　昭和四至九　一〇　五六九　一四一

英文朗讀法大意　青木常雄　昭和八　一　六三三　一三一

英文和譯の急所　岡田實麿　昭和二　一　三三三　七六〇
英文和譯法捷徑　堀川三四郎　昭和二　一　三三三　七三三
英米印を覗く　新聞聯合社編　昭和八　一　六四四　一七九
英米近代文學叢書　春陽堂發行　昭和六、七　八　六一三　六一

第一輯　第一卷　現代一幕物傑作集（宮森麻太郎譯註）
第三卷　近代英米短篇集（富田彬譯註）
第四卷　この最後の者にも其他（ラスキン著　川津孝四譯註）
第七卷　夜の宿り（ステイヴンソン著　酒井朝彥譯註）
第八卷　牡丹燈籠其他（ヘルン著　山本供平譯註）
第九卷　サロメ（ワイルド著　葉河憲吉譯）
第一二卷　蜘蛛の巢の家（ギッシング著　蒔田榮一譯註）
第二一卷　虹、盲目の人（ローレンス著　松本秀譯註）

英米管見　矢吹義夫　昭和七　一　五八七　三三九
英米契約法原理　谷口知平　昭和七　一　六三七　二一
英米建艦競爭　イワノフ、スミルノフ共著　研究所譯　昭和九　ロシヤ問題　一　六六七　一〇
英米現勢論　池崎忠孝　昭和七　一　六二四　六一
英米現代劇の動向　山本修二　昭和七　一　六三三　七八
永平寺大觀　永平寺編　昭和六　一〇　四二六　八
英米探偵小說新傑作選集　日本公論社發行　昭和一〇　一　六九六　三〇

第一　ABC殺人事件（クリスチイ著　伴大矩譯）

英米獨佛最近の銀行事情　マツケンヂー著　伊地知軍司譯　昭和七　一　六二一　一五七
英米獨佛丁に於ける不動產金融　日本勸業銀行調査課編　昭和七　一　六三七　四一
英米獨佛の手形法及小切手法　司法省調査課編　昭和五（司法資料第一五〇號）　一　一四五　五四
英米獨佛の雇主組合　協調會（美濃口時次郎調）編　昭和三　一　五七三　一九四
永平二祖孤雲懷弉禪師　村上素道　昭和三　一〇　二四九　二一三
英米の投資銀行と投資證券　高平隆雄　昭和四　一　五九一　二八
英米の取引所　新聞聯合社編　昭和九　一　六六〇　一六一
英米八大家短篇傑作集　保富梅三譯　昭和二　一　五六八　三三六
英米は何故に我均等兵力の主張に反對するか　海軍省海軍軍事普及部編　昭和一〇　一　六六六　二五四
英米佛獨聯合艦隊幕末海戰記　ルサン著　安藤德器、大井征譯　昭和五　一　六〇六　一二三
英米文學の背景　日高只一　昭和八　一　六三三　一九七
英米文學評傳叢書（研究社）　研究社發行　昭和八至一〇　六三　六四六　二
第二　ラングランド（西脇順三郎）
第四　マアロウ（山本與吉）
第六　シエイクスピア（土居光知）
第七　ベン・ヂョンスン（本多顯彰）
第八　ダン（佐山榮太郎）
第九　ヘリック（島田謹二）
第一〇　ウオルトン（戸川秋骨）

第一一　ミルトン（齋藤勇）　一　五三七　一八三
第一四　ウイッチヤリ（中西信太郎）　一　五三七　一八三イ
第一五　コングリイヴ（福原麟太郎）　一　三八一　一八七ロ
第一六　デイフオウ（瀧山德三）　一　三八一　一八七ハ
第一九　ポウプ（酒井善孝）　一　三六一　一八七ニ
第二〇　リチヤードスン（寺井邦男）　一　五六三　二〇一
第二一　フイールデイング（岡本安章）
第二二　スターン（岡倉由三郎）
第二四　ヂヨンスン（石田憲次、鈴木二郎）
第二五　ゴウルドスミス（岡本圭次郎）
第二六　グレイ（福原麟太郎）
第二七　コリンズ（齋藤勇）
第二八　チヤタトン（川村泉）
第三〇　クラップ（大和貴雄）
第三一　ブレイク（壽岳文章）
第三二　バーンズ（中村爲治）
第三三　ワーヅワース（佐藤清）
第三四　コウルリッヂ（桂田利吉）
第三六　スコット（日高只一）
第三七　ヂエイン・オーステン（大内脩二郎）
第四〇　クレア（北村常夫）
第四二　デイ・クインシー（菊池武一）
第五〇　サッカレー（加藤猛夫）
第五一　デイケンズ（寺西武夫）
第五二　ブロンテイ姉妹（石井誠）
第五五　アーノルド（成田成壽）
第五六　ロウゼッテイ（小日向定次郎）
第五七　モリス（大槻憲二）
第五九　バトラー（戸川秋骨）
第六一　ワイルド（高橋泰）
第六四　ヘルン（田部隆次）

第六五　メリデイス（松浦嘉一）　一　五八一　二九二
第六六　ハーデイ（片山俊）　一　五八一　二九二イ
第六七　ギッシング（織田正信）　一　六五〇　六三
第六八　キプリング（馬場睦夫）　一　六〇　九二四
第六九　ヘンリ・デエイムス（鹽谷榮）　一　五七一　六七
第七二　ショー（野上豐一郎）　一　五八八　一二四
第七三　バリイ（阿部孝）　一　六五八　二六四
第七五　コンラッド（澤村寅二郎）　一　五八八　一六四
第七六　ウエルズ（森村豐）　一　五六一　一〇五
第七七　ベネット（西村稠）　一　六二七　一九二
第七八　ゴオルズワアジイ（阿部孝）　一　六五　三三
第七九　シング（藤井秋夫）　一　六五六　三〇
第八〇　グレゴリ夫人（勝田孝興）　一　六四三　二三五
第八一　イエイツ（尾島庄太郎）　六　二三六　二九
第八三　W・H・デイヴイス（北詰榮太郎）　一　五〇七　一四七ロ
第八四　デラメア（新里文八郎）　一　五〇七　一四七ハ
第八六　ジエムズ・ジョイス（福永和利）　一　四七　六五七
第八八　サスーン（田上元德）　一　六四六　四
第九〇　アーヴイング（岡田美津）　一　四八　一二四
第九一　エマスン（舟橋雄）　一　五九八　一五
第九二　ホーソン（湯淺初男）　一　五六六　一五イ
第九三　ポオ（野口米次郎）　一　六五　九九四
第九四　ソーロウ（富田彬）　一　六二　九五
第九八　オニール（清野暢一郎）　一　六五九　二〇五
第九九　ドライサー（高垣松雄）

英米標準發音法と其練習　伏見繁一　昭和二　一　五二四　七五四
影壁　林ふき子　昭和一〇　四二九頁　一　六八八　三六
營門を眺めて（壯丁必携）　日本國防普及會編　昭和五　一　五六九　二〇五

榮養　佐伯矩　大正一五　一　五三七　一八三
同　再版　昭和九　一　五三七　一八三イ
榮養及食品　川上登喜二　改訂三版　昭和二　一　三八一　一八七ロ
同　訂四版　昭和六　一　三八一　一八七ハ
榮養講話　澤村眞　昭和二　一　五六三　二〇一
營養改善ト婦人勞働トノ關係ニ就テノ實驗成績報告　群馬縣編　昭和九　一　六七三　九七
營養學　澤村眞　昭和四　一　六〇　九五七
榮養學講話　鈴木梅太郎　昭和九　一　六五三　二六四
榮養學と其進境　佐伯矩　昭和七（農業科學叢書第一輯）　一　三七二　五七二
榮陽外史集　明、鄭眞　民國二三　影印（四庫全書珍本初集ノ內）　一〇〇卷　法　二六〇　八四四　二一七
營養化學　田所哲太郎編　補四版　昭和二　一　五〇七　一四七ロ
榮養化學　松岡登　昭和八　一　四七　六五七
榮養化學　鈴木梅太郎、二國二郎　昭和一〇（岩波全書第四九）　一　六四六　四
榮養化學概論　田所哲太郎編　昭和九　一　四八　一二四
榮養經濟　主婦のお料理　稻垣美津子　昭和五　一　五九七　二八〇
榮養研究所報告　第四卷（一、二號）、五卷（一、二號）、六卷（一、二號）（昭和七年三月至同九年五月）　昭和七至九　一　四五　三一〇
營養と食餌療法　服部彌二郎　昭和五　一　六〇　九九四
榮養と食餌療法　附　榮養辭典　服部彌二郎　昭和七　一　六〇　一三〇九

榮養と食品の化學　藤巻良知、有本邦太郎　昭和六　一　五八一　二九二
同　訂三版　昭和九　一　五八一　二九二イ
榮養と食物（精說）　高木眞一　昭和八　一　六五〇　六三
榮養の基礎知識　照内豐　昭和三　一　六〇　九二四
榮養學校給食の研究　本圖晴之助　昭和八（營養保健）　一　二七六　五六二
食の衞生　藤原九十郎　昭和五　一　六一　四三九イ
營養本位の簡易西洋料理　櫻井省三　昭和二　一　五七一　六七
榮養本義　高橋榮治　昭和四（榮養料理並病人料理用）　一　五八八　一六四
食品成分計算表　佐伯矩　昭和九　一　六五八　一〇五
榮養料理の理論と實際　進藤眞砂子　昭和七　一　六二七　一九二
自修者の佛蘭西語（英譯對照）　鈴木信次郎　昭和八　一　六五六　三〇
日本文學名著選（英譯）　渡邊藤吉編　昭和八　一　六四三　二三五
永樂大典　附篇　元朝驛傳雜考（羽田亨）（東洋文庫編刊第一）　東洋文庫叢（昭和六）　六　二三六　二九
大畫圖　稀書複製會編（昭和六）（江戸時代吉原遊廓ノ地圖）　複製　一枚　一九九　四五三
好色一代男　井原西鶴　昭和七（繪入）　一　六二〇　一六五
力丸漂流記談　堀照明（教齋）　二卷（海表叢書卷三ノ內）　昭和三　五六六　一五
同　（南蠻紅毛史料第一輯ノ內）　昭和五　五六六　一五イ
おせん（繪入草紙）　邦枝完二　昭和九　一　五九六　六六
新譯日本百將傳（繪入）　松亭金水　柳川重信畫　大町桂月校　昭和一〇　一　六一七　二九五

		冊	函	號
絵入	世界童話集　ロシア、印度の巻　立石美和、大月喜一郎譯　昭和二	二	五三	一三五
絵入	日蓮大聖人傳　持徳院日眠編　昭和四	一	五九四	八〇
絵入	日本艶書考　藤澤衞彦編　昭和三	一〇	五八五	一四
五色入	ぬれほとけ　上、中、下複製　稀書複製會編　昭和八、九	三〇	二一六	六八
絵入	平家物語　元祿七	七〇	三 別	五一
絵入	北條五代記　一至七之卷　元祿一〇	七〇 特	さ	八一
	英領印度關稅定率表　大阪市役所産業部編（貿易經濟叢書第三七輯）昭和六	一	六〇四	一八四
	英領北望寧現行土地法　商工省商務局貿易課編　昭和四	一	六〇四	三三
	英領北「ボルネオ」事情　外務省通商局編　昭和七	一	六二五	九一
	英領東阿弗利加事情　外務省通商局（大山卯次郎調）編　昭和三	一	五九四	三八
	英領「ブルネイ」國事情　外務省通商局編　昭和七	一	三七八	三三〇
	營林局署ノ昭和七年度ニ實施セル匡救事業及效果　東京營林局編　昭和八	一	六五三	二三
永祿至寶永	永祿記（群書類從第二〇輯合戰部ノ内　昭和四）　御國許日記　澁江全善（抽齋）自筆　天保一五寫	一〇 特	別四	一九
	永祿六年諸役人附（群書類從第二九輯雜部ノ内　昭和九）	一	五八三	一四
	同（新校群書類從第一六卷合戰部ノ内　昭和三）　永祿二年古寫本君臺觀左右帳記　古典保存會發行　昭和八　複製	一〇 特	二一六	五七
	同	一〇 特	二一六	五七 イ
	永祿六年諸役人附（群書類從第二九輯雜部ノ内　昭和九）		五八三	一四
	同（新校群書類從第一二卷雜部ノ内　昭和七）	一	五九四	八〇
	英和海語新辭典　尾崎主稅編　昭和一〇	一	六七五	二二九
	英和雙譯支那古典全集　二三子堂書店發行　昭和七、八	三	五〇五	八一
	第一編　英和雙譯論語（レッグ英譯　清水起正、廣瀨又一編註）			
	第二編　英和雙譯孟子（同英譯　同編註）			
	第三編　英和雙譯老子（同英譯　同編註）			
	英和大學（同英譯　同編註）			
	英和中庸（同英譯　同編註）			
	永和大嘗會記　二條良基（新校群書類從第五卷公事部二ノ内　昭和七）	五八四		五
英和對譯	工學術語辭典　鐵道圖書局編　昭和五	一	五六九	二〇六
英和對譯	國際通信書　電信篇、信號篇　遞信省管船局編　昭和八	二	六四八	三
英和獨佛・和英獨佛對譯	電氣術語新辭典　伊藤榮三郎　昭和一〇	一	六七五	一七八
英和獨和對譯	工學術語新辭典　原田千三　昭和一〇　三五二頁	一	六九三	一〇
英和	圖書及圖書館語彙　小河次吉　昭和二	一	二七八	一一五
英洋	裝辭典　木村慶市編　昭和七	一	六三三	一〇八
英和・和英・對譯	新機械用語辭典　太陽堂編輯部編　昭和一〇	一	六八七	六一
英和和英	電氣用語新辭典　電陽會編　昭和三	一	五八六	一〇五
	エヴアンジエリン（哀詩）　ロングフエロウ著　齋藤悅子譯　昭和五（岩波文庫七七〇）	一	五六九	一四
	エヴェレスト登山記　ヤングハズバンド著　田邊主計譯　昭和五	一	五七八	三〇一
	要項有機化學　押鐘憲從　昭和三	一	四七	三一八
	幼學綱要　上、中、下卷　昭和一〇　漢文解　元田永孚編　一〇版	四〇	三〇二	六八
	幼學綱要　元田永孚編　昭和一〇　二六八丁	一〇	三〇二	一一五
	幼學年教育の新展開　京都府師範學校附屬小學校編　昭和一〇　三七二頁	一	二六三	四一五
	幼學年理科教育の實際　神戸伊三郎　昭和九	一	二六三 七	一八四
	要鑑古事記　前、後篇　村井幸章　昭和七、八	二〇	二三二	三四七
	要筐辨志年中行事　（圖入）寫（德川幕府年中行事ナリ）	二〇 特	二三五	五四 イ
	謠曲十四經　一五丁（鍼灸經穴ヲ謠曲ニヨリ教ヘタルモノ）	一〇	二三三	二八七
	謠曲選講　佐成謙太郎　昭和八	一	六二三	一七九
	謠曲選集　（讀む能の本）野上豐一郎編　昭和一〇（岩波文庫一一七—一一七三）	一	五六九	一四
	謠曲全集　中内蝶二、田村西男編（日本音曲全集第一二卷）　昭和二	一	五四五	六一
	謠曲全集（解註）　第二至五卷　野上豐一郎　昭和一〇	四	六六八	二九
	謠曲選釋　和田萬吉　昭和八	一	六二三	一五七
	謠曲大觀　首卷、第一至五卷、別卷　佐成謙太郎　昭和五、六	七	六一一	四五
謠曲	地拍子貳百番　地之卷、人之卷　岩崎菊翁編　昭和二	二〇	一六五	一四六
	謠曲と狂言　坂元三郎　昭和二	一	一七三	一〇七
	謠曲獨習　第一集　杉江櫻國　昭和二	一〇	一七三	一一九
	謠曲と川柳　安藤玄怪坊、岡田三面子編　昭和五	一	三五七	二六六
	謠曲の音階に關する文獻　廣瀨政次（昭和六）	一	七〇七	一六七
	謠曲花姿　柏壽園編　昭和一〇	一〇	四三九	一三
	謠曲文異同辨　水谷六齋編　昭和二	一〇	一七〇	八八
	謠曲文庫　同刊行會發行　昭和四	三	五六七	一七
	第五　謠言粗志　上（和田萬吉校）	一	六二一	九八
	第八　狂言篇　上（齋藤芳之助校）	四	五九八	一三
	別卷　第一　光悅本（上輯）（齋藤芳之助校）			
	妖怪學　井上圓了　昭和六	一	二五二 五	一六五
	妖怪畫談全集　中央美術社發行　昭和四、五	一	二七一	一四五
	第一編　日本篇　上（藤澤衞彥編）	一	二五二 五	二一七
	第二編　ロシア、ドイツ篇（ワノフスキー編　中央美術社譯）	一	六八〇	一四八
	第三編　支那篇（過耀良編）	一	二九四	九
	第四編　日本篇　下（藤澤衞彥編）	一	六八〇	六〇
	幼兒教育の實際　福永盾雄、同津義　昭和四	一	二五二 五	一六五
	幼兒身體保育の實際　ロクランツ著　安間公觀譯　昭和九	一	二七一	一四五
	幼兒性行評定尺度　淡路圓治郎　昭和九	一	二五二 五	二一七
幼兒	童話の話方と實例　內山憲堂　昭和一〇　三四八頁	一	六八〇	一四八
	幼兒の音樂　ソーン著　高森富士子、伴きみ子譯　昭和一〇　二三三頁	一	二九四	九
	幼時の見聞　林茂香　昭和一〇　二六三頁	一	六八〇	六〇
	幼兒の宗教心の目ざめ　マンホード著　加藤常吉譯　昭和一〇	一	六六六	二五三
	幼兒の心理　丸山良二　昭和六	一	二五二 五	一八五

		冊	函	號
幼兒の樂しむお話	日本幼稚園協會編　昭和二	一	五六	六一
幼兒のための人形芝居の脚本	菊池ふじの、徳久孝子　昭和七（保育叢書第一）	一	二五二 五	一九八
幼兒への理解	霜田靜志　昭和一〇　三六二頁	一	二七一	一六五
幼兒より成年までの家庭教育の實際	野瀬寛顯　昭和六	一	二七一	一三〇
妖說天草丸	生田蝶介　昭和四	一	五九六	二一七
要說化學分析法	大塚好治　訂　昭和一〇（「新說化學分析法」ノ改題）　二三四頁	一	四七	七一九
要說新無機化學	龜高德平、樫本竹治　昭和九	一	四七	六七五
要註國文定本總聚	廣文堂發行　昭和三、四	一九	五八三	四

一　おくのほそ道（沼澤龍雄校註）
二　枕草子（栗原武一郎校註）
三　平家物語　上編（御巫清勇校註）
四　祝詞壽詞宣命氏文（植松安校註）
五　新古今和歌集（彌富破摩雄校註）
六　萬の文反古（吉田九郎校註）
七　古事記（植松安校註）
八　雨月物語（吉田九郎校註）
九　金槐和歌集（森敬三校註）
一〇　徒然草（田中辰二校註）
一一　更級日記（八波則吉校註）
一二　東關紀行（待鳥清九郎校註）
一三　大和物語（遠藤佐市郎校註）
一四　方丈記（土岐龍雲校註）
一五　近世短歌選（彌富破摩雄校註）
一六　一茶俳文精選（藤田豪之輔校註）
一七　土佐日記（橘純一校註）

		冊	函	號
一八　近松世話淨瑠璃選（野村宗朗校註） 一九　謠曲狂言新選（高木武校註）				
幼稚園教育の實際	永澤義憲　昭和八	一	二七一	一四三
幼稚園託兒所保育學綱要	山本猛　昭和九	一	二七一	一五八
幼稚園の經營	森川正雄　昭和六	一	二七一	一三二
幼稚園の手技製作	及川ふみ　昭和七（保育叢書第三）	一	二五二 五	一九八
幼稚園ばなし	第二集　長尾豐　昭和三	一	五六九	一一
幼稚園保育の諸問題	堀七藏　昭和九	一	二七一	一五七
幼稚園保育法眞諦	倉橋惣三　昭和九	一	二七一	一五〇
妖都	三上於菟吉　昭和五	十	六〇三	一八六
妖日山海傳	上、下卷　三上於菟吉　昭和二	二	五六八	六二
幼年健兒教範	パウエル著　少年團日本聯盟譯　昭和二	一	二七九 五	六三
幼年時代	ゴーリキイ著　湯淺芳子譯　昭和九（岩波文庫九九八—九九九）	一	五六九	一四
幼年時代	トルストイ著　米川正夫譯　昭和七（岩波文庫八四一—八四二）	一	五六九	一四
要文抄錄大藏經索引	第一、三卷　川上孤山　昭和二	二	五六二	八四
要保護世帶に於ける乳幼兒の生活狀態	昭和九年度　東京市社會局編　昭和一〇	一	一四四	一〇五三
要目體操教材の解說活用	森秀　昭和九	一	二七六	五九七
回向詩選	藤井蓮（碓山逸史）	一〇	八三九	一七八
えかしは語る（叢書地方民話）	喜多章明　昭和八	一	六三一	一二七

		冊	函	號
江川太郎左衞門	古見一夫　昭和五	一	五九五	二七二
江川太郎左衞門英龍行狀書	寫	一	二一八	二一〇
江川蘭子	新青年編輯部編　昭和六	一	五九六	三六七
惠我村地誌資料	第一輯　鄉土調査研究會編　昭和九	一	六七二	一三七
荏柄天神緣記	（群書類從第一神祇部ノ內　昭和六）		五六六	六一
同	（新校群書類從第一卷神祇部ノ內　昭和七）		五八四	五
易	井關孝雄　昭和六	一	六〇九	二〇五
同	三七四頁	一	六〇九 イ	二〇五 イ
易學陰陽消長の理より見たる學の維新と日本精神論	安岡正篤（昭和一〇）（日本文化小輯第一）	一	六六六	二〇一
易學概觀	兼坂晉　昭和八	一	六三六	八六
易學階梯附言	谷川龍山（漢籍國字解全書第三卷ノ內　昭和二）		五五五 イ	一 イ
同	昭和七		五五五 ロ	一 ロ
易學講座	第一至一一　柄澤照覺　昭和三			二〇
易學啓蒙諺解大成	榊原篁洲（漢籍國字解全書第三卷ノ內　昭和二）		五五五 イ	一七一 イ
同	昭和七		五五五 ロ	一 ロ
易學通變（奥祕傳書ノ一）	加藤大岳　昭和一〇	一	六三六	三四六
易學入門	遠藤隆吉　昭和一〇　五八四頁	一	六八九	八四
易學の研究	上野清　昭和八	一	六三六	一〇三
同		一	六三五 イ	一〇二
易經	（漢文叢書第一八ノ內　昭和二）	一	五九六	三六七
易經	山口察常　昭和一〇（漢籍を語る叢書第五卷）	一	六七四	二〇
易源奥義	周易源旨八卷　元、保巴　民國二三　影印（四庫全書珍本初集ノ內）	特 八〇	八四四	一四
益軒五訓	楠正信編　昭和七	一	六一九	五九
易原就正	清、包儀　民國二三　影印（四庫全書珍本初集ノ內）	特 一〇〇	八四四	三三
易原圖略說	谷川順祐（龍山）　昭和七	一〇	一五三	九七
益軒養生訓の現代性	島田徹心　昭和五	一	六一	三九九
易像鈔	明、胡居仁　民國二三　影印　一八卷（四庫全書珍本初集ノ內）	特 七〇	八四四	一九
易書詩（春秋三傳）校譌	田中慶太郎校　昭和五	二〇	二一八	三六
驛所の經理事務	昭和五年一一月末日現在　金澤運輸事務所編　昭和六	一	六〇八	二四
液體鹽素容器に關する研究	陸軍科學研究所編　昭和八	一	六四八	二八
第一報	一廸容器の製作法及試驗法の研究	二	六四〇	一七九
江木千之翁經歷談	上、下　同刊行會編　昭和八	特 六〇	八四四	九
易通	宋、趙以夫　民國二三　影印　六卷（四庫全書珍本初集ノ內）	一〇	一八	一〇九
驛遞寮年報	同寮發行　明治八至一九			
第三次	（明治七年）			
第四次	（明治八年一月一日至同六月三〇日）			
第七次	（明治一〇年七月一日至同一一年六月三〇日）			

		冊	函	號
第九次	（明治一二年七月一日至同一三年六月三〇日）	一	六六三	三一
第一〇次	（明治一三年七月一日至同一四年六月三〇日）	一	六一二	一九九
第一一次	（明治一四年七月一日至同一五年六月三〇日）	一	五一七	六九三
第一二次	（明治一五年七月一日至同一六年六月三〇日）	一	六〇五	八四
第一三次	（明治一六年七月一日至同一七年六月三〇日）	特 五〇	八四四	五
第一四次	（明治一七年七月一日至同一八年六月三〇日）	特 四〇	八四四	三
第一五次	（明治一八年七月一日至同一九年三月三一日）	一	五六	三〇三

易と人生　藤村與六　昭和一〇　一　五六　三〇三イ

易の新研究　藤村與六　昭和七　一　五六　三〇三ロ

エキパージュ　ケツセル著　桃井京次譯　昭和五　一　六三一　一〇六

役馬共同厩舍懸賞募集設計圖集　帝國馬匹協會編　昭和五　一　五九六　一〇六

易變體義　宋、郝契　民國二三　影印　一二卷（四庫全書珍本初集ノ內）　特 五〇　八四四　五

易用　明、陳祖念　民國二三　影印　六卷（四庫全書珍本初集ノ內）　特 四〇　八四四　三

疫痢　石橋長英　昭和五　一　五六　三〇三

同　再版　昭和七　一　五六　三〇三イ

同　三版　昭和一〇　八〇頁　一　五六　三〇三ロ

驛旅行記念印目錄　昭和七年一二月一〇日現在　慶谷俊雄編　訂　昭和七　一　六三一　一〇六

惠慶集（登經閣一叢刊）　同解說共　惠慶　昭和一〇（傳藤原定家等筆ノ複製）　特 三〇　を一四　一

同　特 三〇　を一四イ　五八四　五

惠慶法師集（新校群書類從第一二卷和歌部ノ內）　昭和五　一　六三八　一二八

ゑげれすいろは人物　川上澄生　昭和一〇

		冊	函	號
エコノミスト　日本評論社發行　昭和四、七		二	五八	二
第一卷	日本金融資本戰（大阪每日新聞社、東京日々新聞社編）			
第二卷	滿蒙の經濟建設（エコノミスト編輯部編）			
エコノミック・デモクラシイ	清水乙男譯　昭和五（ダグラス派經濟學全集第三）	一	五八六	三一六
埃及紀行　天沼俊一　昭和二		一	五五六	二八二
埃及經濟事情と日埃貿易　商工省商務局編　昭和三		一	五八〇	六〇
埃及見物　日本郵船株式會社編　三版　昭和一〇		一	六八三	六三
埃及宗教文化史　比屋根安定　昭和五		一	五九二	一三〇
エジプト十字架の祕密　クキーン著　伴大矩譯　昭和九		一	六六五	九〇
埃及新風調　埃及藝術研究會編　昭和四		一〇	二一六	三七
埃及蘇丹棉花の現狀及將來　外務省通商局編　大正一五		一	五二四	七五八
エジプトの藝術　一氏義良（アルス美術叢書第二一編）　昭和二		一	五四一	六一
同　昭和三		一	五四一	六一イ
埃及美術史　ペトリー著　石山徹郎譯　昭和五（美術叢書第四卷）		一	五九七	二三四
埃及文樣集　洪洋社編　昭和三（西洋文樣圖譯第一輯）		一	五八四	一一
埃及王統譜　德政金吾　昭和七		一	五八七	二三一
惠心僧都全集　第一至三、五卷　比叡山專修院、叡山學院編　昭和二、三		四	五五九	六〇
惠心僧都之御物語雙紙　正木直彥　寫　昭和一〇　複製		一〇	三〇二	八二

CC・C・P（エスエス　エス　エル）**（サウェート社會主義共和國聯邦）**　他和律　昭和五　一　六〇七　四四

SSK化學藥品規格　小西宗七商店藥品試驗部編　昭和九　一　六六七　八八

S・O・Sのアメリカ　木村毅　昭和七　一　六三一　一二八

えすぱにや・ぽるつがる記　木下杢太郎　昭和四　一　五五六　三六五

同　一　五五六　三六五イ

エスペラント運動史　ドレーゼン著　高木弘譯　昭和六　一　五九〇　四九七

エスペラント運動史年表　日本エスペラント學會編　昭和七　一　五五九　三九九

エスペラントABCの讀み方から　石黑修　昭和六　エスペラン・ト創案者愛の人ザメンホフ　エドモン、プリヴァー著　松崎克己譯　昭和四　一　五一四　九〇イ

エスペラント三〇日　桃井鶴夫　昭和七　一　六三〇　四五

エスペラント四週間　小野田幸雄　昭和六　一　六〇七　四〇五

エスペラント對譯詳註叢書　日本エスペラント學會發行　昭和三　二　三三三　七九八

第一篇　マテオ・ファルコネ（メリメ著　大島義夫譯註）

第二編　ハイネ詩集（椎橋好、城戸崎益敏譯）

エスペラント通信の實際　石黑修　昭和九　一　五八八　四八一

エスペラント獨修書（醫家用）　東宮豐達　昭和二　一　三三三　七四九

エスペラント日記の書方　下村芳司　昭和八　一　六三三　一二一

エスペラントの基礎　石黑修　昭和八　一　六四三　二六

エスペラントの學び方　學習三十日　石黑修　訂　昭和六　一　三三三　五八四イ

エスペラント文庫　日本エスペラント學會發行　昭和九、一〇　四　六四七　九六

第二篇　世界語の歷史（ドレーゼン著　高木弘譯）

第三篇　國際通信の常識（石黑修）

第四篇　飜譯實驗室（中垣虎兒郎）

第五篇　エスペラント會話　附　分類語彙（久保貞次郎編）

エスペラント文例集　城戸崎益敏編　昭和四　一　五五三　一一七

エス・ボナールの罪　フランス著　岡野馨譯　昭和七（世界名作文庫第一八八）　一　六三〇　一

蝦夷全圖　附　蝦夷國圖說　橋本宗吉編　〔寬政六三・七〇×一一五・二〇〕　特 一枚　を一二六

蝦夷地は歌ふ　河合稟石　昭和一〇　五三六頁　一　六九三　一三〇

蝦夷圖　天明六　寫　五九・九〇×七八・五〇　一枚　一二〇　一五四

蝦夷之譽　吉川弘文　昭和三　一　五二四　七七一

えぞまつ寄生小蠹類ノ生態的研究　北海道廳編　昭和四　一　八三　四七五

繪單語應用獨逸語三〇日　桃井鶴夫　昭和七　一　六二〇　二〇一

繪單語應用佛蘭西語三〇日　桃井鶴夫　昭和七　一　六二〇　二〇三

HS線療法の原理　杉田平十郎　昭和一〇　一五四頁　一　六〇　一三六六

エチオピア帝國　レー著　田鍋安之助譯　昭和九　一　六四〇　三三〇

エチオピア帝國經濟事情（アフリカの親日國）　庄子勇之助　昭和八　一　六三一　三三八

エチオピヤ探訪報告　大山卯次郎　昭和九

越後佐渡農民騷動　新潟縣內務部（石井清吉調）編　昭和五　六二九頁　一　七〇一　二〇

エチコ―エツモ

		冊	函	號
越後・佐度へ來た人々	星野良平 昭和一〇 二二八頁	一	六八二	一四六
越前及若狹地方の史蹟	上田三平 昭和八、	一	六四〇	二五
越前武生 文辰狂歌集	桃鄰會文辰著 石橋咬菜(重吉)等校 九七頁	一	六六六	二七六
越前國 敦賀郡植物誌	福井縣教賀郡教員會鄉土植物研究部會編 昭和一〇 謄寫版	一	六五〇	二八二
越前三國 俳人哥川	石橋重吉 昭和八	一	六三一	二六三
越前若狹古文書選	牧野信之助編 昭和八	一	六四〇	一三三
越前若狹に於ける百姓史	(上) 杉本英壽 昭和八	一	六三七	一六六
エヂソン傳	澤田謙 昭和四	一	五五六	三八六、
エヂソン傳	フォード著 別府一郎譯 昭和六	一	五九五	三七四
エチユード(ジャック・リヴイエール)	リヴイエール著 佐藤正彰等譯 昭和八	一	六三三	二〇〇
繪圖玉嬌梨	米田祐太郎譯 昭和二	一	五一七	六一四
XXX	同會編 昭和二	一	四三三	二八三
エックハルト及獨逸神祕主義	竹村清 昭和六 (基督教文獻叢書第一二)	一	六〇九	四五
エックハルト研究	宮川義逸 昭和八	一	六四八	五一
第一輯	エックハルトに於ける「たましひ」について			
越佐史料	巻三至六 高橋義彦編 昭和二至六	四	五三四	九六
越佐叢書	同刊行會發行 昭和八、九	二	六五四	二五

		冊	函	號
越の山風	(山縣有朋)			
佐渡志	(田中美清編)			
順德院天皇御遺蹟搜索之記	附 (矢田求附注)			
柏崎諏訪神社考	(生田萬)			
第六巻 中臣祓講義	(竹內式部)			
竹內式部君事蹟考	(星野恒)			
本誓寺記				
越の風車	(伴喜內)			
久知軍記	(野田養宅著 矢田求校正標記)			
越後の國土と彌彥の神社	(吉田東伍)			
神名帳考證	(度會延經)			
越後孝婦傳				
越佐地名考	藤井尙治 昭和六	一	五九五	四〇一
越佐名家著述目錄	新潟縣立圖書館編 昭和四	一	五九〇	一四三
エツセイとエツセイスト	竹友藻風 昭和二	一	五六八	二一七
越中製陶史稿	山本久作 昭和九	一	三〇三	一七
越中陶器の變遷(隨筆)	上卷 村秀三 昭和一〇	一	六八八	八八
越中地志	青木北海(又市)著 富山鄉土研究會編 昭和七	一	六一八	五七
越中國福野村鑄物師記	寫 (正德年中ノ記錄ナリ)	一	三四	二五三
エッチングの描き方	西田武雄 昭和五	一	六〇六	九二
越登賀三州志(重訂)	富田景周 日置謙校 昭和八	一	六四〇	一七八
越縵堂 讀史札記	第一至一一 李慈銘編 民國二二	九	二一六	一〇〇
悅目抄	藤原基後 (群書類從第一六輯和歌部ノ內 昭和九)		五八三	一四
同	(新校群書類從第一三巻和歌部ノ內 昭和四)		五八四	五
「エティオピア」國事情	外務省通商局編 昭和七	一	六三五	八九
エテイモロヂーによる英語の重要單語	分解式記憶法 宮田峯一佐野昇次郎 昭和五	一	六〇三	一八
繪手本	寫 一九葉	特帖	一	八四三	六九
エデンの園	水木久美雄戲曲集 同人 昭和二	一	五六八	二一八
江戸淺草 彈左衞門由緒	磯ヶ谷孝治編 昭和七	一〇	一五七	一二七
同		一〇	一五七	一二七イ
江藤新平	眞山青果 昭和五	一	三五七	二八五
江戸生艶氣樺燒	山東京傳 (近代日本文學大系第一二巻ノ內 昭和二)	五六〇		九
江戸繪から書物まで	朝野蝙牛(文三郎)編 昭和九	一〇	一九八	四六七
江戸繪圖	寶曆一一	一枚	八四一	二〇一
江戸繪卷	(寶曆頃) 寫	特輪	一	ん	一八一
江戸大繪圖	同發行所製 昭和四 一一〇・一〇× 九九・八五	一枚	八三	四七三
江戸大阪芝居役割番付	(文化文政)	乙	京	四〇三
江戸大芝居新役者付	(猿若座、森田座、市村座)鳥居清滿、清長畫 (安永、天明)	特帖別	七	五三八
江戸大節用海內藏(改正增補)	高井蘭山、中村經年編 菊川英山畫 明治三	特	一〇	二一六	一六三
エドガア・アラン・ポオ小說全集	同人 昭和六至八	五	六〇七	三七二
第一巻	輕氣球虛報 (佐々木直次郎譯)			
第二巻	群集の人 (佐々木直次郎譯)			
第三巻	偸まれた手紙 (佐々木直次郎譯)			
第四巻	妖精の島 (佐々木直次郎譯)			
第五巻	黑猫 (佐々木直次郎譯)			
江戸開城記念展覽會陳列目錄	同會編 昭和三	一	五四九	四二五
江戸川區勢要覽	第一回 昭和一〇 東京市江戸川區役所編	一	一四、四	一〇六
江戸川上水道概要	東京府江戸川上水町村組合編 昭和六	一〇	五七六	一九二
江戸川上水道誌	東京府江戸川上水町村組合編 昭和三	一	五八一	一三一
江戸川亂步全集	同人 昭和六、七	一三	六一三	五六
第一巻	陰獸			
第二巻	一寸法師			
第三巻	闇に蠢く			
第四巻	蟲			
第五巻	孤島の鬼			
第六巻	蜘蛛男			
第七巻	獵奇の果			
第八巻	魔術師			
第九巻	盲獸			
第一〇巻	黃金假面			
第一一巻	白髮鬼			
第一二巻	吸血鬼			
第一三巻	恐怖王			
江戸川亂步全集	第六、九巻 同人 昭和六、七	二	六一三	五六イ
江戸から東京へ	第三至五、八、九篇 一六版 昭和四 矢田義勝(挿畫)	五	三九四	四四ハ
江戸舊事考	江戸會編 明治二五	三〇	八四〇	四

		冊	函	號
江戸切繪圖	（彩色）景山政恭等編 嘉永二、安政三	帖	別	枚
		九	三〇	一八
江戸近郊名勝一覽	松亭金水著 歌川廣重畫 再版 安政五	一	一三〇	一五六
江戸金工名譜	野田敬明編 文化七	一帖	八四二	七二
江戸近世舞踊史	九重左近 四版 昭和四	一	五六三	二八四
江戸愚俗徒然噺	（未刊隨筆百種第一三の内 昭和三）		五六〇	二九
江戸國文學者年表（管見）	大洲道映編 昭和六	一	六〇四	四三一
江戸小咄研究（頭註）	小柴値一編 昭和九	一	六五六	三〇九
江戸雜話	三田村鳶魚 昭和二	一	五五六	二六八
江戸三國志	前、中、後篇 吉川英治 昭和三、四	三	五八二	一三八
江戸時代	制度篇 大槻義次 昭和五	一	六〇七	二〇三
江戸時代戲曲小說通志	佐藤春三郎（雙木園主人） 昭和二	一	五三一	九三イ
江戸古版地圖集	解說付 廣島高等師範學校地歷學會編 昭和三	一	五七六	一三一
江戸時代初期繪入本百種	月曜會編 昭和二	二〇	一八三	五二五
江戸時代書誌學者自筆本展覽會目錄	日本書誌學會編 昭和九	一	六七二	一三五
江戸時代小說史	小說脚本淨瑠璃隨筆飜刻物索引 尾崎久彌 昭和三	一	五三一	一三五
	鈴木暢幸 昭和七	一	六二一	一四四
江戸時代前半期の世相と衣裳風俗	齋藤隆三 昭和八	一	六四一	一一三
江戸時代に於ける敎化資料	文部省編 昭和九（社會敎育叢書第三一輯）	一	二五九五	六〇
江戸時代に於ける南信濃	附圖 市村咸人 昭和九	一	六六一	九四
江戸時代の交通文化	樋畑雪湖 昭和六	一	五五四	二〇七
江戸時代の科學	東京科學博物館編 昭和九	一	六五〇	一七八
同		一	六五〇	一七八イ
江戸時代のさま〳〵	三田村鳶魚 昭和四	一	五七八	二四七
江戸時代文化史叢書	近世日本文化史研究會發行 昭和三	二	五七一	一七七
第一	江戸時代之音樂（田邊尙雄）			
第二	江戸時代之大奧（横井春野）			
江戸時代名歌選釋	窪田空穗 昭和四	一	五九六	一四八
江戸時代名歌評釋（註）	窪田空穗 昭和一〇（和歌評釋選集第六卷）	一枚	六七三	七
江戸實測圖	（東京市史稿市街篇附圖）第三 伊能忠敬製 昭和三 複製	二〇	一四九	八
江戸芝居年代記	昭和三（未刊隨筆百種第二一）	一	五六〇	二九
江戸拾葉	（未刊隨筆百種第二ノ内 昭和二）		五六〇	二九
江戸自慢	（未刊隨筆百種第一四ノ内 昭和三）		五六〇	二九
江戸城炎上	土師清二 昭和九	一	六六五	一八六
江戸城大奧祕史（趣味—史談—）	武田完二 昭和九 〔「趣味大奧祕史」ノ改題〕	一	六三〇	五八イ
江戸城建築史料展覽會目錄	東京市立日比谷圖書館編 昭和三	一	五四九	四六四
江戸城諸役人勤向心得	寫〔御持弓頭内藤若狹（萬延頃）留書〕	飜	三	三
江戸城諸役人勤向心得目錄	中木美智枝編 昭和五 寫	飜	一〇	三
江戸地誌解說稿	同附圖 長澤規矩也編 昭和七		四一八	一七〇
江戸地名字集覽	三村清三郎 昭和四	一	五六九	一八六
江戸圖		一〇	八四一	一八八
江戸子の死	岡本綺堂 昭和二	一	五六八	六
江戸圖書目提要	（未刊隨筆百種第一二ノ内 昭和三）		五六〇	二九
江戸と大阪	幸田成友 昭和九	一	六七八	五八
江戸と東京風俗野史（いろは引—）	卷一、五 伊藤晴雨 昭和二、六	二〇	一八三	五四九
畫と鳥	内田清之助 昭和九	一	六六七	八四
江戸軟派全集	第一至五 同刊行會編 昭和二	五	五五〇	一四一
江戸軟文學考異	尾崎久彌 昭和三	一	五八五	二六
江戸軟文學考異（增訂—）	尾崎久彌 昭和八	一	五八五	二六イ
江戸に於ける米取引の研究	鈴木直二 昭和一〇	一	六五〇	二九九
江都二色	有坂與太郎編 昭和五	一	一五六	九九
江都二色	北尾重政畫 稀書複製會編 〔安永二年版ノ複製〕	一〇	一二〇	一四〇
江戸道中記略	首藤知平 寫〔仙臺ヨリ江戸ニ至ル道中ノ雜錄ナリ〕	三〇	二一六	八八
江戸城心中	吉川英治 昭和六	一	六〇三	二七六
同	（つゞき）	一	六〇三	二七六
江戸城の今昔（史蹟—寫眞—）	鳥羽正雄編 昭和三	一〇	一七六	六七
江戸城風雲回顧錄	水野城東編 昭和六	一	五九五	三三三
江戸城物かたり	東京市立日比谷圖書館編 昭和四	一〇	二〇五	二九八
江戸社會史	吳文炳 昭和四	一	五九一	一二六
江戸書籍商史	上里春生 昭和五	一	六一一	三九
江戸資料叢書	江戸探訪會發行 昭和六 謄寫版	二〇	二一四	三〇一
第一篇	狂歌江戸名物誌 上卷（松川弘太郎編）			
第二篇	川柳江戸俗信類纂（松川弘太郎編）			
江戸砂子（再校—增補—）	一至六 菊岡沾凉編 岩田恒足軒校 昭和九	八〇	八四〇	一
江戸生活のうらおもて	三田村鳶魚 昭和五	一	六〇六	一
江戸小說研究	尾崎久彌 昭和一〇	一	六一七	二九〇
江戸全圖	溫清軒編 〔元祿年間〕 一三二・五〇×一七四・〇〇	一枚	一るニ	六八イ
江戸叢書	早稻田大學發行 昭和八、九	五	六二九	四一
第一	江戸っ子（三田村鳶魚）			
第二	江戸の白浪（同）			
第三	御家騷動（同）			
第四	捕物の話（同）			
第五	江戸の女（同）			

江戸錦大繪圖	附錄 德川時代大名變遷一覽表 日本美術書院編 昭和四		一	五五三	八三
江戸年中行事	三田村鳶魚 昭和二		一	五六五	五三
江戸の今昔	歌川廣重(五世) 東々亭主人編 昭和七		一	六一八	三〇
江戸之埃	梅本高節(秋農屋主人)編 寫		一〇	一七〇	一三〇
江戸乃花	名勝會名物會 內田美術書肆編 昭和二		一〇	二三〇	一二
兄弟丸蒔繪文庫(采女樣參る菊より)	墨泰亭雪齋著 香蝶樓國貞畫 再版(人情本刊行會叢書第二六輯ノ內 大正一五)			五四五	二六
江戸賣笑記	宮川曼魚 昭和二		一	五六五	二四七
同	三版 昭和二		一	五六五	二四七イ
同	訂 昭和四		一	五六五	二四七ロ
江戸橋廣小路市場の圖に就いて	江戸幕府時代醫界の名家 及び醫學館とその事業 大瀧喜邦 森潤三郎 昭和八		一	六三九	一四八
江戸は過ぎる(漫談)	河野桐谷編 四版 昭和四		一	五八九	九二
江都八景	巧藝社編 大正一四	特	一〇	四一一	七三
江戸繁昌記	一至六篇 寺門靜軒 天保三		六〇	八四〇	一三
江戸繁昌記	寺門靜軒著 佐藤進一譯 昭和四		一	五九七	一八三
江戸文學研究	山口剛 昭和八		一	六二三	一八八
江戸文學史	永井一孝 昭和一〇		一	六一七	二六二
江戸文學史	上、中卷 高野辰之 昭和一〇(日本文學全史卷七、八)		二	六二六	一七

江戸文學全集	土屋春泉編 昭和二		一	五二九	二三四
江戸文學叢書(評釋)	大日本雄辯會講談社發行 昭和一〇		七	六一七	三一
第一 傑作滑稽璃集 上	近松時代 (樋口慶千代)				
第一 傑作滑稽璃集 下	隆盛時代 (樋口慶千代)				
第二 西鶴名作集	(藤井乙男)				
第三 歌舞伎名作集 上	(河竹繁俊)				
第三 歌舞伎名作集 下	(河竹繁俊)				
第四 俳諧名作集	(嶺原退藏)				
第五 讀本傑作集					
評釋雨月物語	(樋口慶千代)				
評釋南總里見八犬傳	(和田萬吉)				
日本文學に影響を及ぼしたる支那小說	(長澤規矩也)				
江戸文學叢說	藤井乙男 昭和六		一	六〇七	三四八
江戸末期の浮世繪	小島烏水 昭和六		一	六一四	三三
江戸名勝詩	大沼枕山 明治一一		一〇	八三八	六一
江戸名所圖會	齋藤幸成等著 長谷川雪旦畫 天保七		二〇	八三九	五七
江戸名所圖會	卷一 長谷川雪旦畫 齋藤幸雄編 昭和三(日本圖會全集ノ內)		一	五六六	五〇
江戸名所和歌集	上、下 蜂屋光世編 文久三		二〇	八三八	三〇
江戸物語	和田維四郎(雲村閑人) 大正五	特	一〇	二三四	一一七
江戸役者	邦枝完二 昭和九		一	六五六	六七
江戸土屋式秘傳公開 結髮大全	妹尾やす子 昭和二		一	五七二	一三三
同			一	五七二	一三三イ

江戸より大磯まで	稀書複製會編 昭和一〇 (東海道名所記第一) 複製		一〇	三〇一	五四
餌鳥會所記錄	寫〔享保ヨリ慶應マデノ御鷹餌鳥ノ記錄〕	特	一八〇	八三六	四六
エトルリアの壺	メリメ著 杉捷夫譯 昭和三 (岩波文庫三三八)		一	五六九	一四
江戸猥談	坂田俊夫 昭和三		一	五七〇	一八三
繪なき繪本	アンデルゼン著 茅野蕭々譯 昭和九 (岩波文庫一〇五二)		一	五六九	一四
惠那郡の石器時代	山本榮一 昭和一〇		一	六七九	一三五
惠那山〔縱行九橫行二九圖幅第一六〇號地質圖〕	地質調査所製 昭和五	枚一冊一		一二	五七七
	說明書付 六二・二 五×三九・〇〇				
惠那山麓に於ける渡り鳥に就て	原田堅策 昭和七		一	六一六	九二
枝直千蔭詠草	附 歌會次第 寫	特	一	六四三	一〇七
		雜一	一	六四三	一〇七
		別一	九		一八
エニスの商人	シェクスピア著 澤村寅二郎譯 昭和八		一	六四三	一〇七
繪に添へて一筆集	上卷 吉田初三郎 昭和五		一	五七八	三四七
惠日山光圓寺誌	河野重祐編 昭和一〇 一四一頁		一〇	六八四	一〇〇
慧日大聖尊	信道會館編 昭和九		一	六三一	四八四
N・R・Aの米國	附 在米日本人の產業 藤井整 昭和九		一	五九九	四七〇
江沼郡手毬唄集	山下久男 昭和九		一	六五三	二八三
江沼史料	碧水閣文庫發行 昭和四		二	五九〇	九一
	第四、五輯 聖城怪談錄 上、下 (宮本謙吾)				
N・Y・マル氏の四十五週年紀念論叢に據る	考古學概論				

ソヴエート同盟國立物質文化史アカデミー編 早川二郎譯 昭和一〇 三一四頁			一	六四〇	二八四
エネルギー使用法	ピトキン著 大江專一譯 昭和一〇		一	六七五	一七三
繪の消えた繪馬	(武二第三句集) 小澤武二 昭和三		一	五九〇	九三
繪の國豐前豐後	大佛次郎等 昭和九		一	六六一	四四
畫の教育學	上阪雅之助 昭和五		一	二六三	二五七
エノケン爆笑記	安藤十九木 昭和一〇 三七八頁		一	六三三	一九七
江島神社史料年表	縣社江島神社編 昭和一〇 二五頁		一〇	三〇二	一五四
江島神社と杉山撿挍	島田一郎(筑波) 昭和一〇 二〇頁		一	六八四	一〇四
江の島と音曲	島田一郎(筑波) 昭和四		一	五九〇	一七八
繪島廻浪	上、下 香川景樹著 村山松根編 明治一五〔桂園畫讀集トモ云フ〕		二〇	八三八	三一
畫の好きな人の爲に	衣笠佐太郎編 昭和二		一〇	一七三	一一六
エノモト養鷄叢書	養鷄之日本社發行 昭和四		一	五九〇	二〇九
第二編 私の鷄舍のいろ〳〵(榎本誠)					
繪羽羽織(感想集一)	內田繪羽(顯德) 昭和八		一	六四五	一〇七
江原素六先生傳	村田勤 昭和一〇 三〇一頁		一	六九三	三〇
荏原町誌	井上謙治等編 昭和七		一	六一〇	一六九
エバンジエリン	ロングフエロー著 關口野薇薔譯 昭和九		一	六六六	一一〇
エバンゼリン・ブース	山室軍平 昭和四		一	五九〇	二〇三
エピキユウルの園	フランス著 草野貞之助譯 昭和四		一	五九六	一三一

エピキユラスの哲學　ヂオゲネス著　曉烏武雄譯　昭和九　冊一　函六四五　號一九一

〔愛媛縣〕學事統計要覽　昭和九年　同縣編　昭和九　一　二五八　三　一八

〔愛媛縣立北宇和郡立間村〕寄生蟲調查成績　昭和七年度　同縣警察部衛生課編　同縣警察　昭和八　一　一四、六　ハ　二七八

愛媛縣教育會圖書館圖書目錄　昭和元年一二月現在　同館編　昭和二　一　五六二　九一

〔愛媛縣蠶業試驗場〕事績報告　大正一五至昭和三、五至七年　同場編　昭和二至七　五　一四、二　イ　八三三

愛媛縣蠶業試驗場報告　第一六至二二號　昭和二至六　同場編　七　一四、二　イ　三四九　ロ

〔愛媛縣師範學校〕鄉土館目錄　昭和六年五月現在　同館編　昭和六　一　六〇四　四九九

同　昭和九年六月訂補　昭和九　一　六〇四　四九九

愛媛縣師範學校先哲記念館所藏品目錄　昭和七年四月現在　同館編　昭和七　一　三七二　五七九

愛媛縣師範學校圖書館圖書分類目錄　昭和五年一一月末現在　同館編　昭和六　一　六一四　一七

愛媛縣師範學校圖書館圖書目錄　第二輯　昭和八年八月末現在　同館編　昭和八　一　六一四　一七

愛媛縣商工案內　昭和三年版　同縣商工團體聯合會編　昭和三　一　五八六　八三

愛媛縣植物誌　八木繁一　昭和三　一　五八八　四九

愛媛縣紳士錄　愛媛新報株式會社編　昭和九　一　六四〇　二三八

愛媛縣水產試驗場業務報告　大正一四、昭和三、五、六年度　同場編　昭和二年八　六　一四、二　イ　二一九

愛媛縣先哲偉人叢書　愛媛縣教育會發行　昭和八、一〇　三　六五二　一

第一卷　矢野玄道（矢野太郎編）

第二卷　二宮敬作、三瀨諸淵傳（長井音次郎編）

第三卷　伊達宗城（兵頭賢一編）

愛媛縣統計書　大正一四至昭和七年　同縣編　昭和二至九　三　一四、四　六四

愛媛縣動物誌　八木繁一　昭和六　一　六〇四　四八五

愛媛縣東豫煙害史　一色耕平編　大正一五　一　五一八　二七四

愛媛縣農山漁村經濟更生計畫指導指針　愛媛縣內務部編　昭和八　一　六二五　三四四

愛媛縣立種畜場業務功程報告書　大正一五、昭和元年度　同場編　昭和二　一　一四、二　イ　五三八

愛媛に於ける滿洲大豆粕飼料化　一九三二年　愛媛縣畜產組合聯合會編　昭和八　一　六二五　四二四

え・びやん　辰野隆　昭和八　一　六二三　一三〇

繪筆を載せて　續編　岡田泰祥　昭和六　一　五三二　六〇

繪筆の從軍　武藤夜舟　昭和九　一　六三九　二二〇

エペソ書、コロサイ書、ピレモン書、ピリピ書（新約聖書註解）　日高善一　昭和四　一　五九五　九九

烏帽子折　（近代日本文學大系第二卷ノ內　昭和三）　五六〇　九

同　昭和八　六二九　二八

烏帽子考　寫　一〇　八四一　一六一

繪本（短篇集）　永井龍男　昭和九　一　六五八　一三五

繪本御伽品鏡　長谷川光信著竝畫　元文四　京　一〇　四一四　一三

繪本おどりつくし　稀書複製會編　昭和五　複製　一〇　一五　四七一　一四

繪本おもちや集　川崎巨泉畫　田中綠紅編　昭和二　一〇　一五　四七一　イ　一四

繪本金龍山淺草千本櫻　上、下　稀書複製會編　昭和四　二〇　一五　四七〇　同

繪本古金襴　鈴木春信畫　實曆一三　三〇　八四〇　七五

繪本このころくさ　稀書複製會編　昭和一〇　複製　一〇　三〇一　二八

繪本榮家種（戯場風俗）　歌舞伎出版部編　昭和二　複製　三〇　一八八　六〇二

會本雜考　封醉小史　昭和四　（變態文獻叢書第六卷）　一〇　一八三　五八九

繪本太閤記大全　再版　わ　三〇　一二五

繪本玉かづら　上ノ卷、下ノ卷　稀書複製會編　昭和三、四　複製　二〇　一五　四六六

繪本徒然草　和田萬吉訂　昭和二　（新型袖珍名著文庫第一六）　一　五五〇　六九

繪本楠公記　山田得翁齋著　遠水春曉齋畫　寬政一二　五　八四二　三八

繪本見立假譬盡　上、中、下　竹杖爲輕著　稀書複製會編　昭和八　複製　三　二三九　一二四

畫本水や空　上、中、下　稀書複製會編　昭和一〇　複製　一　三〇三　六三

畫本虫撰　石川雅望（宿屋飯盛）編　喜多川歌麿畫　圖說複版會編　昭和一〇　複製　一　三〇一　八二

繪本文樣選　上、下卷　內田美術書肆編　昭和四、五　二　五五三　一〇九

繪本和漢朗詠集　和田萬吉訂　昭和一　（新型袖珍名著文庫第一五）　一　五五〇　六九

繪本渡邊一代記　上、中、下　楚滿人（楠彥太郎）著　勝春亭畫　三　そ　三三

繪卷文樣　乾坤　德田義三編　昭和六　二　帖　二二〇　三九

エミール　上、下卷　（改造文庫第一部第一八、一九篇）　ルーソオ著　內山賢次譯　昭和四　一　五六九　一四三

エミール　第一（再版）、三、四、五篇　ルソオ著　平林初之輔譯　昭和三至八　五　五六九　一四

エミール　第一至三　（岩波文庫四三二—四三九）　ルソー著　平林初之輔譯　昭和八　三　六二九　四三

同　第一至三　（春秋文庫第三部第二七至二九）　ルソオ著　平林初之輔譯　昭和八　一　五四五　五九

同　上卷　（世界名作大觀第一部英國篇第一五卷）　再版　昭和二　一　五五三　九九

エミール（ルソー）　上、下卷　昭和三　ルツサウ著　內山賢次譯　二　五四四　三八　イ

エミール・ウテイツツの美學　久富貢譯編　昭和九　（玉川文庫第五一）　一　六四六　一

エミール・フアーレンカムプ　今井兼次編　昭和四　（近代建築家選第一）　一　五五三　九九

繪文字及源始文字　岡崎仁義　昭和三　（日本民族叢書第一〇）　一　五六〇　二〇

エリア隨筆集　上、下卷　昭和二、四　ラム著　平田禿木譯　（世界名作大觀英國篇第一五、一六卷）　二　五四三　二

同　上卷　再版　昭和二　一　五四三　二〇

エリオツト文學論　エリオツト著　北村常夫譯　昭和八　一　六三三　一七五

エリ・ビオルクステンの學校體操　二宮文右衞門　昭和八　一　二七六　五七〇

エリミネーター　附セットの自作　日本無線電話普及會編　昭和四　一　五九七　二〇六

「エル・サルヴァドール」共和國事情　外務省通商局編　昭和七　一　六二五　一八七

ゼルネ氏　ルナール著　梅原緘藏譯　昭和二　（近代文藝選集第六編）　一　五四八　五三

エルハ—エンキ

		冊	函	號
エル・ハヂ(アンドレ・ジイド)	ジイド著 石川湧譯 昭和八	一	六五	九
エルフルト綱領解說	カウツキー著 三輪壽莊譯 昭和五 (改造文庫第一部第一〇五篇)	一	五六九	一四二
エルンテ	第七卷第一號(昭和一〇年一月)ヨリ 東京帝國大學獨逸文學研究會編	八	羅	二八
エレクトロカルヂオグラムの臨牀	大橋祐之助 昭和一〇 (隆生堂叢書第一編)	一	六〇	一三四七
エレホン(山脈を越えて)	バトラ著 山本政喜譯 昭和一〇 (岩波文庫一〇九二—一〇九三)	一	五六九	一四
エロ、グロ、巴里	鈴木秀三郎 昭和五	一	五一七	六五一
圓融院扇合	(新校群書類從第一〇卷和歌部ノ內 昭和四)	五八四		五
宛委室隨錄	上、下 晩翠軒編 昭和二	二〇	一八三	五四七
烟雲供養展觀錄	明治一七 (東福寺所藏吉山禪師四百年忌展觀錄ノ斷刻)	一〇	八三九	一五八
圓應禪師傳	原清節編 昭和七	一	五八七	二八〇
沿海海水自然狀態に於けるコレラ菌の生存期間に關し同菌類似のメツチニコフ氏菌を以て橫濱港內に於て施行せる實驗成績	遠山祐三 昭和四	一	五六三	二七七
沿海州及黑龍州產の小麥並にライ麥の穀粒研究	ウエ・ア・ウグロフ著 山下義雄譯 昭和二 (露亞經濟調査叢書第二五編)	一	五五五	一二
圓戒十要	亮碩 (天台宗全書第八ノ內 昭和一〇)	六一五		四七
烟霞詩程	石崎篁園(政汎) 昭和一〇 一九丁	一〇	三〇三	一五六
煙霞集	吉植庄亮 昭和三 (新歌集叢書第四編)	一	六五五	九
圓爲替はどうなる?	(爲替平衡資金制度の提唱) 山崎靖純 昭和七	一	六三一	二一
沿岸航法ノ基礎	瀧川文雄 昭和六	一	六〇八	二三二
圓鑑國師傳	後藤亮一編 昭和二	一	五五九	四一
延喜式	卷一至一〇 再版 覺政七	五〇	八三七	八九
延喜式	第一至三 正宗敦夫編 昭和二 複製 (日本古典全集第二回)	三	五五〇	一七八
同	第一至三、六、七 昭和二至四 複製 (日本古典全集第二回)	五	五五〇	一七八イ
同	(新註皇學叢書第三卷ノ內 昭和二)	五五五		四五
延喜式(校訂)	上、下卷 索引 皇典講究所、全國神職會訂 昭和四至七	三	五九一	一五五
同		三	五九一	一五五イ
延喜式神明帳頭註	卜部兼倶 (新校群書類從第一卷 神祇部ノ內 昭和七)	五八四		五
延喜式祝詞解	賀茂眞淵 (增訂賀茂眞淵全集卷五ノ內 昭和三)	四四		三一イ
延喜式祝詞評釋	岡泰雄 昭和二	一	五五九	四三
延喜式名神大社稻田神社考究史	柳橋好雄 昭和九	一	六六三	三三
艷俠	谷利宇助商店編 昭和七	一〇	四二六	一五
燕京大學燕京學報	第九期 同編輯委員會編 民國二〇	一	一四五	二八五
燕京大學圖書館使用法	同館編 民國二五 二五頁	一	二七八	二八六
燕京大學圖書館目錄初稿	類書之部並引得 鄧嗣禹編 民國二四	一	六五八	二〇五
同		一	六五八	二〇五イ
煙霞集	吉植庄亮 昭和三 (新歌集叢書第四編)	一	五六六	四〇
圓爲替はどうなる?	(爲替平衡資金制度の提唱) 山崎靖純 昭和七	一	六三一	二一
沿岸航法ノ基礎	瀧川文雄 昭和六	一	六〇八	二三二
圓鑑國師傳	後藤亮一編 昭和二	一	五五九	四一
延喜式	卷一至一〇 再版 覺政七	五〇	八三七	八九
延喜式	第一至三 正宗敦夫編 昭和二 複製 (日本古典全集第二回)	三	五五〇	一七八
同	第一至三、六、七 昭和二至四 複製 (日本古典全集第二回)	五	五五〇	一七八イ
同	(新註皇學叢書第三卷ノ內 昭和二)	五五五		四五
延喜式(校訂)	上、下卷 索引 皇典講究所、全國神職會訂 昭和四至七	三	五九一	一五五
同		三	五九一	一五五イ
延喜式神明帳頭註	卜部兼倶 (新校群書類從第一卷 神祇部ノ內 昭和七)	五八四		五
延喜式祝詞解	賀茂眞淵 (增訂賀茂眞淵全集卷五ノ內 昭和三)	四四		三一イ
延喜式祝詞評釋	岡泰雄 昭和二	一	五五九	四三
延喜式名神大社稻田神社考究史	柳橋好雄 昭和九	一	六六三	三三
艷俠	谷利宇助商店編 昭和七	一〇	四二六	一五
燕京大學燕京學報	第九期 同編輯委員會編 民國二〇	一	一四五	二八五
燕京大學圖書館使用法	同館編 民國二五 二五頁	一	二七八	二八六
燕京大學圖書館目錄初稿	類書之部並引得 鄧嗣禹編 民國二四	一	六五八	二〇五
同		一	六五八	二〇五イ
假仰錄	石坂養平 昭和七 (常盤叢書第三篇)	一	六二九	一五
圓曲線に於けるカントの遞減に就て	後藤宇太郎 昭和九	一	六七一	七
遠距離受信エリミネーター受信機設計と組立	奥中恒一 昭和四	一	五八八	二〇五
煙花新議	淺野長祚 (未刊珍本集成第二輯ノ內 昭和八)	六五一		四
園藝要覽	農林省農務局編 昭和二	一	四四二	二一六
園藝害蟲驅除豫防法(圖解)	高橋契 昭和四	一	三三	四五七
園藝果樹生態論	池田伴親 昭和四	一	三八三	一六三
園藝果樹論	果樹生態篇 池田伴親 昭和六	一	四五	四一〇イ
園藝作物病害防除法	原攝祐 昭和三	一	六〇六	二七三
園藝作業の實際	三木末武 昭和一〇 六二二頁	一	六八〇	五〇
園藝試驗場報告	同場發行 昭和元至九	一三	一四二イ	五四七
第七號	本邦各地產の梨「長十郎」果實の比較調査成績 (石原三一)			
第八號	梨柿及溫州蜜柑のヴイタミンC含量 (岩崎康雄)			
第九號	硼砂液に依る柑橘の防腐試驗成績 (高橋郁郎)			
第一〇號	果實の生育に伴ふ化學的成分の變化に就て (松岡仲助)			
第一一號	あぶらな屬作物の花粉管生長に就て(歐文) (笹岡恒太郎)			
第一二號	插木及接木豫措に關する試驗 (石井哲士)			
第一三號	溫州蜜柑肥料三要素試驗成績 (同場編)			
第一四號	柿の砧木に關する試驗 (同)			
第一五號	桃の剪定試驗成績(第一報) (大崎守)			
第一六號	幼齡の梨樹に對する剪定及移植時期に關する試驗成績 (同)			
第一七號	桃の有望新品種 (谷川利善)			
第一八號	マツシュルーム種苗培養法及之に關する實驗成績 (木島常司)			
園藝主任技術官協議會要錄	農林省農務局編 昭和三	一	五七六	五九
園藝植物圖譜(原色)	第一、六卷 石井勇義著 牧野富太郎校 昭和八、九	二	六〇六	三三二
園藝植物繁殖法	(接木・插木) 柴田良太郎 昭和五	一	六〇六	三〇
園藝植物繁殖法	田中諭一郎 昭和一〇 上卷 總論及果樹	一	六七五	一六五
園藝叢書	銀座書房發行 昭和六	二	六一三	五一
園藝叢書	博文館發行 訂一六版 昭和三、九	二	三三〇	三六イ
園藝總論	基礎學一般 石井勇義編 (綜合園藝大系第一篇) 再版 昭和八	一	六一五	四三
園藝通	鳥丸光大 昭和五 (通叢書第四二卷)	一	六〇三	一
園藝讀本	青木信一等 昭和八	一	六四三	一七

圓中三圓廉術　白石長忠　昭和九　一冊　一〇
圓周率の研究　森谷公博　昭和五　一冊　一〇
圓往復交圓術　上下卷　田邑市　昭和七　一冊　一〇
叢書代數學　同補　同市西明院際住發　永濱宇市　昭和七　一冊　一〇
綠城寺年代記　丹後史料叢書第三輯ノ內　昭和二（一）　一冊　一〇
鴛城清時　申集　芳川遜編　昭和七　一冊　一〇
烟樹（集一）　八高短歌會編　昭和七　一冊　一〇
延壽聖訓　一名弘經命十句觀音經講話」　梶川乾堂　昭和四　一冊　一〇
演出者の手記　小山內薰　昭和三　一冊　一〇
遠心股水機　濱清　昭和八　一冊　一〇
スヘンヘーシ　大神正儀　昭和七　一冊　一〇
圓錐詩集（詩一）　北園克衛　昭和八　一冊　一〇
悪世家の誕生日　佐藤春夫　昭和三（一）　一冊　一〇
遠藤先生華甲壽記念論文集　遠藤隆吉博士還曆記念會編　昭和九　一冊　一〇
同　昭和四（英語之部）　一冊　一〇
延德御八代譯記　小川壽一校　昭和三（譯書類從第四八篇）　一冊　一〇
同　（新校群書類從第一八卷釋家部ノ內　昭和七）　一冊　一〇
圓・弧・磅・法の話　（各國通貨の基礎知識）　本村龜八郎　昭和九　一冊　一〇
圓內外三圓圖等　澤村寫本　昭和四　一冊　一〇
演說の中止・解散・檢束　附　大審院判決例及參考條文　沼田稻次郎著　昭和六　一冊　一〇
演說讀本　西村文則　昭和二　一冊　一〇
歷世人マヘンダイ研究　曉虎男　昭和六　一冊　一〇
演說鞭撻現代雄辯大鑑　木村三曉編　昭和三　一冊　一〇
延德御八代譯記　（新校群書類從第一八卷釋家部ノ內　昭和七）　一冊　一〇
同　（新校群書類從第一八卷釋家部ノ內　昭和七）　一冊　一〇
圓・弧・磅・法の話　（各國通貨の基礎知識）　本村龜八郎　昭和九　一冊　一〇
圓內外三圓圖等　澤村寫本　昭和四　一冊　一〇
從行者　山田文藏編　昭和四　一冊　一〇
沿線誌集成攷　第一輯　宇和武沿線編　昭和二　一冊　一〇
遠方からの手紙　附　新らたに發見された「ヒンターエレ」の論文　（新校群書類從第九卷和歌部ノ內）　昭和五　一冊　一〇
圓柱螺轉換表　畑文平，澁見實一　昭和一〇　九六頁　一冊　一〇

演劇講義　（齋藤勇）　伊原青々園　昭和九　一冊　一〇
演劇と音樂　（新校群書類從第五卷別二ノ內　昭和七）　一冊　一〇
演劇と犯罪　（近代犯罪科學全集第一五篇）　江兆佐太郎　昭和八　一冊　一〇
園藝農產物販賣の合理化　總論・防除法・石井勇義・元蔵　昭和九　一冊　一〇
園藝病蟲害　三宅周太郎　昭和三　一冊　一〇
演劇評話　岸田劉生　昭和五　一冊　一〇
ヤンケルスとシラー　（昭和七）　一冊　一〇
マヘンダイ著　丹野有一譯　昭和七　一冊　一〇
沿黑龍地方の農業　鈴木尚三譯　昭和二（露亞經濟調查叢書第一八編）　一冊　一〇
園藝用溫室分解圖　太田良夫郎　昭和二　一冊　一〇
演藝風聞錄　水谷乙次郎（幻花）　昭和五　一冊　一〇
延慶兩卿訴陳狀　（群書類從第一六輯和歌部ノ內　昭和九）　一冊　一〇
同　（新校群書類從第一三卷和歌部ノ內　昭和四）　一冊　一〇
遠藤氏著書　三醫嘉平發行　昭和一〇　複製　一冊　一〇
演劇研究叢書　博文會發行　昭和四　一冊　一〇
第二編　公共ノ劇場、其ノ他ノ方法（ゲーレー著　廣瀨大一郎譯）　一冊　一〇
演劇史研究　第一至三號　東京帝大演劇史學會編　三冊　一〇
演劇巡禮　三宅周太郎　昭和一〇　五九〇頁　一冊　一〇
演劇戰線　大平野虹　昭和六　一冊　一〇

演劇と犯罪　（近代犯罪科學全集第一五篇）　江兆佐太郎　昭和八　一冊　一〇
園藝農產物販賣の合理化　總論・防除法・石井勇義・元蔵　昭和九　一冊　一〇
園藝病蟲害　三宅周太郎　昭和三　一冊　一〇
演劇評話　岸田劉生　昭和五　一冊　一〇
ヤンケルスとシラー　（昭和七）　一冊　一〇
マヘンダイ著　丹野有一譯　昭和七　一冊　一〇
沿黑龍地方の農業　鈴木尚三譯　昭和二（露亞經濟調查叢書第一八編）　一冊　一〇
園藝用溫室分解圖　太田良夫郎　昭和二　一冊　一〇
演藝風聞錄　水谷乙次郎（幻花）　昭和五　一冊　一〇
延慶兩卿訴陳狀　（群書類從第一六輯和歌部ノ內　昭和九）　一冊　一〇
同　（新校群書類從第一三卷和歌部ノ內　昭和四）　一冊　一〇
遠藤氏著書　三醫嘉平發行　昭和一〇　複製　一冊　一〇
演劇研究叢書　博文會發行　昭和四　一冊　一〇
第二編　公共ノ劇場、其ノ他ノ方法（ゲーレー著　廣瀨大一郎譯）　一冊　一〇
演劇史研究　第一至三號　東京帝大演劇史學會編　三冊　一〇
演劇巡禮　三宅周太郎　昭和一〇　五九〇頁　一冊　一〇
演劇戰線　大平野虹　昭和六　一冊　一〇

延慶二年大井曾御覽記　藤原基遠（群書類從第七輯公事部ノ內　昭和四）　冊　函

		冊	函	號
鉛筆（クレオン、パステル、白墨）製造法	水野太郎作 昭和三	一	五八	七
鉛筆スケッチとデッサンの描き方	荻野建兒（光風）昭和四	一	五九七	八八
鉛筆淡彩スケッチの描き方	太田三郎 昭和二	一	五七一	七五
艶文蒐集	久野豐彦 昭和七	一	六三三	四一
煙幕	櫻井忠溫 昭和三	一	五三六	二九八
鹽務彙刊	第五八期（民國二四年一月）ヨリ 財政部鹽務署鹽務稽核總所	三		九六
緣結娘色の糸	松亭金水著 歌川貞重畫（人情刊行會叢書第二輯ノ內 大正一五）	五四五		二六
遠洋漁業奬勵成績	農林省水產局編 昭和二	一	三六八	二（イ）
遠洋漁業奬勵法及附屬法令	農林省水產局編 昭和八	一	六三一	二九八
圓理眞術弧矢弦叩底	上、下卷 忍澄 昭和九 謄寫版	二〇	二二五	三一七
圓理綴術	澤村寫本堂發行 昭和一〇 謄寫版 三五丁	特帖一〇	三〇三	九八
延曆帖	寫 三八圖	別二	九	七

オ

小朝熊社神鏡沙汰文	（群書類從第一輯神祇部ノ內 昭和四）	五八三	一四	
同	（新校群書類從第一卷神祇部ノ內 昭和七）	五八四	五	
おいしい漬物のつけかた	川崎甫 昭和六	一	六〇六	三五九
應急手當法	萩原良一郎、柿坂茂 昭和八	一	六〇	一二五三
應擧畫譜	圓山應擧畫 田中治兵衞編 明治二四	一帖	八四〇	六四
鷗外遺珠と思ひ出	森於菟、森潤三郎編 昭和八	一	六五六	一八
同	昭和九 普及版	一	六五六	一八（イ）
鷗外拾遺	森鷗外著 入澤達吉編 昭和八	一	五一〇	一
鷗外全集	森鷗外 昭和二	二	五二〇	一
第五卷	うたかたの記			
舞姫				
文づかひ				
そめちがへ				
朝寢				
有樂門				
大發見				
魔睡				
キタ・セクスアリス				
鶏				
金貨				
金毘羅				
杯				
木精				
應永本寫影和泉式部日記	小川壽一校 昭和三（龍谷大學國文學會出版叢書第三編）	一〇	一七六	五九
鷗香譜	附 同目錄 青山二郎編 昭和六	特六枚一〇〇	二	一〇七 亥
應急處置最新救護醫典	久保田昭亮 昭和九	一	六〇	一二八六
獨身				
牛鍋				
電車の窗				
里芋の芽と不動の目				
追儺				
懇親會				
青年				
棧橋				
ル・パルナス・アンビユラン				
普請中				
花子				
あそび				
フアスチエス（對話）				
身上話				
沈默の塔				
食堂				
蛇				
カズイスチカ				
妄想				
藤鞆繪				
流行				
心中				
百物語				
灰燼				
第一八卷	大日本私立衞生會雜誌編輯掛に與ふ			
公衆衞生略說				
消毒雜說四則				
衞生談				
俘囚衞生論				
おいしい秘訣家庭料理	林たま子 昭和四	一	五七	二一二
美味しく經濟的な美味しく出來る支那料理の拵へ方	吉田誠一 昭和三	一	五八六	九四
老の思ひ出	一名 西宮曹嘶 上卷 吉井良秀 昭和三	一	五八六	二七八
老のくりこと	心敬（群書類從第一七輯連歌部ノ內 昭和三）	一	五五八	九四
同	（新校群書類從第一三卷連歌部ノ內 昭和四）	一	五八三	一四
老のすさみ	飯尾宗祇（群書類從第一七輯連歌部ノ內 昭和三）	五八四	五	
同	（新校群書類從第一三卷連歌部ノ內 昭和四）	五八三	一四	
おいしい秘訣家庭料理	主婦の常識 住田たま子 昭和二	五四八	五	
岩長屋	平山蘆江 昭和七	一	五八六	四〇三
家狂言集	奉陽堂編 昭和六（日本戲曲全集第二四卷）	一	五六六	四七
御家流書	寫	特軸別一	九	一九
オイル！	（石油）シンクレア著 ホール・ケート、高津正道譯 昭和五	一	五九七	二六〇
オイルパームの研究	南洋協會（南洋研究叢書第二二篇） 昭和五	一	五〇〇	三
歐亞點描	下田將美 昭和一〇 三三〇頁	一	六八八	二一
歐亞に使して	稻畑勝太郎 昭和四	一	五七八	二三八
應永記	一名大內義弘退治記（群書類從第二〇輯合戰部ノ內 昭和四）	五八三	一四	
同	（新校群書類從第一六卷合戰部ノ內 昭和三）	五八四	五	
應永二十二年御幸記	應永書寫 延慶本 平家物語 吉澤義則校註 昭和一〇	一	六一七	二六七
	（新校群書類從第二卷帝王部ノ內 昭和四）	五八四	五	

水の說
防寒略說
露國人の防寒法
賣笑の利害
公娼廢後の策奈何
公娼廢後策とフリイドリヒ・ザンデルと西班牙國首都賣婬制度
英國衞生制度略
教を授くるに衞生の道を履む事
近視の由りて來る所
女子の衞生
何女の衞生
靴が履か
非日本食論は將に其根據を失はんとす
讀讀非日本食論將失其根據論
讀食物論第一
木桃數顆
麵包料中の毒實を論じて其毒を滅する法に及ぶ
戰時及び時疫流行時の養衆法
彫玉飛屑
東京市中に販賣せる牛乳中の牛糞に就て
服乳の注意
日本家屋說自抄
屋制新議
屋式略說
壁濕說
造家衞生の要旨
病院
醫の意匠にて建てし新療院
將來の煖室爐
劇場の雛形
墓田の衞生上利害
墓田の利害
市區改正論略
市區改正は果して衞生上の問題に非ざるか
街衢の敷陳
街衢の灑掃
鐵道に關する衞生法
汽車中衞生補遺
傳染病分類圖
癆症傳染統計の異議
癆症の預防につきて
結核療法の急報
コツホ氏肺癆新療法の急報
肺結核治療法に付き辨駁
治癆續聞
コツホに繼で出でたる發明者
內科會にて結核素の評判
コツホの新療法につきて起りし假名文字の說
獨逸醫界近事
ランゲンブツホ等が結核素を用ゐて得たる效驗
古弗結核療法類纂
結核問題の現況
結核素に就きての續報
ツベルクリン驗績一覽
衞生都城の記
黃熱を防ぐ法の制定を求むる說
擬狗毒種接院を開くの記
狂犬略說
僂麻質斯の話

脚氣減少は果して麥を以て米に代へたるに因する乎
咄咄怪事
外情の事を錄す
ホフマン焚尸滅跡考
人身自焚の事を辨ず
溺死の新實驗
裁判醫の文は宜しく簡なるべし
法醫の自由
猶太敎徒の裁判醫學
希臘羅馬人の法醫學
ヴエストゴオテンの法醫學
ベッケル阻業の醫跡
醫業禁停の處分を論ず
醫學統計論の題言
統計に就て
統計に就ての分疏
統計三家論を讀む
「三たび統計に就て」を讀む
統計の譯語は其定義に負かず
日本醫育論
日本醫育論補遺
再び日本の醫育を論ず
醫試の前後期を合併せんとするの議を駁す
時事新報は醫者の何者たるを知らず
醫藥兩業の關係を論ず
日本醫學會論
同　第五、一八卷　昭和四至六　第一卷　藝術論篇　上　一一八　特二　五二〇　二　五九八　八

第二卷　藝術論篇　中
第三卷　藝術論篇　下
第四卷　創作戲曲篇　創作小說篇　上
第五卷　創作小說篇　中
第七、八卷　譯譯戲曲篇　二、三
第九、一〇卷　譯譯戲曲篇　四、五
第一一卷　譯譯小說篇　上
第一二卷　譯譯小說篇　中
第一五卷　史傳篇　二

鷗外森林太郎傳　森潤三郎　昭和九　一　六六九　三
埃國學派の價值學說　波多野鼎（價值學說史第二卷）　昭和四　一　五八〇　一二六
歐洲醫學遍路　西川義方　昭和七　一　六〇　一二二
歐洲印象記　野村傘太郎　昭和二　一　五五六　二四八
鷹洲織田完之翁小傳　織田雄次編　昭和四　一〇　一二一　二六〇
歐洲近世外交史　上、中、下卷　林毅陸　昭和八至一〇　三　六三　六七
歐洲近代文藝思潮概論　本間久雄　昭和二　一　五三一　一〇八
歐洲金ブロックの危機　（金ブロック問題座談會速記錄）　昭和一〇　大阪商工會議所編　六二頁　一　六七三　三四三
歐洲快遊記　鈴木定次　昭和八　一　六三九　一六九
歐洲繪畫展覽會目錄（松方氏蒐集一）　石井柏亭編　昭和九　特一　六五八　一〇八
同　青樹社畫堂編　昭和九　一　六五八　四八

		冊	函	號
歐洲觀光記	大阪毎日新聞社編 昭和三	一	五七八	一九
歐洲經濟學史	瀧本誠一 昭和六	一	五九一	二〇六
歐洲經濟史	瀧本誠一 昭和二	一	五七三	五八
同	近世の部 訂補四版 昭和五	一	五七三	五八イ
歐洲經濟史論	關未代策 昭和三	一	五八〇	一〇八
歐洲經濟通史	東晋太郎 昭和九	一	六七八	二五
歐洲經濟の見方	喜田收一郎 昭和二（通俗財政經濟大系第二四編）	一	五二七	六六
歐洲教育史	（上古よりペスタロッチーに至る）大瀬甚太郎 昭和八	一	二五五二	四一
歐洲現代政史の暗流	德富猪一郎（蘇峰）昭和八	一	六四四	二一
歐洲見物所どころ	谷井類助 昭和八	一	六三九	一二五
歐洲御巡遊隨行日記	篠田治策 昭和三	一	五七八	二三六
歐洲最近の動向	河合榮治郎 昭和九	一	六六〇	一七六
歐洲造園史	岡本茂武 昭和五	一	六〇八	三九
歐洲思想大觀	金子馬治 補訂 昭和五	一	五〇五	一
歐洲史蹟觀	時野谷常三郎 昭和五	一	五五六	五〇四
歐洲主要國鐵道旅客手小荷物運輸便覽	鐵道省運輸局譯 昭和二	一	五七二	一五八
歐洲巡遊と其印象	長澤安弘 昭和四	一	五五六	三一七
歐洲諸國ニ於ケル關稅制度	外務省調査部編 昭和一〇（日本國際協會叢書第一四八輯）	一	五二五	五二
歐洲諸國に於ける上訴制度	中野峯夫譯 大正一五（司法資料第九六號）	一	一四五	五五
歐洲新教育見聞	小林澄兄 昭和三	一	二五九	五八七
歐洲新憲法論	（ツドラム＝モーレイ著 山之内一郎譯）昭和七	一	六二四	一三八
歐洲新憲法論序說	マックベーン、ロッジアース共著 井出菊江譯 昭和四	一	五九九	八八
歐洲政局の不安	（ヴエルサイユ平和の破壞）熊田克郎譯編 三一九頁 昭和一〇	一	六八一	三三
歐洲政治史講義案	第一、二 岡義武 昭和一〇	二	六八四	一〇八
歐洲戰に於ける聯合軍需補給の實績	聯合國軍事補給會議編 高屋三郎譯 昭和二	一	三一九	四六四
歐洲戰後の社會運動	桑田熊藏 訂改版 昭和三	一	五一二	二〇五イ
歐洲大戰以後近代世界外交問題解說	芦田均 昭和七	一	六三一	一五三
同		一	六三一	一五三イ
歐洲大戰空軍秘史	リヒトホーフエン著 尾崎主稅譯 昭和三	一	五八六	一
歐洲大戰當時の獨逸	ベルツ花子 昭和八	一	二四九	二七六
歐洲大戰物語	ブランデン編 大竹鳳一郎譯 昭和六	一	五九六	三一四
歐洲中世經濟史	クリシエル著 渡邊鼎譯 昭和九	一	六四九	一四六
歐洲綴織及繪畫展覽會目錄	（松方氏蒐集ノ）綴織、繪畫之部 國民美術協會編 昭和四	二	五七九	二八三
歐洲都市の近代相	藏田周忠 昭和七	一	六一八	二九
歐洲に於ける鐵道と自動車の競爭及協力	鐵道省運輸局編 昭和七	一	三一八	五七九
歐洲に使して	若槻禮次郎 昭和六	一	五九九	二五二
歐洲の憶ひ出	本位田祥男 昭和八	一	六三九	九六
歐洲の危機	新明正道 昭和六	一	五九九	三三七
歐洲の新噴火口	（東歐、中歐、バルカン）今岡十一郎 昭和八（世界の今明日叢書第七卷）	一	六二九	四〇
歐洲の旅	丸橋清平 昭和三（題簽ニ「歐米觀光」トアリ）	一	五七八	二四五
歐洲の庭園	戸野琢磨 昭和三（造園叢書第六卷）	一	五六六	三八
歐洲の暴風地帶を行く	ポウエル著 竹林熊彦譯 昭和七	一	六二一	二五八
歐洲文學發達史	フリーチエ著 外村史郎譯 昭和六（マルクス主義藝術史叢書第一編）	一	六一三	二七
歐洲文化の印象と批判	稻毛詛風 昭和三	一	五七八	二三
歐洲文藝思潮史	名取堯 昭和五	一	六〇三	二〇八
歐洲文藝の歷史的展望	（ダンテからゴーリキイまで）高沖陽造 昭和九	一	六五五	一五六
歐洲文藝復興史	シモンヅ著 田部重治譯 昭和六	一	六一一	七四
歐洲文明と教育史蹟	福島政雄 昭和六	一	二五五二	三三イ三三
同		一	二五五	三三
歐洲土產	秋守常太郎 昭和四	一	三三三	四四三
歐洲土產見聞の儘	伊藤仁太郎 昭和四	一	五九〇	四三
歐洲民族文化史	イエリング著 井上忻治譯 昭和六（世界興亡史編第一三卷）	一	五一五	一三九
歐洲物語	沖野岩三郎 昭和八	一	六三九	一九五
歐洲陸上競技界行脚	日本學生陸上競技聯合編 昭和六	一	五九〇	四八〇
歐洲旅行案內	上村知清 昭和二	一	五五六	二二九
歐洲旅行案內	瀧本二郎 昭和五	一	五五六	四五八
歐洲旅行記	寶藏寺久雄 昭和一〇	一	六六一	一八二
歐洲聯盟の必然性	ハツチンソン著 森田敏譯 昭和五	一	五七二	二三九
鷗二句集	伊藤鷗二 昭和一〇（春泥叢書第二）	一	五六九	三四二
邑知潟埋立古圖	附 加賀藩埋立開墾の始祖吉野彥助の業歷 石川縣圖書館協會發行 四〇・〇〇×四九・六五 昭和九	一枚	六六六	九九
應仁記	（群書類從第二〇輯合戰部ノ內 昭和四）	一	五八三	一四
同	（新校群書類從第一六卷合戰部ノ內 昭和三）	一	五八四	五
應仁の亂前後	小林善八（營里）昭和三（日本國民史第八）	一	五二七	三四イ
應仁別記	（群書類從第二〇輯合戰部ノ內 昭和四）	一	五八三	一四
同	（新校群書類從第一六卷合戰部ノ內 昭和三）	一	五八四	五
應仁略記	（群書類從第二〇輯合戰部ノ內 昭和四）	一	五八三	一四
同	（上、下）（新校群書類從第一六卷合戰部ノ內 昭和三）	一	五八四	五
歐風料理の基礎及び調理法	東京家政學院割烹研究編 昭和六	一	六〇六	二九四
歐文年鑑目錄	昭和八年 東亞經濟調查局編 昭和八	一	六五三	一七三
歐米行脚	倉田龜之助 昭和九	一	六四〇	一八七
歐米遊記 自治と產業	外山福男 昭和六	一	五九五	二九四
歐米遊蹤	岩崎清七 昭和八	一	六四〇	三三
歐米映畫論	内田岐三雄 三二八頁 昭和一〇	一	六八七	一七六

		冊	函	號
歐米繪の旅	和田三造 昭和一〇	一	六三	六四
歐米を觀て	高石眞五郎 昭和四	一	五五六	三一三
歐米を巡りて	辻村良衛 昭和三	一	五七八	二五三
歐米學校教育發達史	阿部重孝 昭和五	一	二五五	三一
歐米各國少年職業紹介ニ關スル法規	中央職業紹介事務局編 昭和二	一	五二四	五八六
歐米各國に於ける青年及處女團の訓練指導と實況	高島敏 昭和二	一	二七九 五	六五
歐米各國に於ける電氣事業並に其の行政	遞信省電氣局(澁澤元治調)編 昭和三	一	八九	三一七
歐米各國に於ける林學教育	三浦伊八郎 昭和二	一	二七三 三	七
歐米駈足越中禪	岩田博藏 昭和四	一	五九四	九六
歐米歌舞伎紀行	市村羽左衛門 昭和四	一	五七八	二三三
歐米株式取引所關係法規・米國デイツキンスン委員會報告書	東京株式取引所調査課譯編 昭和九	一	六七八	二〇
歐米議會見聞記	附 歐米酒物語 昭和五 横尾惣三郎普及版	一	五四六	九三 イ
歐米外交祕史	榎本秋村 昭和四	一	五九九	一四五
歐米管見	市川圓常 昭和四	一	五五六	三七三
歐米管見	木津谷榮三郎 昭和七	一	六三九	八
同		一	六三九	八 イ
歐米管見	遠山正路 一八九頁 昭和一〇	一	六九六	四七
歐米經濟界の喜悲劇	本多精一 昭和三	一	五七五	二〇九
歐米教育史	(最近世之部) 大瀨甚太郎 昭和八	一	二五五 二	三八

		冊	函	號
歐米教育思想史	太古より現代まで 入澤宗壽 昭和四	一	五九三	二四
歐米教育視察及感想	藤井專隆 昭和三	一	二五九	六〇三
歐米教育の實際と新傾向	橋本文壽 昭和三	一	二五三	三七〇
歐米最近の圖畫手工	石野隆 昭和五	一	二六三 三	二六七
歐米財政經濟統計要覽	(三) 獨逸 大藏省理財局編 昭和二	一	一四四	七一三
歐米市場に於ける日本生絲の現況	熊坂彌造 三一頁 昭和一〇	一	六七二	三二六
歐米市場に於ける本邦絹織物調査報告	安本吉次郎、岩下龍太郎 昭和二	一	五七一	八〇
歐米社會思想とその批判	思想問題研究會編 昭和六	一	五六五	二九九
歐米社債法概論	栗栖赳夫、島田英一 昭和五	一	六〇〇	一三〇
歐米寫眞工業界の概況	菊地東陽 昭和二	一	五四九	一九一
歐米巡遊(隨見隨錄)	野田一郎 昭和七	一	五八七	二五四
歐米巡回日誌	野津道貫 明治一九	三	一五六	一一八
歐米諸國に於ける幼兒教育と新保育項目「觀察」に就て	堀七藏 昭和二	一	二五二 五	一四四
歐米諸國に於ける各種工藝事情	日本輸出工藝聯合會發行 昭和九	五	六五八	一一
第一	米國の部 (和田三造)			
第二	北歐の部 (同)			
第三	獨逸の部 (同)			
第四	中歐の部 (同)			
增刊	佛蘭西、瑞西、西班牙の部 (同)			

		冊	函	號
歐米諸國に於ける各種工藝品圖錄	日本輸出工藝聯合會編 昭和九	五	六五八	一一
第一	米國の部			
第二	北歐の部			
第三	獨逸の部			
第四	中歐の部			
增刊	佛蘭西、瑞西、西班牙の部			
歐米諸國に於ける支那留學生に關する調査	外務省文化事業部編 昭和八	一	二五六 二	五九
歐米諸國に於ける鐵道と自動車との競爭及之が對策	鐵道省運輸局編 昭和八	一	六四一	五八
歐米諸國に於ける鐵道と道路運輸の競爭及協力	鐵道省運輸局編 昭和九	一	六七二	三三
歐米人亞細亞侵略の歷史	佐藤正作 昭和八	一	六三四	一八六
歐米水產概觀と我國水產業の發展策	大島幸吉 昭和八 (水產學全集第一三卷)			
歐米數學教授參觀記	大上茂喬 昭和九	一	六一〇	一二九
歐米スパイ物語	附錄(タンネンベルヒの大會戰) 平路社編 昭和一〇 二一九頁	一	二六三 四	二三二
歐米政界の新潮流	水野錬太郎 昭和二 (政治ライブラリー第一)	一	六八二	一六五
歐米青少年運動の精神と實際	文部省編 昭和六	一	五六一	八〇
同	昭和七	一	二七九 五	八三
歐米政治行脚	山桝儀重 昭和四	一	二七九 五	八二 イ
		一	五九九	二五

		冊	函	號
歐米體育史	レナード、マツケンヂー共著 岡部平太等譯 昭和二	一	二七六	四三四
歐米體育の新傾向	佐々木等 昭和五	一	二七六	四七六
歐米大學生活	馬郡健次郎 昭和五	一	六〇七	二一四
歐米大家算術教授革新意見	水木楠譯 昭和三	一	二六三 四	一四三
歐米大家讀方教授革新意見	水木楠譯 昭和三	一	二六三 一	二六九
歐米大都市の交通問題	金谷重義 昭和五 (市政叢書第四輯)	一	五七九	七五
歐米大陸遊記	鶴見祐輔 昭和八	一	六三九	一〇六
歐米タバコ行脚	塚田秀男 昭和八	一	六三九	二一三
歐米旅日記	阿部宗孝 昭和九	一	六六一	七六
歐米旅日記	林ふさ子 昭和七	一	六三九	二一
歐米傳道記	河崎顯了 昭和四	一	五九五	四
歐米獨斷	清家吉次郎 昭和三	一	五七八	七〇
歐米都市に於ける塵芥處理事業	第一輯 大阪市保健部清掃課編 昭和八	一	六五三	九
歐米飛びある記	春田能爲 昭和二	一	五五六	二〇三
歐米に於ける學校衞生の實際	中楯幸吉 昭和三	一	二七六	四四五
歐米に於ける學校齒科施設	前編 向井喜男 昭和三	一	二七六	四五一
歐米に於ける建築事業瞥見	佐野三千三 昭和六	一	三七二	四八二
歐米に於ける最近流行の陶器	陶磁器試驗所編 昭和七	一	六三八	三三
歐米に於ける支那古鏡	梅原末治 昭和六	一	六一六	一四
歐米に於ける上下水道調查報告書	島崎孝彥 昭和六	一	三七八	三一四

		冊	函	號
歐米に於ける主觀概念の歷史及再構成	原田鋼 昭和九	一	六四九	三〇九
歐米に於ける職業指導	中央職業紹介事務局（西山哲治報）編 昭和四	一	五七九	二〇八
歐米に於ける放送事業調査報告	中山龍次 昭和六	一	五六三	五二一
歐米に於ける林學教育	三浦伊八郎編 昭和二	一	二九一	七七
歐米に於ける林産化學工業の大勢	三浦伊八郎 昭和三	一	五七二	二〇四
歐米都市問題大系	上卷 ムンロウ著 道家齊一郎譯注 昭和五	一	六〇〇	五六
歐米の印象	入澤宗壽 昭和五	一	五七八	三四二
歐米の印象ところどころ	岡田良太郎 昭和七	一	五八七	三〇五
歐米農村巡り	横尾惣三郎 昭和五	一	五九九	二二六
歐米の幼稚園及低學年教育の實際	堀七藏 昭和五	一	二五二 五	一七四
歐米の港灣貨物の荷役	渡邊四郎 昭和二	一	五六三	一六四 ロ
歐米の菓子と料理	若林ぐん子 昭和二	一	五七一	八六
歐米の習慣作法	瀧本二郎 昭和一〇 四〇二頁	一	六九二	四四
歐米の新教育	野瀨寬顯 昭和三 〔題簽等ニハ「歐米新教育の理論と實際」トアリ〕	一	二五三	三八〇
歐米の隅々	市河三喜、市河晴子 昭和八	一	六三九	二一七
歐米の旅	八木壽治 昭和二	一	五七八	八三
歐米の展望	高橋濱吉 昭和七	一	六二一	一四七
歐米の文化を訪ねて	小林佐源治 昭和七	一	五八七	三二三
歐米の港と腰辨の視た國々	附 寫眞帖 渡邊四郎 昭和三	二	五八一	一三

		冊	函	號
歐米博物館の施設	後藤守一 昭和六	一	二七八	一六三
歐米較近の養豚法	大洞恒雄 昭和四	一	五九七	二〇七
歐米半歲の旅路	（第二回世界動力會議記念） 安川第五郎 昭和六	一	三七三	五三〇
歐米美育大觀	國登貞治 昭和八	一	二九二	九二
歐米避妊法批判	瀧本二郎 昭和二	一	六〇	八六九
歐米保護教育制度の概觀	福山政一 昭和九	一	二九八	三四
歐米漫遊旅より我が家へ	錢高作太郎 昭和二	一	五七八	三七
歐米漫遊留學案内	米國の部、歐洲の部、瀧本二郎、ド・ブレスト 補三版 昭和三、四	二	五七八	三四
同	米國篇、歐洲篇、瀧本二郎 昭和九	二	五七八	三四 イ
歐米曼陀羅雜記	へゝのもへじ 石川光春 昭和三	一	五七八	二〇五
歐米漫筆	上山柑太郎（柑翁） 昭和二	一	五六六	二九六
歐米見たまゝ	西田博太郎 昭和八	一	六二九	一九八
歐米より祖國へ	三富秀夫 昭和九	一	六六一	三
歐米流行化粧品製造法	山添長四郎 昭和五	一	五九七	三六
歐米旅行雜感	矢野貫城 昭和八	一	六三九	一七
鷗盟集	根岸桂編 安政三	一〇	八三八	七五
應養畫譜	附 靜齋翁遺文 寺島靜齋著 森下八左衞門編 昭和一〇	二〇	三〇一	五九
歐陽詢書蘭亭記	藤原茂編 昭和九 複製	一帖	二六	一〇四
歐陽詢全集	同人書 昭和九 （名碑帖選第二） 複製	一〇	二六	一五六

		冊	函	號
應用優生學	ロスウエル・ジョンソン等著 原澄次譯 昭和四	一	五九七	一三六
應用X線工學概說	志村繁隆 昭和九	一	六五七	一〇〇
應用音響學	第一卷 オルソン著 根岸博譯 昭和一〇 （最近無線工學名著飜譯第四）	一	六五〇	二七〇
應用音響學	國語の發音 大西雅雄 昭和六	一	六〇三	三一九 イ
同		一	六〇三	三一九 イ
應用英文解釋法	深澤由次郎 訂六版 昭和五	一	三三三	二九三 イ
應用航空力學	小野正三 昭和九	一	六六二	一五〇
應用高等數學	金井彥三郎編 昭和二	一	三三三	四八四
應用家庭醫學	羽太鋭治編 昭和四	一	六〇	九四七
應用機械學	薗川武五 版 昭和一〇	一	三八一	二 イ
應用氣象調査報告	第一號 岐阜測候所編 昭和九	一	一四六 ニ	三三六
應用菌蕾學研究	（芽類の利用法） 松浦勇 昭和九	一	六五〇	一七九
同	（學生版）	一	六五〇	一七九 イ
應用鑛物學	岩崎重三 昭和四	一	五五三	八九
應用化學大觀	今川一、大塚好治 訂 昭和二	一	五二一	二三 イ
應用獸醫學雜誌	第八年一號（昭和一〇年一月）ヨリ 中央獸醫會發行	雜	二九	一
應用圖案の描き方	國府田範造 昭和九	一	六五七	一一五
應用社會學十講	建部遯吾 昭和二	一	五七五	六三
應用植物學各論	下卷 末松直次 昭和二	一	五四二	九四

		冊	函	號
同	下卷 訂再版 昭和七	一	五二一	七八 イ
同	中卷 訂 昭和四	一	五二一	七八 ロ
應用植物生理學大要	末松直次 昭和九	一	六六二	一二一
應用初等力學	福井儉三 昭和一〇 一七〇頁	一	六九五	二五
應用新植物圖鑑	村越三千男編 昭和五	一	五六九	二二九
應用心理學研究	淡路圓治郎 昭和二、四	二	五五八	六六
第一卷	材能研究			
第三卷	職業心理學			
應用心理研究	應用心理研究會編 昭和八至一〇	四	五	三六
第一卷				
第二卷	第一號			
第三卷	第一號			
第三卷	第二號			
應用水理學	前篇 村野爲次 昭和八	一	六四一	八五
應用數學	池田芳郎 昭和四	一	五八八	二〇〇
應用數學（佐野靜雄）	寺澤寬一、小平吉男編 昭和三	一	五七六	一〇四
應用數學双曲線函數篇	岩藤重正 昭和四	一	五五三	二七〇
應用數學の土臺	（幾何の基礎から△〇（ローマ字）椎尾詞 同證明の部 昭和一〇	二	六二七	二八四
應用戰術圖例集	宮內織太郎著 齊藤市平編 昭和一〇 五五枚	一	六八八	二
應用體操としてのピラミツド圖說	リチヤーヅ著 高木精作譯 昭和八	一	二七六	五七六
應用彈性學	野口尙一 昭和九	一	六五八	七一

オウヨ—オオム

		冊	函	號
應用彈性學	第一至四卷 ブレスコット著 山岡包郎譯 昭和八至一〇（最近土木工學名著飜譯第三）	四	六四八	六〇
應用定量分析法	鈴木金一 昭和六	一	五八一	二四七
應用テンソル解析	伊藤德之助 昭和九	一	六六七	三四
應用動物圖鑑	内田清之助等 昭和五	一	六〇六	三七
應用と實際 明日の手工藝	村井武生 昭和七	一	六二七	一五五
應用農業藥劑	七澤甚喜編 昭和五	一	五九〇	四一四
應用微菌學	宮路憲二著 昭和九	一	六六七	九九
應用物理學實驗	眞島正市等 昭和九	一	四六	三九二
應用本位建築材料集覽	松本甚三 昭和三	一	五七一	二一二
應用力學	小室鉾 昭和七	一	六一七	二〇三
應用力學	上卷 高橋逸夫 昭和一〇	一	五六七	一三九
應用力學	東京高等工學校編 昭和九	一	六六二	八八
應用力學演習	前編 問題の部、解答の部 濱田稔等 昭和一〇	二	六二七	二七三
應用力學ポケットブック	山口昇 昭和五	一	六〇六	一三二
應用力學問題集	前編 杉本禮三 昭和一〇 三一六頁	一	六九二	三三
應用力學用語集	日本工學會編 昭和八	一	六四八	三九
應用理科要說	田中芳雄、桑田勉 昭和一〇 六一九頁	一	六八九	三一
歐露から見た祖國	後藤靜香 昭和七	一	五八七	二九三
O. le. c. 血液微量定量法	吉松駿一 昭和六	一	四九	一〇〇

オー・エ・プ氏のトランク（獨和對譯）	グラノフスキー著 山科正美譯 昭和九（平原社トーキー・シリーズB第四卷）	一	六五一	二七
オーギュスト・コント	新明正道 昭和一〇（社會科學大系第一六卷 社會科學人と學說叢書第九の建設者）	一	六七七	一六
オークション・ブリッヂ競技法とその祕訣	東京橋戰會編 訂再版 昭和七	一	五六九	四〇六
オークション・ブリッヂ研究	小山壽夫編 昭和二	一	五六四	二一三
墺太利學派經濟學	荒木光太郎 昭和四（社會科學叢書第一七編）	一	五八三	一九
墺太利古典近代劇集	世界戲曲全集刊行會編 昭和三（世界戲曲全集第二〇卷獨墺篇一〇）	一	五六六	四
墺地利の事情に付て	松永直吉「最近支那の經濟狀態に就て」桑島主計著ト合綴） 昭和一〇 一九頁	一	六八四	一七八
墺太利牧野政策	（畜産叢書第五二號） 農林省畜産局譯編 昭和七	一	三七二	五六三
墺太利保險契約法	（一九一七年一二月二三日） 生命保險會社協會編 昭和八	一	六五三	六五
墺太利學	大塚博士還曆記念 美學及藝術史研究 大塚先生還曆記念會編 昭和六	一	六二二	八七
墺帝國々立ヴヰーン盲學校教授細目	附 同校職員表 外一 町田則文譯 昭和二	一	二九五	四三
オートバイ修繕の仕方	岡博高 昭和二	一	五七一	六六
オートバイの實際知識（最新圖解）	岡博高 昭和二	一	五七一	一四〇
オードブルの作り方	松村信太郎 昭和一〇 九二頁	一	六八二	一八
オートリスト	操縱編 佛性榮治編 昭和六	一	五八二	三五二
オーム社叢書	オーム社發行 再版 昭和四	一	五二〇	一七イ

第二卷	直流機の設計と其の實際（清家正）	一	六〇三	二九九
オーランド	ヴアージニア・ウルフ著 織田正信譯 昭和六	一	六二二	一七九
オール早慶戰	樫田榮二、樫田信三久 昭和七	一	六七五	二〇四
オール・スポーツ	春日俊吉 昭和一〇	一	六四三	二六六
お母さま童話寶玉集	リンゼイ著 上澤謙二譯 昭和八	一	二五三五	二〇七
お母樣のお話と子供の教養	蘆谷蘆村（重常） 昭和八	一	五五八	一四三
岡倉先生記念論文集	同會會計報告付 市河三喜編 昭和三	一	五五八	一四三イ
同		一	六七五	七五
岡倉天心	清見陸郎 昭和九	一	六七五	七五
岡倉天心全集	岡倉覺三（天心） 岡倉一雄編 昭和一〇	一	六九三	一五四

おかげまうでの日記	本居大平著 本居豐頴校 本居清造再校（增補本居宣長全集第一一本居大平全集ノ内 昭和二）	四一	九八イ	
岡崎市下水道略誌	岡崎市役所編 昭和一〇 一九頁	一〇	六六六	三二
岡崎市史	第二至八卷 柴田顯正編 昭和元至五	七	五五四	八〇
	別卷 德川家康と其周圍 上、中、下卷 昭和九、一〇	三	五五四	八〇
同	第一至三卷 昭和二	三	五五四	八〇イ

オオム—オカタ

岡崎市上水道小誌	岡崎市役所編 昭和一〇 六八頁	一	六八〇	一
岡崎市勢要覽	昭和八年 岡崎市役所編 昭和八	一	一四四	五二六
〔岡崎商工會議所〕統計年報	大正一五至昭和三、五至七、九、一〇年岡崎商工會議所編 昭和二至一〇	六	一四八	五
小笠原壹岐守（小說）	佐々木味津三 昭和七	一	六二〇	一四八
小笠原島國有林植物概況	東京營林局編 昭和四	一	五五八	一九二
小笠原島水產經營事業成績報告	昭和六年度 東京府小笠原支廳編 昭和八	一	一四四二イ	七四七
小笠原島總覽	東京府編 昭和四	一	五九四	一五六
小笠原藩私記 村松文書	（松浦叢書第一卷ノ内 昭和九）	六	五四	三九
同		六	五四	三九イ
小笠原土產	秋守常太郎 昭和七（旅行叢書第五）	一	六〇二	三
小笠原流儀式用贈答用 折紙の折方と水引の掛け方	清水智惠子 昭和三	一	五七一	二〇九
御飾記	松雪齋（群書類從第一九輯遊戲部ノ内 昭和八）	五	八三	一四
同	（新校群書類從第一五卷遊戲部ノ内 昭和四）	五	八四	五
岡式電氣工學	第一編 岡義明 昭和四	一	三八三	一五五
緒方系譜考	緒方富雄 大正一五	一	五二四	五三四
緒方洪庵と足守	緒方銈次郎 昭和二	一	五二四	五三五

緒方村誌	波多野政男編	昭和九	一	函 六六九	號 一五
岡辰押切り帳（金儲け—實際談—）	谷孫六	昭和四	一	五八六	一七
岡辰絶好のチャンス	谷孫六	昭和一〇	三六九頁	一	六九二	八六
岡辰分限帳	谷孫六（孫六貨殖叢書第二）	昭和八	一	六二九	二九
岡田内閣	岡田内閣刊行會編	昭和一〇	三五六頁	一	六七四	三一
岡田内閣と一九三五年	小島精一	昭和九		一	六六〇	一五四
岡田吉顯之傳	岡田純次郎編	昭和一〇		一	六六九	一三九
尾形流百圖	中野其明編	明治二二		二〇	八四一	五三
尾形流略印譜	中野其明編	明治二五		一〇	四八〇	五八
同				一〇	八四〇	五八イ
岡田良平先生小傳	松浦鎭次郎等編	昭和一〇 二六五頁		一	六六九	一五〇
同				一	六六九	一五〇イ
丘に想ふ	西條八十	昭和二		一	五六九	五三
小川博士還暦記念史學地理學論叢	石橋五郎編	昭和五		一	五六七	六三
小川博士還暦記念地學論叢	中村新太郎編	昭和五		一	五六七	六四
拜壽仁王參（オガミンス）	芝全交（近代日本文學大系第一二卷ノ内）	昭和二		五六〇	九
岡本綺堂集（新選）	同人	昭和三		一	五八九	二八
岡本綺堂全集	第一卷 同人	昭和七		一	三一八	三九七
同				一	三一八	三九七イ

岡本家歷代記	伊藤信編	昭和一〇	三一丁	一〇	函 三〇三	號 四
岡山	地質調査所製	再版 昭和二	三六・四五×六〇・六五	一枚	一三	五六三
岡山	縱行一七橫行二八圖幅第二二〇號	地質調査所（赤木健調）編	昭和二	一	一三	五三六
岡山醫科大學一覽	大正一五至昭和五、八至一〇年同學編			七	二八七	九
岡山醫科大學紀要	第一三卷 同學編	昭和四		一	雜 二八	四〇
岡山貝類方言圖譜	桂又三郎	昭和七	謄寫版	一〇	二三三	三五七
岡山縣小田郡中川村誌	高槻次郎編	昭和七		一	六一八	二二
岡山縣下ニ產スル特殊動物竝ニ該動物ニ關スル研究論文目錄	岡山縣編	昭和六		一	四二四	七一
岡山縣金石史	永山卯三郎編	昭和五		一	五六七	八五
〔岡山縣倉敷商業學校生徒圖書部〕圖書目錄	同校圖書部編	訂 昭和三		一	五六九	一二六
岡山縣教育功勞者名鑑（教育勅語御下賜四十周年記念—）	岡山縣教育會編	昭和六		一〇	四二六	三
岡山縣公立小學校特定研究學校施設概觀	岡山縣教育會編	昭和八		一	二七二	一〇三
岡山縣穀物檢查成績報告	昭和元年度	同檢查所編 昭和二		一	一四三イ	三五二
同	昭和元、四、六、七年度、同檢查所編	昭和六至九		四	一四二イ	二五二
岡山縣穀物檢查二十五周年記念誌	同檢查所編	昭和三		一	一四三イ	三五二

岡山縣蠶業試驗場一覽	同場編	昭和二		一	一四三	五八イ
岡山縣蠶業試驗場事蹟報告	第四至六號（大正一五至昭和三年度）	同場編 昭和二至四		三	一四三イ	五八八
同	第七至九號（昭和四至六年度）	昭和五至七		三	一四三イ	六四九
岡山縣蠶業試驗場報告	第一號	同場編 昭和四		一	一四三イ	六四九
岡山縣史蹟名勝天然記念物調查報告	第七 同調查會編	昭和三		一	一四五	四六
岡山縣社會事業要覽	昭和五年版	同縣學務部編 昭和五		一	六〇四	三八九
岡山縣社寺兵事概要	岡山縣學務部社寺兵事課編	昭和五、九		二	一四四	一〇〇〇
岡山縣戰病死者名鑑	岡山縣出身日支事變	岡山縣教育會編 昭和九		一〇	四二六	五七
岡山縣水害史	上、下 井上通泰等編	昭和三		二	五七九	五五
岡山縣水產試驗場業務報告	大正一四至昭和七年度	同場編 昭和二至九		八	一四二イ	一〇四
岡山縣先哲遺墨集	笹田保、桂又三郎	昭和八		一〇	二四九	二八〇
岡山縣〔地圖〕	和樂路屋製	昭和一〇 七四・二〇× 四九・四五		一枚	六六六	二四一
〔岡山縣〕統計速報	第九五號	岡山縣知事官房統計課編 昭和八		一	一四二ロ	二八三
岡山縣統計年報	大正一四、昭和二、四年度、岡山縣總務部統計課編	昭和二至六		三	一四四	二〇イ
岡山縣年鑑	昭和一一 中國民報社編	昭和一〇		一	一四四	一〇七三
岡山縣農業要覽	岡山縣農會編	昭和一〇	一六七七頁	一	六七九	一

岡山縣美術名鑑	巖津政右衞門編	昭和五		一	一五六二	一一六
岡山縣御津郡福濱村誌	佐藤馬之亟編	昭和二		一	五七七	二七
岡山縣民謠集	桂又三郎編	昭和六 謄寫版		一	六〇四	四五四
岡山縣立圖書分類目錄	第二一回（昭和八年）	同館編 昭和九		一	六四七	八七
〔岡山縣立農事試驗場〕臨時報告	同場編	昭和四、七		二	一四三イ	三六七
第三三報 柿圓星性落葉病に關する研究						
第三六報 柿落葉病に關する研究補遺（一）						
岡山今昔記	岡長平	昭和一〇		一	六六一	二〇三
岡山市財政史	尾形惣三郎編	昭和三		一	五八〇	一一七
岡山市統計年報	大正一五至昭和七年	同市役所編		一	五六七	三三
岡山市統計年報	大正一四、昭和三、五、六年度、	同局編 昭和二至七		七	一四四	四三〇
〔岡山地方專賣局〕事業統計書						
岡山動植物方言圖譜	中國民俗學會發行	昭和七		四	一四四	五六五
卷之三 草類之部（桂又三郎）				三〇	二三三	六一四
卷之五 甲殼類之部（同）						
卷之六 菌類之部（同）						
岡山圖書館要覽（市立）	同館編	昭和五、六		二	二七八	八三
岡山方言	島村知章	昭和一〇（方言叢書第五篇） 謄寫版		一	六五三	八一
岡山藩校書籍目錄	附 閑谷學校藏書	岡山縣立圖書館編 昭和三 謄寫版		一〇	一八三	五七六

		冊	函	號
岡山風水害史	小林健二　昭和六	一	六一四	一四五
岡山民俗叢書	文獻書房發行　昭和七至九	六	六三一	一三
第一篇	岡山縣名木珍石傳說集（桂又三郎）			
第二篇	備中北部方言集（同）			
第四篇	岡山縣地名傳說集（同）			
第六篇	岡山縣祭禮と盆踊（同）			
第八篇	備中神樂の研究（山木機翠）			
第九篇	岡山縣邑久郡方言（時實默水）			
小城〔縱行二四橫行三三第二七九號地質圖〕	小城郡三日月村佐賀郡西川副村　同說明書共　地質調査所製　昭和九、一〇　三九・二〇×六四・一〇	一枚	一三	六三八
お灸の常識	中川清三　昭和九	一	六〇	一三三
與風集	藤原與風（新校群書類從第一二卷和歌部ノ內　昭和五）		五八四	五
沖牙太郎	久住清次郎編　昭和七	一	六一八	七五
お菊さん	（マダム・クリザンテエム）ロチ著　野上豐一郎譯　昭和四（岩波文庫五〇五—五〇六）	一	五六九	一四
小城郡誌	小城郡教育會編　昭和九	一	六四〇	二四九
人體寄生蟲驅除成績	佐賀縣衛生課編　昭和四	一	五七九	三三五
置碁普通定石	池田勇造　昭和三	一〇	一八八	五九七
置碁二三子必勝法	村島謹記　昭和九	一〇	三〇一	八
沖繩案內（新版）	島袋源一郎　昭和七	一	五八七	三五八
沖繩氣象年表	大正一四、一五年　中央氣象臺附屬沖繩測候所編　昭和二	二	一四、六	一六二
沖繩鄉土資料目錄	久場政用編　昭和九　謄寫版	一	六五三	三一五

		冊	函	號
沖繩縣警察の概要	昭和一〇年版　沖繩縣警察部警察課編　昭和一〇　七二頁	一	一四、六	六三
沖繩縣人事與信錄	大典記念沖繩縣人事與信錄編纂所編　昭和四	一	五八八	一九〇
沖繩縣水產試驗場事業報告	大正一五至昭和三年度　同場編　昭和四	一	一四、二	六五〇
沖繩縣勢要覽	昭和四、六年版　沖繩縣總務部統計課編　昭和六、八	二	三七三	五四四
沖繩縣政五十年	太田朝敷　昭和七	一	五九九	四二三
沖繩縣統計書	大正一四至昭和六年　同縣編　昭和二至九	二七	一四、四	一七
沖繩縣物產檢查所年報	第一四回　同所編　昭和二	一	一四、二	五一〇
沖繩縣物產檢查成績年報	第一七至二〇回（昭和四至七年）沖繩縣物產檢查所編　昭和四至八（沖繩縣物產檢查所年報ノ改題）	四	一四、二	五一〇
〔沖繩縣立蠶業試驗場〕業務功程報告	第一二回　同場編　昭和六、八	二	一四、二	二四三
〔沖繩縣立農事試驗場〕業務功程報告	昭和三、五、六年度　同場編　昭和五至八	三	一四、二	五一五
沖繩產昆蟲總目錄	坂口總一郎　昭和二	一	三三七	四八七
沖繩振興計畫とは如何なるもの？	小田俊與編　昭和八	一	六三一	三六五
沖繩糖業論	藤井國武　昭和一〇　一〇六頁	一	六八三	二七
沖繩童謠集	附那覇固有の遊戲　島袋全發　昭和九	一	六六五	二六
沖繩の歡樂鄉 辻の今昔	來和雀　昭和九	一	六六〇	一九七

		冊	函	號
沖繩の產業	伊仲晧　昭和九	一	六七五	二六
沖繩土產	秋守常太郎　昭和五（旅行叢書第四）	一	六〇三	三
沖繩よ起ち上れ	親泊康永　昭和八	一	六四四	六七
翁丸物語（風聲夜話一）	十返舍一九（近代日本文學大系第一三卷ノ內　昭和八）		六二九	二八
隱岐國志料 第一寫	〔松江藩士勝部彥三郎記錄〕	軸	二一五	三四五
隱岐島誌	同編纂係編　昭和八	一	六四〇	四
隱岐島史梗概	萩原彥太郎　昭和六	一	三七三	五〇一
隱岐島前漁村採訪記	（隱岐調查報告第一）櫻田勝德、山口和雄　昭和一〇（アチックミューゼアムノート第三）	一	六八四	一三四
隱岐島前に於ける糸滿漁夫の聞書	（隱岐調查報告第二）櫻田勝德　昭和一〇（アチックミューゼアムノート第四）	一	六八四	一三四
隱岐の聖蹟	島根縣史蹟名勝天然紀念物調查會編　昭和一〇　三七頁	一	六六六	三三三
沖の太陽	三宅やす子　昭和三	一	五八二	三四
荻原博士還曆記念祝賀論文集	第一（大正大學々報第六、七輯）　邦文部　大正大學編　大正大學々報第六、七輯　昭和九	一	一四五	二五七
荻生徂徠	野村兼太郎（社會科學の建設者）　昭和九	一	六七七	一六
隱岐本新古今和歌集	武田祐吉編　昭和二	一	五六八	二〇三
屋外條桑育蠶法（氣象應用）	野中幸兵衛、田口惣一郎　昭和四	一	五五二	二五三
奧元帥傳	黑田甲子郎　昭和八	一	六三九	二一四イ
同		一	六三九	二一四イ

		冊	函	號
小草をさゝぐ	（感想集）吉田絃二郎　昭和一〇	一	三五七	三三一
奧さんは嘘つき（小說集）	モルナアル著　鈴木善太郎譯　昭和六	一	五九六	三〇四
小串縱行二三橫行三〇地質說明書	地質調查所編　再版　昭和五	一	一三	五四七イ
奧士別親子地藏の由來	山崎有信編　昭和七	一	六三三	九六
屋上庭園（戲曲集一）	岸田國士　昭和二	一	五六八	九〇
屋上の土	古泉千樫　昭和三	一	五八三	九
屋上の土（歌集一）	古泉千樫　昭和八（改造文庫第二部第八七篇）	一	五六九	一四二
屋上の旗	米田雄郎編　昭和九（詩歌新人叢書第一〇編）	一	六六六	一〇六
屋上の花（歌集一）	山口啃耕　昭和三（未完成叢書第一編）	一	五八三	五〇
奧平侯家墳墓考	黑屋直房　昭和九	一	六三一	三九三
奧田穎川	大正生　昭和四（彩壺會講演錄ノ內）	一	六六一	一一六
奧田裁縫書	奧田艷子　訂　昭和八	一	六五〇	一六
奧多摩	それを繞る山と溪と　田島勝太郎　昭和一〇	一	六七九	一五
奧多摩天然公園計畫概要	奧多摩保勝會（森脇龍雄調）編　昭和五	一	六〇四	六三
奧丹後震災救護誌	日本赤十字社京都支部編　昭和三	一	五七六	五三
奧丹後震災誌	京都府編　昭和三	一	五七六	五四
奧丹後半島復舊三等三角測量記事	陸地測量部編　昭和四	一	六〇五	六六
奧秩父	原全教　昭和八	一	六三九	二一五

同	續篇 昭和一〇		一	六三九	一三五
同	再版 昭和八		一	六三九	一三五イ
奥秩父と其附近	時間記錄と費用概算 高畑棟材、河田植 昭和六		一	五九五	三七七
オクトパス	上巻 ノリス著 犬田卯譯 昭和八		一	六三三	二一七
屋内電熱工事仕様書	京都電燈株式會社編 昭和三		一	五六九	一〇三
屋内配線工事	影山錄次郎 昭和一〇 四五三頁		一	六四〇	三三三
屋内配線工師必携	附 初等電氣學及電燈照明大意 陣内勝市 昭和七		一	五九七	四二六
阿國御前化粧鏡	鶏屋南北（大南北全集第一五巻ノ内 昭和二）		一	五三九	八
同			一	五三九	八イ
おくの細道	松尾芭蕉（近代日本文學大系第一七巻ノ内 昭和八）		一	六三九	二八
同	松尾芭蕉著（岩波文庫一〇〇ノ内 昭和二）		一	五六九	一四
同	松尾芭蕉著（改造文庫第二部第一七篇 昭和四）		一	五六九	一四三
おくのほそ道	（去來本）同解説 昭和八 松尾芭蕉著 勝峯晋風編 複製	二〇	一	四〇	一八三
奥の細道	（燕村筆）上、下巻 昭和七 同解説付 國華社發行 複製	二輪一冊	亥	二一〇	
奥の細道を尋ねて	荻原井泉水 昭和五		一	三五七	二八〇
奥の細道畫冊	小杉未醒 昭和七	特	一	四三五	六一
奥の細道詳講	吉田九郎 昭和五		一	五八五	一四四
「奥の細道」通説	荻原井泉水（昭和八 春秋文庫第二部第九）		一	六三九	四八
奥の細道評釋	樋口功 再版 昭和五		一	五九六	二四五
奥原潔産業組合評論集	奥原潔 昭和一〇 三四一頁		一	六九三	一四一
奥原晴湖	附錄 晴湖印譜 稻村量平編 昭和四		一	二〇五	三〇五
奥原晴湖畫集	奥原晴湖著 藤懸靜也編 昭和八	特	一〇	四三三	一七三
小熊秀雄詩集	同人 昭和一〇 三〇五頁		一	六七九	五三
おくみ惣次郎	寫		二〇	八三九	一五一
奥村五百子	小野賢一郎 昭和五		一	六〇三	一七三
同	訂 昭和九		一	六〇三	一七三イ
奥山	第一至五、七、九至一六、一八至二〇 奥山會編 昭和五至七		四〇	一五七	一〇七
奥山	第一至二〇 奥山會編 昭和五至七		四〇	一五七	一〇七イ
巨椋池の植物生態	（京都府史蹟勝地調査報告第八冊別冊） 三木茂 昭和二		一	五四〇	一四一
小倉詩人協會叢書	啓明會出版部發行 昭和三		一	五八九	四五
	詩集 石にひびく（阿南竹千代（哲朗））				
小栗上野の死	十菱愛彦 昭和四		一	五八九	一〇三
姿假名法	國語調査委員會編 二一版 昭和一〇 五一頁		一	六八四	五四
小栗十二段	三升屋兵庫（市川團十郎）（近代日本文學大系第二巻ノ内 昭和八）		五六〇		九
同	昭和八		六三九		二八

御曲輪内外出火年月見出	寫（題簽ニハ「火事見出」トアリ）（御持弓頭内藤若狹（萬延頃）留書アリ）		一〇	一四〇	二九一
遲れ咲く薔薇	シトルム著 石川錬次譯註 昭和三（郁文堂獨和對譯小品集第一一編）		一	五五〇	一六四
おしの物語	安藤照 昭和二		一	五五六	二四三
小郡町史	能美宗一編 昭和八		一	六四〇	五〇
おことと佐助	（音畫脚本集一） 島津保次郎 昭和一〇		二	九六頁	
怒るな働け	嘉悦孝子 昭和三		一	六八一	七四
尾崎士郎・岡田三郎集	尾崎士郎、岡田三郎 昭和四（新進傑作小説全集第一〇巻）		一	三五〇	五〇八
尾崎忠征日記	第一、二 大塚武松編 昭和七		一	五六九	一五七
おさけの商標と登錄の受け方	山口孫三郎 昭和一〇		二	六四	二六三
小山内薫戯曲全集	第一巻 同人著 大正一五		一	六八三	一七七
小山内薫全集	（新選一） 同人著 昭和三		一	五一七	四四八
小山内薫全集	同人 昭和四至七		一	五八二	一五七
	第一巻 1 十三年、父の否定、騎兵士官、熊次の家族、デブラルタルの貝、青泊君、病友、留任運動、追悼文、2 色の褪せた女、空腹、巣鴨の鯉屋、沈默、風船寳、乞食、不思議、歸り道、近所、醉人、馭者、事業、蝙蝠傘、失明、軍醫の家、孫の巡禮、東京へ、3 掏摸、侮蔑、戰慄、消滅、秘密、眞空、新禱、十分間演説、蚊、不男、夢、姉妹、手、粘土、後悔、捕縛 4 掘田の話、逸話、平氣、旅役者、先の亭主、夢中、梅龍の話、羽織、草市の晩、手紙風呂、總てを失ふ話 5 夜島、帽子の日記				
	第二巻 大川端、第一課、背教者				
	第三巻 非戰闘員、俊寛、新綠、第一の世界、ベテスダの池、捨兒、三人と三人、許嫁、西山物語、亭主、奈落、吉利支丹信長、盛遠、賊、森有禮、ある敵討、シネマトグラフ 金玉均、吉田御殿、支那の戈登、珍客、圓タクの悲哀、日田縣事件、公園裏、綠の朝、塵境、息子、伊左衛門、與三郎、傾城淺間獄、國性爺合戰、博多小女郎浪枕				
	第四巻 決闘、夜の宿、群盲、牧歌、ニユウ、ピエレツトの面紗、オセロオ、人間、「人間」の解説 皇帝とガリラア人				
	第五巻 藝術か娯樂か、再び「藝術か娯樂か」、演劇の眞使命、ヲオクリの「劇評論」、劇評の價値、演劇美術問答、ゴオヴン・クレイグの第二對話、クレイグ小論文、「ハムレット」演出に際して、全體は部分より大なり、「アナトオル」の演出考案、スタニスラウスキイの講話、メイエルホリドの奇蹟、露西亞劇壇の消息、舞臺裝置に對する考察、舞臺と畫家、女優の本質、女形に就いて、劇評家アアチヤと劇作家ビネロとの對話、イブセンは眞に天才なりしや、四つの壁、戲曲と小說と、脚本の讀み方、藝術と劇場、ソログウプの演劇論、マラルメと新戲曲、操人形に就いて、露西亞舞踊團と畫家、國劇の將來、演劇と社會、學校劇の精神、小學校の「教育劇」に就いて、脚本改作と社會的輕侮、脚本檢閲に就いて、新廳令の執行、文學の本質、文學と演劇の接觸點、脚本の味ひ方、舞臺監督の事、芝居の稽古、舞臺の變遷、役者の藝、内的寫實主義の一女優、丁抹のイブセン女優、市川左團次の半生、左團次の藝風、市川左團次の技藝、左團次と歌舞伎十八番				

オサナ

		冊	函	號
第六卷	自由劇場の計畫、自由劇場第一回試演、自由劇場第二回試演後の對話、自由劇場第三回試演、自由劇場第四回試演の準備の一部、自由劇場第五回試演の出し物、「自由劇場」の口上、「夜の宿」の器械的失敗、莫斯科の K 君へ、「星の世界」への準備と實際、解嘲、靈魂の彫刻、小さき新しき劇場へ、新劇復興の爲に、新劇俳優としての歌舞伎役者、或年の劇壇、新作時代を待つ、劇壇の遠望、デ・アルキン氏の日本演劇觀、演劇に對する或考察、新劇運動の經路、模型舞臺の前で、舞臺監督と映畫監督、撮影監督と舞臺監督、「後覧」演出の覺え書、鄕土史劇の經驗、「夜の宿」の回顧、「夜の宿」演出覺え書、「白鳥の歌」演出ノオトから、築地小劇場に於る「ジョン・ガブリエル・ボルクマン」の演出プラン、假面劇の試み、「櫻の園」の演出者として、露助になること、演劇と地方色、インテリゲンチヤの悲哀、「闇の力」の映畫と實演と、「タンタジイルの死」の追憶、叫びの戲曲、「役の行者」の演出に就いて、「役の行者」の第一夜を終へて、築地小劇場と「役の行者」、作者と演出者との問題、「第一の世界」に就いて、「傾城淺間獄」に就いて、「息子」の由來、「絲の朝に就いて」、「塵境」について、箇人的劇曲と集團的劇曲、「博多小女郎浪枕」追記、露西亞の年越し、イプセンの墓、ダルクロオス學校訪問、最後の舞臺、モスコオ劇壇の現狀、ミハイル・チエホフ、露西亞に於ける子供の爲の劇場、築地小劇場建設まで、築地小劇場は何の爲に存在するか、飜譯劇の運命、外國戲曲演出の意義、「休みの日」の臺本に就いて、劇曲の飜譯に就いて、古典劇の近代的演出、築地小劇場、演劇の實際として、演出の悲哀、演出の歡喜、演出の誤解、女優になる資格、劇場の規律、民衆劇への或暗示、初日直前の上演禁止、劇場人として	一	五六〇	九
第七卷	明治卅八年一冊九年の劇評、明治四十一年の劇評、鷗治郎の芝居、大正四年初秋の諸座、「雨壓寺門前」と「俳諧亭句樂の死」と、「獨慢尼に就いての對話」、「陰影」を見て、「傀儡船」を見て、「獨慢舞」を見て、田舍書生の芝居見物、美術座の「どん底」、美術座の「ハムレット」、「バンドマンの追憶と印象」、マアテルリンクの「內部」、「モンナ・ワンナ」の不可思議、ワイルドの「サロメ」、ストリンドベルグの「父」、「生ける屍」に就いての論議、島村抱月氏に訊す、「青い鳥」を見て、マックス・ラインハルトの印象、レッシング座で見た芝居、獨逸の諸市及び維納で見た芝居、「敵討合邦辻」、本鄕座見物、歌舞伎座見物、「雷火」、「すみだ川」、三月の劇評、四月の劇評、五月の劇評、六月の劇評、七月の劇評、八月の劇評、九月の劇評、歌舞伎座雜感、羽左衞門歸朝、帝劇雜評、「忠臣藏」、ある他の「不如歸」、「春雨傘」と「太十」、「嬰兒殺し」を見て泣く、再び「嬰兒殺し」に就て、「昭和忠臣藏」を見て、人形淨るり斷想、舞臺の色彩、戲曲の內容、作者、歌舞伎十八番の內、舊劇の見方、舊劇の一保存案	一	五九八	一八イ
第八卷	小野のわかれ、夢見草、隨筆、日本演劇の將來、劇評及新刊批評、映畫批評、發聲映畫論	七		
同				
小山內薰著作集	同人 昭和三	一	五七四	二九
第一卷	演劇論叢 上卷	一	六一三	一三
稚き鬪士	葉山嘉樹 昭和五（新作長篇小說選集第四）	一	五五八	一五七

をさな源氏	野々口立圃（近代日本文學大系第一卷ノ內 昭和三）	一	五六〇	九
同	昭和九	一	六二九	二八
をさな集	松坂屋編 昭和六	一〇	四一七	九三
幼な馴染	ルナアル著 岸田國士譯註 昭和二（佛蘭西文學譯註叢書第七篇）	一	五四八	一四
をさなものがたり	（少年の讀本）島崎藤村 昭和六	一	六二〇	一八二
小佐野氏所藏古記錄と藤氏足利氏家系	須永弘編 昭和八（足利史料集成第二集）	一〇	二三五	四二
抑へ節の扱ひ方	喜多實 昭和五（喜多研究叢書第一篇）	一	六一三	三五
〔ヲサメ硫酸工業事務所〕資料	同所發行 昭和九、一〇	三	六七二	八〇
第一輯	硫酸工場用アンモニア酸化機に就きて（納五平）			
第二輯	近代我國に於ける硫酸製造裝置設計樣式の變遷（同）			
第三輯	硫酸製造塔充塡材に就いて 其の一（同）	一	五六	二八二
㊣産と育兒	林敏郎 昭和四	一	六〇一	三五
男鹿寒風山麓農民手記	吉田三郎 昭和一〇（アチツクミユーゼアム彙報第四）	一	五八七	二七九
押川方義（聖雄一）	大塚榮三 昭和七	特一枚	別七	三〇四
雄鹿半島龍ケ崎	川瀨巴水畫 昭和一〇	一	五六九	一四
㊣靜禮三	（吹雪花小町於靜）河竹默阿彌著 河竹繁俊校（岩波文庫二八八—二八九ノ內 昭和三）	一	六八七	二三七
啞の唄（詩集一）	稻垣恒子 昭和一〇 一三五頁	一	五七七	一六
忍乃行田	石島儀助（筱山）昭和二			

オサナ—オセト

忍城戰記	寫	一〇	八三八	九七
忍城戰記	寫	一〇	八三九	二四
押原推移錄	山口安良 昭和九 謄寫版	一	二一五	三三五
忍藩校進修館沿革略記	古市直之進編 昭和元	一	五四九	二一九
教草		特一〇	別九	二五
教の由つて生ずる所	西晉一郎 昭和五	一	二五三	四六九
小島のくちすさみ	二條良基（群書類從第一八輯紀行部ノ內 昭和三）	一	五八三	一四
小島のくちずさみ（美濃行幸記一）	（新校群書類從第一五卷紀行部ノ內 昭和四）	一	五八四	五
お釋迦樣がやさしく說いた佛敎入門	二入素堂 昭和六	一	六〇九	二〇九
おしゆん傳兵衞十七年忌	稀書複製會編 昭和二	一〇	一五	四五九
牡猫ムルの人生觀	上卷 ホフマン著 秋山六郎兵衞譯 昭和一〇（岩波文庫一二四—一二四五）	一	五六九	一四
オセアニア年鑑	昭和一〇年版 日本國際問題調査會編 昭和一〇	一	一四五	四六七
御關所一件	寫（江戶時代御關所留ナリ）	一〇	二三四	二五九
尾瀨天然紀念物調査報告	文部省發行 昭和八	一	一四五	三一四
尾瀨地方の地質	（末野悌六）			
尾瀨沼及附近の植物生態學的調査	（中野治房）			
尾瀨の動物相	（鏑木外岐雄）			
尾瀨と鬼怒沼	武田久吉編 昭和五	一	五七八	三〇二

お脊戸の鈴懸	（童謡集）	松村又一	昭和八	一冊 函號
御世話筋祕曲		坂元三郎（雪鳥）編	昭和八	一 五九七 四四七
おせん（繪入草紙ー）		邦枝完二	昭和九	一 六五六 六六
怖るべき子供たち		コクトオ著	東郷青兒譯 昭和五	一 三五七 三一三
同			昭和九	一 三五七 三一三イ
乍恐と一札		前編	小宮山里司（碧宵）編 昭和二	一 五七五 六六
恐ろしき媒		エチエガライ著	永田寛定譯 昭和三	一 五六九 一四
		（岩波文庫二二五—二二六）		
御臺所講座		橋爪金吾、横田俊三	昭和一〇	一 六三二 二四六
お臺所の重寶		龜井まき子	昭和一〇	一 六五〇 二五五
御大名行列之圖		（浮繪）	歌川豐春畫	特 一枚 別 七 二〇七
御鷹御用日記		菅野半平	寫	一 六〇 八二九 九
お互に愛したら（ー）		フエレンツ・モルナアル短篇集	鈴木善太郎譯 昭和四	一 五八五 六一
織田家茶道淡濃十六段並圖式		桂月嬉人會編	昭和九	一〇 一五六 一三
織田信長史料寫眞集（遺存ー）		尾張國	名古屋溫故會編 昭和六	一 六一〇 一三五
小田原及箱根史料		石野瑛編	昭和七	一 五九三 一九
		（武相叢書史料篇第四編）		
同				一 五九三 一九イ
小田原記		寫		二〇 八三九 一七
小田原北條所領役帳		寫	（早雲寺本ノ寫）	一〇 八三九 三三
同				一〇 八三九 三三イ

小樽海港博覽會誌		水出良造編	昭和七	一冊 函號
				一 六一七 一三八
小樽高等商業學校一覽			昭和二至一〇年 附 第十四臨時教員養成所一覽（昭和二至五年）	九 二九三 二三
			同校編 昭和二至一〇	
小樽高等商業學校創立二十周年記念論文集			同論文出版委員編（商學討究第六卷中冊） 昭和六	一 一四五 一七四
投資地としての植民地の價値			（高岡熊雄）	
ビユヒアーの經濟發展段階學說と古代希臘經濟史			（室谷賢治郎）	
群集現象の本質			（中野清一）	
人造絹絲に就て			（品川秀三）	
貨幣品質學說の論據とその批評			（大野純一）	
費用勘定と收入勘定			（木村重義）	
世界に於ける資源の爭奪			（苦米地英俊）	
甘蔗に關する調査研究			（西田彰三）	
パレトの無差別の曲線とレアスト派の經濟學			（手塚壽郎）	
活字文化の展望			（阿部芳治）	
C・I・F・契約の理論と實際			（木曾榮作）	
財政學の社會的意義			（平尾丹治）	
農業恐慌と資本主義體制			（南亮三郎）	
家に關する一考察			（卜部岩太郎）	
F・O・B・契約に於ける費用の負擔			（大谷敏治）	
農業に於ける資本主義的恐慌の理論			（高橋次郎）	
「小樽高等商業學校北海道經濟研究所」調査報告			同研究所發行 昭和九、一〇	二 一四五 三五三
第一輯			土功組合の研究（渡會正奉編）	
第二輯			新興北千島漁業の經濟調査（同所編）	

小樽港に關する調査書		小樽商工會議所編	昭和三	一 五八一 一五五
同	再版	昭和四		一 五八一 一五五イ
小樽港の觀光		北海道海運通信社編	昭和一〇	一 六八四 四三
小樽市產業要覽		昭和七年	小樽市役所編 昭和八	一 一四三 二九三
小樽市統計書		第二二至三〇回	大正一五至昭和九年	九 一四四 五六〇
		同市役所編	昭和三至一〇	
小樽商工會議所統計年報		第三四、三六、三八回	昭和五、七、九年 同所編	三 一四八 四四
		昭和六至一〇		
小樽商工名錄		昭和八年	小樽商工會議所編 昭和八	一 三七四 八三
小樽新聞懸賞募集	廣告圖案、寫眞選集	附 內外各國參考作例	盛田稔編 昭和五	一 五八一 二三二
小樽に於ける木材積取事業勞働者供給に關する事情		小樽積取下宿業組合聯合會編	昭和二	一 五四九 二四〇
「オタワ」英帝國經濟會議ノ考察		外務省調査部編	昭和一〇 四八八頁	一 六九八 三六
落合町誌		東京府落合町誌刊行會編	昭和七	一 五八七 三一六
落合圖案		第一四、一五回	落合萬水編 昭和二	一〇 四一六 一六
落合圖案		落合萬水編	昭和四至八	〇 四三三 三三一
落合圖案（帶皮ー）		一、二、三	落合萬水編 昭和三、四	〇 一七六 五二
落合直文集		同人	昭和二	一 五六八 二五三

オタル—オツト

落合直文先生書牘集		同人著	淺香社在京同人編 昭和八	一〇 六三一 三五三
落窪物語		藤村作等譯	昭和一〇	一 六六八 二八
		（物語日本文學第四卷）		
落窪物語證解		笠因直齋	昭和九	一 六七〇 一四
		（日本文學古註大成第四）		
越智郡鄉土人物小傳		愛媛縣教育會越知部會編	昭和一〇 二〇〇頁	一 六四〇 二七〇
落葉垣（應用小品ー）		乾、坤之卷	竹下金烏 昭和九、一〇	特 帖 二 四二五 一四三
落葉集		佐佐木信綱編	明治三一	一〇 八三八 六〇
		（關井林子遺稿井道悼歌文集）		
落葉日記（戲曲集ー）		岸田國士	昭和三	一 五八五 五
落穗集	（六番茶）	下村宏（海南）	昭和四	一 五六九 一六
小千谷縮布考		西脇新次郎	昭和七	一〇 二三三 三五九
小千谷縮布史		西脇新次郎	昭和一〇 四四五頁	一〇 六二七 二七〇
伯父ワーニヤ		チエーホフ著	米川正夫譯 昭和二	一 五六九 一四
		（岩波文庫八八）		
乙亥會還曆記念帖		同會編	昭和一〇	一〇 三〇三 一五〇
乙亥訪華錄		日華佛教研究會編	昭和一〇 一四〇頁	一 六八四 一九一
お月さんいくつ（童謠集ー）		志甫朱雪	昭和一〇	一 三五七 三三
小槻氏系圖		（新校群書類從第三卷系譜部ノ內	昭和五）	五八四 五
牛津大學經濟學教授候補者としてのWJ・アツシユレー		武藤長藏	昭和六	二 六〇四 五一七
乙字俳句集		大須賀乙字著	岩谷山梔子編 昭和八	一 六四三 七八
オツトー・ギールケ		石田文次郎	昭和一〇	一 六七七 一六
		（社會科學の建設者人と學說叢書第一三）		

		冊	函	號
オツトー・ワグナー	岸田日出刀　昭和三	一	五七六	一九
御手留日記	伊達宗城（維新日誌第二期第三巻ノ内　昭和九）		三二四	二七一
お寺まゐり	鐵道省編　昭和七	一	五六九	三八三
同		一	五六九	三八三イ
同		一	五六九	三八三ロ
お天氣と雲の話（理科物語）	貴志敏雄　昭和二	一	五七一	一七五
お傳地獄	邦枝完二　昭和一〇　六〇四頁	一	六八一	九四
音	小幡重一　昭和一〇（岩波全書第六九）	一	六四六	四
御伽草子集	内海弘藏校　昭和五（新釋日本文學叢書第二輯第七巻）	一	五七四	三
諢話浮世風呂	「ウキヨ」ヲ見ヨ			
男、女、神	基督教から觀た性問題の一考察　グレイ著　齋藤敏夫譯　昭和二	一	五七〇	七九
男形役者細繪	文調畫（林忠正舊藏）	特一枚	別七	二〇八
男ごころ（歌集）	堀口大學　昭和四	一	五六八	四一五
男の頭	（モンパルナスの夜）シメノン著　永戸俊雄譯　昭和一〇　二七三頁（「春ニハ「モンパルナスの夜」下アリ」）　久米正雄　昭和九（昭和長篇小說全集第五卷）	一	六九二	一二〇
男の掟		一	六七七	二
男の流行	（モルナアル戲曲集）　鈴木善太郎譯　昭和五	一	五一七	六六三
落噺仕立おろし	（繪入）　五返舍半九	一〇	一五七	二一九
落噺六義	立川焉馬（談洲樓）撰　寛政九年頃	一〇	一五六	一〇三
音と影と都會	梅津勝男　昭和三	一	五八六	一八二

		冊	函	號
お隣の支那	後藤朝太郎　昭和三	一	五七八	一七一
乙女の湖	バウム著　岡田眞吉譯　昭和一〇　三一六頁	一	六八二	一四九
御供古實	伊勢貞藤（群書類從第二二輯武家部ノ内　昭和三）		五八三	一四
同	（新校群書類從第一七巻武家部ノ内　昭和五）		五八四	五
小友船漂流記	及川奧惣治校（南部叢書第一〇册ノ内　昭和四）		五七四	七
尾戶燒	上、下巻　小野賢一郎編　昭和八、九（陶器全集第三）	二	二二六	三七
同	下巻　昭和九	一〇	三二六	三七イ
踊姿	第一、二、四至九輯　若柳吉藏編　昭和七至九	八〇	四二二	一二七
四船物語	キヤンベル著　中島武譯　昭和六	一	六〇七	三八八
をどり通	小寺融吉　昭和五（通叢書第一六巻）	一	六〇三	一
をどりの型	巻一　小寺融吉　昭和八	一	六三一	三八八
踊之著慕駒連	（未刊隨筆百種第一五ノ内　昭和三）		五六〇	二九
踊の舞臺裝置	久保田金僊　昭和九	一〇	四三〇	四三
をどり名曲解說	第一册　小寺融吉　昭和一〇	一	六七五	二〇八
踊る影繪	大倉燁子　昭和一〇	一	五六八	五三三
踊る地平線	谷讓次　昭和四	一	五九六	一二一
鬼貫俳句集	大橋裸木編　昭和二（金星堂俳人全集第二）	一	五五〇	一六二
鬼貫名句選集（季題類別）	工藤浮靜波編　大正一五（俳諧文庫第六編）	一	五五〇	一三五
鬼になる眼	尾崎士郎　昭和一〇　三七六頁（「バカやなぎ」ノ改題）	一	七〇〇	二五

		冊	函	號
鬼の念佛（隨筆隨想）	釋瓢齋（永井荷葊藏）　昭和一〇	一	六一九	二六一
鬼火	（探偵小說短篇集）　横溝正史　昭和一〇　三〇八頁	一	六八七	八三
鬼若根元臺	鶴屋南北（大南北全集第一一卷ノ内　昭和二）		五三九	八
同			五三九	八イ
オネーギン（韻文小說）	プーシュキン著　米川正夫譯　昭和二（岩波文庫一一九—一二〇）	一	五九六	一四
小野梓傳	西村眞次　昭和一〇　三六五頁	一	六九四	一七
小野氏系圖	（新校群書類從第三巻系譜部ノ内　昭和五）		五八四	五
尾上菊五郎自傳	伊藤梅雪編　昭和四（「題爰等ニ八代目菊五郎自傳」トアリ）	一	五七八	二四六
小野幸吉畫集	佐藤三郎編　昭和七	一	六一六	五九
己がこと人のこと	大谷繞石（正信）　昭和八	一	六四三	二〇八
己が罪	菊池幽芳　昭和九（日本近世大悲劇名作全集第三巻）	一	六六八	一一
小野湖山翁小傳	豐橋市教育會編　昭和六	一	六三五	一九二
小野田セメント製造株式會社創業五十年史	同社編　昭和六	一	五六三	四九七
小野塚教授在職廿五年記念政治學研究	第一、二巻　昭和二　吉野作造編	二	五七三	一一五
小野小町	中里介山　昭和八	一	六四三	一二〇
小野小町の考	本居內遠著　本居豐穎校（增補本居宣長全集第一二本居遠內全集ノ內　昭和二）	四一		九八イ
小野小町秘考	關谷眞可磵　昭和八	一	六四〇	一七四
小野小町論	黑岩涙香　昭和五（春秋文庫第一部第三七）	一	三三八	四四〇

		帖	函	號
小野道風玉泉帖	附解說　小野道風書　昭和八　複製（和漢名法帖選集第七卷）	一	四三二	一四六
小野宮右衞門督家歌合	（新校群書類從第一〇卷和歌部ノ內　昭和四）		五八四	五
小野宮御偉績考	田中長嶺　明治三三	三〇	八三九	二九
小野宮年中行事	藤原實資（群書類從第六輯公事部ノ內　昭和七）		五八三	一四
同	（新校群書類從第四卷公事部ノ內　昭和六）		五八四	五
尾道［圖幅第二七號］地質圖	地質調査所製　昭和六　縱一九橫行二九　縱行一八橫行二九　三九・〇〇×六三・二〇	一枚	一二	五八八
尾道志稿	龜山士綱（備後叢書第一〇卷）	一	五七七	六三
［尾道］市立尾道圖書館一覽	昭和三年二月現在　同館編　昭和三	一	二七八	八五イ
尾道大鑑	同編輯所編　昭和八	一	六四〇	一四三
尾道の郷土史論	長沼賢海　昭和七	一	五八七	三一五
己れを作る法	上野陽一　昭和一〇　三二二頁	一	六七九	六五
オノレ・シュブラックの喪失	アポリネール著　川口篤譯註　昭和九（佛蘭西語入門叢書第三篇）	一	六五三	一五一
お化けの世界	坪田讓治　昭和一〇　二九六頁	一	六三三	一七七
御林尺〆仕出方	岩田誠中［天保九］	一〇	八三九	一八四
尾張家言集	尾張德川黎明會編　昭和九	一	六六六	一三四
尾張郷土資料寫眞集	昭和一〇年度版　愛知縣小牧中學校鄉土室編　昭和一〇	一	六九七	四八
尾張國內神明牒	（新校群書類從第一卷神祇部ノ內　昭和七）		五八四	五

尾張徇行記　上、中、下　樋口好古　昭和九、一〇　謄寫版　冊　函　號
（尾三郷土史料叢書第七至九編）　三　六二六　五
尾張大根切干發達史　森徳一郎編　昭和一〇　一四五頁　一　六八一　六三
同　一　六八一　六二イ
尾張治水史　前編　永谷繹編　昭和六　一　三七二　四五五
（土木研究資料第一輯）　一〇　二一五　三三三
尾張童遊集　小寺玉晁編　昭和九　尾張國熱田太神宮緣記　（新校群書類從第一卷神祇部ノ内　昭和七）　五八四　五
尾張國遺存　織田信長史料寫眞集　名古屋溫故會編　昭和六　一　六一〇　一二五
尾張國遺存　豊臣秀吉史料寫眞集　名古屋溫故會編　昭和一〇　一　六八六　七一
尾張國神名帳　（群書類從第一神祇部ノ内　昭和六）　五六六　六一
尾張の古陶　原文次郎　昭和五　一　五九七　三六五
尾張の蔬菜栽培と其の販賣　渡會喜七　昭和八　一　五九〇　四三六
（農家の知嚢第一二篇）　一〇　二三二　三一二
尾張の方言　加賀治雄（紫水）編　昭和六　一〇　二三二　三一二
同　續篇　昭和七　一〇　二三二　三一二
をはりの花　花の卷、鳥の卷、風の卷、月の卷　小野賢一郎編　昭和七（陶器全集第五）　四〇　二三六　三七
尾張藩農政年表稿本　安藤次郎編　昭和一〇　一七六頁　一　五六七　一四五
尾張名所圖會　前編（一至七、後編（一至六）再版　岡田文園（啓）、野口梅居（道直）著　小田切春江畫　明治一三　一三〇　八三九　七六
尾張名所圖會　若山善三郎編　昭和五　五　二一八　四四
同　附錄　卷之六至八　岡田文園（啓）　昭和八　一〇　二一八　四四

尾張蘭學者考　堀川柳人編　昭和八　冊　函　號
一　六二九　一四三
おはん長右衞門（萬代曾我第二番目）　森羅萬象（森島甫齋）、双木千竹著　賴桃三郎編　昭和一〇（淨瑠璃集成第一輯）　一　六六六　二六四
帶　晃會編　昭和五至七　秋の卷　四〇　四二三　三八六
第三　夏の卷
第四　秋の卷
第六　春の卷
帶　第三　河原崎晃洞　昭和八　一　四二六　一四五
茂さがし　（近代日本文學大系第二卷ノ内　昭和三）　五六〇　九
同　昭和八　六二九　二八
生ひ立ちの記　（或る婦人に與ふる手紙）　島崎藤村　（岩波文庫八五二ノ内　昭和七）　五六九　一四
生ひ立ちの記　谷口雅春　昭和一〇　四三七頁　一　六九三　三三
生ひ立ちの記　室生犀生　昭和五　一　五六八　三一五
（新潮文庫第一編）
生ひ立ちの記（歌ものがたり）集　吉井勇　昭和三　一　五六二　一〇〇
おん人好しの仙女　モルナアル著　飯島正譯　昭和一〇　一　六八三　六
二八〇頁　一〇　三〇一　七六
御雛形　萬女集　稀書複製會編　昭和一〇　複製
茂の底　信天翁信胤　昭和九　一　六五四　四〇
（未刊國文古註釋大系第一八册）
帶廣市制記念寫眞帖　同刊行所編　昭和八　一〇　四三〇　二一
於百明暗道（オヒヤク）　小野金次郎　昭和一〇　三一五頁　一　六七九　二一
おふえりや遺文　小林秀雄　昭和八　一　六五八　七

オフエリヤ殺し（探偵小説）　小栗虫太郎　昭和一〇　一　六八二　一八九
三九二頁
おふくろ　田中千禾夫　昭和一〇　一　六九二　八二
（新撰劇作叢書第三）
御觸書集成　高柳眞三、石井良助編　昭和九、一〇　二　六六九　六四
第一　御觸書寬保集成
第二　御觸書寶曆集成
同　第一　御觸書寬保集成　二　六六九　六四イ
第二　御觸書寶曆集成
オブローモフ　第一至三篇　ゴンチャロフ著　山内封介譯　昭和七、八　三　六三〇　一
（世界名作文庫第三三七至三三九）
オペラ館サクラ座　宇野千代　昭和九　一　六五九　二一
（文藝復興叢書第一一）
オペラと映畫　伊庭孝等　昭和三　一　五六六　一三
（家庭科學大系第八一）
大甕机の考證　本居内遠著　本居豊穎校　本居清造再校　四一　九八イ
（增補本居宣長全集第一二）　本居内遠全集ノ内　昭和二）
大井川流域の林業　靜岡縣内務部編　昭和四　一　五九八　二三
安倍川
大井川行幸序（小野鷲堂）　小野鷲堂書　昭和一〇　複製　一〇　三〇一　七
（和樣手本大成第一四卷）
大井川寫眞案内記　蘭契會編　昭和三　一〇　一五七　八八
大井川蓮臺越　大井川保勝會編　昭和九　一　六三一　五〇九
大石長野堰渠誌　石井眞太郎編　昭和六　一　五八一　三〇九
大石兵六夢物語（薩摩奇書）　毛利正直著　村瀨宣得校註　一　五八五　一三〇
昭和四
大石良雄　武者小路實篤　昭和七　一　六三〇　一三六
大石良雄　野上彌生子　昭和三　一　五六九　一四
（岩波文庫三一九）

大分高等商業學校一覽　昭和二至一一年　同校編　八　二九三　三六
昭和二至一〇
大分高等商業學校商事調査部一覽　同部編　昭和四　一　五七九　一八六
大分高等商業學校增加圖書目錄　第九至一四號　同校圖書課編　五　五七六　一七イ
昭和五至一〇
〔大分高等商業學校〕調査報告　第六輯　同校編　一　一四五　二七三
昭和六
大分高等商業學校圖書分類目錄　和書　昭和二年六月末現在　同校編　昭和三　一　五七六　一一七
大分高等商業學校圖書分類目錄（洋書）　昭和六年一〇月末現在　同校圖書課編　昭和七　一　六一六　四九
大分縣青莚共進會成績報告書　山内豐重編　昭和三　一　五七九　五二
大分縣偉人傳（增補改訂）　大分縣教育會編　昭和一〇　一　六六九　一一〇
大分縣海外交通史　久多羅木儀一郎　昭和一〇　一　六八七　二〇三
大分縣國勢調査報告　昭和五年　同縣臨時國勢調査　一　一四五　八七〇
部編　昭和六
〔大分縣蠶業試驗場〕事業報告　昭和三年度　第一二號　同場編　昭和四　一　一四三　六三八
大分縣種畜場業務功程報告書　昭和三、五至八年度　同場編　昭和四至九　六　一四三　五二二
〔大分縣〕人口統計　昭和六年　大分縣知事官房編　一　一四四　五四一
昭和七
大分縣水產誌　世界之九州社編　昭和二　一　五七二　一三九
大分縣水產試驗場事業報告　昭和六、七年度　同場編　一　一四三　五〇
昭和八
大分縣治一斑　昭和六年　大分縣知事官房編　昭和八　一　一四四　九四五

		冊	函	號
大分縣展望	遊覽の九州社編　昭和八	一	六三	一八
大分縣統計書	大正一四年至昭和八年 同縣編　大正一五至昭和一〇	二六	一四、四	二一
大分縣農林誌	世界之九州社編　昭和四	一	五八	一三
大分縣方言考	堀江與一、原田兵太郎　昭和八	一	六四三	二六一
大分縣日田郡光岡村松陽山岳林禪寺由緒	大畑忠峰等編　昭和九	一〇	三〇二	四三
大分縣名勝地	同縣林務課編　昭和五	一〇	四三	四〇七
〔大分縣〕麥	昭和七、九年　大分縣知事官房 昭和七、九	二	一四、二ロ	一三ロ
〔大分縣〕麥作	昭和五年　同縣編　昭和六	一	一四、二ロ	三三一
大分縣養蠶統計	昭和五、七年　同縣編　昭和六、八	二	一四、三イ	一八四
(大分縣立大分中學校)創立五十周年	同校編 昭和一〇　三三一頁	一	二七三	四〇
大分縣六大偉人綜合年譜	同縣教育會編　昭和三	一	五七九	一九六
大分市教育史	同市教育會編　昭和四	一	三五一	八七
大分商工會議所統計年報	昭和四年至六年　同所編 昭和五至七	三	一四、八	九三
大分聯隊區管內に於ける鄉土戰史の研究	第一二輯　帝國在鄉軍人會大分支部編 昭和二、四	二	三一八	五四八
大分聯隊聖戰記	步兵第四十七聯隊編　昭和九	一	六五七	一〇六
大井町史	大井町役場編　昭和七	一	六一〇	一四五
大內家壁書	(群書類從第二二輯武家部ノ內　昭和三)		五八三	一四
同	(新校群書類從第一七卷武家部ノ內　昭和五)		五八四	五

		冊	函	號
大內問答	(群書類從第二二輯武家部ノ內　昭和三)	一	六三	一八
同	(新校群書類從第一八卷武家部ノ內　昭和七)	二	一四、四	二一
大內義隆記	(新校群書類從第一七卷合戰部ノ內 昭和五)	一	五八	一三
大江氏系圖	(新校群書類從第三卷系譜部ノ內　昭和五)	一	六四三	二六一
覺書	(マルジナリア)　ボー著　吉田健一譯　昭和一〇 二四一頁	一	六八三	一三四
覺書	橫光利一　昭和一〇　二九五頁	一	六八〇	五九
覺え易い文撰術	小林重雄　昭和三	一	五八六	三八
覺え易い麻雀の本	(麻雀講義)　麻雀研究會編　昭和五	一	六〇六	三三
大江山入之圖	住吉廣通(如慶)畫　手稿本	特軸一	亥二	一三
大岡越前守	沼田頼輔　昭和四	一	五五六	三一九
大岡政談	林不忘　昭和三	一	五八二	一三七
大岡政談	昭和四 (帝國文庫第一六篇)	一	五八三	一五
大奧祕史(趣味と史談)	武田完二　昭和七	一	六二〇	五八
大鏡	有朋堂編　昭和六	一	六〇三	三五一
大鏡	藤田豪之輔校註　昭和四	一	五九六	二一一
同	平林治德譯 (物語日本文學第一〇卷)	一	六六八	二八
同	吉澤義則校註　昭和八 (改造文庫第二部第三一篇)	一	五六九	一四二
同	和田英松校　昭和六 (岩波文庫七四〇—七四一)	一	五六九	一四
大鏡(古鈔本)	零卷　解說付　古典保存會編　昭和一〇 複製　一〇七丁	特一	三〇一	八三

		冊	函	號
同	(新校群書類從第一五卷飲食部ノ內　昭和四)	一	三〇一	八三イ
大鏡裏書	(新校群書類從第一九卷雜部ノ內　昭和七)	一	五八四	五
大鏡解釋(校註)(附)校標準大鏡ノ改題)	三浦圭三　昭和九	一	六二三	一五〇イ
大鏡詳解	佐藤球　昭和二	一	五五四	一五〇
同　一〇版	昭和八　七〇九頁	一	六七〇	一四
大鏡短觀抄	附　大鏡目錄並系圖、小目錄(土肥經平) 大石千引　昭和九 (日本文學古註大成第二)	一	六六一	一四
大鏡通釋(補註)	橘純一　昭和九	三	六一〇	一
大垣市史	上、中、下　同市編　昭和五	一	三一七	一四三イ
大垣市圖書館增加目錄	昭和四年六月至同五年五月 同館編　昭和五	一	三一七	一四三
大垣市圖書館和漢書目錄	昭和四年六月至昭和七年一二月 同館編　昭和八	一	三一七	一四三
大川端	第一部　小山內薰　昭和二	一	五六八	二四二
大叭	小林一茶編 (一茶叢書第九編小篇三十種下ノ內　昭和五)	一	五四八	五九
大からくり繪盡	(中)　稀書複製會編　昭和八　複製	一〇	一二〇	一八三
大木篤夫抒情詩集	同人　昭和六	一	五六九	三四八
大菊一輪咲三輪咲	鉢植栽培法祕訣　高津半造(耕讀園主人) 再版　昭和三	一	五八一	七三
大菊名花選	同解說付　木村太一郎編　昭和三	二	四一七	五七
正親町院御卽位略次第	(群書類從第七輯公事部ノ內 昭和四)	一	五八三	一四
同	(新校群書類從第四卷公事部一ノ內 昭和六)	一	五八四	五
大草家料理書	(群書類從第一九輯飮食部ノ內　昭和八)	一	五八三	一四

		冊	函	號
同	(新校群書類從第一五卷飮食部ノ內　昭和四)	一	五八四	五
大草殿より相傳之聞書	(群書類從第一九輯飮食部 ノ內　昭和八)	一	五八三	一四
同	(新校群書類從第一五卷飮食部ノ內　昭和四)	一〇	一七〇	九八
大口鯛二翁家集	松原弋編　昭和二	一	六七二	二三七
大久保石見守長安小傳	石川博資　昭和一〇	一	五五六	二六九
大久保甲東先生	德富猪一郎　昭和二	一	五二四	七四六
大久保卿の偉功を偲びて	中村德五郎　昭和二	三〇	二四九	二八二
大久保公神道碑	(上、中、下)　日下部鳴鶴書　昭和 八至一〇　複製(和漢名家習字 本大成第一二、三八、四〇卷)	一	六二八	一五
大久保作次郎畫集	伊集院秀秋　昭和三	一	五七八	一五〇
大久保利通	同人　昭和七	二	六四	二四一
大久保利通日記	上、下卷　日本史籍協會編　昭和二	一〇	六四	二四四
大久保利通文書	第一至一〇 昭和二至四　日本史籍協會編	一	六四五	一三三
大隈熊子夫人言行錄	堀江久太郎編　昭和八	一	六二一	六五
大隈侯八十五季史	第一至三卷　同史編纂會編　大正一五	一	五五四	九二イ
大隈重信(戲曲)	永井柳太郎　昭和七	一	五六九	四〇三
大隈重信關係文書	第一至六　渡邊幾治郎編 昭和七至一〇	六	六四	二六八
大熊善太郎支配所繪圖	昭和四	一	五七六	一七三
大倉高等商業學校創立三十周年記念論文集	同編纂委員編 大倉高等商業學校 昭和五	一	六二二	六五

景氣論の發展と資本主義の發展　(井上鎧三)

貨幣と限界效用說（松本金次郎）　一　二九三　四七
統計に於ける極限概念（森田優三）　一　五八三　一四
世界生絲市場の變遷と現時の絲價安定策（森泰吉郎）
ヒューム因果律の斷想（中務賢雄）
簿記會計上より銀行法第八條を論ず（小野澤義勝）
Dr. Carl Klitter の損害防止論（坂元毅）
販賣員管理の二三の問題に就いて（關太一）
ヨゼフ・デイツゲン「論理學に關する書翰」（田中千代松）
太陽系と宇宙開闢論（塚本文治）
製品原價と固定價（渡部寅二）
マルサス人口史觀の要領と其理論的地位（吉田秀夫）
大倉高等商業學校 三十年史　葵友會編　昭和五　一　五八四　五
大藏卿行宗卿集　源行宗（群書類從第一輯和歌部ノ內　昭和四）　一　五七九　六
同　（新校群書類從第一一卷和歌部ノ內　昭和三）　五八四　五
大倉集古館要覽（財團法人）　同館編　昭和四、七　二〇　一五七　九一
大倉集古館大石佛　同館編　昭和四　二〇　一五七　一〇四
大藏省沿革史　上、下卷　大藏省編　大內兵衛、土屋喬雄校　昭和七、九（明治前期財政經濟史料集成第二、三卷）　二　六〇一　三一
〔大藏省〕銀行局年報　第五四次　昭和四年　同局編　昭和六　一　一四、四　七八
大藏省年報　第五一至六〇回　大藏省文書課編　大正一五至昭和一〇　一〇　一四、四　七三
大倉精神文化研究所講座 日本精神叢說　「ニホン」ヲ見ヨ
大倉物語　矢野政二（滄浪）　昭和三　一　五七八　二六二
大倉流小鼓手附大成　第三、四卷　荒木賀光編　改訂　昭和二、三　二〇　六　三三五
大越成德遺稿　志立鐵次郎編　大正一五　一　一五五八　三六
同　一　一五五八　三六イ
大阪揚考　遊世處主人　嘉永七　寫　二一丁　特一〇　さ　八〇
大阪朝日新聞 昭和九年九月關西地方大風害記事　（昭和九年九月二一日至同月三〇日）　附錄共　大阪朝日新聞社編　昭和九　一　四三五　一四七
大阪朝日每日新聞 新聞不逞記事論評　大井一哲　三版　昭和三　一　五八七　一〇三
大阪案內記（御大典記念）　同市街地圖附　大阪市役所編　昭和三　一　五七八　三七
大阪醫科大學一覽　昭和二年　同學編　昭和二　一　二八七　二五
大阪醫科大學圖書館雜誌總目錄　昭和二年末日現在　附鹽見理化學研究所、竹尾結核研究所同館編　昭和三　一　五七九　六
大阪醫科大學圖書追加目錄　第三號　昭和四年至同五年三月　同學圖書館編　昭和五　一　五六二　一五七
大阪營林局管內要覽　同局編　昭和四　一　一四、四　三五二イ
大阪營林局統計書　大正一三年至昭和八年度　同局編　昭和二至一〇　一三　一四、四　三五二
大阪窯業株式會社五十年史　江村恒一編　昭和一〇　一　六六二　一八七
〔大阪繪圖〕　弘化四　六四・五〇×三九・八五　一枚　亥二　一二八
同　寬政元　五二・一〇×四〇・〇〇　一枚　亥二　一二八イ
大阪港外國貿易統計表　大阪稅關編　昭和四　一〇　四二一　六九
大阪港勢一斑　大正一四年至昭和四、六至九年　大阪市役所編　昭和二至一〇　九　一四、二ロ　七五
大阪港勢年表　大正一五至昭和九年編　昭和二至一〇　大阪市役所港灣部　九　五二四　五〇一
大阪高等學校一覽　昭和二至一〇年　同校編　昭和二至一〇　八　二八三　三八
大阪高等工業學校一覽　大正一五年至昭和四年　同校編　三　二九二　一五
大阪高等工業學校卒業生等名簿　昭和二年度調　同校編　昭和二　一　二九二　一五イ
〔大阪高等商業學校銀行業務研究室〕調查報告　同校發行　昭和三　一　一四、五　三九
第一五册　普通銀行制度改善と新銀行法（松崎壽）
〔大阪株式取引所〕研究報告　同所發行　昭和四　一　五七九　三七四
第二號　國債の現狀と之が整理問題に就て（岡野衛士）
大阪乾物商誌　西村德藏編　昭和八　一　六五〇　三一
大阪行幸記念御寫眞帖　三越大阪支店編　昭和四　一一〇　四二三　三五五
大阪郷土史叢書　湯川弘文社發行　昭和一〇　三　六六六　三三五
第一　四天王寺と美術（內藤藤一郎）
第二　難波古道の研究（竹山眞次）
第三　大阪地方と寺院（木村武夫）
大阪外國語學校一覽　昭和二至一〇年度　附第五臨時教員養成所一覽　同校編　昭和二至一〇　九　二九三　五二
〔大阪外國語學校〕西語部會研究錄　同部會發行　昭和九　一　六五三　三三五
第一刊　西班牙（佐藤久平）
大阪鑛山監督局管內鑛區一覽　昭和二至一〇年　同局編　九　一四、四　三七一
大阪鑛山監督局管內鑛業要覽　昭和八、九年分　同局編　昭和九、一〇　二　一四、二ロ　三二六
大阪教育研究所叢書　同所發行　昭和六　一　三五九五　一一五
第二册　教育統計法（大伴茂）
大阪工業會滿蒙經濟視察員座談會速記錄　（昭和七年四月開催）　大連商工會議所編　昭和七　一　三七八　三三五
大阪工業試驗所報告　同所發行　昭和二至六　一六　一四、二イ　四九八
第七回
第一四號　石炭酸ふおるむあるでひど縮合生成物ノ吸收すぺくとる及び其の應用に就て（杉本俊三、笠井圓爾）
第一五號　日本產薄荷油ニ關スル研究（第二報）（篠崎英之助等）
黑文字油ノ成分ト其應用（第一報）（篠崎英之助、橫野梓）
第一六號　低炭素せみすちーるノ製造ニ就テ（第二報）（堀內政康、乘岡理雄）
第一七號　Dispersoidological Investigations. XII—XVI (Weimarn)
第八回
第一號　硝子ノ各種輻射線透過性ニ關スル研究（第五報）（杉江重誠）
第二號　白金ころいどニ就テ（重名潔）
第四號　寫眞用ぜらちんノ製造試驗成績（西松勇）
第六號　Dispersoidological Investigations. XVII (Weimarn)

オホサ

第九回　電氣用炭素製品ニ關スル研究（第五報）（市瀬元吉）　一冊　函號

第一〇號　硝子ノ各種輻射線透過性ニ關スル研究（第七報）（杉江重誠）

第一一號　拔染劑はいどろさるふあいと及其の誘導物ノもすりん布地ニ對スル作用（第一、二報）（宇高春風）

第一二號　低炭素せみすちーるノ製造ニ就テ（第三報）（堀切政康）

第九回

第一號　金屬安知母尼ヲ使用スル琺瑯上釉藥ニ就テ（內田十喜治、有本一雄）

第二號　石炭酸ふおるむあるでひど縮合物生成ノ化學機構ニ就テ（第二報）（杉本俊三）

第三號　Dispersoidological Investigations. XXII（Weimarn）

第四號　琺瑯釉藥ニ關スル研究（內田十喜治）

第五號　Dispersoidological Investigations. XXIII（Weimarn）

第六號　硝子用坩堝素地ノ侵蝕ニ就テ（綿谷政次郎）

第七號　Dispersoidological Investigations. XXIV（Weimarn）

第八號　もすりん布ノ漂白ニ關スル研究（第一報）（宇高春風）

第一二號　硝子ノ光學恒數ト其組成々分トノ關係（第三報）（高松亭）

第一〇回

第三號　鉛ヲ主成分トスル耐酸合金ノ研究（佐野正夫）

第四、五號　日本產薄荷油ニ關スル研究（第三、四報）（篠崎英之助、長澤徹）

オホサ

第三號　構ニ就テ（第四報）（杉本俊三）

第四號　白色顏料りとぽんニ就テ（佐野正夫、神谷香一）

第六號　亞鉛鍍鐵板表面ノ水泡狀斑點ノ發生ニ就テ（佐野正夫）

第七號　種々ノ透明薄膜ノ紫外線並ニ赤外線透過率（笠井圓爾、瀧井重義）

第八號　濃硫酸ニ依ル纖維素ノ變性度ニ就テ（片山徹吉、仙石正）

第九號　電氣用炭素製品ニ關スル研究（第六報）（市瀨元吉）

第一〇號　日本產薄荷油ニ關スル研究（第五、六報）（篠崎英之助、長澤徹）

第一一號　人造絹絲ノ增强法すてのじーれんニ就テ（大和達實）

第一二號　あせちれんヲ原料トスル有機藥品合成ニ關スル研究（第三報）（角谷清明、石井健一郎）

第一三號　臭化銀乳劑ノ製法ニ就テ（西村龍介等）

第一四號　寒天ニ關スル研究（第二報）（柳川鐵之助、西田義郎）

第一五號　銅地金分析方法ニ關スル研究（第一報）（荒木浩等）

第一六號　濕式酸化亞鉛製造法ニ就テ（入江辰雄）

第一七號　沈降法ニ依ル粉末細微度ノ測定ニ就テ（笠井圓爾、瀧井重義）

第一八號　寫眞乾板用乳劑ノ研究（宮田道雄、佐々木保）

第一九號　めちるあるこーるノ接觸空氣酸化ニ依ルふおるむあるでひどノ合成（第二報）（門脇博明、山田正盛）

第二一號　可塑物ニ關スル研究（第一報）（杉本俊三）

第一二回

第一號　せろふあんノ性狀ニ就テ（大和達實、橋本龜吉）

第三號　護謨補强充塡劑トシテかたるぽガ加硫護謨ノ物質的性質ニ及ス影響ニ就テ（加藤義信、江川宗治）

第四號　臭化銀乳劑ノ製法ニ就テ（第二報）（マックス・レオ著　西村龍介等譯）

同

第七回（第一四至一八號）第八回（第一至第一六號）第九回（第一、二、四至一二號）第一〇回（第一至一三號）第一一回（第一至八、一一至一二號）第一二回（第一至一三號）第一三回（第一至一三號）第一四回（第一至一三號）昭和二至一〇　一三　一四、一　四九八

第七回

第一八號　あせちれんヲ原料トスル有機藥品合成ニ關スル研究（第三報）（角谷清明、石井健一郎）

第八回

第三號　合成たんにん劑ノ研究（堀井正、小守久功）

第五號　硝子ノ光學恒數ト其ノ組成々分トノ關係（第二報）（高松亭）

第七號　石炭酸ふおるむあるでひど縮合物生成ノ化學機構ニ就テ（第一報）（杉本俊三、小豆嶋要）

第八號　硝子ノ各種輻射線透過性ニ關スル研究（第六報）（杉江重誠）

第一三號　Dispersoidological Investigations. XVIII-XXI.（Weimarn）

第一四號　蛋白質ニ關スル研究（第三報）（柳川鐵之助、西田義郎）

第一五號　繫留氣球々皮ノ氣密度ニ關スル研究（田中胖）

第一九號　べるがりつと護謨ノ製造法（同）

第一六號　X線分析ニヨル電鍍につけるノ組織ニ就テ（第一報）（中居富太郎）

第九回
第九號　寫眞用しやつたーノ速サ及ビ效率測定法（山部敬吉、三宅源一郎）
第一〇號　日本產松根原油ニ關スル研究（第一報）（秋吉三郎）
第一一號　とるおーるヨリべんぞあるでひど製造ニ用フル酸化滿俺ニ關スル研究（第一報）（角谷清明、山口直利）

第一〇回
第一號　有機性護謨加硫促進劑ノ比較試驗成績（田中胖、原義敬）
第二號　火炭ヨリ「アルミニウム」製造用礬土ノ生成ニ就テ（第一報）（關勇）
第一二號　鹽化かりうむト鹽素酸かるしうむトヨリ鹽素酸かりうむヲ製スル反應ノ多相平衡（竹末秀男）
第二〇號　塗料及其原料ノ試驗ニ關スル研究（第一報）（松本源、山田漸）

第一一回
第五號　もすりん布ノ漂白ニ關スル研究（宇高春風）
第一二回
第二號　膠狀液ノ凝結研究（第二報）（重名潔）

第一三回
第一號　寫眞用印畫紙乳劑ニ關スル研究（第一報）市販寫眞用印畫紙乳劑ニ就テ（西田謹次、中村眞三）
第二號　硝子用坩堝素地ノ侵蝕ニ就テ（續報）硼珪硝子ニ對スル耐侵蝕試驗（綿谷政次郎）
第三號　ふおるむあるでひどー尿素縮合物ニ關スル研究（第二報）尿素及ビ其誘導トふおるむあるでひどトノ縮合物ノ紫外線並ニ赤外線透過ニ就テ（門脇博明、笠井圓爾）

第一四回
第一號　除蟲菊ニ關スル研究（第一報）除蟲菊ノ生化學的研究（其一）豫備實驗（長澤徹）
第二號　あせちれんヲ原料トセル有機藥品合成ニ關スル研究（第五報）あせとあるではいどヨリあせとん合成ニ關スル研究（其一）あせとあるではいどトあせとんノ混合溶液ニ於ケル兩者ノ定量分析法（山田昌）
第三號　耐火物ニ關スル研究（第一報）「ムライト」質耐火物ノ性能並ビニ其他ノ用途ニ就テ（關晧之等）
第四號　濕式鑄鐵琺瑯釉藥ニ關スル研究（內田十喜治、角田秀男）
第五號　寒天ニ關スル研究（第四報）海藻寒天質ノ性狀及成分（柳川鐵之助）
第六號　ふおるむあるでひどー尿素縮合物ニ關スル研究（第四報）めちろーる尿素及めちろーる生成狀態ニ就テ（門脇博明）
第七號　琺瑯釉藥ノとめ藥ニ關スル研究（內田十喜治、玉木文男）
第八號　硫化ごむノ磨滅度ニ及ス配合劑ノ影響（宇都宮偉）
第九號　食鹽ノ精製ニ關スル研究食鹽溶液中ニ於ケル水酸化まぐねしうむノ沈降促進ニ就テ（中澤良夫、久保龍之進）
第一〇號　寫眞用臭化銀乳劑ノ生成ニ關スル研究（宮田道雄）
第一一號　ふおるむあるでひどー尿素縮合物ニ關スル研究（第五報）めちれん結合ニ就テ（門脇博明）
第一二號　金屬くろーむ製造ノ研究（佐野正夫、乘岡理雄）
第一三號　油溶性石炭酸樹脂製造ニ就テ（杉本俊三）

第一五回
第一號　ナフトール類の電解置換（第一報）βナフトールよりニトロソβナフトールの電解製造（江見浩一）
αナフトールよりβニトロソαナフトールの電解製造（同）

オホサ

第二號　硝子用坩堝素地の侵蝕に就て（續報）バリユウムクラウン硝子に對する耐侵蝕試驗（綿谷政次郎）
第三號　魚油利用に關する研究（第一報）魚油の脫臭法に就て（松本源、松尾秀郎）
第四號　第一　綿絲、綿布の低溫度に於けるアルカリ加工に就て（仙石正）
第二　冷水可溶性澱粉に就て（同）
第五號　鹽素化ゴムに關する研究（大和達實）
第六號　石膏に關する研究（利根川武）
第七號　クリオリットの人工的製造に關する研究（第三報）螢石よりクリオットの生成に就て（入江辰雄）
第八號　紅藻類海草の研究（第一報）糊用紅藻類（柳川鐵之助）
綠藻類海草の研究（第一報）一般成分並に硫酸の結合に就て　附藍藻類二種（同）
第九號　羊毛脂の精製に關する研究（都甲卯作）
第一〇號　除蟲菊に關する研究（第二報）除蟲菊の有效成分定量（其二）蚊取線香及び液體除蟲菊の分析（長澤徹）
第一一號　羊毛の鹽素化の研究（宇高春風）
第一二號　寫眞用特種乳劑の研究（宮田道雄等）
第一三號　沃素狀膠狀液製造に關する研究（重名潔）

大阪工業大學一覽　昭和五至七年度　同學編　昭和五至七　三　二九二　一五
大阪工業大學要覽　昭和四年四月至同五年三月　同學編　昭和四（昭和五年ヨリ「大阪工業大學一覽」ト改題）　一　二九二　一五
大阪工業大學冶金學科研究報告集　第一卷　昭和六年四月至同七年三月　同學冶金學教室編　昭和七　一　一四五　三〇五

オホサ

	冊	函	號
大阪工業大學例規　同學編　昭和五	一	二九二	八六
大阪古記　寫	一〇	八三九	九一
大阪小間物卸商同業組合沿革史　萩原靜三、小原千藏編　昭和三	一	五八六	四
大阪財界變遷史　國勢協會編　昭和九	一	六六七	一〇三
大阪在留支那貿易商及其の取引事情　大阪市役所產業部編　昭和三	一	五八一	一三七
〔大阪自由通商協會〕調査叢書　同會發行　昭和四、五	二	五七九	四九一
第三　專賣鹽價に關する調査（山中篤太郎）			
第五册　米穀關稅調査（笠信太郎）			
大阪自由通商協會パンフレット　同會編　昭和三	二	五四九	四〇二
第一輯　通商自由新聞雜誌論說集			
第二輯　鐵鑛關稅引上の可否			
大阪市域編入十周年記念住吉區略誌　大阪市住吉區役所編　昭和一〇	一	六七二	二六九
大阪市概觀　大阪市役所編　昭和七	一	六一〇	一四六
大阪市家屋新築狀況（大阪市商工時報第六三號）　役所產業部編　大正一五　同市	一	五二四	五六一
大阪市學事統計　大正一五年至昭和九年版　大阪市役所教育部編　昭和一二至一〇	九	三五八	一〇三
大阪市北區全圖　箕島正夫製　昭和七　六三・八〇×一〇〇・〇〇	一枚	六二五	七三
大阪市區分地圖　和樂路屋製　昭和一〇	六枚	六六六	二一〇

	冊	函	號
第一　最新東區地圖　六九・八五×五〇・七五			
第二　最新西成區地圖　七四・一五×五一・五五			
第三　最新天王寺區地圖　七四・四五×五一・七五			
第四　最新南區地圖　五二・三五×七一・三〇			
第五　最西淀川區地圖　五二・〇〇×七四・〇〇			
第六　最新大正區地圖　七三・六五×五一・〇〇			
大阪市會史　第二一卷　大正一五、昭和元年　同市役所編　昭和二	一	三三一	一五
大阪市會先例彙輯　大阪市會事務局編　昭和一〇　一八六頁	一	六九三	七九
大阪市教育要覽　大正一五至昭和四、八年度　同市役所教育部編　昭和二至九	六	二五五	七八
大阪市教育例規類纂　大阪市教育會編　昭和九	一	三五六	一三〇
大阪市工業調査書　昭和八年　大阪市役所編　昭和一〇	一	一四八	一二六
大阪市公債條例集　昭和九年版　大阪市役所庶務部編　昭和九	一	六七八	五九
大阪市工場一覽　昭和三、八年　大阪市役所產業部編　昭和三、八、八	二	五二八	二〇一
同　昭和元年末調　昭和二	一	五二八	二〇一イ
大阪市工場分布圖　同解說付　同市役所產業部製　昭和三	一	五七九	五七
大阪市財政要覽　第一四、一七輯　昭和六、九年度　大阪市役所庶務部編　昭和六、九	二	一四、四	八八九
大阪市細民街の死亡調査　（昭和九年八月）　大阪市產業部調査課編　昭和九	一	六七三	七五
大阪市細民街の出生及死產調査　大阪市產業部調査課編　昭和八	一	六三五	二九五
大阪市產業叢書　大阪市役所產業部編　昭和三至一〇	一七	五八八	七八

第一輯　大阪の帽子業
第二輯　大阪の洋傘工業
第三輯　大阪のセルロイド工業
第四輯　大阪の物價
第五輯　大阪の鉛釦工業
第六輯　大阪の琺瑯鐵器工業
第七輯　大阪の刷子工業
第八輯　大阪の莫大小工業
第九輯　大阪の小賣店調査
第一〇輯　大阪の石鹼工業
第一一輯　大阪の護謨工業
第一二輯　大阪アルミニウム工業
第一三輯　大阪の商品券調査
第一四輯　大阪の紙製品工業
第一五輯　大阪の自轉車工業
第一六輯　大阪の皮革製品工業
第一七輯　大阪の鋲力製品工業

大阪市產婆團體史　青木秀虎編　昭和一〇　三四五頁　一　五六　三七一
大阪市史　第一至第五及附圖、索引付　同市役所編　再版　昭和二　八　五七三　二一
大阪市社會事業概要　同市社會部編　昭和四　一　五九一　一〇九
大阪市社會事業統計　昭和二年　同市社會部編　昭和三至五　一　一四、四　八二〇
〔大阪市〕社會部報告　（元勞働調査報告）同市社會部調査課編　昭和二至一〇　九六　一四、五　二七

第五一號　バラック居住朝鮮人の勞働と生活
第五三號　サイモン氏の英國罷業に關する演說梗概（木南正宣譯）
第六六號　大阪市勞働年報　第二號
第五七號　大阪市住宅年報　第三號
第六二號　各國に於ける貯蓄金庫事業

オホサ

第六四號　大阪市勞働統計實地調査概要　第二回
第六五號　大阪市住宅年報　昭和元年
第六六號　大阪市工場名簿
第六九號　本市に於ける工場勞働者の貯蓄金
第七〇號　大阪市勞働年報　昭和元年
第七一號　大阪市住宅年報
第七二號　本市に於ける呉服店員の生活と勞働
第七三號　英國勞働運動の現勢
第七七號　大阪市私設社會事業便覽
第七八號　工場に於ける日用品配給施設
第七九號　本市を中心とする無產政黨運動
第八〇號　大阪市に於ける自動車學校
第八一號　集會より見たる本市の精神運動
第八二號　本市に於ける藥業商店員の生活と勞働
第八三號　少年少女の性能檢查（大阪市立中央職業紹介所編）
第八四號　鶴橋中本方面に於ける居住者の生活狀況
第八五號　本市に於ける朝鮮人の生活概況
第八九號　泉尾三軒家方面に於ける居住者の生活狀況
第九〇號　歐米各國の社會事業學校
第九一號　大阪市勞働年報　昭和二年
第九四號　六大都市市營社會事業概要
第九五號　谷町方面に於ける居住者の生活狀況
第一〇四號　大阪市社會事業綱要
第一〇五號　大阪市會議員第一次普通選擧文書戰上に現れたる政見の量的觀察
第一〇六號　大阪市住宅年報　昭和三年
第一〇八號　西野田方面に於ける居住者の生活狀況
第一〇九號　本市に於ける社會的診療機關の現況
第一一三號　派出婦及附添婦に關する調査
第一一五號　本市に於ける不良少年少女

		冊	函	號
第一一七號	給料被傭者就業時間に就て			
第一二〇號	本市に於ける朝鮮人住宅問題			
第一二一號	本市に於ける社會病			
第一二二號	大阪市住宅年報　昭和五年版			
第一二三號	なぜ朝鮮人は渡來するか			
第一二四號	水上生活者の生活と勞働			
第一二五號	大阪市工場名簿			
第一二六號	大阪の新聞資子			
第一二九號	勞働統計實地調査概要			
第一三一號	本市に於ける朝鮮人工場勞働者			
第一三二號	都市と都市社會事業資料（山口正譯編）			
第一三四號	大阪市勞働年報			
第一三七號	學校卒業者初任給調査			
第一三九號	今宮保護所の記錄			
第一四二號	大阪市家賃調査（此花區）			
第一四三號	本市に於ける朝鮮人の生計			
第一四五號	常時失業者とその率			
第一四六號	本市に於ける浴場勞働者の生活と勞働			
第一四七號	大阪市住宅年報			
第一五一號	大阪市内職調査			
第一五三號	水上生活者の社會施設調査			
第一五四號	失業者數の推定に就いて			
第一五〇號	大阪市家賃調査（西成區）			
第一五五號	大阪市の失業保護施設			
第一五六號	大阪市内職調査（メリヤス加工）			
第一五七號	大阪市勞働年報			
第一五八號	績勞働用語集			
第一六一號	登錄日傭勞働者の就勞狀況調査			
第一六二號	失業と成人教育			
第一六三號	社會事業關係法規類集			
第一六四號	失業の原因とその對策（ビヴアリッヂ著　同課抄譯）	一	四二九	一六
第一六五號	大阪市第一次家計調査報告			
第一六六號	勞働者の會計調査（昭和六年九月至同七年八月）			
第一六七號	大阪市勞働年報　昭和七年版			
第一六八號	大阪市住宅年報　昭和七年版			
第一六九號	失業者生活狀態の調査報告			
第一七〇號	大阪市失業者生活狀態調査			
第一七一號	內鮮勞働用語集			
第一七三號	大阪市要保護世帶調査			
第一七四號	家計簿より觀たる勞働者の消費量			
第一七七號	朝鮮人勞働者の近況			
第一七八號	本市に於ける共濟組合の現狀			
第一八〇號	職業婦人の社會的進出について			
第一八一號	屑物と拾ひ屋			
第一八三號	大阪市工場名簿			
第一八四號	本市に於ける優生相談所に關する資料			
第一八五號	本市に於ける家賃の推移			
第一八六號	大阪市住宅年報　昭和八年版			
第一八七號	給料生活者の家計調査（昭和七年九月一日至同八年八月末）			
第一八八號	失業問題に關する文獻			
第一九〇號	世界の失業問題			
第一九一號	女中の需給狀況について			
第一九二號	本市における社會的負擔について			
第一九三號	本市住民に關する一研究			
第一九四號	直營工事と請負工事に就いて			
第一九五號	風水害の社會的影響			
第一九六號	大阪市勞働年報　昭和八・九年版			
第一九七號	大阪市設社會事業要覽　昭和一〇年三月一日現在			
第二〇〇號	職業紹介事業關係史料			
第二〇一號	婦人職業の分野に就いて			
第二〇二號	本市に於ける家內工業の勞働事情（セルロイド加工）			
第二〇三號	勞働人口の構成とその異動			
大阪市勢要覽	昭和七、九、一〇年版　大阪市役所產業部編　昭和七至一〇	三	一四四	九〇〇
大阪市生產統計	大阪市役所編　昭和六	一	一四二	七〇五
大阪市制の沿革（明治元年乃至同十一年）	黑羽兵治郎　昭和六（明治大正大阪市史紀要第三一號）	一	一五七九	一三六
大阪市設社會事業要覽	大阪市社會部勞働課編　昭和八	一	一四五	三二七
大阪市中の區町費に就て	黑羽兵治郎　昭和七（明治大正大阪市史紀要第四八號）	一	一五七九	一三六
大阪市地質調査圖表	附圖　日本建築協會編　昭和八	一枚	六三八	一二三
〔大阪市電氣局〕電氣事業成績調書	大正一五、昭和七、八年度（第二九、三五、三六回）　大阪市電氣局編　昭和三至一〇	三	一四四	七八〇
大阪市天王寺區全圖（地番界入）	箕島正夫製　昭和七（第二五至二九、三一至三四回）　昭和元至五、七、八年度　同市役所編	一枚	三七二	五一四
大阪市統計書	昭和七年度	七	一四四	二一七
〔大阪市〕土木部所管事業概要	昭和七年一二月末現在　大阪市土木部編　昭和八	一	六〇四	八
大阪市內交通機關統制とバス問題	大阪都市協會編　昭和九	一	六七二	四一
大阪市民の所得の構成	汐見三郎　昭和五（明治大正大阪市史紀要第一三號）	一	五七九	一三六
大阪市民の消費生活	汐見三郎　昭和六（明治大正大阪市史紀要第二九號）	一	五七九	一三六
大阪市民の租稅負擔	汐見三郎　昭和五（明治大正大阪市史紀要第一九號）	一	五七九	一三六
大阪各種組合及市場一覽	昭和七年一月調査　同市產業部編　昭和七	一	三九六	二〇八
大阪市內主要商店街小賣營業調査表	大阪商工會議所編　昭和一〇	一	一五七九	一三六
大阪市に於ける信託業の發達	土井一德　昭和五（明治大正大阪市史紀要第二五號）	一	五七九	一三六
大阪市に於ける見本市並商品市	大阪市產業部編　昭和七	一	三七二	五七〇
大阪市西區〔地圖〕	箕島正夫製　昭和八　六八・五〇×五〇・七〇	一枚	六三五	四〇三
大阪市の貿易助長施設	大阪市產業部調査課編　昭和五	一	六〇四	九〇
大阪市の貿易伸展機關	（昭和九年七月）大阪市役所產業部調査課編　昭和九〔「大阪市の貿易助長施設」ノ改題〕	一	六〇四	九〇
大阪市東區全圖（地番界入）	箕島正夫製　昭和六　六二・四五×七九・六〇	一枚	三七二	四九八
大阪市風水害誌	同市編　昭和一〇　一二二六頁	一	六二七	二九八
同		一	六二七	二九八
大阪市風水被害踏査報告	大阪商科大學臺道研究會編　昭和九　謄寫版	一	六七二	二〇八
大阪市貿易調査機關の現狀	大阪市役所產業部調査課編　昭和二	一	五二四	五六四
大阪市南區全圖（地番界入）	箕島正夫製　昭和六　五三・三〇×六四・一〇	一枚	三七二	四九七
大阪市民の所得の構成	汐見三郎　昭和五（明治大正大阪市史紀要第一三號）	一	五七九	一三六
大阪市民の消費生活	汐見三郎　昭和六（明治大正大阪市史紀要第二九號）	一	五七九	一三六
大阪市民の租稅負擔	汐見三郎　昭和五（明治大正大阪市史紀要第一九號）	一	五七九	一三六

オホサ

		冊	函	號
大阪城	大阪市役所編 昭和六	一	三七三	五四三
大阪商科大學一覽	同學編 昭和四、五	二	二九三	三三
〔大阪商科大學銀行業務研究室〕調査報告				
	同學發行 昭和三、四	三	一四五	三九
第一七册	金融恐慌後の諸問題（松崎壽）			
第一八册	金輸出解禁問題の眞髓（同）			
第一九册	金輸出解禁問題の續論（同學編）			
〔大阪商科大學經濟研究所〕調査彙報				
	同學經濟研究所發行 昭和四至一〇	九	一四五	二四五
第一輯	金輸出解禁問題の經過と其影響（楠見一正）			
第二輯	深夜業禁止問題（平田隆夫）			
第三輯	米穀法實績調査（西澤基一）			
第四輯	我國最近の地租問題（藤谷謙二）			
第五輯	本邦鐵鋼業と關稅（富永祐治）			
第六輯	大阪市に於ける中小商工業金融調査 上卷 第一分册（楠見一正）			
第七輯	都市失業保險の成立過程 上卷（平田隆夫）			
第八輯	大阪市に於ける中小商工業金融調査 上卷 第二分册（楠見一正）			
第九輯	大阪市に於ける中小商工業金融調査 上卷 第三分册（楠見一正）			
大阪商科大學經濟研究年報				
	大阪商科大學經濟研究會編 昭和七至一〇	七	一四五	三〇六
第一號	ソヴイエト・ロシアに於ける農業の共同化（河田嗣郎）			
金本位制の停止と爲替の統制	（竹島富三郎）			
マルサスとリアカドウとの地代論爭	（堀經夫）			
史的世界觀と歷史派經濟學	（山口正太郎）			
フイツクスド、インヴエストメント、トラストの研究	（三木純吉）			
ゲマインシヤフト、ゲゼルシヤフト及びウイルトシヤフト	（福井孝治）			
物的二勘定系統說批判	（木村和三郎）			
公企業料金の決定に就いて	（竹中龍雄）			
新統一手形法に於ける手形の引受	（大橋光雄）			
非債辨濟と自然債務	（谷口知平）			
所得分配度統計の方法に就いて	（益田熊雄）			
第二號 我國の現在の免稅に就いて	（小山田小七）			
コロニアル・エーゼントに就いて	（淺香末起）			
ロンドンの交通發達史	（金谷重義）			
前科學的對象と科學的對象	（松井辰之助）			
經濟の空間形態	（名和統一）			
ソヴエート・ロシアの行政關係に於ける人民の權利保護制度に就て	（原龍之助）			
原型モンロー主義の起原	（飯本武雄）			
第三號 經營活動を指導するもの	（村本福松）			
火災保險料率表論	（椎名幾三郎）			
Idealtypus 概念を中心として	（勝本鼎一）			
機械文化の本質について	（關榮吉）			
朝鮮營業信託政策の特異性	（藤原泰）			
銀行恐慌と獨逸金融市場の整備	（楠見一正）			
不當利得返還義務と受益者の善意惡意について	（谷口知平）			
シスモンデイの人口收入均衡論	（岡本博之）			
第四號 米價の構成と變動形態	（河田嗣郎）			

中小工業金融機關としての貯蓄銀行及無盡	（松崎壽）			
經濟表の研究	（山口正太郎）			
Selbstfinanzierung に就て	（木村喜一郎）			
統計的景氣分析と經濟的正常均衡	（豐崎稔）			
社會保險の給付に就て	（平田隆夫）			
憲法裁判制度について	（原龍之助）			
ルーマニア信用組合運動の發展史的考察	（平賞）			
第五號 原始的人民の財産制	（田崎仁義）			
經濟的空間	（福井孝治）			
社會の基礎構造	（關榮吉）			
'Dorchester Labourers' (1834—1840) の研究	（五島茂）			
公企業に於ける出資と支配と經營との關係に就て	（竹中龍雄）			
連鎖店組織の二形態	（竹林庄太郎）			
實踐的經營學の問題	（上林貞次郎）			
アリストテレースの貨幣觀	（小泉功）			
蘭領東印度に於ける農園金融について	（吉田正三）			
第六號 商業學と經營學	（村本福松）			
國際裁判と國際調停	（恒藤恭）			
金本位の停止と貨幣價値の動搖	（竹島富三郎）			
德川時代の手形	（菅野和太郎）			
滿洲國成立と日滿關係の進展	（淺香末起）			
產業統制とアウトサイダー對策	（藤田敬三）			
Consideration（約因）理論の私法上に於ける意義	（谷口知平）			
交通に於ける自然	（富永祐治）			
行政裁判制度改正の諸問題	（原龍之助）			
第七號 農村と其の人口構成	（河田嗣郎）			

オホサ

經濟表の研究補遺（遺稿）	（山口正太郎）			
輸出統制問題管見	（尾形繁之）			
保險國營論者としてのライプニッツとワグナー	（近藤文二）			
他人資本の一考察	（木村喜一郎）			
日本民族成立の仕方	（關榮吉）			
米價の季節變動	（豐崎稔）			
幕末に於ける助鄕村疲弊の狀況	（黑羽兵治郎）			
〔大阪商科大學〕研究室彙報				
	同學商業及經濟研究會發行 昭和六	一	一四五	二八一
第一册 印度の銀行制度	（同學銀行業務研究室編）			
大阪商科大學研究叢書	同大學經濟研究會發行 昭和七至一〇	六	六一五	三二
第一册 ロバアト・オウエン著作史	（五島茂）			
第二册 景氣豫測法研究	（豐崎稔）			
第三册 ロバアト・オウエン著作史 續編	（五島茂）			
第四册 銀行簿記論	（木村和三郎）			
第五册 大阪經濟史研究	（菅野和太郎）			
第六册 續大阪經濟史研究	（同）			
同 昭和七		一	六一五	三ィ
第二册 景氣豫測法研究	（豐崎稔）			
同 昭和一〇		一	六一五	三ィ
第四册 銀行簿記論	（木村和三郎）			
大阪商科大學創立五十周年記念論文集	（商業及經濟研究記念特別號）商業及經濟研究會編 昭和五	一	五七三	二七三
〔大阪商業會議所〕統計年報	昭和元年 同議所編 昭和二	一	一四八	一七ィ

		冊	函	號
大阪商業史資料	船越政一郎編 昭和四（浪花叢書第九）	一	一五五四	一三八
大阪商業史料集成	大阪商科大學經濟研究所發行 昭和九、一〇	二	六五四	四四
第一輯	大阪商業習慣錄（遠藤芳樹編）			
鉛筆餘唾	（同編）			
第二輯	商事慣習諮問報答書（大阪商法會議所編）			
	大阪商業習慣取調書（同編）			
	商業慣例調（大阪府農商課編）			
	商業習慣調（遠藤芳樹編）			
〔大阪商工會議所〕統計年報	昭和三、九年度 同所編 昭和四、一〇〔「大阪商業會議所」統計年報」ノ改題〕	二	一四、八	一七イ
大阪商工名錄	大阪商工會議所編訂 昭和八	一	三四七	八七
大阪城誌	一名浪華誌 附錄日本城郭誌 小野清 明治三二	四	八四〇	三四ノ
大阪商船株式會社沿革大要	同社編 昭和五	一	六〇四	九一
大阪商船株式會社五十年史	同社編 昭和九	一	六七一	二
大阪社會事業年報	昭和六、七年 大阪社會事業聯盟編 昭和六、八	二	一四、五	二八三
大阪市立高等商業學校大阪商史學研究室紀要	大阪史學會發行 昭和二	一	一四、五	二〇四
第一册	佐賀藩藏屋敷拂米制度（佐古慶三）			
大阪市立工業研究所報告	大阪工業研究協會發行 昭和四	一	一四、二イ	六七六
第六回	フエノールとアルデヒドとの縮合生成物に關する研究（庄野唯衛）			

		冊	函	號
大阪人物誌	卷一、四、五 石田誠太郎 昭和二	三	一〇八	二六三
大阪すけ六心中物語	稀書複製會編 昭和九 複製	一	二一五	二九二
大阪稅關沿革史	同稅關編 昭和四	一	三一九	九四イ
〔大阪稅務監督局〕稅務統計書	大正一五・昭和元、二、五、六、七年度 同局編 昭和二至八	五	一四、四	三六七
〔大阪少年審判所〕事業報告	第一回 大正一二至一四年 同所發行 昭和二至八	四	一四、六ロ	五一
第二回	大正一二年至昭和二年			
第三回	大正一二年至昭和四年			
第四回	大正一二年至昭和七年			
大阪船漂着記	紙屋新助（南部叢書第一〇册ノ内 昭和四）	五	七四	七
大阪叢書	大阪趣味研究會發行 昭和二至四	四	一七三	一〇四
第一輯	第一、二篇 道頓堀界隈、千日前界隈（上田長太郎）			
第二輯	第三、四篇 新町、堀江界隈（潮太郎）			
第三輯	第五篇 北濱界隈（上田長太郎）			
第六篇	中の島界隈（同）			
第四輯	第七篇 堂島界隈（同）			
	第八篇 曾根崎界隈（同）			
大阪築城三百五十年記念特別展觀圖錄	大阪市役所編 昭和九	一	四三〇	二五
大阪地方裁判所管內戶籍事務協議會決議錄要旨類集	大阪區裁判所管內戶籍事務協議會編 昭和二	一	一四七	三八二
大阪地方職業紹介事務局沿革概要	大正一二年至昭和八年 同局編 昭和九	一	六七二	四九

		冊	函	號
大阪圖案家協會圖案展覽會作品集	第三至八回 同會編 昭和三至五	六	四三	二五〇
大阪帝國大學醫學部圖書追加目錄	同學附屬圖書館編 昭和八至一〇	三	六三八	六〇
第五號	昭和七年四月至同八年三月			
第六號	昭和八年四月至同九年三月			
第七號	昭和九年四月至同一〇年三月			
大阪帝國大學一覽	昭和八至一〇年度 同學編 昭和八至一〇	三	二八一	三六
大阪帝國大學工學部研究報告	（別刷集）第一、二號 同學工學部編 昭和一〇	二	一四、五	四八三
大阪帝國大學創立史	西尾幾治編 昭和一〇 四一三頁	一	二八一	四三
大阪帝國大學數學講演集	同學數學談話會編 昭和一〇	一	一四、五	四八〇
第一 過渡期の數學	（高木貞治）			
大阪帝國大學附屬圖書館圖書追加目錄	同學附屬圖書館編 昭和七 第四號 昭和六年四月至同七年三月	一	六二八	六〇
大阪帝國大學理學部研究報告	（別刷集） 同學編 昭和九、一〇	五	一四、五	四〇六
第一類	數學 第一卷			
第二類	物理學 第一卷			
第二類	同 第二卷			
第三類	化學 第一卷			
第三類	同 第二卷			
大阪遞信局管內電氣事業要覽	同局編 昭和五至一〇	五	一四、四	八四四
大阪鐵道局年報	昭和三至六年度 同局編 昭和五至八	四	一四、四	八四三

		冊	函	號
大阪特許法施行五十年記念會報告	大阪發明協會編 昭和一〇	一	六七三	二五七
大阪夏祭提燈考	藤里好古 昭和八（上方叢書第一篇）	一	六三一	二四七
大阪に於ける橋梁政策の變遷	近藤文二 昭和五（明治大正大阪市史紀要第二四號）	一	五七九	一三六
大阪に於ける幕末米價變動史	鈴木直二著 昭和一〇 三四〇頁	一	六八九	二三
大阪の商業と近江商人	菅野和太郎 昭和五（明治大正大阪市史紀要第二〇號）	一	五七九	一三六
大阪の陣	大野靜馬 昭和四	一	五九六	三三一
大阪の話	藤澤桓夫 昭和一〇 三五六頁	一	六八八	六三
大阪誹歌仙	稀書複製會編 昭和四	一〇	一〇三	四一九
大阪放送局沿革史	同編纂委員編 昭和九	一	六六二	一五六
大阪訪碑錄（稿本）	木村敬二郎編 昭和四（浪花叢書第一〇）	一	五五四	一三八
大阪府泉北郡濱寺町誌	濱寺町役場編訂 昭和九	一〇	六五三	二六七
大阪府鄉社現行特殊慣行神事	大阪府學務部編 昭和九	一	六五三	三三三
大阪府學事統計速報	昭和七年度 大阪府內務部統計課編 昭和九	一	二五八三	一七
大阪府下市町村財政概要	大阪市役所監查部編 昭和八	一	一四、四	九四一
大阪府下峠區地之概報	中央氣象臺編 昭和七	一	一四、六二	三一九

		冊	函	號
大阪府郷土史の研究	魚澄惣五郎　昭和一〇（思想叢書第五篇）	一	六七三	六三
大阪府郷土博物誌	第一輯　大阪博物學會編　昭和九	一	六七二	五
大阪府金融概覽	同府内務部商務課編　昭和五	一	一四、四	八四八
大阪府會史	第三編　上、下卷　大阪府内務部編　昭和八	二	六四〇	五二
大阪府官幣社現行特殊慣行神事	同府編　昭和五	一	六〇四	八〇
〔大阪府〕米統計	昭和八年　同府内務部編　昭和九	一	一四、二	三一九
〔大阪府〕米麥基本調査結果表	第四回　昭和六年　同府内務部編　昭和七	一	五七九	二八〇
大阪府産業組合史	産業組合中央會大阪支會編　昭和三	一	五八八	九八
大阪府産業組合成績要覽	昭和五年　同府内務部編　昭和七	一	一四、二	二四六
大阪府産業工藝博覽會記念誌	大阪府工藝協會編　昭和一〇　一五八頁	一	六九一	一七
大阪府史蹟名勝天然記念物	第三至五册　同府學務部編　昭和三至六	三	一四、五	二三三
大阪府史蹟名勝天然紀念物調査報告	第一至六輯　同府編　昭和五至一〇	六	一四、五	二三三
大阪府市に於ける社會事業概觀（公民教育資料）	大阪市青年訓練所共同研究會港區支部編　昭和七	一	二七五	六五
大阪府市名譽職大鑑	第二編　自治名譽職協會編　昭和一〇	一	六三八	一五四
大阪府商勢概要	大正一五、昭和元年　同府内務部編　昭和二	一	五二八	二二五
同	昭和四年　同府内務部編　昭和五	一	五六三	四三一
大阪府社會事業要覽	同府社會課編　昭和九	一	一四、五	三三五
大阪府人口統計速報	昭和四年　同府編　昭和五	一	一四、四	八四六
大阪府人口ノ速報	同府内務部編　昭和八、九〔大阪府人口統計速報」ノ改題〕	一	一四、四	八四六
大阪府神社史資料	同府編　昭和八	一	六三六	九二
大阪府生産統計之概要	大正一四至昭和四、六、七年度　同府總務部統計課編　昭和二至九	七	一四、二	一五七
大阪府消防統計	同府警察部編　昭和二至八年	七	一四、六	四九
大阪府〔地圖〕	木崎盛政製　昭和七　七二・六〇〆	一枚	六三一	一〇三
大阪府〔地圖〕	和樂路屋製　昭和一〇　七三・〇×四九・八〇	一枚	六八三	二〇
大阪府統計書	大正一四至昭和二、四至六年　同府統計課編　昭和二至八	六	一四、四	一八
大阪府に於ける恩賜財團濟生會救療事業の概説	大阪府豐能郡　止々呂美村誌　小上奮諄編　昭和六	一	六一〇	一〇〇
大阪府農業能率調査會報告	同會編　昭和五	一〇	五七九	四七五
大阪府の産業組合一斑	産業組合中央會大阪支會編　昭和七	一	六〇五	一〇四
大阪府の史蹟と名勝	同府編　昭和七	一	三七二	五七五
〔大阪府立北野中學校〕創立五十周年	同府立北野中學校六陵同窓會編　昭和八	一	六三二	一八
〔大阪府立産業能率研究所〕業務概要		一	二七三	三四

		冊	函	號
大阪府立産業能率研究所研究報告	同所編　昭和二	一	五三四	六九一
	同所發行　昭和二、七	二	五三四	七二六
	第三號　作業の生理學的研究　第一回報告　作業速度ニ就テ（馬淵秀夫、池側實）			
	第二三號　工場管理指導（同所編）	一	二七八	七イ
大阪府立圖書館要覽	昭和三年三月現在　同館編　昭和三	一	五七九	八一
大阪府立圖書館貴重圖書目錄	同館編　昭和三	一〇	三一七	三八
大阪府立圖書館增加和漢圖書目錄	第一六至二五册（大正一四至昭和一〇年）大正一五至昭和一〇	一	五七九	一七四
大阪府立圖書館記念會記事	同今井貫一君在職二十五年記念會編　昭和三	九	二七八	七
大阪府立圖書館年報	（第二三至三一）大正一五至昭和九年　同館編　昭和二至一〇	一〇	四一四	三八
大阪文樂座人形畫集	第五至一一段　林棠吉編　昭和五	一四	一四、八	八三
大阪貿易彙纂	大正一五至昭和九年　同府商品陳列所編　昭和二至一〇	一〇	六八一	一一三
大阪保譽院記念帖（社團法人）	同院清算事務所編　昭和一〇　六八頁	一	五八七	二二八
大阪毎日新聞五十年	同社編　昭和七	一	五六五	三一六
大阪毎日新聞慈善團二十年史	同團編　昭和六	一	一四、六	二三三
大阪毎日新聞慈善團報告（財團法人）	第一七回　昭和二年度　同團編　昭和二	特 一〇	八三九	二一
大阪物語	古活字本	一	六四八	五九
大阪模範產業大鑑	昭和八年版　關西工業宣揚會編　昭和八			
大阪府立産業能率研究所研究報告	大正一四、一五年度　同所編　昭和二	一	五三四	六九一
大阪府薬種業誌	第一卷　同誌刊行會編　昭和一〇	一	五〇	四一九
大薩摩の代々	宮内壽松編　昭和五	一	五七七	一三八
同		一	五七七	一三八イ
大澤善助翁	同翁功績記念會編　昭和四	一	五九四	一三三
大時代唐土化物	振鷺亭（はけものお昆じだいからの）著　勝川春亭畫　文化八〔題簽ニ「大時代化物はなし」トアリ〕	特 三	〇 京	四〇七
大鹽平八郎	眞山青果　昭和二	一	五六八	一七
大島家史と其郷土誌	大島正德編　昭和八	一	六四〇	七三
大島見物二人行脚	附下田案内　中島薄紅　昭和八	一	六四七	七
大島萬世歳曲集	同人　昭和一〇　三九八頁	一	六九二	二七
大島筆記	戸部良熙（海表叢書卷三ノ内　昭和三）		五六六	一五
同	（南蠻紅毛史料第一輯ノ内　昭和五）		五六六	一五イ
大島療養所二十五年史	同所編　昭和一〇	一	五三	三六六
大上藹御名之事	（群書類從第二三輯武家部ノ内　昭和五）		五八三	一四
同	（新校群書類從第一八卷武家部ノ内　昭和七）		五八四	五
大杉榮遺稿（未刊）	安谷寬一編　昭和二	一	五七〇	八一
大杉榮隨筆集	安成二郎編　昭和二（明治大正隨筆選集一一）	一	五二九	三六
大瀧博士古稀祝賀記念論文集	東京文理科大學教育學會編　昭和一〇	一	三五九	六六七
大空（俳句集）	尾崎放哉　昭和八	一	六三三	一三〇
大空に描く	邦枝完二　昭和四	一	五六八	三五五

		冊	函	號
大空に飛ぶ	北村兼子 昭和六	一	五九九	三一八
太田城水攻史	田中敬忠編 昭和二	一	五七七	九
太田盛衰記	吉原趙(干城) 昭和一〇 二七四頁	一	六九九	二九
太田道灌と其の時代	松井庫之助 昭和五	一	五七八	三〇六
大館叢書	第一、二卷 大館史談會編 昭和七、一〇	一〇二	三三三	三六六
大館常興書札抄	(群書類從第九輯消息部ノ內 昭和四)		五八三	一四
同	(新校群書類從第六卷消息部ノ內 昭和六)		五八四	五
大谷嘉兵衞翁傳	同翁頌德會編 昭和六	一	五五四	二四〇
大谷光瑞全集	同人 昭和九、一〇	一三	六七三	一七
第一卷	經典篇			
第二卷	經典篇			
第三卷	經典篇			
第四卷	經典篇			
第五卷	經典篇			
第六卷	教義篇			
第七卷	處世篇			
第八卷	趣味篇			
第九卷	漫筆篇			
第一〇卷	論索篇			
第一一卷	經典篇			
第一二卷	隨筆篇			
第一三卷	經典篇			
大谷大學要覽	昭和二年九月一日調、昭和四年七月調 同學編 昭和二、四	二	二八五	二五

		冊	函	號
大谷大學國史研究會紀要	第一册 昭和二年至同三年度 同會編 昭和三	一	五七九	五三
大谷大學和漢圖書分類目錄	同學圖書館編 昭和七至一〇	三	五四〇	四三
第二(大正一三年一〇月至昭和七年七月增加)				
第二 第四門至第一〇門(大正一三年一〇月至昭和七年七月增加)				
第二(大正一三年一〇月至昭和七年七月增加)索引				
大谷派社會事業要覽	大谷派社會事業協會編 昭和一〇	一	六六六	二四九
大谷派達令類纂	華房義溫編 昭和八	一	六一九	二三〇
太田秀穗氏還曆記念文集	太田秀穗氏還曆祝賀會編 昭和一〇	一	六一二	二六九
太田吉岡村誌	荒木誠一編 大正一三	一	五三四	二イ
大地主神の一則	本居內遠著 本居豐穎校 本居清造再校(增補本居宣長全集第一二本居內遠全集ノ內 昭和二)		四一	九八イ
おほぢの面影	鈴木好太郎編 昭和八	一〇	二三三	四三九
大津繪	旭正秀 昭和七	一	六一七	二五七
大東寫眞修整術	上卷 大東昌可 昭和五	一	六〇八	二〇〇
大塚地理學會論文集	同會編 昭和八至一〇	六	六四〇	三七
第一輯	濕美濱名地方の地形 (淺井治平)			
	伊豆大島の概觀 (井上春雄)			
	地誌研究の對照として見たる房州 (尾崎盾四郎)			
	海岸地形の變遷と聚落移動の事實 (金尾宗平)			
	都市勢力圈決定因子としての電信電話爲替の統計學的研究 (川口丈夫)			
	石見長濱の所謂霞石玄武岩臺地及其附近の地質概報 (下間忠夫)			
	地形圖上に見る最近の地殼運動の二三例に就いて (田山利三郎)			
	薩摩半島に於ける三つの海岸地形に就きて (瀧本貞一)			
	丹那盆地(火山錐面の地形的斷裂) (辻村太郎)			
	水蝕作用に於ける砂礫に就いて (富田芳郎)			
	滿洲の獨り水 (新帶國太郎)			
	關東地方の經濟區に就きて (富士德治郎)			
	狹山丘陵成因の考察 (藤本治義)			
	日本の古代人文地理研究に就いて (松下清雄)			
	等溫線の型に就いて (山極二郎)			
	旭町附近の低地に於ける二つの問題 (山本幸雄)			
	類型科學としての地理學 (依田豐)			
	阿片に就いて (下田禮佐)			
	經濟地理學發達の經路に就いて (田中秀作)			
	棒太惠須取町概況 (河田喜代助)			
	宮津灣附近の地學的意義 (山口俊策)			
	福知山盆地の地理學的考察 (芦田完)			
	廣島縣帝釋臺カルストの特色 (吉野益見)			
	遊東半島の海岸地形に就いて (花井重次)			
	地理的に見たる遠州疊表 (和田數雄)			
	南會津の谷盆地耕地作景 (室井榮)			
	レニングラードの地理學博物館を語る (內田寬一)			
	酒田港 (長井政太郎)			
	善光寺平及飯山平に於ける小研究(小序) (田中啓爾)			
	(一) 信州中野扇狀地に於ける聚落に就いて (青野壽郎)			
	(二) 信州北部に於ける二三の畑作に就いて (安達茂夫)			
	(三) 信州飯山町を中心としたる物資の流動に就いて (蛭田浩一郎)			
	(四) 信州飯山附近に於ける二三の斷層地形に就いて (三野與吉)			
	(五) 信州飯山平の冬籠期に於ける製絲及疊表の生産地帶に就いて (枡田一二)			
	中央日本に於ける海岸平野の人文地誌學的研究概報 (田中啓爾)			
第二輯(上)	石川縣絹業地帶の工業地誌學的研究 (幸田清喜)			
	四國太平洋岸の漁港に就いて (河野正直)			
	信州佐久平に於ける用水の地理學的研究(第二報) (蛭田浩一郎)			
	肱川下流に於ける侵蝕面に就いて (三野與吉)			
	湖沼標式の分類 (吉村信吉)			
	水產地理學上より見たる外房沿岸漁村 (青野壽郎)			
	會津盆地に於ける農業地理學的考察(第一報) (安達茂夫)			
	富士川下流々域の地形 (井上春雄)			
	越後平野に於ける河川境界に就いての政治地理學的研究 (岩田孝三)			
	遊東半島南部に於ける漢民族移住の地理的考察 (傳士俊)			
	地方都市の商圈に關する一考察 (磯崎優)			
	上越國境南北斜面に於ける地域性の對比に就いて (田中啓爾)			
第二輯(下)	北海道人口の地理學的研究(第一報) (川口丈夫)			
	輪島漆工業の地理學的研究(第一報) (小山嘉壽榮)			
	大和川舊河床地域の文化景觀の進化 (櫻井豐記)			

オホツ

	冊	函	號
人口減少村分布の地方的特色について（武見芳二）			
都市地理學研究法序說（西田與四郎）			
甲府盆地南緣の地形と其の成因に就いて（豫報）（花井重次）			
本邦に於けるラモント法則の適用について（福井英一郎）			
濟州島海女の地誌學的研究（枡田一二）			
本邦の逆デルタの研究（山本幸雄）			
熱海初島における耕地と戸口との關係の一面について（内田寛一）			
南伊豆地域における特殊栽培景の地理學的分析（小黒進）			
濱名湖附近の農業地理的考察（大塚加賀次）			
我が三巨人都市の吸引人口（武見芳二）			
北上川流域に於ける鹽及魚の移入路（田中啓爾）			
岡山平野の地誌學的研究（平尾貫）			
濟州島の畜産に就ての地理學的研究（枡田一二）			
阿武隈高原の一部、夏井川附近に於ける平坦面に就いて（三野與吉）			
日本内地の内灣の沿岸漁獲物による標式——綜合海洋學的研究　第一報（吉村信吉）			
房總半島西岸漁村の水産地理學的研究（第一報）（青野壽郎）			
紀伊半島沿岸に於ける農業景觀の地域性上より見たる梅園及桑園に就いて（岩崎健吉）			
大都市乘車交通論より觀たる東京市の地域性（中山喜）			
耕地の區劃細分の傾向について（東京府下宮下の例）（内田寛一）			
生産・交易・消費人口の構成から觀たる本邦都市の研究（鹿又義英）			
第四輯　丹澤山地東南山麓地域の地形に就て（第一報）（花井重次）			
新潟縣下に於ける積雪の地域的研究（概報）（福井英一郎）			
米澤市内に於ける屋敷割と屋敷内の土地利用の變遷（和田數雄）			
武藏野の計畫的開拓の一例（上）（武藏野町西窪について）（内田寛一）			
大和川舊河床地域の村落境界（櫻井豐記）			
近江盆地に於ける鐵道開通前の鹽及び魚の移入路について（田中啓爾）			
靜岡地方に關する分擔研究（小序）（田中啓爾）			
靜岡市を中心とする茶業の地理學的研究（矢島仁吉）			
靜岡市の小工業地域（尾原信彦）			
清水市の歷史地理學的研究（第一報）（淺香幸雄）			
靜岡縣久能山南麓に於ける早期苺栽培の立地に關する研究（伊藤郷平）			
安倍川及び大井川上流地域の人文地理學的考察（概報）（上野福男）			
靜岡地方に於ける果樹栽培地域の研究（喜多村俊夫）			
濟州島人の内地出稼に就て（枡田一二）			
中豫地方に於ける水稻栽培の地域性（中豫地方の農業地誌第一報）（村上節太郎）			
富士火山西南斜面の地誌學的研究（一）（山麓及び裾野について）（村木定雄）			
宮津灣附近に於ける漁業の地域性（山口俊策）			
丸龜平野に於ける灌漑の地理學的研究（位野木壽一）			
城下町轉移の地理學的研究（特に高崎に就いて）（上原德）			
武藏野の計畫的開拓の一例（下）（武藏野町西窪について）（内田寛一）			
我が國に於ける地理的南北性（第一報）（田中啓爾）			
大塚博士講義集　大塚保治　昭和八	一	六三六	六八
第一卷　美學及藝術論	一枚	洋	五八イ
オホツク海諸分圖　第一　水路部製　昭和七　九六・五〇×六六・五〇	一枚	露	六五イ
オホツク海北東部　ペンジンスキー灣　水路部製　昭和七　六六・五〇×九六・六〇	一	六〇〇	二七五
大津事件顚末錄　兒島惟謙著　花井卓藏校　昭和六	一〇	五四九	四八六
大津市三十年史　中村五十一郎（紅雨）編　昭和三	一	六一〇	一五一
大津町誌　同町編　昭和七	一	五六八	三四三
お坊ちやん（戲曲）　門脇陽一郎　三版　昭和四	一	一八八	六一三
大坪流全相傳　湯淺五郎、織茂幸次郎編　昭和二	一〇	八四一	二〇六
大坪流馬道秘書　寫	一	五八一	一一九
大妻技藝叢書　目黒書店發行　昭和三			
第二　婦人子供洋服の製圖と裁縫（加藤兼吉）	一	六一八	九
男大迹部志　伊藤百助編　昭和七	一	一四四	七六五
大泊町統計書　第一回　昭和二年　同町役場編　昭和二	一	六六五	二二四
大伴家持の研究　瀨古確　昭和一〇	一	五八四	五
大友記（新校群書類從第一七卷合戰部ノ内　昭和五）	八	五五五	五一
大西猪之介經濟學全集　同人　昭和二、三			
第一卷　經濟學認識論	一	六八二	六五
第二卷　經濟原論　上卷	一	六一〇	一八三
第三卷　同　下卷	一	五九四	一三七
第四卷　經濟學研究	一〇	六二五	一九八
第五卷　經濟史　上卷	一	六五六	二〇七
第九卷　帝國主義論　附錄　三篇	一	五七六	一三四
第一〇卷　社會主義論	一	六一八	一一三
第一一卷　文明批評	一	二七八	二四六
大西良慶先生講話集　同人　昭和一〇　三八二頁	一	六五三	一六五
大野郡人物誌　福井縣大野郡教員會編　昭和七	一	一六五	一一〇
大野町史　佐野重造編　昭和四	六	二七八	三
大野乘資と其の先世及後孫（南朝忠臣）　中村德五郎　昭和七			
おほばこ　服部畊石　昭和九			
〔大橋研究所〕創業三週年記念報告　大橋研究所編　昭和四			
大橋佐平翁傳　坪谷善四郎編　昭和七			
大橋圖書館諸規程（財團法人）　昭和一〇年一〇月一日現在　同館編　昭和一〇			
大橋圖書館件名和漢書目錄列冊　スキー、スケート　同館編　昭和八			
大橋圖書館按及意匠に關する圖書目錄　同館編　昭和三			
大橋圖書館年報（財團法人）　同館編　昭和二至一〇			
第二一回　大正一一年七月至昭和二年六月			

		冊	函	號
第二二回	昭和二年七月至同三年六月			
第二三回	昭和三年七月至同四年六月			
第二四回	昭和四年七月至同七年六月			
第二五回	昭和七年七月至同九年六月			
第二六回	昭和九年七月至同一〇年六月			
大濱町誌	石川松衛編　昭和四	一	五九四	一三八
大原郷土誌稿	第一輯　俚諺集　難波剛二編　昭和八	一	六三一	二七五
大原社會問題研究所アルヒーフ	同所發行　昭和五	一	一四、五	一五一
第三	邦譯マルクス、エンゲルス文獻（内藤越夫編）			
大原社會問題研究所叢書	同人社發行　昭和二	一	五〇五	五九イ
第七	産業民主制論（ウエツプ著　高野岩三郎譯）			
大原農業研究所概要（財團法人）	同所編　昭和一〇	一	六七二	一七一
大原農業研究所特別報告	大原奨農會發行　昭和三	一	一四、二イ	四八三
第四號	日本産禾本科植物の「ヘルミントスポリウム」病に關する研究（西門義一）			
大祓詞註釋大成	下　宮地直一等編　昭和一〇	一	六九七	二一
大番頭小番頭	佐々木邦　昭和八	一	六四三	九三
大平山、筑波山	寫（元治元年水戸藩天狗連ニ關スル記錄）	一〇	八四一	一三〇
大間書	（群書類從第七輯公事部ノ内　昭和四）		五八三	一四
同	（新校群書類從第五巻公事部二ノ内　昭和七）		五八四	五
大曲町郷土史	附錄付　大山順造編　昭和九	一	六四〇	二五一
大町桂月翁の思ひ出	久保田辰彦　昭和四	一〇	五九〇	一九二
大町桂月集（新選）	同人　昭和五	一	六〇三	一六六
大的躰拜記	（群書類從第二三輯武家部ノ内　昭和五）		五八三	一四
同	（新校群書類從第一八巻武家部ノ内　昭和七）		五八四	五
大道廼志流弊	矢野玄道　明治五　手稿本	特 七〇	八二九	一〇
大湊町誌	笹澤魯羊編　昭和一〇　一三四頁	一	六六六	三三四
大峯山脈及大臺ヶ原山近傍（五萬分一）	陸地測量部製　昭和七　九五・三五×七二・三〇	一枚	六二五	三三
大峰山脈と其溪谷	中川秀次、富川清太郎　昭和九	一	六五七	一二
大三輪神三社鎮座次第	（群書類從第一神祇部ノ内　昭和一八）		五六六	六一
同	（新校群書類從第一巻神祇部ノ内　昭和七）		五八四	五
大牟田（縦行二四横行三四圖幅第二八五號）地質圖	同説明書共　地質調査所製　昭和九	一枚一冊	二	六三九
大村嘉代子戯曲集	同人（舞臺叢書第三巻）　昭和七	一	六二三	七八
大村藩の醫學	深川晨堂　昭和五	一	六〇	一〇二
大森耕地整理組合地區確定圖	都築庸二製　昭和一〇　九七・九五×六九・七五	一枚	六二八	一三三
大森鍾一	故大森男爵事歴編纂會編　再版　昭和六	一	五五四	三二
大森町政提要	同町役場編　昭和二	一	五六五	二〇五
公の秩序に對する犯罪に關する比較法制論	其一、二　司法省調査課譯（司法資料第一〇一、一〇二號）	二	一四、五	五四
大鎧海老洞篠塚（オホヨロヒエビドウシノヅカ）	鳥居清長畫　圖説復版會編　昭和一〇　複製	一〇	六七	四〇六
大脇順若翁傳	寺石正路編　昭和五	一〇	二〇五	三二一
おまつり帖	祭禮文化お祭博覽會協賛會編　昭和九	一〇	六三三	四九
お前と私（ボオル・ジエーラルデイー）	ジエラルデイ著　西尾幹子譯　昭和九	一	六五六	一〇四
お前の身體はお前のものだ	マルグリツト著　木村幹譯　昭和五	一	五一七	六七九
お土産に代へて	齋藤幸太郎　昭和三	一	五七八	二六一
御室花鳥名作集	後藤博山編　昭和三	一	四二八	一三〇
御室の櫻	香山益彦　昭和六	一	六〇八	一八三
御召御鎧新製御註文留	山崎半也編（天保年間）寫（仙臺藩主用鎧ノ留書ナリ）	一〇	二一七	一九〇
面影	小倉和一郎編	一	五三六	三七二
面影	（僕の素描）　林芙美子　昭和八	一	六四八	一〇〇
面白いつとめ人達の記（變つた）	福士繁吉　昭和三	一	五七八	一八五
面白い世界數學者物語（おもしろい）	山根稔　昭和一〇　四四七頁	一	六八七	一三〇
面白い時計の歴史（おもしろい）	イリイン著　玉城肇譯　昭和一〇　一二五頁	一	六八三	五一
面白い設計と工作（模型の）	山田義郎　昭和五	一	六〇六	五九
面白い野球の見方	附　最新野球規則　安倍壽美　昭和二	一	五六九	二八
面白き蟲界の教材	松村松年　昭和三	一	五八八	一六
面白く學ばせる低學年の算術教育	藤原安治郎　昭和七	一	二六三 四	一七六
おもちや繪本	その一、その二、その三、その四至その六　有坂與太郎　昭和二、三	五〇	二五七	七八
おもちや畫譜	第一至一〇集　川崎巨泉　昭和七至一〇	一〇	三三三	三九九
おもちや葉奈志	有坂與太郎　昭和五	三〇	一五七	一一〇
その一	今戸人形			
その二	おまつり			
その三	招猫			
思つたまゝ	武者小路實篤　昭和三	一	五六九	九三
オモトと蘭の作り方	橋本八重三（墨花）　昭和二	一	五七一	二七
おもとの知識	附　朝顏、菊培養法　渡邊虎雄　昭和二	一	五七一	二
萬年青百種大觀	橋本八重三（墨花）　昭和二	一〇	一七〇	九五
主な増加書の知らせる	第四五號　成田圖書館編　昭和八	一	六二五	三九九
思はざる收穫	（佛蘭西文藝隨筆）　内藤濯　昭和一〇	一	六三二	一〇九
おもひくさ	一名乎波那賀毛登　本居宣長著　本居豐頴校　本居清造再校（増補本居宣長全集第九ノ内　昭和二）	四一イ	九八	
思ひ出	西田天香　昭和一〇　一九〇頁	一	六八一	九
思ひ出	マイヤー（ルステル著）　木村謹治譯　昭和七（世界名作文庫第二一七）	一	六三〇	一
思ひ出を語る	小笠原長生　昭和四	一	五五六	三〇六
思ひ出を語る	高橋是清等著　讀賣新聞政治部編　昭和九	一	六六一	一一三

		冊	函	號
思ひ出草（二黒の巻）	下村宏　昭和三	一	四五〇	一〇〇
思ひ出くさ	逸見義亮編　昭和三	一〇	一一二	二六一
おもひで日記	入江たか子　昭和七	一	三七三	五九七
思出の記	入澤達吉　昭和七	一	六三一	一七八
想ひ出の記	ラスキン著　御木本隆三譯　昭和七	一	六二三	九四
思ひ出の日露戰爭	ハミルトン著　松本泰譯　昭和一〇	一	六六二	一七一
思ひ出のメロディー（樂聖逸話集）一編	昭和一〇　小松耕輔、萩原英一　二五七頁	一	六三二	二一五
おもひのまゝの日記	二條良基（群書類從第二八輯雜部ノ內　昭和八）	五八三	一四	
同おもひのまゝの日記	（新校群書類從第二一卷雜部ノ內　昭和五）	五八四	五	
思ひよる日（增補一）	古筆了仲編　明治一一	一〇	八四三	九五
思ふことが自在になる觀音信仰の念力	深谷瑞輔　昭和六	一	六〇九	二七六
思ふまゝ（隨筆一）	高島米峰　昭和二	一	五七〇	三三
思ふまゝ	武藤山治　昭和八　三六五頁	一	六四四	一六三
同		一	六四四	一六三イ
思ふまゝに書ける最新速記術の學び方	加藤瀧　昭和八	一	六四二	八四
親心のゆくへ	高崎龍樹　昭和九	一	二七一	一五一
親子・夫婦・兄弟	石川千代松　昭和六	一	六〇九	二四六
親と教育者の爲めの思想問題小話	高橋渡　昭和八	一	六四四	五三
親馬鹿の記（隨筆集一）	水上瀧太郎　昭和九	一	六五六	二三四

		冊	函	號
親分子分（政黨編）	白柳秀湖　昭和七	一	三三八	八〇
同（俠客編）	昭和五	一	三三八	八〇イ
同（浪人編）	昭和五	一	三三八	八〇ロ
同（英雄編）	訂　昭和四	一	三三八	八〇ハ
小山鄉土之由來	神藤昌三編　昭和二	一	五二四	五九二
御ゆとのゝ上の日記	第一至第六（群書類從補遺雜部昭和七至九）	五八三	一四	
泳ぎ方の新研究	京田武男　昭和二	一	五七一	一七
俺らが濱名湖	横井道孝　昭和七	一	六三九	一六
おらが春	小林一茶（一茶叢書第九編小篇三十種下ノ內　昭和五）	五四八	五九	
同	小林一茶著　茨原井泉水校（岩波文庫七四ノ內　昭和二）	五六九	一四	
喝蘭演戲記	筒井政憲　二卷（海表叢書卷二ノ內　昭和三）	五六六	一五	
同	（南蠻紅毛史料第一輯の內　昭和五）	五六六	一五イ	
和蘭陀海鏡書和解	本木良永譯（海事史料叢書第五卷ノ內　昭和四）	五九三	一七	
和蘭陀靴の秘密	クイーン著　露下弾譯　昭和一〇　三四七頁	一	六八八	二四
和蘭陀館集	洪洋社編　昭和五	一	五六二	一六七
和蘭語文典	日蘭通交調査會編　大正七　二〇六頁	一	三三三	二八六イ
和蘭雜話	幸田成友　昭和九	一	六六一	一七三
阿蘭陀更紗	小川三樹編　昭和二	一	四二一	一〇〇
喝蘭新譯地球全圖	橋本宗吉編（寛政）	特帖一	二	一二四

和蘭の印象と國際法廷の九箇年	織田萬　昭和九	一	六六〇	一八九
和蘭文典（訓點一）	安政四　三五丁	一〇	二三九	一三一
和蘭問答	（海表叢書卷二ノ內　昭和三）	五六六	一五	
同	（南蠻紅毛史料第一輯ノ內　昭和五）	五六六	一五イ	
和蘭夜話	幸田成友　昭和六	一	六〇七	三五〇
同		一	六〇七	三五〇イ
オリヴァー・ツウィスト	ディツケンス著　馬場孤蝶譯　昭和四（世界大衆文學全集第九卷）	一	五六九	六一
汚隆龜鑑	三浦無窮子　寫	一〇	八四一	一七五
同	寫	一〇	八四一	一七五イ
同	〔明治三四〕寫	一〇	八四一	一七五ロ
オリエント煙草	栗林源十郎編　昭和八	一	六五三	八七
おりがみ	上、下　本多功　昭和六	二	六〇六	四一〇
同	昭和八	一	六四三	八五
折紙模様	上　河原崎晃洞　昭和一〇	一〇	四三〇	六一
折たく柴の記	上、中、下　新井白石　明治一四	三〇	八三八	二一
折焚く柴の記新註	筧原節二　昭和一〇　二七四頁	一	六一七	三〇〇
折箱の知識	飯塚幸之助　昭和一〇　二〇七頁	一	六八八	一〇五
オリムピックを東京へ	寺部頼助　昭和九	一	六五七	二二六
オリムピック大會報告	第一〇回　大日本體育協會編　昭和八	一	六四八	六九
オリムピック大會報告	第一〇回　日本陸上競技聯盟編　昭和九	一	六五七	一三一
オリムピックの話	小高吉三郎（民衆文庫第六五篇）昭和七	一	雜五六	五七
オリンピックファンに捧ぐ	（見たまゝ感じたまゝを）山添善治　昭和八	一	五九七	四四四
オリンピックより歸りて	第九回オリンピック水泳報告　日本水上競技聯盟編　昭和四	一	五九七	四三
織物講話	丹羽昇一　昭和八	一	六四二	七三
織物雜考	中原虎男　昭和二	一	五七一	一一三
同	訂再版　昭和九	一	五七一	一一三イ
織物仕上法	池田伊介　訂九版　昭和四（實用工藝叢書第一）	一	三三〇	四八イ
織物統計表	昭和三年　埼玉縣編　昭和四	一	一四二	六三三
織物の知識	西田博太郎（婦人講座第五四篇ノ內　昭和九）	雜	五一	四五
オルガン曲集	春秋社編　昭和一〇（家庭音樂全集第七卷）	一	六七四	二四
オルガン曲集	草川宣雄編　昭和六（世界音樂全集第一五卷）	一	八三	四四一
オルガン奏法	黒澤隆朝　昭和四（洋樂叢書第六冊）	一	五七二	四三

		冊	函	號
オルガン獨奏名曲集	眞篠俊雄等編 昭和七（世界名曲大系第三輯オルガン名曲全集第三巻）	一	四二六	一三
オルグ	小林多喜二 昭和六	一	六〇三	三一一
オルフェ	コクトオ著 堀口大學譯 昭和四	一	五六八	三九七
俺は男だ	本田美禪 昭和四	一	五九六	二一九
おろかおい	足代弘訓 寫	特 二〇	二一六	九六
卸賣物價統計月報	昭和二年一月至同三年一二月 商工大臣官房統計課編 昭和四	一	一四四	七六三イ
卸賣物價統計表	明治三三至昭和二年 商工大臣官房統計課編 大正一五至昭和六	三	一四四	七六三
同	明治三三年至大正一四年 昭和二	一	一四四	七六三イ
卸小賣標準簿記	日本商工會議所編 昭和一〇（實用標準商店簿記第二巻）	一	六八五	一一三
ヲロシヤノ言	小栗重吉 昭和四（尚德堂叢書第一集）	一	五八四	二一
おろしや船	目黑十郎 昭和一〇 三八四頁	一	六八八	三四
尾鷲	縱行一二橫行三〇地質說明書 地質調査所編 昭和七 圖幅第一八八號	一	一二	五九五
尾鷲	縱行一二橫行三〇地質圖 地質調査所製 昭和七 圖幅第一八八號	一枚	一二	五九五
音韻及反切考	小山愛司 補再版 昭和一〇 謄寫版 六二頁	一〇	三〇二	一五二
音韻上より見たる俳諧文法論	淺野信著 松下大三郎補 昭和七	一	六〇七	四四四
音韻的ローマ字綴方論	菊澤季生 昭和一〇	一	六六六	一八五
御枝之記	寫 〔德川吉宗述枝〕	一〇	八三九	三六
音樂	村尾節三編 〔大正六〕（日本兒童研究資料第二七）	特 一〇	二五二五	二四四
音樂愛好者の爲の音響學	小幡重一 昭和六	一	五六三	四五二

		冊	函	號
音樂演奏法と解釋講座	龍吟社發行 昭和九	五	六五四	二六
音樂解說	門馬直衛 昭和三	一	五八六	一九四
同	昭和八 學生版	一	五八六	一九四イ
音樂概論	兼常清佐 昭和四（學藝叢書第一）	一	五六〇	四三
音樂講座	文藝春秋社發行 昭和七至九	二三	六一五	四〇
音樂を志す女性へ	安藝太郎 昭和二	一	五六四	二三三
音樂解說	門馬直衛 昭和三	一	五八六	一九四
同	昭和八 學生版	一	五八六	一九四イ
音樂概論	兼常清佐 昭和四（學藝叢書第一）	一	五六〇	四三
音樂講座	文藝春秋社發行 昭和七至九	二三	六一五	四〇
第一篇	音樂概論（兼常清佐）	一	一二	五九五
第二篇	音樂鑑賞法（湯淺永年）	一	一二	五九五
第三篇	音樂史（同）	一	一二	五九五
第四篇	和聲學・作曲法（山田耕筰）	一	一二	五九五
第五篇	樂器圖說（近衞秀麿、菅原明朗）	一	一二	五九五
第六篇	管絃樂法 上、下卷（菅原明朗）	一	一二	五九五
第七篇	合唱樂及指揮法（津川主一）	一	一二	五九五
第八篇	ピアノ音樂（野村光一等）	一	一二	五九五
第九篇	絃樂（鈴木鎭一等）	一	一二	五九五
第一一篇	室內樂（鈴木鎭一、齋藤秀雄）	一	一二	五九五
第一二篇	音響學（田邊尙雄）	一	一二	五九五
第一三篇	音樂美學（桂近孚）	一	一二	五九五
第一四篇	音響心理學（廣瀨錦一）	一	一二	五九五
第一五篇	音樂教育史（宮島眞一）	一	一二	五九五
	音樂教育の基礎としての音樂心理學（尾島碩心）	一	一二	五九五
	音樂教育の實際（青木兒）	一	一二	五九五
第一六篇	宗教音樂（辻荘一等）	一	一二	五九五
第一七篇	日本音樂史（伊庭孝）	一	一二	五九五
第一八篇	邦樂鑑賞法（町田嘉章）	一	一二	五九五
第一九篇	世界民族音樂（堀內敬三）	一	一二	五九五
第二〇篇	オルガン音樂（眞篠俊雄）	一	一二	五九五
第二一篇	電氣音樂理論（谷村功）	一	一二	五九五
第二二篇	音樂辭典 第一 用語篇（鹽入龜輔等編）	一	一二	五九五
第二三篇	音樂辭典 第二 人名篇（鹽入龜輔、唐端勝編）	一	一二	五九五
音樂家を志す人のために	堀內敬三 昭和八	一	六四三	三四
音樂學概論	高野瀏、相澤陸奧男 昭和九	一	六五七	二一五
音樂家叢書	刀江書院發行 昭和三	一	五六六	三一
第一輯	ベートーヴエン（ワグネル著 村井康男譯）	一	六一六	一〇六
音樂鑑賞圖譜	上篇（音樂史）黑澤隆朝、小川一朗編 昭和一〇	一	六一七	四八
音樂形式論	諸井三郎 昭和七	一	五六三	四一一
音樂藝術史	グレイ著 大田黑元雄譯 昭和五	一	五三三	三六四
音樂教育	青柳善吾 昭和二	一	二五三	三六四
音樂教育	井上武士 昭和一〇 三一七頁（教育研究叢書ノ內）	一	二六三	三八六
音樂教育概論	青柳善吾 訂一五版 昭和一〇 三三三頁（「音樂教育」ノ改題）	一	二五三	三六四イ
音樂教育鄕土化の理論と實際	坊田壽眞 昭和一〇（著音器と教育叢書第二編）	一	二五九五	一三六
音樂教育新思潮	第一卷 青柳善吾譯 昭和六	一	二六三三	二八六
音樂教育叢書	京文社發行 昭和四、五	五	二五九五	一〇七
第二編	音樂教育の原理（マアセル著 青柳善吾譯）			
第六編	唱歌法の原理（テーラー著 澤崎定之等譯）			
第七編	ピアノ演奏法（ホフマン著 牛山充譯）			
第八編	聲樂法（レーマン著 牛山充譯）			
第九編	西洋音樂史（ベッカー著 太田太郎譯）			
音樂教育の三大方面	山本壽 昭和三	一	二九四	四
音樂教育の思潮と研究	田村虎藏先生記念刊行會編 昭和八	一	二六三三	三三〇
音樂教育の眞使命	末武義雄 昭和五	一	二六三	二六六
音樂教授の實際的指導	北村久雄 昭和一〇 一四三頁	一	二六三三	三八〇
音樂檢定受驗必成	水口廣編 昭和九	一	二五九	六五六
音樂原論	田邊尙雄 昭和一〇 一五八頁	一	六八〇	八二
音樂史	音樂世界社編 昭和一〇（初等音樂講座第二卷）	一〇	六六二	一八八
音樂史	黑澤隆朝 昭和一二（洋樂叢書第二冊）	一	五七二	四三
音樂室內	附 ブゾニ新音樂美學の草案 服部龍太郎 昭和三	一	五八六	一五九
音樂史的レコード蒐集	上（バツハからシューベルト） 野村長一（あらえびす） 昭和七	一	六三三	一五
音樂辭典	第一、二 門馬直衛 昭和六（世界音樂全集第二〇巻）	一	八三	四四一
音樂社會學	ウエーバー著 山根銀二譯 昭和五	一	三八六	二七四
音樂趣味叢書	文化生活研究會發行 昭和二	一	五六〇	二一

		冊	函	號
第一編	明日の音樂（伊庭孝）			
音樂心理學	高野瀏 昭和一〇 四一八頁	一	六八〇	四
音樂生活二十年	大田黒元雄 昭和一〇	一	六三	二五三
音樂世界叢書	音樂世界社發行 昭和八、九	三	六三一	三八四
第一編	スコアの讀み方（管絃樂法入門）（鹽入龜輔）			
第二編	音樂美學（リーマン著 伊庭孝譯）			
第三編	管絃樂論（マリピエロ著 梅津勝夫譯）			
音樂叢書	京文社發行 昭和二至七	三	五〇〇	五六
第七編	ピアノ奏法の研究（松島彝）			
第一三編	近世バイオリン演奏史（佐藤謙三）			
第一四編	最新兒童發聲法（草川宣雄）			
音樂大系	音樂書房發行 昭和九、一〇	三	六五四	四九
第二	概觀音樂史（音樂史の輪郭）（ウイツト、ヒル共著 長島卓二譯註）			
第三	和聲學と對位法の基礎（モリス著 長島卓二譯註）			
第六	ピアノの技巧（シューベート著 佐藤英士譯註）			
音樂通論	クレール著 信時潔、片山頴太郎譯 三版 昭和七	一	六五〇	一四三
音樂通論（高等教育）	眞篠俊雄 昭和六	一	二六三	二六一
音樂圖鑑	門馬直衛編 昭和八（世界音樂全集第五八卷）	一	八三	四四一
音樂適能診斷の理論と實際	高野瀏 昭和六	一	二六三	二七八
音樂讀本	山田耕筰 昭和一〇	一	六五〇	二九四
音樂讀本	音樂世界社編 昭和一〇（初等音樂講座第六卷）	一	六六二	一八八
音樂と生活	兼常清佐 昭和一〇 三九五頁	一	六七九	一五四
音樂と民衆	小松耕輔 昭和二	一	五六四	二〇六
同		一	五六四	二〇六イ
音樂に志す人へ	兼常清佐 昭和四	一	五九七	四六
音樂二十五夜話	服部龍太郎 昭和九	一	六五七	一七七
音樂年鑑	昭和二、四、五年 舞踊樂報社編 昭和二至四	三	三九五	三一
音樂年鑑	昭和八至一〇年版 東京音樂協會編 昭和七至一〇	三	六二九	二三
音樂の階級性	附 名人滅亡 兼常清佐 昭和六	一	六〇六	二〇四
音樂の學習	山本正夫 昭和五	一	二六三	二五八
音樂の周圍（エツセー）	大田黒元雄譯 昭和八	一	六五〇	一一四
音樂の心理學	相澤謙與男 昭和一〇（「生活と精神の科學」叢書第七卷）	一	六九四	一
音樂の素描	田中好太郎 昭和五	一	五九七	三九八
音樂の鳥瞰	堀內敬三 昭和九	一	六六七	八〇
音樂報國	佐門會編 昭和七	一〇	一三〇	一六三
音樂萬華鏡	評論、研究、隨筆 大田黒元雄 昭和八	一	六四二	五〇
音樂美學の諸相	小泉洽 昭和四	一	五九七	一〇
音樂、舞踊、體育篇	小原國芳編 昭和九（兒童百科大辭典第二七卷）	一	六二八	七三
音樂文化叢書	文化生活研究會發行 昭和二	一	五六四	一六一
第二篇	管絃樂法（伊庭孝）			

		冊	函	號
音樂理論	ダンノーゼル著 ラボー訂 服部正譯 昭和八	一	六四八	七三
音樂理論	田邊尙雄 昭和六（續近物理學叢書第三）	一	四六	三六一
音樂理論講義	門馬直衛 昭和四	一	三八三	一五〇イ
同	昭和一〇 學生版 二七〇頁	一	三八三	一五〇イ
音樂論	附 繪畫と音樂との研究の相對的品位とその檢討から得らるゝ利益 ラスキン著 御木本隆三譯 昭和七	一	六三三	一八七
音樂論	山田耕筰 昭和八（玉川文庫第五〇）	一	六四六	一
御家譜	寫（三州松平（松井）家松井冠者維義ノ末葉）	一	二〇	二八 五七
恩給法	附 關係法規 內閣官房記錄課編 昭和五	一	一四七	五二四
恩給法解說	宮越卓 昭和九	一	六三一	四三九
恩給法と俸給	廣津恭炎郎編 昭和六	一	五九九	二四〇
恩給法例規判例總覽	內閣恩給局編 昭和二	一	五六一	一八一
音響學	石本巳四雄、栗原嘉名芽 昭和五	一	四六	三五〇
音響心理學原論	レエヴエス著 高野瀏譯 昭和七	一	六二	二三二
音響、電話及電氣鐵道	電機學校編 昭和五（初等電氣工學叢書第七卷）	一	五六三	二三六
音曲百枚笹	近松門左衞門著 藤井乙男校註（近松全集第一〇卷ノ內 昭和二）	五二〇	四〇	
同		五二〇	四〇イ	
音畫藝術の方法論	馬上義太郎譯編 昭和八	一	六四二	二四六
新撰漢和大辭林	音訓書引新語 漢字研究會編 昭和四	一	五六八	四三五
恩惠溢る	バンヤン著 畔上賢造譯 昭和四	一	五九五	一二五
溫古隨筆	第九至二五號（昭和四年一月至五年五月）續群書類從完成會編 昭和四、五	一	六九六	一八九
〔溫古隨筆〕公卿年表	赤堀又次郎 昭和四	一	五九〇	一四五
溫故抄	林廣濟（日本樂道叢書第六編ノ內 昭和五）	一	一八三	六一七
溫古薈彙	春田永年 寫	帖 一	八四一	二一一
溫故錄	武器部 寫	一〇 一	八四一	五
御櫻	（一茶叢書第九編小篇三十種上ノ內 昭和五）		五四八	五九
恩譽の彼方に	菊池寬 昭和一〇（文藝傑作選集第一）	一	六九三	八六
〔恩賜記念科學館〕陳列品目錄	昭和七年六月末現在 昭和七 同館編	一	六三三	八〇
恩賜記念科學館陳列品目錄	昭和一〇年九月 昭和一〇 同館編	一	六八四	一二二
恩賜京都博物館講演集	同館發行 昭和三至一〇	六	五七九	一七
第四號	藤原時代の建築と佛像に就いて（阪谷良之進）			
	本邦佛像彫刻の沿革（關野貞）			
	修學院離宮拜觀說明略記（猪熊淺麿）			
第六號	洋畫鑑賞法に就て（黑田重太郎）			
	慶長以降の女子風俗（關保之助、吉川觀方）			
	1 德川御殿女中			
	2 京都女子（浮世繪を通じて）			
	茶室と庭園（高谷宗範）			
	佛教藝術（望月信亨）			
	舊仙洞御所御庭拜觀並說明（猪熊淺麿）			
第七號	朝鮮陶器に就て（福田直一）			
	石燈籠（天沼俊一）			
	平安奠都と其の造營に就て（喜田貞吉）			
	日本水墨畫の源流（福井利吉郎）			

		冊	函	號
第九號	青磁の話（中尾萬三）			
	印度藝術の日本に及ぼせる影響（松本文三郎）			
	茶の湯釜の話（香取秀眞）			
	德川初期障壁畫に就て（中井宗太郎）			
	附錄			
	日本と關係ある暹羅の古藝術に就て（三木榮）			
第一〇號	日本庭園に就て（外山英策）			
	支那古銅器に就て（濱田耕作）			
	本邦繪巻物に就て（松岡映丘）			
	王朝時代の假名（吉澤義則）			
第一二號	蒔繪發達の考察（迎田秋悅）			
	佛・菩薩の圖像に就て（小野玄妙）			
	繪畫に現はれたる女子の服飾（猪熊淺麿）			
	本邦南畫の鑑賞に就て（内藤湖南）			
恩賜京都博物館美術工藝部目錄	窯製品之部　同館編　昭和五	一	五四九	四一
恩賜京都博物館美術品目錄	同館編　昭和二至五	四	五四九	四一
	書蹟之部			
	禮式風俗之部			
	圖書之部			
	古代遺品祭祀宗教之部			
恩賜財團濟生會東京市内診療機關取扱町名別患者調	昭和五年度　濟生會編　昭和六	一	一四六	二三八
恩賜十周年記念展觀圖錄	恩賜京都博物館編　昭和九　特	一〇	四二五	一三六
溫室及促成栽培	建築・媒房・栽培　石井勇義　三版　昭和八（綜合園藝大系第四篇）	一	六一五	四三
溫室草花の作り方	石井勇義　昭和五	一	六〇六	一〇五
溫室植物の話	羽島蓁（花卉叢書第一編）　大正一五	一	五六四	一八八
園城寺之研究	天台宗寺門派御遠忌事務局編　昭和六	一	六一四	一三三
溫床電化の實驗	松井源次郎　昭和五	一	五九〇	四三五
恩人吉植庄一郎先生	牧野寛索編　昭和八（吉植庄一郎ノ演說ヲ衆議院速記錄ヨリ輯錄セルモノ）	一	六四〇	五八
音聲學史	大西雅雄　昭和九	一	六七二	八
音聲學とローマ字問題	日本のローマ字社發行　昭和一〇	一	六六六	一八六
	日本式ローマ字の要旨（田中館愛橘）			
	外國語教育とローマ字問題（中目覺）			
	日本式になるまで（土岐善麿）			
	一字一音主義と五十音圖（佐伯功介）			
音聲と言語研究叢書	冨山房發行　昭和一〇	一	六二八	一四五
	第一　實驗音聲學上より見たるアクセントの研究（千葉勉）			
音聲の研究	第一、二、四、五輯　三宅武郎編	四	五二四	七六〇
溫泉紀行	吉見幸和（稿本叢書第一卷ノ内　昭和二）	五六六	一四	
同	昭和二	五六六	一四イ	
同	昭和三	五六六	一四ロ	
溫泉郡東中島村大字小濱	保健衛生實地調査報告書　附　統計表　愛媛縣警察部衛生課編　昭和四	一	一四六ハ	二四〇
溫泉研究	第一輯　日本溫泉協會編　昭和六	一	六〇六	二五〇
溫泉周游	田山花袋、中澤弘光　昭和三	一	三九四	二三ハ

溫泉叢書	溫泉通信社發行　昭和三	一	五七八	一七〇
	第一編　旅館百撰　上卷（佐久羊村）			
溫泉大鑑	日本溫泉協會編　昭和一〇	一	六六一	二一六
溫泉と健康	西川義方　昭和七	一	六〇	一二三
溫泉と其の掘鑿	佐伯讓吉　昭和八	一	六四二	一五八
溫泉日本	國民新聞編　昭和五	一	五九〇	四〇七
溫泉の伊豆	第二號　靜岡縣溫泉聯合組合會編　昭和三	一	四二三	三三五
溫泉の山形	森川憲之助　昭和五	一	五五六	四三一
溫泉場の女	奥野多見男　昭和四	一	五五一	三〇
溫泉場の經營法	本多靜六　昭和六	一	五九〇	四五八
溫泉療法の常識	外山準一　昭和八	一	六〇	一六〇
溫泉療養	酒井谷平　昭和九	一	六〇	一三二八
溫泉療養指針	高安愼一　昭和五	一	六〇	一〇一〇
溫泉療養の栞	板澤庄五郎　昭和五	三	六〇	九九六
御伊達羽織御半着雛形	紀州家御召方編寫　三七圖　特	一〇	ひ	九四
恩田木工民親傳	大平喜間多　昭和一〇　三〇五頁	一	六八八	九五
溫知考	山家敏之編　昭和三	一	五七九	一三四
恩寵意志豫定	アウグスチヌス著　竹村清譯　昭和六〔春ニハ「聖アウグスチヌス恩寵論」ト アリ〕	一	六〇九	一八七
音澁上人	横井微山編　昭和七	一〇		六三五
恩寵と眞實	高倉德太郎　再版　昭和二	一	五三三	三五イ
溫亭句集	篠原英喜　昭和二	一	五六八	一五七
音讀漢文自習書	岡田正三　昭和一〇　二〇七頁	一	六九三	九九
溫度と其測定法	山田光雄、山本正一　昭和二	一	五六三	二〇九
溫突夜話	鄭貢燮　昭和二	一	五六八	一三
女	マルクス著　山田わか譯　昭和三	一	五〇一	二七イ
女を めぐる 疾風	小川未明　昭和一〇　二八〇頁	一	六七九	一〇七
女鏡秘傳書	（繪入）　特	三〇	ね	三九
女形の研究	谷川善雄　昭和六	一	六〇八	三〇五
女藝文三才圖會		五〇	一八三	五三〇
女ごゝろ	正木不如丘　昭和六	一	五八二	三六
女五人の謎	松本泰（新でかめろん叢書第二）　昭和六	一	六一三	五四
女殺油地獄	近松門左衛門（近代日本文學大系第七卷ノ内　昭和三）	五六〇	九	
同	（近代日本文學大系第六卷ノ内　昭和八）	六二九	二八	
女殺油地獄	近松門左衛門著　藤井乙男校註（近松全集第一二卷ノ内　昭和三）	五二〇	四〇	
同		五二〇	四〇イ	
女三十六意氣	伊藤晴雨　昭和七	一	四三三	一三三
女大名丹前能	西澤一鳳（近代日本文學大系第四卷ノ内　昭和三）	五六〇	九	
女たらしの昇天	畑耕一　昭和六	一	六〇三	三二八

		冊	函	號
女と人形	（西班牙狂想曲）ルイス著　飯島正譯　昭和一〇　二二四頁	一	六八八	二五
女の一生	モウパッサン著　河原萬吉等譯　昭和二（萬有文庫第三二卷）	一	五四五	五三
同	モーパッサン著　杉捷夫譯　昭和九（岩波文庫九六三—九六四）	一	五六九	一四
同	モオパッサン著　廣津和郎譯　昭和八（新潮文庫第一八編）	一	六三〇	八
女の一生	山本有三　昭和八	一	六四三	二一七
女の一心（淺野翁夫人傳）	北林惣吉　昭和六	一	五九五	二九〇
女の學校・ロベエル	ジイド著　新庄嘉章譯　昭和八（世界名作文庫第一五六）	一	六三〇	一
女の心（獨和對譯）	チンナー著　倉田圭吉譯　昭和九（平原社トーキー・シリーズA第二四卷）	一	六五一	二七
女の圖	室生犀星　昭和一〇　三二二頁	一	六七九	二〇四
女の畑を覗く	池田林儀　昭和五	一	五八六	二九九
女は歩く	久布白落實　昭和三	一	五七八	二一三
女は歩む（戲曲）	「アンナクリステイ」及び「藥」　オニイル著　岩堂全智譯　昭和二	一	五六八	一六七
女一人大地を行く	スメドレー著　白川次郎譯　昭和九	一	六六五	二一六
女非人綴錦	八文字屋自笑、其笑（未刊珍本集成第四輯ノ内　昭和九）	六五一		四
女百貨店	吉行エイスケ　昭和五（新興藝術派叢書第一九編）	一	六〇三	二一三
女模様稻妻染	柳亭種彦（近代日本文學大系第一六卷ノ内　昭和九）	六二九		二八
御町中御法度	御穿鑿遊女諸事出入書留（未刊隨筆百種第一五ノ内　昭和三）		五六〇	二九
御夜話集	上、下編　日置謙校　昭和八、九		六四〇	二八

カ

カーステンの家憲	キニー著　早坂二郎譯　昭和六（世界大衆文學全集第七三卷）	一	五六九	六一
カアテン圖案集	平治雄編　昭和九	一	六一四	一六九
ガードナー籠球講習要錄	大日本バスケットボール協會編　昭和八	一	六三一	三三五
カーネーションの作り方	カーネーション・スキートピー　石井勇義　昭和五	一	六〇六	二一七
「カーネギー自叙傳」を讀みて	大原治郎編　昭和三	一	五七九	二五六
カーボン印畫法	宮内幸太郎　昭和二	一	五三五	六三一
カーライル全集	春秋社發行　昭和二	一	五五五	一六
第九	オリヴア・クロムウエル（第三）（カーライル著　柳田泉譯）	一	六三三	二九
カールとアンナ映畫物語	岡田實齋譯　昭和八	一	六八三	四〇
カール・バルトの人間學	原田信夫　昭和一〇　一三三頁	一	五九〇	二〇〇
カールル・マルクス	（彼の生涯と學說の批判）　ラスキ著　服部辨之助譯　昭和四			

		冊	函	號
溫浴ノ血壓及脈搏ニ及ボス影響	海老原隆佐　昭和一〇（實踐醫理學叢書第二一卷）	一	六〇	一〇五六
御鎧古法仕立大概	寫　一〇丁	特	一〇	未　四
音律通致章	凝然著　羽塚啓明校　昭和七（日本樂道叢書第一編）	一	一八三	六一七
カーライル・マルクス	レーニン著　伊藤弘譯　昭和八（岩波文庫九五三）	一	五六九	一四
カール・マルクス追憶	リープクネヒト著　小椋廣勝譯註　昭和二	一	五七五	八八
カール・マルクス傳	上卷　メーリング著　廣島定吉譯　昭和五	一	六〇七	一九六
カーレント・シリーズ	精文館發行　昭和七	二	六二九	三
第一	フアツショの擡頭と既成政黨の沒落過程（小松東三郎）	一	五七九	一四
第二	インフレー日本經濟の危機（木村禧八郎）	一	五七九	三七一
海員花柳病問題	國際勞働事務局編　遞信省管船局海員課譯　昭和四	一	一五四	六〇
諧韻瑚璉	中井履軒　昭和六（崇文叢書第二輯之四四）	九	一四七	四二五
海員審判所裁決錄	大正一一、一四至昭和七年度版　日本海事學會編　昭和三至八	一〇	二一五	一九三
解隱題	關孝和編　昭和八　謄寫版	一	六〇四	四〇一
海員に對する疾病保險	對米船舶提供記念財團編　昭和五	一	五九三	二六
海運	堀光龜（商學全集第二六卷）	一	六五〇	六六
海運運賃市場	シュターベルフエルド著　佐波宣平譯　昭和八	一	五八七	三三
海運要論	小島昌太郎（經濟學全集第一三卷ノ内　昭和六）	一	一四八	一〇八
海運及經濟調査	昭和九年上、下半期　日本郵船株式會社編　昭和一〇	一	五六三	三三四
海運及其經營	チンマーマン著　松葉榮重、宮本太郎譯　昭和五	八	一四二、八	九三
海運概況	大正一五至昭和八年　遞信省管船局編　昭和二至一〇	一	六五〇	一〇〇
海運經營論	牧野幾久男　昭和八			

カアル—カイカ

同		一	六五〇	一〇〇イ
海運經濟要論	小島昌太郎　昭和四	一	五六三	二五五
海運與國史	「附錄付」海事彙報社編　昭和二	二	五六二	一〇五
同		二	五六二	一〇五イ
開運術	米田祐太郎　昭和六	一	六〇九	二五八
開運出世傳授	脇坂義堂（日本道話全集第一卷ノ内　昭和二）		五六〇	三三
海運賃率論	ギーゼ著　白杵春水譯註　昭和七	一	六二七	五〇
海運賃率論	小島昌太郎　昭和三	一	五八八	一
海運同盟論	小島昌太郎　補再版　昭和二	一	五五二	七三イ
同	訂三版　昭和四	一	五五三	七三ロ
海運年鑑	昭和一〇年版　津端修編　昭和一〇	一	一四四	一〇三八
海運寶鑑	（ロイド・カレンダー抜萃）米窪滿亮譯編　昭和八	一	六五〇	八一
同	昭和一〇　三一一頁	一	六五〇	一八一イ
海運夜話	廣幡忠隆　昭和七	一	六三二	一五八
海鷗遺稿	大野鐵之助（百錬）編　昭和三	一	一八三	五六九
開校五周年記念	近江商人史料展覽會出品目錄　彥根高等商業學校調査課編（同校）調査研究第一輯）　昭和一〇	一	五七九	五一三
開講五周年記念論文集	北海道帝大醫學部眼科教室編　昭和三	一	五五	一三三
開校五十年記念	學習院史　同院編　昭和三	一	二八二	五イ

		冊	函	號
開校四十年記念	關西學院史　同史編纂委員編　昭和四	一	二八二	四三
開港七十年記念	橫濱史料　同解說付　橫濱市史編纂掛編　昭和三	一	四一七	五八
偕行社記事	戰術集　第一輯　兵書普及會編　昭和五	一	六〇六	一三〇
偕行叢書	白紙戰術集　第一輯（同部編）	四	六六八	二五
	第二　戰爭祕話　第一輯　日露戰役（同）			
	第三　戰爭祕話　第二輯　滿洲事變（同部編）			
	第四　和漢洋統帥餘談（大村有隣）			
	第五　戰爭祕話　第三輯　滿洲事變（同部編）			
開講二十五週年記念誌	京都府立醫科大學耳鼻咽喉科教室編　昭和七	一	二八七	三四
海嶽集	卷上、下　若槻禮次郎編　昭和一〇	二	三〇二	一四四
改革主義の信仰	鈴木傳助　昭和八	一	六一九	二四九
海氣線	鈴木葭汀　昭和一〇　一五二頁	一	五六七	一一九
階級意識とは何ぞや（ゲオルグ・ルカツチ）	ルカツチ著　水谷長三郎、米村正一譯　昭和二	一	五四九	二三〇
階級教育論	アドラー著　藏原惟人譯　堀秀彥譯　昭和六	一	二五三	四九六
同	プレハーノフ著（マルクス主義藝術理論叢書第二）　藏原惟人譯　昭和三	一	五八二	二二四
階級社會の諸問題	ホフマン著　小林良正譯　昭和三	一	五八〇	四三
階級戰の先頭を往く	加藤勘十　昭和三	一	五八七	九一
階級的イデオロギーを通じて見たるザメンホフ	ドレーゼン著　梶弘和譯　昭和五	一	五七八	三〇九
階級鬪爭史概論	西雅雄　昭和二	一	五七五	三六

		冊	函	號
階級鬪爭の研究	海野幸德　昭和六	一	五九九	二五七
階級鬪爭パンフレット	上野書店發行　昭和四	一	五九〇	六八
	第九　レーニン主義教育の任務と方法　ベルナール著　宇津木等譯			
階級法及階級司法の問題	ストウチユカ著　プロレタリア科學研究所譯　昭和五（法及び國家理論叢書第一）	一	六一三	三三
階級論	小池四郎　昭和五	一	五九〇	二六三
同	（民衆政治講座第二一卷）	一	五八七	一一〇
楷、行、草書千字文	辻本史邑書　昭和八	三〇	二三四	一一八
諧謔四十男の惱み	松崎天民（市郎）七版　昭和五	一	六〇三	一四三
諧謔文學（名作物語）	第一、二集　江戶時代、明治以後　梅田寬編　昭和二	二	五六〇	二四
諧謔文學（名作物語）	外國前編　梅田寬編　昭和三	一	五六〇	二四
開渠と管渠の圖計算	中村達太郎　昭和六	一	三七三	五三六
海魚之釣	上田尙　昭和四、五（釣魚全集第七、九、一〇卷）	三	五六六	六五
解禁財界の將來	橋本庄藏　昭和四	一	五九九	六三
海外雄飛若き日本の新路	井上雅二　昭和四	一	五八七	一三四
海外移植民事情調査	東京市役所編　昭和五	一	五七六	一八三
海外移住統計	拓務省拓務局編　昭和七至一一	三	一四一四	九三〇
海外移住問題の實際	井上雅二　昭和六	一	三七二	四三八
海外移民案內	早速鎭夫　昭和一〇（農業世界叢書第五）	一	六五一	一五

		冊	函	號
海外を巡りて	松本勝太郎　昭和四	一	五五六	三四三
海外交通史話	辻善之助　訂　昭和五	一	六〇八	一二
海外各地在留本邦人職業別人口表	（大正一五、昭和二、三年各一〇月一日現在）　外務省通商局編　昭和二至四	三	一四一四	三三六
海外各地在留本邦人人口表	昭和六、八、九年各一〇月一日現在　外務省通商局編　昭和八、一〇	三	一四一四	九四二
海外協會中央會各府縣海外協會要覽	同會編　昭和三	一	五八〇	一六〇
海外在勤四半世紀の回顧	藤田敬郎　昭和六	一	五九五	三六一
海外産業組合事情	一九三三、一九三四年版（第三、四輯）　產業組合中央會編　昭和八、一〇	二	六三一	三五七
海外視察錄	大阪外國語學校發行　昭和二、八	二	五二四	二三九
	第七號　青島概記（熊谷俊次）			
	極東シベリアに於ける教育事業の現狀（岩崎兵一郎）			
	第一四號　滿洲國と移民問題（大平賴母）			
	大連市設小賣市場瞥見（北川延尾）			
	滿商に對する日商の地位（同）			
海外市場と競爭國の特徵	（米國對外貿易を中心として）　大阪市役所產業部調査課編　昭和二	一	五二四	六八一
海外市場ニ於ケル本邦玩具ノ需給並外國トノ競爭狀況	商工省貿易局編　昭和七	一	三七二	五三四
海外市場ニ於ケル本邦刷子ノ需給並外國品トノ競爭狀況	商工省貿易局編　昭和六	一	三七八	三三一
海外市場ニ於ケル本邦輸出帽子及同材料ノ需給並外國品トノ競爭狀況	商工省貿易局編　昭和六	一	六一七	二八
海外商工人名錄	東洋、南洋の部　歐米の部　大阪市役所　產業部編　昭和三至七	三	三四七	一五
海外諸國の產業組合	產業組合中央會編　昭和二（產業組合宣傳叢書第四輯）	一	五四九	二〇六
海外消費組合事情	第一、二輯　一九三一、一九三二年版　產業組合中央會編　昭和六、七	二	五六五	二九五
海外陶磁器市場調査	第二輯　名古屋陶磁器輸出組合編　昭和一〇	一	六八四	六三
海外拓殖事情調査資料	拓務省拓務局發行　昭和五至九	三	一四一五	二九一
	第三輯　關領東印度ニ於ケル農作物擔保權法（同局譯編）			
	第四輯　祕露國在留邦人ノ農業方面ニ於ケル發展狀況（中內浩）			
	第五輯　ブラジル共和國民法（法人ニ關スル部）（富永秀三郎、青木林藏譯）			
	第六輯　伯國マツド・グロツソ州產業調査報告書（同局編）			
	第七輯　伯國ゴヤス州產業調査報告書（同局編）			
	第九輯　南洋ニ於ケル水產業調査書（下田杢一、渡邊東雄）			
	第一一輯　馬來半島ニ於ケル「トバコ」栽培（同局編）			
	第一二輯　伯國現行改正新破產及和議法（保野康之譯）			
	第一三輯　亞爾然丁ノ富源ト其ノ利用開拓（上、下卷）（平川末友）			
	第一四輯　「ブラジル」ノ產業（同局編）			
	第一五輯　墨西哥合衆國勞働法概要（小林直太郎）			
	第一六輯　亞爾然丁沿岸漁業調査報告書（服部元忠）			
	第一七輯　伯國アマゾン河ノ漁業調査書（中島昌二）			
	第一八輯　「セレベス」島事情（同局編）			

		冊	函	號
第一九輯	墨西哥合衆國移植民關係法規（同局譯編）	一	六〇八	一一三
第二一輯	南國護謨園サゴ製粉工場、檳榔樹栽培並附近園に於けるガンビル栽培製造狀況（照谷全昌）	一	二七三	七七
第二二輯	墨西哥合衆國漁業法並施行細則（杉浦鐵若譯）	一	六一	四三
第二四輯	英領北ボルネオ・タワオ地方事情（同局譯編）	一	五九四	九四
第二五輯	英領北ボルネオ産業關係法規（同）	一	五九七	二八九
第二六輯	アマゾンに於ける護謨其他の產業（同）	一	五九三	一七
第二七輯	パラグアイ共和國事情（岡本和夫）	一	一四、五	二一九イ
第二八輯	南洋栽培事業要覽（同局編）	一	六一四	一一七
第一一輯	馬來半島ニ於ケル「トバ」栽培（同局編）	二	六〇四	一一七
第一、二輯	電氣料金（同會編）	一	五二五	三二三
第二	暹羅、印度（同）	一	三七三	六三
第三	日本綿織物工業組合聯合會編	三	六八四	三三
第一至三	日本綿織物工業組合聯合會編	一	一四、四	八四一
第五輯		四	三七四	一三
第一至七輯		九	三三六	三五七

海外發展主義の小學教育　永田稠　昭和三
海外發展と衞生問題　（特に伯剌西爾の衞生に就て）新垣恒政　昭和八
海外發展の實際　淺見登郎　昭和四
海外美術家印象記　アトリエ社編　昭和五
海外漂流年代記　石塚豐芥子（海事史料叢書第一三卷ノ內）　昭和五
海外名作戲曲鑑賞讀本　卷三　近代上篇　小山內薰、北村喜八編　昭和二
海外綿織物市場視察報告　日本綿織物工業組合聯合會發行　昭和一〇
海外點心記　名倉聞一　昭和二
海外渡航案內　外務省通商局編　昭和七
海外渡航及在留本邦人統計　大正八至昭和三年　外務省通商局編　昭和五
海外ニ於ケル主要本邦商社ノ投資事業　商工省商務局貿易課編　昭和四
海外の神社　並に「ブラジル在住同胞の教育と宗教」小笠原省三　昭和八
海外紡織文獻總覽　紡績篇第一卷　紡織雜誌社編　昭和九
海外博覽會本邦參同史料　第一至七輯　博覽會俱樂部編　昭和五、九
海外綿業年鑑　昭和四年版　日本綿業俱樂部編　昭和四
海外勞働年鑑　昭和四至七年版　協調會調查課編　昭和四至七
海外旅行調查報告　神戶高等商業學校編　昭和二至一〇
大正一五年夏期
南洋に於ける栽培企業經營の基礎概念（青山喜一）
スマトラに於ける護謨事業と其の生產條件（山本茂信）
蘭領東印度（主として爪哇）に於ける我國主要輸出品の種類及び其の地位（堀精三）
支那海運業に於ける列國の地位（山崎貞一）

		冊	函	號
同　第五輯　昭和五		一	六〇八	一一三イ
海外發展主義の小學教育　永田稠　昭和三		一	二七三	七七
海外發展と衞生問題　（特に伯剌西爾の衞生に就て）新垣恒政　昭和八		一	六一	四三
海外發展の實際　淺見登郎　昭和四		一	五九四	九四
海外美術家印象記　アトリエ社編　昭和五		一	五九七	二八九
海外漂流年代記　石塚豐芥子（海事史料叢書第一三卷ノ內）　昭和五		一	五九三	一七
海外名作戲曲鑑賞讀本　卷三　近代上篇　小山內薰、北村喜八編　昭和二		一	五四八	七〇
海外綿織物市場視察報告　日本綿織物工業組合聯合會發行　昭和一〇		二	六八四	三三
第一　コロンビヤ、ベネズエラ（同會編）				
第二　暹羅、印度（同）				
海外綿織物市場調查報告　第一至三　日本綿織物工業組合聯合會編　昭和一〇		三	六八四	三三
海外綿業年鑑　昭和四年版　日本綿業俱樂部編　昭和四		一	一四、四	八四一
海外勞働年鑑　昭和四至七年版　協調會調查課編　昭和四至七		四	三七四	一三
海外旅行調查報告　神戶高等商業學校編　昭和二至一〇		九	三三六	三五七

上海に於ける紡績業に就て（楠喜太郎）
揚子江貿易に就て（矢頭喜代春）
經濟絕交中の廣東及び香港（內海實）
滿洲柞蠶業一般（安原金治郎）
滿洲產豆粕の現況及び發展策（古河喜市）
奉天票に就て（井上謙一）
臺灣茶の取引及び貿易（中村忠正）
臺灣農民の經濟上及び法律上の地位（吉田熙一郎）
昭和二年夏期
滿洲綿絲布事情（青山英二）
滿洲及び朝鮮に於ける畜產業（橋本順治）
北部支那に於ける牛皮（石森英男）
天津を中心とせる支那羊毛に就て（佐野武吉）
上海の稅制を論じて國民政府の稅制政策に及ぶ（大倉義雄）
所謂省港罷工とその經濟的影響（岸井統一）
南部支那に於ける勞働者（笹野實夫）
昭和三年夏期
滿洲に於ける製粉業（畑岡武男）
滿洲米の生產と消費（金澤瑤）
大連港の背後地に就いて（小木善造）
滿洲に於ける勞働者の研究（三井正）
在支那人紡績の將來に就て（吉田峯治郎）
上海の綿絲布市場に就て（阿河武次郎）
日貨排斥運動と其の影響（小林吉夫）
臺灣の水利事業に就て（貝石眞三）
臺灣に於ける製糖工業の發展過程及び原料對策の變遷（島本四郎）
臺灣茶業の現狀（久保清一）
本邦綿布を通じて觀たる蘭領東印度（田村勇）

蘭領東印度の石油事情（大木保太郎）
昭和四年夏期
滿洲に於ける我國の經濟上の地位について（藤井茂）
我が原料問題と滿蒙資源の對日價值（市川義雄）
在滿蒙日支合辨事業論（齋藤恭）
滿洲に於ける通貨と吾貨幣政策（藤井健吉）
青島に於ける邦人紡績論（吉岡篤三）
支那羊毛に就て（廣海康平）
我國海產物の對支輸出（今崎芳佳）
上海の倉庫業（高田彬）
蘭領東印度の金融爲替事情（山崎勇夫）
護謨生產より見たる蘭領東印度（江畑吉二郎）
昭和五年夏期
滿洲に於ける我貨幣政策（宮下忠雄）
滿洲に於ける銀行及び金融の概況（杉慰重善）
滿洲に於ける木材事情（加藤竹治）
關東州關稅制度に就いて（河合忠夫）
安東陸境特惠關稅廢止の影響（增田一郎）
大連港を中心とする海運（杉田孝一）
合資會社大連連鎖商店に關する若干考察（松浦省三）
天津を中心として見たる北部支那市場（山中英二）
支那紡績事情（大倉敏男）
揚子江流域に於ける綿工業（小寺尙敏）
水產業の生產地理的研究（宮川武雄）
昭和六年夏期（第一七回）
朝鮮米增殖計畫に就て（小立藤藏）
滿蒙に於ける鐵道問題に就て（三輪田信雄）
大連錢鈔取引所の研究（井上悌次）
揚子江に於ける航運業（濱明雄）
上海を中心とせる支那人絹事業（辻田巖）

上海の通貨と支那幣制改革管見（大田良雄）　一　六九三　一三六
臺灣移出米の實證的研究（西川英三）　三〇　八三九　一三三
臺灣に於けるバガス・パルプ工業の發展性（野尻清）　一　六一四　一一四
瓜哇を中心としたる華僑の社會的考察（田中正美）　一　六一四　一一四
瓜哇に於ける華僑の經濟的考察（高山義雄）　特一　六一四　一一四イ
瓜哇糖業事情（松原秀太郎）　一　六八　一七
昭和七年夏期（第一八回）　二　五九四　一五一
滿洲中央銀行の附業について（瀧本清八郎）　一　六三五　二七
日滿經濟ブロックの考察（市島酉喜知）　一　六四〇　一三〇
關東州租借地關稅制度改正問題（田中久之）　一　六三五　三五八
南滿三港の貿易と背後地の研究（拜郷木）　一　六四〇　二一七
滿洲國への邦人農業移民問題（村田友幸）　二　五七七　一六七
滿蒙羊毛事業の概觀（岡田流布之助）　一　六八九　四九
比律賓群島の對外貿易（高崎貞男）
瓜哇市場に於ける我國織物類に對する若干問題考察（九十九利雄）
我が移民地としてのダバオ（鯉住重一）
（附錄）自大正六年夏期海外旅行調査報告一覽　至昭和七年
昭和八年夏期（第一九回）
滿洲國の産金業（西田百之助）
滿洲國幣制の現狀と將來（田村節三）
支那關稅引上後の影響について（上田延之助）
上海港及び上海事變と我が海運業（谷口義文）
比律賓群島に於ける古々椰子産業に就て（桐原隆吉）
蘭領東印度に於ける邦人活動事情（泉谷忠一）
蘭領印度政府貿易政策の最近の動向（白石民造）
昭和九年夏期（第二〇回）
滿洲に於ける邦人移民村の檢討とその建設基礎對策（西村重雄）

海光（自句自釋）　嶋田青峰　昭和一〇　二五八頁　一　六九三　一三六
開化新題歌集　大久保忠保編　明治一一　三〇　八三九　一三三
概觀歐洲藝術史　園伊能　昭和六　七二九頁　一　六一四　一一四
同　訂　昭和一〇　七二九頁　特一　六一四　一一四イ
概觀鎌倉時代史　澤田章　昭和七　一　六八　一七
概觀世界地誌　上、下卷　香川幹一　昭和五　二　五九四　一五一
概觀島前地誌　昭和七年版　隱岐地理學會編　昭和七　謄寫版　一　六三五　二七
概觀地理通論　自然篇　山本熊太郎　昭和八　一　六四〇　一三〇
概觀日本史要　第一分冊　京口元吉　昭和八　一　六三五　三五八
同　昭和九　一　六四〇　二一七
概觀日本地誌　上、下卷　山本熊太郎　昭和六　二　五七七　一四五
概觀日本文化史　藤崎俊茂　昭和七　一　六一八　六〇
開卷百笑　一名無事志有意　立川焉馬編　二〇　八三八　三五
概觀佛教史　森田芳夫　昭和一〇　二三一頁　一　六九九　四九

海軍逸話集　第一至三輯　有終會編　昭和五、八　三　五七八　二九九
海軍衞生制度史　第二卷　清水辰太編　昭和五　一　六一　三五七
海軍要覽　昭和八、一〇年版　有終會編　昭和八、一〇　【海軍及海事要覽ノ改題】　二　五六三　二九
海軍及海事要覽　昭和二、四、六年版　有終會編　昭和二至六　三　五六三　二九
海軍航空の概要　海軍省海軍軍事普及部編　昭和一〇　九〇頁　一　六八三　一九四
海軍艦船使用時規則附圖時刻帶圖　水路部製　改　昭和四　九四・四〇×五七・六〇　一枚　五七六　一六七
海軍技術研究所報告　同所發行　昭和二　八　一四・五　二一〇
第一八二號　水素、空氣、混合瓦斯爆發火焰の傳播防止に關する研究（福井勇藏、吉永利治）　一　六四四　八三
第一八三號　球皮用（ゴールドビータースキン代用品）試驗成績（福井勇藏）　一　六六六　一三五
第一八八號　一號型航空船百分の一模型による Inertia Coefficient の測定實驗（中村龍輔）　三　五七六　一五七
第二一一號　航空船ノ空氣抵抗測定ニ就テ（竹内孝一郎）　五七三　七九
第二一四號　本邦産放射能性鑛物のヘリウム含有量に就て（嘉納吉彦）　一二　一四六　八八
第二三五號　航空無線 300 Watts 發電機用螺旋器計畫實驗（永江晋）　一　六四四　八三
第二五六號　木材强度試驗ニ就テ（永江晋、木村由三）　一　五七六　一三五
第二五九號　「ゴールドビーターズスキン」球皮に就て（福井勇藏、榎本明）　一　六六六　一三三
海軍記念日講演資料　海軍省編　昭和六　一　六〇四　四九一
海軍軍縮會議と日本の將來　有馬成甫　訂　昭和一〇　一　六七二　二一五

海軍軍縮協定の基準に就て　海軍省海軍軍事普及部編　昭和九　一　六六六　一三八
海軍軍縮問題　安富正造　昭和四　（太平洋問題叢書第三）　一　五九八　二九
海軍軍人を志す人のために　中島武　昭和七　一　六三四　六一
海軍軍人恩給解說　金子安治郎　昭和九　一　六六〇　六一
海軍軍人志願者寶典（官費養成）　本間晴　昭和七　一　六三三　一七〇
海軍々備縮少に關する帝國政府の新提案に就て　海軍省海軍軍事普及部編　昭和八　一　六四四　八三
海軍々備制限問題に關する研究　阿部誠雄　昭和四　一　五七六　一三五
海軍軍備の制限方式に就て　海軍省海軍軍事普及部編　昭和九　一　六六六　一三三
海軍研究資料　海軍省編　昭和四至六　三　五七六　一五七
海軍事情　日高謹爾（政治教育講座第一卷ノ内）　昭和二）　五七三　七九
海軍省醫務局報告　第三七至四八次（昭和二至八年）　同局編　昭和二至一〇　一三　一四六　三五
海軍省年報　大正一一至一五年昭和元至八年度　海軍大臣官房編　昭和二至一〇　二三　一四四　八八
海軍縮小の話　附統帥權論戰　朝日新聞社政治經濟部編　昭和五（朝日政治經濟叢書第一）　一　五〇五　六七
海軍諸例則　卷一至四　昭和一〇年六月一日改版　海軍大臣官房編　一四版　昭和一〇　四　一四七　九八
海軍小演習寫眞帖　大正一五年　海軍々令部編ヵ　昭和二　一〇　四二七　三イ
海軍少年讀本　海軍省軍事普及部編　昭和八　一　六四一　一〇六
海軍大演習の話　松下芳男　昭和一〇　（民衆文庫第一〇二篇）　一　五六　五七
海軍大將村上格一傳　波多野貞夫等編　昭和八　一　六四〇　九三

カイク—カイコ

		冊	函	號
海軍讀本	平田晋策 昭和七	一	六一七	一五六
同 再版		一	六一七	一五六イ
海軍とは何ぞや？	附空襲と防空 昭和八 黒木文四郎	一	六四二	二八一
海軍兵學校圖書館和漢圖書分類目錄	昭和二年一月現在 同館編 昭和二	一	五六二	九七
海軍物語	福永恭助 昭和五	一	五九七	三〇七
海軍陸戰隊上海戰鬪記	有馬成甫 昭和七	一	六二二	一四八
同 三版	昭和七	一	六二二	一四八イ
解決中英庚款換文	民國一九年九月一九、二一日互換 中華民國國民政府外交部編 民國一九	一	六三八	三〇九
海峽（歌集）	澤島かず子 昭和八	一	六四三	九二
海峽を越える	伊藤貫一郎 昭和七	一	六三三	六九
艾軒集	附錄一卷 宋、林光朝 民國二三 影印 九卷（四庫全書珍本初集ノ内）	特	〇六 八四四	一四六
解見題	關孝和編 昭和八 謄寫版	一	〇 二一五	一九二
戒嚴令詳論	附武器使用限度論 三浦惠一 昭和七	一	六二一	一三三
海紅句集	第五 中塚直三（一碧樓）編 昭和三	一	五八三	一二六
開國逸史	アメリカ彦藏自叙傳 ヨセフ・ヒコ（濱田彦藏）著 土方久徵、藤島長敏譯 昭和七	一	五八七	三四二
開國後の財政一瞥	土方成美 昭和四（銀行叢書第九編）	一	五〇八	三〇
開國玉泉寺今昔物語	村上文機編 昭和八	一	六五三	九八
開國七十年紀念日本國民誌	附錄 人物篇共 局編 昭和八、九 日本國民誌編纂	二	六四九	一一四
同 昭和一〇		二	六四九	一一四イ
開國八十年史	萬朝報社編 昭和六	一〇	四一七	九三
開國祕譚（戲曲）	別名 ラシヤメンお蘭一代記 池長孟 昭和五	一	五一七	六四五
開國文化	朝日新聞社編 昭和四	一	五九四	一一八
開國文化史料大觀	朝日新聞社編 昭和四	一	五五三	四七
開國文化大觀	朝日新聞社編 昭和四	一	四二三	一一七
開國文化八十年史	信濃毎日新聞社編 昭和七	一	四二六	一七
同	藝備日日新聞社發行所編 昭和七	一	四二六	一七イ
同	山陽新報社編 昭和八	一	四二六	一七ロ
開國表裏八十年史 上	佐久間啓莊 昭和一〇 五三三頁	一	六八〇	一一〇
解雇退職手當請求權の理論と實際	奈良正路 昭和九	一	六四九	三三〇
解雇・退職の法律學的研究	後藤清 昭和一〇 四一四頁	一	六八〇	一一三
開墾地移住經營事例	農林省農務局編 昭和二	一	三六八	一六七イ
同		一	五六二	八一
開墾地移住狀況調査	農林省農務局編 昭和二	一	五六二	八七
同		一	五六二	八七イ
開墾地移住ニ關スル調査	第一、二輯 編 昭和五、九 農林省農務局	二	六〇五	七三
開墾地經營ニ關スル調査	第二、三輯 編 昭和四、八 農林省農務局	二	五四〇	七〇

カイザー・ウキルヘルム學術促進協會一覽	京都帝國大學化學研究所譯編 昭和一〇 一三八頁	一	六一六
カイザーリンクの日本觀	附錄 支那廣東印象記 下山鎌吉、江川和彦譯 カイザーリンク著 大正一五	一	三九〇
改造教育研究叢書	日東書院發行 昭和五	一	二五九
第一篇	新ロシア教育の批判的研究（和田不二三）		
楷草千字文及傑人遺墨集	大日本傑人遺墨蒐集會編 昭和六	一	〇 二三四
海藻の化學	大谷武夫 富士川滋 昭和一〇 三五七頁	一	六八〇
改造文庫	改造社發行 昭和四至一〇	三一七	
第一部			
第一至三篇	國富論 上、中、下卷（スミス著 竹内謙二譯）		
第一〇篇	社會主義の發展（エンゲルス著 堺利彦譯）		
第一一篇	マルキシズム認識論（デイツゲン著 石川準十郎譯）		
第一二篇	辨證法的唯物觀（デイツゲン著 山川均譯）		
第一三篇	哲學の實果（同）		
第一四篇	神と國家（バクーニン著 本莊可宗譯）		
第一五篇	婦人論（ベーベル著 山川菊榮譯）		
第一六、一七篇	古代社會 上、下卷（モルガン著 荒畑寒村譯）		
第一八、一九篇	エミール 上、下卷（ルーソオ著 内山賢次譯）		
第二〇篇	國家論（オッペンハイマー著 廣島定吉譯）		
第二一篇	金融資本論（猪俣津南雄）		
第二二篇	日本開化小史（田口卯吉）		
第二三篇	日本經濟論（同）		
第二四篇	日本經濟學說の要領・經濟的帝國論（瀧本誠一）		
第二五篇	日本商業史（横井時冬）		
第二六篇	日本工業史（同）		
第二七篇	經濟學の實際智識（高橋龜吉）		
第二八篇	リツケルト論文集		
第三〇篇	女工哀史（細井和喜藏）		
第三二篇	社會進化と婦人の地位 ラツパート著（山川菊榮譯）		
第三四篇	農村問題（レーニン著 荒川實藏譯）		
第三五篇	勞働組合論（レーニン著 藤井米藏譯）		
第三六篇	幸德秋水集（幸德秋水）		
第三七篇	中江兆民集（中江兆民）		
第三八篇	財産起源論（レヴインスキー著 貴島克己譯）		
第三九篇	組織論（レーニン著 鈴木厚譯）		
第四〇篇	三民主義（孫文著 金井寛三譯）		
第四一篇	唯一者とその所有（スティルネル等著 辻潤譯）		
第四二篇	世事見聞錄（武陽隱士著 本庄榮治郎校）		
第四三篇	全譯金融資本論（ヒルファーデイング著 林要譯）		
第四四篇	近世封建社會の研究（本庄榮治郎）		
第四五篇	我國近世の農村問題（同）		
第四六篇	マルクスの歷史社會並に國家理論上卷（クノー著 石川準十郎、別府峻介譯）		
第四七篇	マルクスの歷史社會並に國家理論下卷（クノー著 鳥海篤助等譯）		
第四八篇	マルキシズム國家觀（アドラー著 山本琴譯）		
第四九篇	マルクス主義經濟學（河上肇）		

第五〇篇　哲學概說(物と我)（桑木嚴翼）
第五一篇　現代哲學思潮（桑木嚴翼）
第五二篇　宗教及び信仰の起源（クノー著　玉城肇譯）
第五三篇　カントの平和論（朝永三十郎）
第五四、五五篇　近代資本主義發達史論　上、下卷（ホブソン著　住谷悦治等譯）
第五六篇　カウツキー夫妻への手紙（ルクセンブルク著　淺野正一譯）
第五七篇　レーニンの唯物辯證法（デボーリン著　佐多忠隆譯）
第五八篇　天才論（ロンブロオゾオ著　辻潤譯）
第五九、六〇篇　佛蘭西革命史　上、下卷（クロポトキン著　淡徳三郎譯）
第六一篇　無政府主義と社會主義（プレカアノフ著　百瀬二郎譯）
第六二篇　財産進化論（荒畑寒村）
第六三篇　帝國主義論（レーニン著　岡田宗司譯）
第六四篇　帝國主義論（ホブソン著　石澤新二譯）
第六五篇　勞働價値説の擁護（ヒルファデイング著　塚本三吉譯）
第六六篇　經濟地理概論（プレブス・リーグ編　菊川忠雄譯）
第六七篇　帝國主義發達史論（プレブス・リーグ編　内田佐久郎譯）
第六七篇　プレブス經濟學（プレブス・リーグ編　田所輝明譯）
第六九篇　心理學概論（プレブス・リーグ編　小宮義孝譯）
第七〇篇　社會意識學概論（ボグダーノフ著　林房雄譯）
第七一篇　經濟科學概論（同）

第七二篇　歐洲文學發達史（フリーチエ著　外村史郎譯）
第七三篇　英國勞働運動史（プレブス・リーグ編　稻岡逞譯）
第七四篇　我等の對立（プレハノフ著　竹尾弋譯）
第七五篇　マルキシズム方法論（アドラー著　福田永郎譯）
第七六篇　倫理と唯物史觀（カウツキー著　堺利彦譯）
第七七篇　社會進化と生物進化（リユキス著　荒畑寒村譯）
第七八篇　原始財産（ラヴレー著　長野兼一郎譯）
第七九、八〇篇　唯物論と經驗批判論　上、下卷（レーニン著　山川均、大森義太郎譯）
第八一篇　ドイツ古典哲學の進歩性（ハイネ著　栗原佑、高沖陽造譯）
第八二篇　社會主義への道（ブハーリン著　大橋積譯）
第八三篇　社會ファシズム論（ラピンスキー著　田中勝太郎譯）
第八四篇　阿片涙愛者の告白（デ・クインシイ著　辻潤譯）
第八五篇　建築と繪畫（ラスキン著　内田佐久郎譯）
第八六篇　藝術とは何ぞや（トルストイ著　木村毅譯）
第八七篇　プロレタリア文學論（コーガン著　昇曙夢譯）
第九〇篇　近代の戀愛觀（厨川白村）
第九一篇　象牙の塔を出て、苦悶の象徴（同）
第九二篇　十字街頭を行く（同）
第九三篇　近代文學十講（同）
第九四篇　英詩選釋（同譯註）
第一〇〇、一〇一篇　第一インタナショナル史　第一、二部

第一〇二篇　經濟學史の基礎概念（住谷悦治）
第一〇三篇　ソヴエートロシアに於ける農業政策（ミリユーチン著　田中勝太郎譯）
第一〇四篇　レーニン主義の基礎（スターリン著　野澤孝平譯）
第一〇五篇　エルフルト綱領解説（カウツキー著　三輪壽莊譯）
第一〇六篇　マルクス經濟學大綱（ボルハルト著　田中九一譯）
第一〇七篇　キリスト教の本質（フオイエルバツハ著　桑田悟郎譯）
第一〇八篇　唯物論史入門（プレハーノフ著　藤井米藏譯）
第一〇九、一一〇篇　日本美術の知識　上、下卷（中村亮平）
第一一一篇　泰西美術の知識（同）
第一一二篇　民族移動史（ハッドン著　小山榮三譯）
第一一三、一一四篇　東洋美術の知識　上、下卷（中村亮平）
第一一六篇　婚姻と離婚（ウエスターマルク著　青山道夫譯）
第一一七篇　何をなすべきか（レーニン著　内山房吉譯）
第一一八篇　人生論（トルストイ著　柳田泉譯）

第二部

第五篇　新古今和歌集（吉澤義則校）
第九、一〇篇　平家物語　上、下卷（吉澤義則校）
第一一篇　雨月物語（上田秋成著　山口剛校）
第一三篇　俳諧七部集（萩原蘿月校）
第一四篇　燕村七部集（同）
第一五篇　伊勢物語（久松潜一校註）

第一六篇　神皇正統記（宮地直一校）
第一七篇　奥の細道・芭蕉翁文集（松尾芭蕉著　萩原蘿月校）
第一八篇　曾根崎心中・心中天の網島・女殺油地獄（黒木勘藏校註）
第三一篇　大鏡（吉澤義則校註）
第三二篇　徒然草（吉澤義則校）
第三五篇　北村透谷選集（島崎藤村編）
第三六篇　樋口一葉選集（樋口一葉）
第三七篇　平凡（二葉亭四迷）
第三八篇　子規俳話（正岡子規）
第三九篇　子規歌論歌話（寒川陽光編）
第四〇篇　坊ちやん（夏目漱石）
第四一篇　草枕（同）
第四二篇　それから（同）
第四三篇　一握の砂・悲しき玩具（石川啄木）
第四四篇　我等の一團と彼・雲は天才である（同）
第四五篇　藤村紀山陰土産その他（島崎藤村）
第四六篇　作白秋民謡集（北原白秋）
第四七篇　獄中記（ワイルド著　神近市子譯）
第四八篇　厭世家の誕生日（佐藤春夫）
第四九篇　日輪（横光利一）
第五〇篇　勞働者の居ない船（葉山嘉樹）
第五一篇　海に生くる人々（同）
第五二篇　小公子（バアネット著　若松賤子譯）
第五三篇　ホワイト・ファング（ロンドン著　堺利彦譯）
第五四篇　はやり唄（小杉天外）
第五五篇　自選朝の螢（齋藤茂吉）
第五六篇　自選十年（島木赤彦）

カイサ

		冊	函	號
第五七篇	自選歌集川のほとり（古泉千樫）			
第五八篇	自選歌集松の芽（中村憲吉）			
第五九篇	自選歌集海山のあひだ（釋迢空）			
第六〇篇	自選歌集立春（木下利玄）			
第六一篇	自選歌集花樫（北原白秋）			
第六二篇	自選歌集人間往來（與謝野晶子）			
第六三篇	自選歌集槻の木（窪田空穂）			
第六四篇	自選歌集野原の郭公（若山牧水）			
第六五篇	自選歌集原生林（前田夕暮）			
第六六篇	自選歌集空を仰ぐ（土岐善麿）			
第六七篇	作白秋童謠集（北原白秋）			
第六八篇	作白秋國民歌謠集（同）			
第六九篇	作白秋舞踊詞集（同）			
	曲背德者（ジッド著　石川淳譯）			
第七〇篇	チエホフ書簡集　第一卷（ボーモン著　長松英一譯）			
第七一篇	鷲の卵（土岐善麿）			
第七二篇	信綱文集（佐佐木信綱）			
第七三篇	芭蕉遺語集（荻原井泉水校）			
第七七篇	一茶七番日記　上、下卷（荻原井泉水校）			
第七八、七九篇	蟻の生活（メーテルリンク著　園信一郎譯）			
第八一篇	愛すればこそ（谷崎潤一郎）			
第八三篇	愛なき人人（同）			
第八四篇	痴人の愛（同）			
第八五篇	長篇紀行海へ（島崎藤村）			
第八六篇	歌屋上の土（古泉千樫）			
第八七篇	寡婦マルタ（オルゼシュコ著　清見陸郎譯）			
第八八篇	句集虛子（高濱虛子）			
第八九篇	井泉水句集（荻原井泉水）			
第九〇篇	サニン（アルツイバーセフ著　武林無想庵譯）			
第九一篇	一青年の告白（ムウア著　辻潤譯）			
第九二篇	一週間（リベディンスキイ著　池谷信三郎譯）			
第九三篇	室生犀星詩集（室生犀星）			
第九四篇	千家元麿詩集（千家元麿）			
第九五篇	横瀨夜雨詩集（横瀨夜雨）			
第九六篇	修禪寺物語（岡本綺堂）			
第九七篇	少年の悲哀（國木田獨歩）			
第九八篇	運命論者（同）			
第九九篇	愛欲（武者小路實篤）			
第一〇〇篇	作者別萬葉全集（土岐善麿編）			
第一〇一篇	作者別萬葉集以後（同）			
第一〇二篇	自傳（片山潛）			
第一〇三篇	日本橋（泉鏡花）			
第一〇四篇	佛蘭西家庭童話集　第一卷（ボーモン著　長松英一譯）			
第一〇五篇	同　第二卷（ドルノア夫人著　同譯）			
第一〇六篇	同　第三卷（ベロー著　同譯）			
第一〇七篇	新譯死の如く強し（モウパッサン著　中村星湖譯）			
第一〇九篇	巴里の憂鬱（ボオドレエル著　三好達治譯）			
第一一〇篇	死の舞踏（ストリンドベリイ著　山本有三譯）			
第一一一篇	奈落の人々（ロンドン著　和氣律次郎譯）			
第一一三篇	爭鬪（ゴルスウオシイ著　和氣律次郎譯）			
第一一四篇	無名作家の日記（菊池寛）			
第一一五篇	一六、一一七篇　短篇小說篇（時代物、現代物第二）（同）			
第一一六、	噂の發生（同）			
第一一八篇				
第一一九、一二〇篇	戯曲篇（現代物、時代物）（同）			
第一二一篇	眞珠夫人（同）			
第一二二篇	慈悲心鳥（同）			
第一二三篇	新珠（同）			
第一二四篇	火華（同）			
第一二五篇	受難華（同）			
第一二六篇	赤い白鳥（同）			
第一二七篇	明眸禍（同）			
第一二八篇	新女性鑑（同）			
第一二九篇	陸の人魚（同）			
第一三〇篇	第二の接吻（同）			
第一三一篇	東京行進曲（同）			
第一三二篇	結婚二重奏（同）			
第一三三篇	不壞の白珠（同）			
第一三八篇	父と娘（武者小路實篤）			
第一三九篇	わしも知らない　他一三篇（同）			
第一四〇篇	人生雜感（感想集）（同）			
第一四一至一四三、一四五篇	イブセン全集　第一至三、五卷（河野義博等譯）			
第一五一篇	ボルシエヴイキの手記（ピアトニツキー著　三矢剛譯）			
第一五二、一五三篇	聖書物語　舊約の卷、新約の卷（ヴアン・ルーン著　神近市子譯）			
第一五四篇	洋服箪笥（マン著　六笠武生譯）			
第一五五篇	今戸心中（廣津柳浪）			
第一五六篇	嬰兒殺し（山本有三）			
第一五七篇	芭蕉、夜船、草の詩（吉田絃二郎）			
第一五八篇	ドレフユス事件（大佛次郎）			
第一五九篇	新人國記（ペンギンの島）（フランス著　木村恭一譯）			

カイサ

		冊	函	號
第一六〇篇	シラー詩集（シラー著　小栗孝則譯）			
第一六一篇	どつこいおいらは生きてゐる！（トラア著　瀨木達譯）			
第一六二篇	獄窓から（和田久太郎）			
第一六三篇	人波（アルツイバアシエフ著　原久一郎譯）			
第一六四篇	結婚の悲劇（アルツイバアシエフ著　原久一郎譯）			
第一六五、一六六篇	苦難の路　上、下卷（ア・トルストイ著　原久一郎譯）			
第一六七篇	芭蕉書簡集（萩原羅月校）			
第一六八篇	草雙紙選（尾崎久彌編）			
第一六九至一七六篇	志賀直哉全集　第一至八卷（志賀直哉）			
第一七七篇	短歌集（石川啄木）			
第一七八篇	詩集（同）			
第一七九、一八〇篇	小說集　上、下（同）			
第一八一、一八二篇	評論感想集　上、下（同）			
第一八三、一八四篇	書簡集　上、下（同）			
第一八六篇	國歌八論（土岐善麿編）			
第一八七篇	三人（島崎藤村）			
第一八八篇	出發（同）			
第一八九篇	新選秀歌百首（齋藤茂吉編）			
第一九〇篇	性に眼覺める頃（室生犀星）			
第一九一、一九二篇	多情佛心　前、後篇（里見弴）			
第一九三篇	苦の世界（宇野浩二）			
第一九四篇	山戀ひ（同）			
第一九五篇	天保赤門黨（土師清二）			
第一九六篇	血染のパイプ（甲賀三郎）			
第一九七、一九八篇	平妖傳　上、下卷（羅貫中著　佐藤春夫譯）			

カイサ

		冊	函	號
第一九九篇	田園の憂鬱・都會の憂鬱（佐藤春夫）			
第二〇〇篇	自選短篇集（林房雄）			
第二〇一篇	斬るな劍（白井喬二）			
第二〇二篇	大暴風雨時代（前田河廣一郎）			
第二〇三篇	淺草紅團（川端康成）			
第二〇四篇	女性讃（片岡鐵兵）			
第二〇五篇	喧嘩駕籠（長谷川伸）			
第二〇六篇	角兵衛物語（同）			
第二〇七篇	唐人お吉（十一谷義三郎）			
第二〇八篇	時の敗者唐人お吉（同）			
第二〇九篇	笑ふ男・笑ふ女（同）			
第二一〇、二一一篇	或る女 上、下卷（有島武郎）			
第二一二篇	星座・生れ出る悩み・實驗室（同）			
第二一三篇	有島武郎戲曲集（同）			
第二一四篇	有島武郎書簡集（同）			
第二一五篇	有島武郎日記集（同）			
第二一六篇	社會詩集（ハイネ著 生田春月譯）			
第二一七篇	戀愛詩集（同）			
第二一八篇	放浪記・續放浪記（林芙美子）			
第二一九篇	彌太郎笠（子母澤寛）			
第二二〇、二二一篇	神變猫香猫 上、下卷（吉川英治）			
第二二二篇	女給（廣津和郎）			
第二二三篇	伊太利物語（ゴオリキー著 平林肇譯）			
第二二四篇	闇の力・生ける屍（トルストイ著 昇曙夢譯）			
第二二五篇	蟹工船・工場細胞（小林多喜二）			
第二二六篇	不在地主・オルグ（同）			
第二二七篇	宣言・クララの出家（有島武郎）			
第二二八篇	迷路（同）			
第二二九篇	カインの末裔（同）			
第二三〇篇	旅する心（同）			

海舟座談

阿部覺治 昭和二（函館叢書第八冊）

		冊	函	號
	巖本善治編 昭和五（岩波文庫三七六—三七七）	一	五四九	四六一

海舟全集

勝安芳（海舟） 昭和二至四

		冊	函	號
第一、二卷	開國起原（上、下）	一	五六九	一四
第三卷	吹塵錄 上			
第四、五卷	吹塵餘錄			
第六、七卷	陸軍歷史 上、下	一〇	五七四	二五
第八卷	海軍歷史			
第九卷	海舟日記			
	牆の茨の記			
	鵞肋			
	漢鵞肋			
	解難錄			
	夢醉獨言			
	建言書類			
	隨筆			
第一〇卷	海舟印譜			
	海舟書簡			
	亡友帖			
	流芳遺墨			
	追賛一話			
	清譚と逸話			
	飛川歌集			
	海舟詩稿			
	隨筆補遺			
	海舟年譜（瀧川小太郎編）			

海皆憤悱（俳句集）

狹原井泉水（俳） 同人 昭和三

		冊	函	號
		一	三九一	一九九

改造文庫

改造社發行 昭和七

		冊	函	號
第三七篇	平凡（二葉亭四迷）	一	五六九	一四三

改作雜集錄

小野武夫編（近世地方經濟史料第一卷ノ內） 昭和七

		冊	函	號
		六〇〇	二八〇	

改造文庫

改造社發行 昭和七

		冊	函	號
第三七篇	平凡（二葉亭四迷）	一	五六九	一四三
第二五四篇	樋口一葉選集 第二卷（樋口一葉）			
第二五五篇	闇の力・生ける屍（トルストイ著 平林肇譯）			
第二五三篇	伊太利物語（ゴオリキー著 平林肇譯）			
第二五二篇	女給（廣津和郎）			
第二五一篇	賴朝・爲朝（幸田露伴）			
第二六二篇	幽祕記（同）			
第二六五篇	樋口一葉選集 第二卷（樋口一葉）			
第二五四至二五九篇	葛西善藏小說集 第一至六卷（葛西善藏）			
第二六〇篇	葛西善藏感想集（同）			
第二六一篇	賴朝・爲朝（幸田露伴）			
第二六二篇	幽祕記（同）			
第二六五篇	樋口一葉選集 第二卷（樋口一葉）			

改作雜集錄

小野武夫編（近世地方經濟史料第一卷ノ內） 昭和七

		冊	函	號
		六〇〇	二八〇	

皆憤悱（俳句集）

狹原井泉水（俳） 同人 昭和三

		冊	函	號
		一	三九一	一九九

海産市場の本質と其振興策

		冊	函	號
第三卷	吹塵錄（上）	一	三三	二九四

改修日本大歷史

青木武助編 訂再版 昭和四

		冊	函	號
		一	三三	二九四

芥子園畫傳

上 山水編 森田佃山譯 昭和一〇

		冊	函	號
		一	六二七	二七九

芥子園畫傳（全譯）

公田連太郎譯 小杉放庵註解 昭和一〇

		冊	函	號
第一冊	總說	一二	三〇一	四〇
第二冊	樹譜			
第三冊	山石譜			
第四冊	人物屋宇譜			
第五冊	摹倣名家畫譜			
第六冊	蘭譜			
第七冊	竹譜			
第八冊	梅譜			

芥子園畫傳國譯釋解

東洋畫の描き方詳解 山本元譯解 昭和五 上、下卷

		冊	函	號
第一〇、一一冊	草蟲花卉譜 上、下冊	二〇	一五三	八一
第一二、一三冊	翎毛花卉譜 上、下冊			

碍子及び套管と高壓工學

新宮行太 昭和九

		冊	函	號
		一	六六七	一三四

海事高等銘鑑錄

中村安太郎編 昭和八

		冊	函	號
		一	六四〇	四八

海事金融問題の研究

伊藤重治郎 昭和六

		冊	函	號
		一	六〇四	五三三

同

昭和八

		冊	函	號
		一	六五三	五三

海事關係法規便覽

日本郵船株式會社勞働調査編 昭和五

		冊	函	號
		一	一四七	五一八

海事史料叢書

住田正一編 昭和四至六

		冊	函	號
第一卷	廻船式目	二〇	五九三	一七
	渡唐船法度條々			

同

昭和三

		冊	函	號
		一	五七四	二五

函號　冊

海路諸法度
船法御定並諸方聞書
倉田家文書
牛澤家文書
廻船必用
御城米積請船難船一件

第二卷　難船一件
桑名屋龜藏船一件（兒玉宇右衞門）
問屋船宿仲買掛合一件
菱垣廻船問屋規錄
菱垣廻船一方積取締申合規定連印帳
樫船海難私法記
三榮講約定帳
船方規定書
九店差配廻船明覽
諸問屋名鑑

第三卷　船極印方
諸願要錄草稿
諸船增減御願之留メ（二番帳）
諸船增減願書控（三番帳）
同（四番帳）
小渡海舟一件
渡海出入願書控

第四卷　諸國御客帳
伏木浦入津之諸品御口錢取立定帳
御口錢定法
諸船御改帳
廻船小船御運上帳
廻船帳
早船記錄

函號　冊

船方取締記錄
浦方定證文寫
御船之年數書拔

第五卷　船長日記（池田寬親）
元和航海記（池田與右衞門）
和蘭陀海鏡書和解（本木良永譯）

第六卷　颶風新話（伊藤慎譯）
航海金針（瑪高溫）
渡海新法（本多利明）
船行要術
船乘重寶記（滿忠）
廻船安乘錄（服部義高）
算法海路安心錄（坂部廣胖）
方向廻船用心記（吉村海洲）
船往來手形
出帆免狀控

第七卷　浦手形
御銀船記錄

第八卷　增補日本汐路之記（高田政度）
改正日本船路細見記（息部美啓）
新增大日本船路細見記（加藤祐一）
大阪より西國え船中
肥前長崎行日記（古河教泰）
大湊由緒書
兵庫津文書
神戸浦文書
二茶屋浦文書
天保廻船改革記錄
諸國問屋並船宿

運賃控

第九卷　御船御注文控
帆船造作寸法書
船燈場取建願書
造船記錄
關船寸法掛一卷
船由來記
萬祥廻船往來（十返舍一九）
西洋軍艦蒸氣船製造方傳習書
裝鐵船略記（榎本武揚譯）
ニホール艦記錄（中井尙彌太）
船手御定

第一〇卷　全流舟軍之卷（安田重次）
合武三鳴流舟戰要法（森重都由編）

第一一卷　和漢船用集　一二卷（金澤兼光）

第一二卷　三鳴流水軍理窟抄
能島家傳
能島家傳書
野嶋流船軍書
一葦要決
尊船
水軍渡海秘傳書
海賊流車輪船圖卷
車製船の圖並辨（菊池庄五郎）
水法（荻生徂徠）
唐船長崎入船便覽

第一三卷　關船長崎入津記
南蠻入津記
大唐清朝商船入津記
各國船入津番立帳
日本異國來往記（遠山信武）

萬國渡海年代記
海外漂流年代記（石塚豐芥子）
熊野浦漂着の福州船送還記錄
奉使日本紀行（青地盈譯　高橋景保校）
阿蘭陀船破損書付
通商物品目錄

第一四卷　算法渡海標的（石黑信由）
以數躡剌鼻圖說
象限儀
颶風準要（ワザロ著　近藤眞琴譯）
颶風論（海軍兵學寮編）
航海教科書（同）

第一五卷　八丈島浦手形
唐津船宿手形控（杵築屋三七）
難破船記錄
出羽國御廻米破船一件
出羽國御廻米難船一件書物寫
越前國御廻米積難船一件
御城米送り請取ひかへ
北國御城米積替藏取立積り書
御證文御書附寫
大坂歌屋庄右衞門船一件

第一六卷　星學航海地誌（青地盈等譯）
萬國港繁昌記（黑田行元）
四國中國廻浦御用日記（橫瀨武直）

第一七卷　廻船式目
異國船入津規錄
廻船規錄
浦御高札寫
利涉附錄別記

カイシ

		冊	函	號
尾道商業沿革史料				
大海神屋根誓御修覆勘定帳				
櫓廻船記錄				
由良湊より嵯峨川通船願之儀に付何書案並御勘定奉行え差遣候切紙寫				
御客帆印				
稅銀取立船積免狀之控				
海事規則				
第一八卷	日本海令草案並同附錄（田口鼎）			
船乘の心得（小笠原賢藏譯）				
船舶噸數之辨（三田村鐘三郎譯）				
海上保險會社創立要旨				
巴邏海上保險法（パーソンス著 秋吉省吾譯）				
私氏米國海上法要略（ジクソン著 秋山源藏、北畠秀雄譯）				
第一九卷	合武三島流舟戰要法（追補）（森重都由編）			
干滿抄傳書				
早船之木割				
大船關船木割				
御船數並浦船數留帳				
御船數御家中船數留帳				
御關船並荷船式				
御船之寸法書（山城利兵衞）				
御船船諸道具寸法控帳（同）				
箱館丸仕樣書				
和蘭奇器				
廻船必用記（追補）				
廻船式目追加				
第二〇卷	蒸氣雜說			
	蒸氣船之記			
海事叢談	住田正一 昭和五	一	五九七	二四一
戒子通錄	宋、劉清之 民國二三 影印 八卷（四庫全書珍本初集ノ內）	特 四〇	八四四	八三
海事摘要	昭和二至一〇年 遞信省管船局編 昭和二至一〇	九	一四二 ロ	一七九
海事年鑑	昭和二至一一年版 海事彙報社編 昭和二至一〇	八	三一	六三七
海事法規	臨時公立商船學校教科書編纂委員會編 昭和七	一	六二四	八八
海事法令條約集	鈴木竹雄、石井照久編 昭和一〇	一	一四七	七〇八
海上運送	臨時公立商船學校教科書編纂委員會編 昭和七	一	六一七	二一八
海上運送實務	牧野幾久男 昭和二	一	五六三	一二六
海上運送史論	住田正一 大正一四	一	六〇六	一一八
海上運送論	第一卷 國吉省三 昭和二	一	五七二	一三八
海上危險論	加藤由作 昭和七	一	六三七	八
海上距離測定法	宮崎猛男編 昭和四	一	五九七	一〇九
海上衝突豫防法	附錄 臨時公立商船學校教科書編纂委員會編 昭和七	一	六二七	七一

		冊	函	號
海上損害論	加藤由作 昭和一〇 四六〇頁	一	六八九	九二
海上大衆必携	西卷敏雄 昭和五	一	五八六	三三七
海上月	明治神宮社務所編 昭和九（明治神宮獻詠集第九輯）	一〇	六五五	四五
海上賣買論	海上貿易に於る賣買慣習の商學的研究 上坂酉三 昭和九	一	六六七	一四一
海商法	松本烝治 二〇版 大正一五	一	五六一	六五
同	訂二四版 昭和四 二五九頁	一	五六一	六五 イ
海商法要覽	西島彌太郎 昭和六	一	六〇〇	三〇五
海商法概論	石井讓 昭和一〇 二四三頁	一	六九五	三九
海商法講義	加藤正治 補四版 昭和九	一	五三〇	一〇 イ
海商法講義要領	田中耕太郎 昭和七	一	六〇〇	三〇三
同	昭和一〇 一八六頁	一	六四〇	二六三
海商法研究	第一至四卷 小町谷操三 昭和六、八	四	五一三	三四 ロ
海商法原論	森清 昭和九	一	六四九	一六三
同		一	六四九	一六三 イ
海商法上の諸問題	田中誠二 昭和三	一	五七三	一一三
海商法提要	田中誠二 訂再版 昭和四	一	五三〇	二六六 ロ
海商法提要	樋貝詮三 補五版 昭和三	一	五一二	一四四 イ
同	上、下 訂七版 昭和六	二	五一二	一四四 ロ
海商法の獨自性	ボンヌカーズ著 小町谷操三譯 昭和七	一	六〇〇	二九三
海上罷業の眞相と批判	民衆と正義社編 昭和三	一	五八六	九一
海上保險要論	附 英國海上保險法 久川武三 昭和五	一	五七二	三三〇
海上保險概論	椎名幾三郎 昭和一〇 二一三頁	一	六九四	九
海上保險會社の組織と經營	中山秀治郎 昭和二	一	五六一	一三八
海上保險研究	第一卷 勝呂弘 昭和一〇	一	六七八	一四八
海上保險（船舶）約款改正理由書	日本海上保險協會特別委員編 昭和八	一	六四九	八七
海上保險體系	危險、因果、擧證、塡補條件篇 瀨戶彌三次 昭和六、一〇	二	五九一	二三六
海上保險法（巴邏私氏）	パーソンス著 秋吉省吾譯（海事史料叢書第一八卷ノ內 昭和六）	一	五九三	一七
海上保險論	藤本幸太郎 昭和五（商學全集第二四卷）	一	五九三	二六
海上保險論綱（ドーバー）	ドーバー著 橋本犀之助譯 昭和四	一	五九一	四一
海上物語	惠中（海表叢書卷五ノ內 昭和三）	四	五六六	一五
同	（南蠻紅毛史料第二輯ノ內 昭和五）		五六六	一五 イ
海上問答	關口市兵衞發行 寬文一〇	特 三〇	さ	八五
海上夜話	住田正一 昭和七	一	六三三	七五
海上勞働時間制	對米船舶提供記念財團編 昭和五	一	六〇四	四〇〇
解釋學概論	山崎謙 昭和一〇	一	六一九	二七三
解釋學と意義學	與水實 昭和一〇 三五五頁	一	六八一	二三
解釋學の成立	ディルタイ著 池島重信譯 昭和七（哲學論叢第四五）	一	五八四	一九

カイシ

		冊	函	號
解釋學表現學及意義學	渡部政盛 昭和一〇 三五二頁	一	二六三	四八一
解釋と教授	岩瀬法雲（同志同行叢書第六編） 昭和九	一	二五九	一二六
解釋の研究	附錄付 金原省吾 昭和一〇（實踐國語教育研究叢書第二）	一	二六三	四六三
解釋法令叢書	日本評論社發行 昭和一〇	一	六六八	二〇
第一 健康保險法	（清水玄）			
改稱三十周年記念 本校關係圖書展覽目錄	山口高等商業學校圖書課編 昭和一〇 一九二頁	一	六八四	一六一
楷書秋聲賦	松本芳翠書 昭和九（書道學習帖第八）	一〇	二四九	二七〇
楷書千字文	田代秋鶴書 昭和八（書道學習帖ノ內）	一〇	二四九	二七〇
楷書千字文	日比野信書 昭和一〇 八八頁	一〇	三〇一	一一四
楷書範本	藤本竹香書 昭和一〇（綜合書道新講座第一）	一〇	三〇一	一〇二
海神丸	野上彌生子 昭和四（岩波文庫四七九）	一	五六九	一四
海水に浸されたる機械及電氣設備の應急處理に關する研究	電氣協會關西支部第四部委員會編 昭和一〇 五二頁	一	六三八	一七〇
改正郵便線路圖	昭和五、八年各一月調 遞信省郵務局編 昭和五、八	二	四〇三	七八
改正違警罪卽決例解說	三田村武夫 昭和六	一	五九九	二四九
改正醫師歯科醫師法令釋義	池田清志 昭和八	一	六〇	一二六四
改正醫事法規輯覽	中央醫事會編 昭和八	一〇	六〇	一二四〇
改正醫法解釋及び醫事判例集	日本醫事法制學會編 昭和八	一	六〇	一二六六

		冊	函	號
改正要目に據れる行進遊戲	寺岡英吉 昭和二	一	二七六	四二七
改正蝦夷全圖	豐島毅編 嘉永七 五三・五〇×四一・五〇	一枚	八四二	六五
改正恩給法解義	種村一男 昭和八	一	六四四	八九
改正恩給法精解	附 舊法令解說 上原秋三 昭和八 八九三頁	一	一四、七	六三四
改正解說市街地建築物法	附 關係法令全集 藏前工務所編 昭和四	一	一四、七	四六八
改正耕地整理法及關係新法令	農林省農務局編 昭和七	一	一四、七	五六七
改正學校體操教授要目の解說	石丸節夫 昭和二	一	二七六	四二九
改正生絲格付檢查法解說	農林省橫濱生絲檢查所編 昭和一〇 八八頁	一	六六六	三三六
改正牛乳營業取締規則解說	喜島兼志 昭和一〇	一	六七二	一八一
改正汽罐取締規則・原動機取締規則・解說	高野源宗吉 昭和七	一	六二一	一七五
改正强制執行法要義	早川彌三郎 昭和二	一	五七三	八〇
改正漁業法解說	今村與作 昭和八	一	六四二	八七
改正銀行法釋義	小原正樹 昭和三	一	五七三	一七八
改正教授要目と數學教育	佐藤良一郎 昭和八	一	二六三	一八八
改正健康保險法精義	熊谷憲一 昭和一〇 七〇六頁	一	六四〇	二五二
同	訂再版 昭和一〇 八一二頁	一	六四〇	二五二
改正工場關係法規集	中田耕造、森宣吉編 昭和四	一	一四、七	四五二
改正工場法	吉阪俊藏 昭和元	一	五三七	一八七

改正工場法解說	石津三次郎 大正一五	一	五三七	一七四
改正工場法提要	小山三郎 昭和二	一	五七一	二〇
改正工場法竝健康保險法規	工業教育會編 昭和四	一	一四、七	四六四
改正小切手法註解	弦澗清雄 昭和八	一	六三七	一三六
同	訂補三版 昭和九	一	六三七	一三六イ
同	訂補四版 昭和九	一	六三七	一三六ロ
改正國際海上衝突豫防規則解說	永野馬太郎 昭和一〇 四二二頁	一	六九〇	五六
改精算法	鈴木安明 昭和九 謄寫版	一〇	三〇二	二八
改精算法改正論	鈴木安明 昭和九 謄寫版	一〇	三〇二	二九
改正衆議院議員選擧法	（新舊條文對照）高橋晃編 昭和九	一	五九九	四七九
改正衆議院議員選擧法關係法令	（昭和九年一一月改正）大矢書店編 昭和九	一	六六六	一四一
改正衆議院議員選擧法正解	小中公毅、潮道佐 補四版 昭和二	一	五一三	三三〇ロ
改正衆議院議員選擧法註解	川手忠義、小澤佐重喜 昭和九	一	五九九	四七六
改正衆議院議員選擧法論	藤田敬治 昭和三	一	五七三	一八四
改正市街地建築法規	昭和三年八月現在 建築文化研究會編 昭和三	一	一四、七	四三三
改正市制町村制解說	附 改正市町村制正文 土谷覺太郎 昭和五	一	六〇〇	一五六
改正市町村便覽	立川文明堂編 昭和六	一	五六五	二七三

改正市町村名大鑑	和樂路屋編 昭和九	一	六六一	五〇
同	附 全國交通里程精圖 昭和一〇	一	六六一	五〇イ
改正自動車取締令解說	增田甲子七等 昭和九	一	六五七	一三五
改正商法正解	柳川勝二 昭和二（法令叢書第二編）	一	三三六	一六八イ
改正出版法並新聞紙法の實際智識	附 出版關係法令集 成田總一郎 昭和一〇	一	六三二	一四〇
改正小學國語讀本解說教授書	卷二 土屋敏雄 昭和八	一	二六三	四〇〇
改正小學國語讀本の實際的取扱	尋常科卷一至五 田中豐太郎 昭和八至一〇	五	二六三	三九一
改正選擧法の要領	附 全關係法令 北條爲之助編 昭和一〇	一	五九九	四九九
同	訂 昭和一〇 二八一頁	一	五九九	四九九イ
改正選擧法令詳解	附 選擧關係法規 小林琢次 昭和九	一	六六〇	二一九
同	訂補三版 昭和一〇 六七五頁	一	六六〇	二一九イ
改正選擧法令釋義	附錄 清水長雄 昭和一〇	一	六六〇	二三三
改全國青年學校國民教育・青年教育・軍事教育・各種試驗諸法令總攬	島津嘉孝編 昭和一〇 二一九頁	一	二五六	一三〇
改正增補江戸大節用海內藏	高井蘭山、中村經年編 菊川英山畫 明治三 特一〇	二	一六	一六三
改正增補萬國船舶信號書	第一至三編 昭和三 遞信省管船局編	三	三一七	四ト
改正增補臨牀醫典	筒井八百珠編 筒井德光校 昭和四 三六版	一	五〇	六九ヨ

		冊	函	號
改正中等教育法規	附 中學校新教授要目 三省堂編 昭和六	一	二七三	三一
改正地方制度諸法規	帝國法律研究會編 昭和五	一	一四七	五一七
改正地方制度通義	荒川五郎 昭和二	一	五七三	三九
改正地方鐵道法	古谷善亮 昭和六	一	六〇六	一八四
改正町村制詳解	長峰安三郎、野田千太郎 昭和四	一	三三六	四八ロ
改正珍貨孔方圖鑑（增補）	小澤辰元 寛政一一	一〇	八四二	二九
改正手形と小切手の書き方と見方	宮崎直二 昭和九	一	六六〇	一九一
改正手形法及小切手法ニ關スル判例集	鯰淵銳夫、吳文中編 昭和九	一	一四七	六八〇
改正手形法解說	司法省編 昭和七	一	六二二	一三七
改正手形法義解	池田寅二郎、小堀保 昭和一〇 四七〇頁	一	六八〇	一三一
改正手形法正解	荒川五郎 昭和七	一	六二一	一六八
改正手形法註解	鯰淵清雄 昭和七	一	六二四	一〇六
同	訂五版 昭和九	一	六二四	一〇六イ
改正鐵道營業法	喜安健次郎 昭和五	一	六〇六	一〇三
改正電氣工作物規程便覽	電氣協會編 昭和七	一	六二八	九〇
改正電氣事業法規	電氣協會編 昭和七	一	五六九	四一三
改正電氣事業法規集	棚橋正長編 昭和七	一	六二三	二三五
改正特許局法規類集	附 特許及實用新案分類目次 帝日通信社編 昭和四	一	一四七	四六〇

		冊	函	號
改正特許局法規類集	日本特許商標協會、帝國通信社編 昭和四	一	一四七	四六六
同	三版 昭和六	一	一四七	四六六イ
改正度量衡法の解釋	白石研輔 昭和八	一	六三四	一二九
改正日本工場法	（就業制限論） 松澤清 昭和二	一	五七三	一三四
改正農會法令解說	湯河元威 昭和九	一	六六六	一六八
改正法令の下に於ける選擧事務と選擧肅正運動	古井喜實 昭和一〇	一	六八六	一三
改正萬國渡海年代記	華律外史	一〇	一五六	一〇一
改正府縣制要論	櫻井繁治 昭和二	一	五六五	二三六
同		一	五六五	二三六イ
改正不動產登記法註釋	鯰淵清雄 昭和六	一	六〇〇	二三六
改正辯護士法精義	附錄 金子要人 昭和九	一	六四九	二三二
開成丸航海日誌	昭和四 （仙臺叢書第一七卷）	一	五〇八	一三
改正民事訴訟記錄	法曹同志會編 昭和四	一	一四七	四五七
改正民事訴訟法	第一、二、四卷 山田正三 昭和三至六	三	五七三	一六二
改正民事訴訟法要義	下卷 早川彌三郎 昭和二	一	五七三	八三
同	昭和一〇 一一二一頁	一	六八六	五四
改正民事訴訟法解釋	長島毅、森田豐次郎 昭和五	一	六〇〇	六五
改正民事訴訟法概論	勅使河原直三郎 昭和三	一	五七三	一九二
同	訂一三版 昭和九	一	五七三	一九二イ

		冊	函	號
改正民事訴訟法詳解	渡邊彰平 昭和四	一	一四七	四六三
改正民事訴訟法註解	鯰淵清雄 昭和四	一	六〇〇	六
改正民事訴訟法評釋	中村宗雄 昭和五	一	六〇〇	九一
改正民事訴訟法論	（新舊對照書式附） 佳岡時三郎 昭和四	一	五九一	一一九
改正露西亞憲法	社會主義聯邦ソヴエート共和國 田和一夫譯 昭和三	一	五四九	三九八
改正六法全書	玉井清文堂編 昭和八	一	一四七	六一八
解析幾何學	藤野了祐 昭和五	一	五六三	三九一
同		一	五六三	三九一イ
解析幾何學	森本清吾 昭和九	一	六六七	四〇
解析幾何學	平面 渡邊秀雄 昭和六	一	五八一	二六六
解析幾何學	問題解義集 柘植茂三郎 昭和五	一	六〇六	三五
解析幾何學	坂井英太郎 昭和九 （艶近高等數學講座第一〇卷）	一	六五四	九
解析幾何學（理論—應用—）	渡邊義勝 昭和六	一	五六三	五三一
解析幾何學（平面—立體—）	杉村欣次郎 昭和八	一	六四一	三七
解析幾何學要論	下田卯一 昭和六	一	六〇八	二八五
解析幾何學演習	第一、三卷 大上茂喬、松室隆光 昭和六、七	二	五八一	二八四
解析幾何學概論	江崎觀藏 昭和三 （數學概論叢書第二編）	一	五八一	二三
解析幾何學新篇	附錄 定理及ビ公式術語索引 岩切晴二 昭和四	一	五六三	二四六
解析幾何學大意	高須鶴三郎 昭和八	一	六四一	八九

		冊	函	號
解析雜論	辻正次 昭和一〇 （艶近高等數學講座第二四卷）	一	六五四	九
解析力學	質點及質點系 三宅虎雄 昭和七	一	六一七	六一
解析立體幾何學（アルジスー）	アルジス著 長澤龜之助譯 昭和二	一	五七二	一二四
解說經濟學	服部文四郎 昭和一〇 二二二頁	一	六八〇	四一
解說三民主義	支、孫文（逸仙）著 川田友之譯編 昭和四	一	五九〇	一五三
概說靜岡縣史	間處武夫 昭和一〇 三二三頁	一	六九四	二九
同		一	六九四	二九イ
解說自動車交通事業法	喜安健次郎等 昭和八	一	六五〇	一五七
解說社會主義と資本主義	上、下 ショウ著 加藤朝鳥譯 昭和四	二	五八七	一五二
概說西洋史	及川儀右衞門 昭和八	一	六四〇	一六九
解說付小倉百人一首	（ローマ字） 多田齊司 昭和九	一	六六五	一九
解說東洋史	內藤虎次郎 昭和一〇 一四六頁	一	六八四	一三
解說と寫眞獨逸シエパード犬	第一至四卷 シュテファニツツ著 有坂光威、刈田秀郎譯 八版 昭和九至一〇	一	六七〇	一〇
解說日本佛教史	橋川正 昭和四	一	五九二	三三
解說日本文化史	栗田元次 昭和五	一	五七七	一三六
解說日本文法	湯澤幸吉郎 昭和六	一	六〇七	三四九
同		一	六〇七	三四九イ
概說日本民法	小池隆一 昭和四	一	五九一	一五七

カイセ—カイツ

		冊	函	號
解說	梵語學 附語彙 榊亮三郎 再版 昭和八	一	四〇	八五ノイ
解說 梵文	摩訶般若波羅蜜多心經 渡邊大濤 昭和七	一	六一六	一六
	概說民法 上卷 津島純平 昭和八	一	六三七	一三〇
	概說倫理學 古田良一 昭和五	一	六〇九	一〇九
	概說論理學 古田良一 昭和四	一	五三五	三七一
	カイゼルウイルヘルム 文藝社編 昭和五（萬有文庫第三四）	一	五六九	九七
	カイゼル・ウイルヘルム二世 クレプスカヤ夫人著 米野豐譯（世界人傳記叢書第五ノ內 昭和六）		五九五	三三五
	カイゼル・ウンルウ集 世界戲曲全集刊行會編 昭和五（世界戲曲全集第一七卷 獨逸篇七）	一	五六六	四
	海戰 福永恭助 昭和八	一	六四三	二〇四
改撰	修身教授大資料 清原貞雄 昭和七	一	二六三五	七四ノイ
	海戰史論 ダリウ著 加藤政司郎等譯（世界興亡史論第一四卷） 昭和五	一	五一五	一三九
	蓋然性の哲學的考察 ラプラアス著 伊藤德之助譯 昭和六	一	六〇九	一六六
改撰	日本精神史纂要 亘理章三郎、大杉謹一編 昭和一〇（一三六頁）	一	六八六	六
	海戰祕話 中島武 昭和九	一	六五七	二三一
	海賊王の懷に入る 安藤盛 昭和七	一	六二〇	七三
	海村 有島生馬 昭和二	一	三五七	二六八
解體過程にある	支那の經濟と社會 上、下卷 ウイツトフオーゲル著 平野義太郎監譯 昭和九	二	六四九	一三三

		冊	函	號
	解題叢書 東北帝國大學附屬圖書館發行 昭和七	一	三七八	三三七
	第一篇 東北帝國大學附屬圖書館現在源氏物語關係書解題（同館編）			
	海道記 源光行（群書類從第一八輯紀行部ノ內 昭和三）		五八三	一四
	同（新校群書類從第一五卷紀行部ノ內 昭和四）		五八四	五
	同 玉井幸助校（岩波文庫一二一〇ノ內 昭和一〇）		五八九	一四
	海道記新註 野呂匡 昭和一〇 二六四頁	一	六九七	五〇
	海島算經 晉劉徽著 唐、李淳風注 昭和九 謄寫版	一〇	三〇二	二一
	介堂存稿 古澤滋著 中田敬義校 昭和八	一〇	二四九	二八五
	海島民俗誌（伊豆諸島篇） 本山桂川 昭和九	一	六六〇	二七
	海塘錄 清、翟均廉 民國二三 影印 二六卷（四庫全書珍本初集ノ內）	特一八〇	八四四	七一
	開拓者を語る 大阪中央放送局編 昭和一〇 一八三頁	一	六八三	一五七
解說	謠曲全集 第一卷 野上豐一郎 昭和一〇	一	六六八	二九
	害蟲講義 柴田文平 昭和六	一	六一七	一〇
	害蟲ノ發生ニヨル穀物ノ發熱ノ原因ニ關スル實驗的研究 高橋奬 昭和九	一	六五〇	二五〇
	害蟲防除寶典 名和梅吉 昭和四	一	五九七	九三
	海圖（生田春月追悼詩集） 麻生恒太郎等編 昭和五	一	三五七	二六八
	海圖の說明と用法及問題集 奧村伊三郎 昭和四	一	五九〇	四一
	海圖の話 國生行孝 昭和五	一	五六三	四一五

		冊	函	號
	改訂韻鏡 大島正健 訂再版 昭和二	一	三四四	四一ノイ
	海底電線の國產化と其效果の重要性（上海芝罘間海底電線の記錄的實績） ワツト社編 昭和一〇		六六六	一七三
海底秘話	潛水生活二十年 三浦定之助 昭和八	一	六四二	二五
	海調（歌集） 大山彙峰（又次） 昭和八	一	六六五	一一三
	海蝶叢書 海蝶發行所發行 昭和九、一〇	三	六六四	八
	第一篇 焦冥句集（村尾焦冥（太郎））			
	第二篇 蟻垤（伊勢喝象（勝藏））			
	第三篇 句集黑鯛（新庄野麥（哲雄））			
	海東歌謠 京城帝國大學編 昭和五	一	二三七	五一
	街頭偽映鏡 佐左木俊郎 昭和六	一	五九六	三三
	街頭廣告の新研究 水田健之輔 昭和五（商業美術研究叢書第一篇）	一	六〇六	一二八
	街頭經濟 國民新聞經濟部編 昭和三	一	五七五	一三四
	街頭經濟學 小汀利得 昭和六	一	六〇七	二五七
	街頭社會大觀 赤爐閣發行 昭和六	二	五六五	三〇六
	第一卷 閨の偶像（海野幸德）			
	第二卷 社會の偶像（同）			
	海東諸國記 申叔舟（朝鮮史料叢刊第二） 昭和八 複製	特一〇	一九三	五四
	街頭心理學 （各人のための實際的指導） マクヅーガル著 伊藤安二譯述 昭和七	一	六一九	九五
	街頭政治學 喜多壯一郎 昭和六	一	五九九	三五一

カイテ—カイハ

		冊	函	號
	街頭政治讀本（政治認識の基礎知識） 佐々弘雄 昭和八	一	六三四	二三八
	街頭宣傳學 堀田善太郎 昭和七	一	六二一	一六一
	街頭叢書 街頭社發行 昭和五	一	六一三	三〇
	第一編 帝國議會舌戰史（同社編）			
	街頭に送る（隨筆） 與謝野晶子 昭和六	一	六〇九	一八五
	街頭のさゝやき 寺田瑛 昭和六	一	六〇七	四三五
	街頭の社會學 室伏高信 昭和四	一	五二五	三六九
	街頭の哲學 松原寬 昭和八	一	六一九	一八三
	街頭の反テーゼ 陶山務 昭和八	一	六一九	二三八
垣內先生を中心とする	田邊講演 蘆田惠之助編 昭和八（同志同行叢書第五編）	一	二五九	一二六
	海難事件に基く船員及水先人の刑事上並に民事上の責任に關する法規改正陳情の經過 海員協會編 昭和一〇 謄寫版 七四頁	一	六七三	一六三
	同	一	六七三	一六三ノ
	海南朱子學發達の研究 糸賀國次郎 昭和一〇	一	六一三	二五九
	海難の研究 第一 伊澤梅吉 昭和八	一	六五三	一六〇
	海寶 林義昌編 昭和七	一〇	四一八	一五四
	解放運動の指導理論 赤松克麿 昭和四（民衆政治講座第一〇卷）	一	五八七	一一〇
解放運動無產政黨解放團體	現勢年鑑 解放社編 昭和二（解放群書第一三編）	一	五四八	二七

カイハ—カイヒ

		冊	函	號
〔海防義會〕研究報告	同會發行 昭和二至六	一三	一四五	二六
第二六號 Al を主成分とせる Al-Cu-Zn 合金の研究	(西村秀雄)			
第二七號 深度機の理論	(火兵學會誌第二〇卷第四號)			
	(青木保)			
第二八號 アルミニウム中の酸素に就て	(原田隆康)			
第二九號 瓦斯倫機關用燃料の試驗	(大河內正敏、宮本武之輔)			
第三〇號 アルミニウム又びアルミニウム合金の燒鈍に就て	(西村秀雄、篠田軍治)			
第三一號 アルミニューム中の炭素と室素に就て	(原田隆康)			
第三二號 Al を主成分とせる Al=Cu=Si 合金の研究(一)	(久恒中陽)			
第三三號 Al を主成分とせる Al=Cu=Ni 系合金の研究	(西村秀雄)			
輕合金の落鎚鍛錬試驗	(久恒中陽)			
第三四號 アルミニウム、マグネシウム、亞鉛三元合金系の研究(一)	(西原清)			
第三五號 Al を主成分とせる Al-Cu-Si 合金の研究(二)	(久恒中陽)			
第三六號 Al を主成分とせる Al=Cu=Si 合金の研究(三)	(久恒中陽)			
第三八號 アルミニウムの研究小品二篇	(原田隆康)			
第三九號 Al を主成分とせる Al-Cu-Si 合金の研究 第二報	(久恒中陽)			
アルミニウム合金の高溫加工溫度と其脆性の關係	(西村秀雄、久恒中陽)			
解放群書 解放社發行 昭和二至五		一八	五四八	二七
第一三編 解放運動無產現勢年鑑	(同社編)			
第一六編 政黨解放團體ユートピア全集	(守田有秋編)			
第一九編 露國勞働運動史	(近藤榮藏)			
第二〇編 彼等甦らば	(小川未明)			
第二一編 武左衞門一揆	(中西伊之助)			
第二三編 社會思想解說	(山內房吉)			
第二四編 革命藝術大系	(尾瀨敬止)			
第二五編 未來をめぐる幻影	(神近市子)			
第三一編 婦人運動當面の諸問題	(水野正次譯編)			
第三二編 幸德秋水評論集	(幸德秋水)			
第三三編 世界革命婦人列傳	(守田有秋編)			
第三七編 幸德いろは庵茶說集	(幸德秋水)			
第三八編 南歐社會運動史	(延島英一)			
第四〇編 日本叛逆家列傳	(田中惣五郎)			
第四一編 プロレ堆辯法教程	(同社編)			
第四二編 黑い女	(高群逸枝)			
第四四編 北米社會運動史	(關口熊吉)			
開方算式 關孝和編 昭和九	謄寫版	一〇	二一五	二七八
海防新編 西村茂樹譯 手稿本	六一丁	特 一〇	八二七	一二五
解放戰線に於ける農民の地位				
ブハーリン著 草ケ江二郎譯 昭和二		一	五四九	三一二
開方飜變 關孝和編 昭和九	謄寫版	一〇	三〇二	三一
海法要覽 高取安太郎 昭和二		一	五六一	一五〇
海法會誌 同會發行 第一二號(昭和二年)ヨリ		雜 二一		一五〇
海濱隨想(隨筆) 馬郡沙河子 昭和九		一	六六三	四九

		冊	函	號
開腹術の前後 第一、二輯 松尾巖 昭和五、九		二	五三	三〇六
解伏題文式斜乘之諺解 澤村寫本 謄寫版 昭和九		一〇	二一五	二六九
海部郡誌 同刊行會編 昭和二		一	五七七	四一
海表叢書 新村出監修 更生閣發行 昭和二、三		六	五六六	一五
卷一 知恥篇 三卷	(向井元升)			
鬼利至端破却論傳 三卷	(淺井了意)			
伴天連記				
(再刻)とがのぞき規則				
胡無知理佐无之略				
聖教日課	(アチジヤン編)			
卷二 火浣布略說	(平賀源內)			
救荒二物考	(高野長英)			
和蘭問答				
紅毛譯問答				
檜林雜話	(立原萬)			
嗚蘭演戲記 二卷	(筒井政憲)			
西域物語 三卷	(本多利明)			
諳厄利亞人性情志	(吉雄宜譯 浦野元周校)			
西客堅協鹿日本紀事	(ケンベル著 高橋景保抄譯)			
吉利支丹退治物語 二卷				
卷三 元和航海記	(池田好運)			
大島筆記 三卷	(戶部良熙)			
南國奇話				
菜力丸漂流記談 二卷	(堀照明)			
卷四 めざまし草				
貞德文集 二卷	(松永貞德)			
長崎根元記 七卷				
卷五 遉羅國風土軍記 七卷				
遉羅國山田氏興亡記				
渡島集 二卷	(向井去來、蓑田卯七編)			
海上物語 二卷	(惠中)			
聖教初學要理 四卷	(アチジヤン編)			
卷六 長崎土産	(磯野信春)			
瓊浦偶筆 七卷	(平澤元愷)			
呂宋覺書	(立原萬)			
西洋畫贊譯文稿	(前野良澤譯)			

カイフ—カイモ

		冊	函	號
解剖學 第一、二 岡島敬治 昭和八		二	四九	一〇四
解剖學 附 顯微鏡的檢查法 關正次 昭和五		一	四九	九五
解剖學 西成甫著 張方慶譯 昭和四		一	四九	九一
同 再版 昭和四		一	四九	九一イ
解剖學名ヲ中心トセル醫學生ノ「ラテン」語法				
森優、小林榮三郎 昭和一〇 一二二頁		一	六〇	一三六七
解剖したる中華民國 赤堀又次郎、金田敬義 昭和七		一	三七三	六一四
解剖術語集覽(掌中) 二村領次郎著 西成甫訂 昭和九 三版		一	四九イ	六九イ
(「解剖學袖携」ノ改題)				
解剖臺に凭りて 森於菟 昭和九		一	六四五	一八九
同 昭和一〇 普及版		一	六四五イ	一八九イ
海保儀平書 海保青陵 (近世社會經濟學說大系第二ノ內 昭和一〇)		一	六六四	二七
海保青陵集 昭和一〇 同人 (近世社會經濟學說大系第二)		一	六六四	二七
開目鈔講話(朝の修養一) 馬田行啓 昭和一〇 二〇二頁		一	六九二	一四〇
開目抄講話(日蓮聖人遺文一) 山川智應 昭和一〇 五二〇頁		一	六九四	三四

カイヤ

		冊	函	號
海洋運送	寺井久信　昭和二	一	五七二	二五七
同		一	五七二	一五七イ
海洋學	丸川久俊　昭和八（水產學全集第七卷）	一	六一〇	二三九
海洋學	野満隆治　昭和六（自然科學叢書第六編）	一	六〇一	二四
海洋學會叢書	海洋學會發行　昭和一〇	三	六六六	二三七
第一　海の波（日高孝次）				
大阪灣の振動（同）				
第二　天氣圖と天氣豫報（堀口由己、佐野堤二）				
第三　黒潮の話（肥沼寛一）		一	五三七	一七二
海洋學通論	梶山英二　大正一五	一	六四一	一〇八
海洋氣象學	臨時公立商船學校教科書編纂委員會編　昭和八	一	水	六七
海洋氣象觀測心得	水路部編　昭和八	一	一四六二	一九四イ
海洋氣象觀測法	海洋氣象臺編　三版　昭和六	一	一四六二	一九四ロ
同　四版　昭和九		三	一四六二	二五四ロ
海洋氣象五年報	明治四四年至大正四年、大正一〇年至同一四年、大正一五年至昭和五年海洋氣象臺編　昭和三至七	一	一四六二	三三三
海洋氣象臺一覽	同臺編　昭和八	六八	一四六二	二五四
海洋氣象臺彙報	同臺編　昭和二至六			
第一〇號　一、輕石の漂流に就て（關和男）				
二、無線電磁波に依る障碍防禦裝置の效果に就て（中野一馬）				
第一一號　一、氣溫に及ぼす太陽活動の直接作出の檢出（關口鯉吉、田口龍雄）				
第一二號　海上の風（堀口由己、高山四郎）				
第一三號　一、日本近海に於ける海流に關する實驗（日高孝次）				
二、琵琶湖の表面流に關する實驗（同）				
第一四號　一、檢潮井戸の導管の摩擦の影響に就いて（關口鯉吉、川崎英男）				
二、檢潮井戸の導管の摩擦に關係する風浪の影響の實地調査（川崎英男）				
第一五號　琵琶湖調査報告　第二編（八鍬利男、小野英雄）				
第一六號　一、春風丸の鐵製船體がエクマン流速計の磁針に及す偏差の測定（日高孝次、一木茂）				
二、ワーリユゼル測深機とルーカス錘測深機との比較（日高孝次）				
第一七號　大氣の波浪に就て（鈴木清太郎、大森福義）				
第一八號　播磨灘海洋觀測報告（日高孝次等）				
第一九號　神戸附近の海岸に於ける海陸風調査報告（八鍬利助等）				
第二〇號　颱風の構造に就て（堀口由己）				
颱風のエナージー（同）				
第二一號　大氣下層の粘性係數に就て（高谷靜馬）				
第二二號　ワーリユゼル測深機の補正とその精度（日高孝次）				
第二三號　三種の土壤の地表及び地中溫度に就て（八鍬利助）				
第二四號　河水溫度の簡易觀測法に就て（須田院次等）				
赤沼式比重計の使用法に就て（須田院次）				
第二五號　北太平洋の氣壓配置（堀口由己等）				
第二六號　北太平洋の低氣壓（堀口由己、久保時雄）				
第二七號　日本海の副振動に就て（川上宣孝）				

		冊	函	號
第二八號　瀨戸内海東部の潮流實驗報告（高谷靜馬）				
第二九號　瀨戸内海の海洋學的地理要素（安井善一）				
大阪灣に於ける漂流物の徑路に就て（關和男）				
等安定度線に就て（須田院次）				
第三〇號　颱風の發生に就て（堀口由己）				
第三一號　日本近海の溫帶性低氣壓に就て（高谷靜馬）				
第三二號　日本海に於ける雲量の分布に就て（佃十吉、吉川泰三）				
第三三號　風と表面吹送流とのなす角について（日高孝次）				
第三四號　雲より見たる颱風の構造（堀口由己）				
第三五號　神戸に於ける上層氣流の變化に就いて（石井次郎、本橋充）				
第三六號　蘇格蘭アーン及トレイグ兩湖の靜振に就て（日高孝次）				
第三七號　北太平洋の氣壓・雲量及び表面水溫の分布に就いて（佃十吉、吉川泰三）				
第三八號　パラオ島を中心とする近接熱帶地の雨量配布に就て（大和隆）				
第三九號　北伊豆地震調査報告（栁橋嘉市）				
第四〇號　溫帶性低氣壓の雨域に就て（知谷靜馬）				
第四一號　大阪灣の縱式軍節靜振に就て（日高孝次）				
第四二號　波の運動に關する問題（高谷靜馬）				
第四三號　密度流内のエネルギーの損失に就て（須田院次）				
第四四號　再び密度流内のエネルギーの損失に就て（須田院次）				
第四五號　船用水銀晴雨計示度の遲れに就て（佐野堤二）				
第四六號　朝鮮東岸沖に於ける夏期海況に就て（關和男編）				
第四七號　中部千島の氣候（神尾秀二）				
第四八號　神戸港の潮流と海流（日高孝次、安井善一）				
第四九號　大阪港内外の潮流（須田院次、安井善一）				

カイヤ

		冊	函	號
第五〇號　大阪灣の潮流（須田院次）				
第五一號　大氣の振動に就て（高谷靜馬）				
第五二號　滿洲の氣候概觀（田口龍雄）				
第五三號　排折水量に依る蒸の定量及び其新定量裝置に就て（松平康男）				
第五四號　京都の時雨（岩崎東一郎）				
第五五號　ステーション型水銀晴雨計の溫度更生に就いて（佐野堤二）				
第五六號　風による海表面の昇降について（肥沼寛一）				
第五七號　海面の傾斜に依つて發生する海流（傾斜流）の研究（日高孝次）				
第五八號　大阪府中河内郡堅上村峠の地辷りについて（栁橋嘉市）				
第五九號　神戸に於ける日射觀測成績（八鍬利助等）				
第六〇號　洞爺湖の靜振について（肥沼寛一）				
第六一號　顚倒式深海寒暖計示度の更生に關する新公式について（日高孝次）				
第六二號　顚倒式深海寒暖計の惰性其他に就て（安井善一）				
第六三號　神戸市裏山溪流及び沼に就ての觀測（松平康男）				
第六四號　空盒晴雨計の空盒内氣壓並びに溫度補整（佐野堤二）				
第六五號　風に依る海岸附近の水位傾斜の發達（日高孝次）				
第六六號　ナンゼン全潛比重計に依る海水密度測定（日高孝次、安井善一）				
第六七號　名古屋港内外の潮流（同）				
第六八號　黄海の霧に就いて（畑十吉、内山隆）				
第六九號　鳥原貯水池水溫觀測報告（久保時夫）				
第七〇號　颱風の内域（堀口由己）				
第七一號　被壓顚倒式寒暖計による深度測定の結果とその精度に就て（安井善一）				
第七二號　須磨沖に於ける蜉の日變化とネット及び採水器に				

		冊	函	號
	よる採集法の比較（柳澤忠實）			
第七三號	不連續線生成の一例（堀口由己）			
第七四號	大氣の波動に關する二、三の問題（肥沼寛一）			
第七五號	海水の蒸發（川崎英男）			
第七六號	室戸颱風調査概報（岡田武松等）			
第七七號	海峽に於ける靜振の研究（日高孝次）			
海洋氣象年報	大正一五、昭和元、二年（歐文）海洋氣象臺編 昭和二、三	二	一四、六、二	二五四 ロ
同 昭和三、四年		一	一四、六、二	二五四 ハ
海洋氣象編（運用術講義一）	戸井田一郎編 昭和二	一	五七三	七四
海洋科學	須田院次 昭和八	一	六五〇	一一五
海洋科學 海をひらく	丸川久俊 昭和六	一	六〇六	三六一
海洋觀測船「春風丸」	堀口由己 昭和二	一	一四、六、二	二六八
海洋調査彙報	水産講習所發行 昭和三、四	三	一四、三、イ	五四八 イ
第二卷 第一册	鞭藻類ノ千新種（丸川久俊）			
	鞭藻類ノ新屬種（同）			
	裂脚類ノ五新種（同）			
	日本海ノ蜉ニ就テ（同）			
	若狹灣ノ海況ニ就テ（神谷尚志、川名武）			
	日本海ニ於ケル下層冷水帶ニ就テ（同）			
第三卷 第一、二册	日本近海ニ於ケル大陸棚（沿海漁場）調査報告（同所編）			
改譯資本論解說	カウツキー著 高畠素之譯 昭和二	一	五六五	一六四
同 昭和五		一	六〇七	一九二
改譯新約聖書使徒行傳講解	ラルネデ著 昭和三	一	六〇	六九二
改譯增補經營學	ホフマン著 向井梅次譯補 昭和一〇 九二二頁	一	六四九	六〇 イ
改譯哲學概論	ウキンデルバント著 松原寛譯 昭和二	一	五五八	四八
改譯マルクス經濟學	ウンタアマン著 山川均譯 昭和五	一	五〇二	三〇九 ロ
カイヨー夫人之獄	第七至一〇册 大正一五至昭和二	四	五六一	七三
同 上、下卷	昭和四	二	五六一	七三
同		二	五六一	七三
改良主義のイデオロギー批判	アレキサンダー著 松本篤一譯 昭和二	一	五四九	三〇三
改良小住宅懸賞設計圖案集	附小住宅圖版撰集 住宅改良會編 昭和八	一	六五三	八三
改良增收 穴澤式甘藷栽培法	穴澤松五郎 昭和一〇	一	六七五	一八九
改良 白炭窯比較試驗成績	三浦伊八郎 昭和三	一	五六一	三五
改良 箱飼と箱濕布育	高瀨軍治 昭和九	一	六五七	一三〇
楷林	岩倉具選（可汲）編 寛政五	一〇	八三七	一一
改曆問題	國際聯盟事務局東京支局編 昭和六	一	五九〇	四九八
海路安心錄（算法一）	坂部廣胖（海事史料叢書第六卷ノ內 昭和四）		五九三	一七
街路照明	東京市政調査會編 昭和二	一	五七二	二七
同 訂再版 昭和四		一	五七二	二七 イ
カイロプラクテイツク醫術書 後編	フオスター著 東村英太郎譯 昭和四 謄寫版	一	六〇	六九二
同 前、後編 昭和五 再、三版		二	六〇	六九二 イ
海路歷程（小說集一）	中河與一 昭和六	一	六〇七	四一六
解惑算法	會田安明 昭和一〇 謄寫版 三二丁	一〇	三〇三	九六
解惑辨誤	神谷定令 昭和九 謄寫版	一〇	二五	三二
カインの末裔	有島武郎 昭和八（改造文庫第二部第二二九篇）	一	五六九	一四二
耕靄集 上、下	武村千佐子（耕靄）著 武村忠編 昭和七	二〇	二五	一二七
高壓空氣壓搾機計算法	數森敏郎 昭和一〇	一	六五〇	二八五
高壓化學技術	横山武一（化學工學講座第九ノ內 昭和一〇）		六八九	六九
高壓裝置の理論と實際	內田俊一、幡野佐一 昭和一〇 三八〇頁	一	六九七	三三
考案記錄	第三至二四回 陸軍造兵廠編 昭和二至一〇	三	五六三	七五
交友小錄	德富猪一郎 昭和九（成簀堂閑記夏）	一〇 特	二一六	一三六
高一新家事教科書教材精說	石澤吉磨 昭和八	一	二六三 七	一七九
高一新地理指導精說	佐藤保太郎 昭和八	一	二六三 六	二一〇
高地理一新地理書插繪中心景觀的取扱	森信美 昭和八	一	二六三 六	二一五
高二、二體操學習指導案	女子用 川口英明 昭和七	一	二七六	五三三
高一の理科教育	橋本爲次 昭和一〇	一	二六三 七	二〇〇
耕雲花鳥集	山田耕雲畫 清娛會編 昭和一〇	一〇	三〇一	五五
行雲とともに	高畑棟材 昭和九	一	六六一	一三
幸福の道へ	ストツダアト著 大木篤夫譯 昭和六	一	六〇九	一五八
耕雲別墅詩話	鄙啓祚（吉人） 宣統三	一	三一七	三八
耕雲別墅詩話	鄙啓祚（吉人） 宣統三	一〇	二一七	三七
香耀	第二至九 水上香邨編 昭和二至五	八〇	四三三	二四四
綱要石城郡町村史	諸根樟一 昭和四	一	五九四	一二四
綱要遺傳學	見波定治 昭和五	一	五六三	三〇七
綱要心理學發達史	野島忠太郎 昭和八	一	六〇九	四〇〇
綱要農業叢書	泰文館發行 昭和三	二	五八三	一六
綱要藥用植物學	佐藤敏雄編 昭和九	一	五〇	三九五
高溫度測定法	足田輝雄 昭和九（中外工業叢書第四）	一	六二六	一四
航海學	上、中、下卷 臨時公立商船學校教科書編纂委員會編 昭和八	三	六一七	二四一
航海金針	瑪高溫（海事史料叢書第六卷ノ內 昭和四）	一	五九三	一七
航海應用力學	臨時公立商船學校教科書編纂委員會編 昭和七	一	六一七	二〇八
航海科機關學	臨時公立商船學校教科書編纂委員會編 昭和七	一	六二七	一〇六
航海科參考圖	（第二附圖）臨時公立商船學校教科書編纂委員會編 昭和八	一	六三八	九三
航海科電氣工學	臨時公立商船學校教科書編纂委員會編 昭和八	一	六四一	六〇
航海教科書	海軍兵學寮編（海事史料叢書第一四卷ノ內 昭和五）		五九三	一七

航海指針	海員協會編 昭和八		一	六四三	二三七	
航海術	上、下卷 淺井榮資編 昭和四、五		二	五八八	二一〇	
航海年表	昭和三至九、一一年 水路部編 昭和二至一〇		八	水	一五	
航海の話	附圖付 米村末喜 昭和二		一	五七三	一一六	
航海風景	中島武 昭和一〇 二九〇頁		一	六八一	一〇〇	
航海表	薄井周介等編 昭和二		一	五七六	一一	
航海表(淺越一)	淺越金次郎 昭和三		一	五七六	三一	
航海用計算圖表	水路部編 昭和八		一	水	七三	
航海力學	前編 附初等數學概論 荒木勤 昭和九		一	六六三	三六	
航海練習所概要	昭和八年五月一日現在 同所編 昭和八		一	二九七	七四	
鋼鉸拱橋	武原秀雄 昭和六		一	五六三	四七一	
孝行竹の雪	一名繪入田原藤太 寶永五	特	一〇	京	四〇〇	
孝行物語	(繪入) 寶永七 二卷	特	一〇	京乙	四〇八	
高學年音樂生活の指導	北村久雄 昭和一〇		一	二六三三	三七四	
高學年教育の實際	小原國芳編 昭和四 (成城學園研究叢書第二卷)		一	二五九五	一〇五	
高學年の學級經營	松本浩記 昭和五		一	二五三	四五五	
高學年の表現舞踊	高橋堯 昭和六		一	二七六	五一六	
講學筆記	中村惕齋(續續日本儒林叢書第一册解說部ノ內 昭和一〇)			五七四	一八	
講學餘談	吉野作造 昭和二 (主張と閑談第六輯)		一	五二七	四九	
高架線	横光利一 昭和五 (新興藝術派叢書第三編)		一	六〇三	一一三	
鄉方日記抄	青山勝賢編 元祿四至文化一四 寫 (內藤家々中郡方記錄)		七〇	一五七	七六	
高架鐵道	中山忠三郎 昭和四		一	五七九	四五四	
香合譜	木下桂鳳編 昭和一〇		一〇	三〇三	一一九	
交感神經切斷療法	伊藤弘 昭和二 (新撰醫學叢書第一輯第二册)		一	六〇	八六六	
江漢西遊日記	司馬江漢 昭和二 (日本古典全集第二回)		一	五五〇	一七七	
硬球	福田雅之助 昭和三 (アルス運動叢書第一)		一	五八六	五五	
考究に値すべき大阪鐵道局の施政	本田一八郎 昭和四		一	五七九	二五三	
康熙字典	清、張玉書等奉勅選 都賀延鐘校 安永九		四一〇	八三七	一	
康熙帝御製耕織圖	附 圖風圖 走獺庵主人 昭和三		一〇	二二〇	三四	
高級エリミネーター受信機の設計と組立	川野義雄 昭和六		一	六〇六	三〇五	
高級桁梁論	鷹部屋福平 昭和四		一	五五八	一七三	
高級セミステール製造法の一例	岡島奈良藏 昭和六		一	六五三	一四	
高級鑄鐵	岡島奈良藏 昭和六		一	五八一	二八六	
同			一	五八一	二八六イ	
高級ラヂオの製作と原理	原田三夫 昭和八		一	六四二	二二一	
孝經	稻上四郎 昭和九		一	六六三	一〇六	
孝經	(漢文叢書第二〇ノ內 昭和二)			三七五	四二	

鋼橋	三浦七郎 昭和七		一	六一四	一三九	
同	上、中卷 訂補 昭和九、一〇		二	六一四	一三九イ	
交響(歌一)	佐野翠坡 昭和六 (撫槐叢書第三編)		一	五二九	二五四	
孝經繪卷	宇喜多一蕙原圖 寫	特	一	軸 明七	五六七	
孝經講話(聖典講義一)	飯島忠夫 昭和九		一	六六三	一八五	
好況か不況か其對策	フキツシャー著 川島良一譯 昭和九		一	六六〇	一四二	
交響曲	第三番 變ホ長調 ベートーヴェン作曲 (標準版世界音樂全集第八五)		一	七〇五	一	
交響曲(名曲解說一)	伊庭孝等編 昭和八 (名曲解說叢書第一篇)		一	六五一	三五	
交響曲集	第一至四 門馬直衛編 昭和九、一〇 (世界音樂全集第七四至七六、八三卷)		四	八三	四四一	
孝經參釋	川崎魯齋(履) 昭和一〇 二五丁		一〇	三〇一	九八	
講經新義	牧野謙次郎 昭和四 (題簽ニハ冠稱ニ「儒教時言」トアリ)		一	五九二	七九	
孝經小解	熊澤蕃山 (漢籍國字解全書第一卷ノ內 昭和二)			五五五	一イ	
同	昭和七			五五五	一ロ	
孝經小解(熊澤先生自筆一)	正宗敦夫編 昭和四		一〇	一二七	一七	
孝經忠經	五十澤二郎譯 昭和八 (支那古典叢函第四)		一	六二五	二三九	
交響展	第二回 山田華邨編 昭和一〇		一〇	三〇一	一〇六	
孝經入門	安岡正篤 昭和九 (聖賢遺書新釋叢刊第二一)		一	五二四	六〇五	
鋼橋の工作と其監督	青木楠男 昭和五		一	五六三	三三五	
鋼橋の理論と計算	第一至四卷 ブライヒ著 奥田秋夫等譯 昭和八、九 (最近土木工學名著飜譯第一、九)		四	六四八	六〇	
航空要覽	遞信省航空局編 大正一五至昭和九		八	五一八	二一	
航空界の今昔	日本航空研究會編 昭和七		一	四二六	三五	
航空航海と無線方向探知機	門岡速雄 昭和三		一	五八一	七六	
航空學ノ參考	大槻清一編 昭和四		一	五六三	二九一	
航空機乘員指針	遠藤辰五郎編 昭和五		一	六〇六	一〇三	
航空機ニ關スル外國特許要覽	日本學術振興會學術部編 昭和八至一〇		九	一四五	三八一	
航空機のABC	松平義雄 昭和六		一	六〇六	一八三	
航空機のABCより操縱法まで	加藤正澄、松平義雄 昭和九		一	六七五	八三	
航空機の材料及化學	荒木鶴雄 昭和九		一	六五〇	一八五	
航空機の發達に就て	武田次郎 昭和四		一	五七九	五〇二	
航空機用高壓磁石發電機に就きて	澤藤忠藏 昭和八		一	六五三	一五七	

カウク

			冊	函	號
航空計器	佐々木達治郎 昭和八（岩波全書第一四）		一	六四六	四
航空經濟政策論	檜崎敏雄 昭和七		一	六二七	一五一
航空工學	三木鐵夫 昭和七		一	六一七	一一
航空工學講座	工政會發行 昭和七、八		六	三一八	五六三
第一	翼の理論（和田小六）				
第二	プロペラの理論（河田三治）				
第三	飛行機の性能と强度（小川太一郎）				
第四	飛行機の安定と操縱（同）				
第五	航空原動機（富塚清）				
第六	航空用計測器（同）				
航空時代	中島武 昭和四		一	五九七	三二
航空常識	片岡直道 昭和七		一	六三一	五五
同			一	六三一	五五イ
航空寫眞測量	林猛雄 昭和九		一	六七二	一六
航空資料	第五至八號 遞信省航空局編 昭和二、三		四	一四五	一三七
航空照明	若井三子雄 康德三 二八頁		一	七〇七	六二
航空統計年報	昭和四至八年度（第一至四回） 遞信省航空局編 昭和七至一〇		四	一四四	八九七
航空讀本	小川太一郎 昭和七		一	六四一	二五
同			一	六四一	二五イ
同			一	六四一	二五ロ
航空ニツポン	平野零兒 昭和七		一	六二二	七二
航空年鑑	昭和五至一〇年 帝國飛行協會編 昭和五至一〇		一	六二七	一五一
同	昭和五至七年 昭和五至七		三	五九三	三一イ
航空年表	昭和一一年 水路部編 昭和一〇		一	水	八三
航空の驚異	新光社編 昭和七（科學畫報叢書第八篇）		一	雜 二六	七
航空の現狀と將來	小磯國昭、武者金吉 昭和三（文明協會ライブラリ第一一）		一	五六六	三六
航空發達史	新聞聯合通信社編 昭和八		一〇	四三〇	一六
航空發動機	大友博 昭和一〇 二一五頁		一	六八九	七
航空發動機	上卷 小川清二著 昭和一〇 三四六頁		一	五六七	一五一
航空發動機	富塚清等 昭和一〇（内燃機關工學講座第九卷）		一	六八九	六三
航空法規集	遞信省航空局編 昭和二		一	一四七	四〇七
航空法論	第一至三卷 山名壽三 昭和六、七		三	五九一	三一〇
航空物理學	佐々木達治郎 昭和五		一	四六	三四六
航空保險論	大林良一 昭和九		一	六四九	一七五
航空用語辭典	高松均 昭和九		一	六五七	一五六
航空力學と飛行機の設計	竹内孝一郎 昭和六		一	六一八	八
同	訂 昭和九		一	六一七	八イ
香具師奥義書	和田信義（談奇館隨筆第三編）		一	五六六	五四
號外	國木田獨歩 昭和二（岩波文庫六八）		一	五六九	一四
校外教護事業に關する研究	島田牛稚 昭和九		一	二七九	五八

			冊	函	號
校外教授資料	日本建築史 佐藤佐 九版 昭和一〇 一九八頁		一	五三七	七八イ
校外生活指導上より觀たる	健兒教育概論 少年團栃木縣聯盟編 昭和一〇 三九〇頁		一	二七九五	一一三
郊外生活者の朝	豐岡作一郎（戲曲・演劇評論叢書第二編）		一	六六八	一六
郊外通信	隨筆小品など 加藤武雄 昭和一〇 三二九頁		一	六九六	三九
校外に於ける	學生教護の實際的研究 島田牛稚 昭和七		一	二七九	五三
郊外碑文谷誌	（鄕土文化の一省察） 富岡丘藏 昭和四		一	五五六	四〇九
高皇后傳	皇后宮職發行 昭和六（明ノ太祖ノ皇后馬氏ノ傳） 複製	特	一〇	一四八	九一
考課狀の見方	三邊金藏 昭和六（株式相場全集第一一卷）		一	六〇六	一二九
江花叢書	井上江花（忠雄） 昭和八至一〇		三	五四八	五五
第一一卷	塚越ばんどり騷動				
第一二卷	海より見たる越中				
第一三卷	蝸牛隨筆				
孝教（萬家一教本一）	村田長兵衞 補再版 昭和三		一	五七〇	二四〇
江家次第	一、二 大江匡房著 正宗敦夫校 複製（日本古典全集ノ內 昭和六、八）		二	五四三	一一七
高血壓病と動脈硬化症	田村利雄 昭和五		一	五三	二八六
高血壓豫防と家庭療養	窪川經廣 昭和八		一	六〇	二四六
豪傑畫人	野澤如洋 薄田斬雲（貞敬） 昭和五		一	五七八	三一五
考現學	モデルノロヂオ 今和次郎、吉田謙吉 昭和五		一	五六二	一三六
考現學採集	（モデルノロヂオ） 今和次郎、吉田謙吉編 昭和六		一	六一四	一三三
傲軒吟稿	元、胡天游 民國二三 影印（四庫全書珍本初集ノ內）	特	一〇	八四四	二〇三

カウク—カウコ

			冊	函	號
高原史蹟	飛驒と江馬氏 柴田忠太郎編 昭和一〇 一一六頁		一〇	三〇三	一九四
高原の唱（詩集一）	前田鐵之助 昭和三		一	五八二	二一三
考古遊記	濱田耕作 昭和四		一	五九七	四七
鋼構桁橋	建設及架渡作業寫眞帖 滬屋書店編 昭和三		一〇	四三三	三一〇
港工學	鈴木雅次 昭和七		一	六二七	一三三
同	再版 昭和八		一	六二七	一三三イ
考工記管箘	卷上、圖 上野義剛著 井口文炳訂補 實歷二		二〇	八四一	九
考古要覽	石野瑛 三版 昭和三		一	五七八	一三
考古學講座	雄山閣發行 大正一五		八	六一〇	四五
第一號	民族論（清野謙次）				
	原始時代の武器と武裝（後藤守一）				
	埴輪及裝身具（高橋健自）				
	和鏡（廣瀨都巽）				
第二號	瓦（關野貞）				
	梵鏡（坪井良平）				
	金工史（香取秀眞）				
	漆工史（六角紫水）				
第三號	貨幣（三上香哉）				
	墳墓（高橋健自等）				
第四號	地質及古生物（佐藤傳藏）				
	神社と考古學（宮地直一）				
	先史時代遺跡（八幡一郎）				
	經塚（石田茂作）				
	經塚續編（同）				
第五號	上古の工藝（後藤守一）				

カウコ—カウサ

		冊	函	號
古代支那の金屬文化	（中村久四郎）			
考古學研究法	（濱田耕作）			
支那考古學に關する最近の諸發見	（石田幹之助）			
人骨測定表	（清野謙次）			
古墳	（島田貞彦）			
紋章學	（沼田頼輔）			
古代建築	（伊東忠太）			
城郭及城址	（大類伸、鳥羽正雄）			
第六號				
歐洲舊石器時代	（大山柏）			
歐洲舊石器時代（續）	（同）			
史蹟と考古學	（柴田常惠）			
歐洲新石器時代	（宮坂光次）			
同（續編）	（同）			
第七號				
刀劍	（小此木忠七郎）			
武家時代の城郭及城址	（大類伸、鳥羽正雄）			
樂浪帶方兩郡の遺蹟及遺物	（關野貞）			
第八號				
日本陶器史概説	（奥田誠一）			
神代ながらの新嘗御親祭	（關根正直）			
石製品	（後藤守一）			
鏡	（同）			
米國收藏の支那置物の二三	（原田淑人）			
考古學研究	三宅米吉 昭和四	一	五五三	八七
考古學研究資料 土中の文化	大野延太郎 昭和六	一	五九五	三七五
考古學研究法	モンテリウス著 濱田耕作譯 昭和七	一	六二七	一二三
考古學大觀	大野延太郎 昭和五	一	六〇五	九〇
考古學年報	第一至三輯 昭和六至八年度 東京考古學會編 昭和七至九	三	一四五	三〇七
考古學論叢	第一、二 東亞考古學會、東京考古學協會編 昭和三、五	二〇	一七六	六二
同	昭和三	一〇	一七六	六二イ
考古學論文集	考古學會編 昭和四	一	五五八	一八〇
庚午句鈔	野田別天樓編 昭和六	一	五九六	三四四
考古質疑引得	燕京大學圖書館編 民國一九 引得第三號	一	五七六	一九八
考古集錄	石野瑛 昭和九、一〇 武相叢書考古篇第一、二編	二	五九三	一九
好古小錄	乾、坤 藤井貞幹 寛政七	二	八四一	一五
考古說略	（圖入） シーボルト 明治一二	一〇	八四〇	四九
好古堂一家言	中村作次郎 再版 昭和二	一〇	一一	三二〇イ
考古圖編	第二、三、四輯 東大文學部考古學研究室編 昭和三至五	三	五六二	八三
考古圖聚	（高橋健自博士蒐藏） 解説付 後藤守一編 昭和五	一	六一〇	四一
好古日錄	本、末 藤井貞幹 寛政九	二〇	八四一	一四
江湖の中	別所梅之助 昭和一〇 四五八頁	一	六九三	三三
考古漫筆	住田正一 昭和一〇 一八〇頁	一	六〇九	四二七
鋼材年報	昭和二、三年版 第六、七號（昭和七、八年四月調） 製鐵所販賣部編 昭和三至八	四	五七九	二二一
鋼材の新寸法と其算定重量表	權田慶治郎 昭和三	一	五八六	一二八
鋼索運輸	交際秘訣應待雄辯法 樋口麗陽 昭和三	一	五三六	三五七
	（鋼索による運輸） 中村元 昭和九	一	六六二	三
耕筰樂話	山田耕筰 昭和一〇 三八六頁	一	六〇九	四一〇
耕作噺	中村喜時（近世地方經濟史料第二卷ノ内 昭和七）			六〇〇 二八〇
耕作辨用書	（近世地方經濟史料第六卷ノ内 昭和七）			六〇〇 二八〇
高山幽谷を尋ねて	（鑛業日本文化史） 武市雄圖 昭和三	一	五八六	六一
香山遺稿	石崎迅男（香山） 昭和四	一〇	一四〇	二九四
江山翁書	寫（手本）	一帖	八四二	一二四
江山翁千字文	寫（手本）	一帖	八四二	一二六
江三句集	昭和四（仙臺叢書第一七卷）	一	五〇八	一三
高山研究	河野齢藏 昭和二	一	五七二	一五三
高山公逸事	高山公三百年祭會編 昭和五	一	五九〇	三四七
高山寺緣起	高信著 奥田正造編 昭和七	一〇	二三二	四一四
高山寺明惠上人行狀	奥田正造編 昭和六	一	五九四	二〇七
高山植物圖彙	武田久吉 昭和八	一	五六九	四四六
高山植物と山草の培養	石田文三郎、原秀雄 昭和九	一	六五七	一四一
高山植物の培養	河野齢藏 昭和九	一	六五七	二八五
高山植物培養法（實驗）	吉田留作 昭和八（農業世界叢書第一）	一	六五一	一五
高山植物標本の作り方	深山晃 昭和八（博物標本叢書第二編）	一	六五二	八
高山深谷	第九輯 日本山岳會編 昭和八	特一	六四八	三七
同	再版 昭和八	特一	六四八	三七イ
高山の美を語る	吉田博 昭和六	一	五九五	三四一

カウサ—カウシ

		冊	函	號
濠洲ヴィクトリア州のトーレンス法	トーレンス著 日本勸業銀行調査課譯編 昭和四	一	五九一	一五八
濠洲ヴヰクトリア速歩駈歩競馬協會諸規程	帝國競馬協會編 昭和四	一	六〇四	一五八
濠洲ヴィクトリアフィリップ港 メルボルン港	水路部製 昭和七 九九・〇〇×六六・〇〇	一枚	洋	四五三
濠洲沿岸水路誌	第一至三、三 追補第一、四卷 水路部編 昭和六至八	五	水	五七
濠洲極東親善使節レーサム閣下復命書の抄譯	日濠協會譯編 昭和一〇	一	六七二	二〇九
梭鷹新義	上、下册 支、杜定友 民國一九	二〇	二三七	五三
濠洲セーント・ビンセント海灣 ポート・アデレード港	水路部製 昭和七 六五・五〇×四七・五〇	一枚	洋	四三九
濠洲セーント・ビンセント海灣 ポート・アデレード港附近	水路部製 昭和七 九五・五〇×六七・五〇	一〇	洋	四五一
濠洲東岸クキーンスランド ウイットサンデー島至ペルシー諸嶼	水路部製 昭和八 六五・七〇×九八・八五	一枚	洋	四八二
濠洲東岸クインスランド ケツペル諸嶼至サンデイ岬	水路部製 昭和七 一一四・〇〇×六八・一〇	一枚	洋	四五〇
濠洲東岸クインスランド ケツペル灣及ケツペル諸島	水路部製 昭和七 六五・〇〇×一一四・五〇	一枚	洋	四五三

カウシ

	冊	函	號
濠洲東岸シヨールウオーター灣附近 クインスランド　水路部製　昭和七　八二・〇〇×六五・五〇	一枚	一	洋 四四三
濠洲東岸ブリスベーン河 クインスランド　水路部製　昭和三　九七・〇〇×六六・七〇	一枚	一	洋 三六一
濠洲東岸ブロード・サウンド附近 クインスランド　水路部製　昭和七　八二・三五×六五・五〇	一枚	一	洋 四四九
濠洲東岸ペルシー諸嶼至ケッペル諸嶼 クインスランド　水路部製　昭和八　六八・四〇×一〇〇・〇〇	一枚	一	洋 四七〇
濠洲東岸シドニー港　水路部製　昭和七　六六・ ジアラリン港　二〇×一三〇・五〇	一枚	一	洋 四五四
濠洲南部　水路部製　昭和三　六三・七〇×九七・〇〇	一枚	一	洋 三六七
濠洲・南洋の經濟事情　秋間良一　昭和九　〔表紙ニ「濠洲、南洋に於ける織物の需給狀況」トアリ〕	一	一	六三二 四一二
濠洲ニ於ケル本邦採貝夫ノ現狀　外務省通商局編　昭和三	一	一	五七九 五四
高周波測定　第一至三卷　フント著　濱上銈・土生英二譯　昭和一〇（最近無線工學名著飜譯第一）	三	一	六五〇 二七〇
濠洲北岸カーペンタリア海灣　水路部製　昭和五　九〇・七五×六三・七五	一枚	一	洋 四〇〇
濠洲北岸クラレンス海峽　水路部製　改　昭和五　九八・九〇×六六・〇〇	一枚	一	洋 三九五
濠洲北岸グロート、アイランド至フオード岬　水路部製　昭和五　八五・七五×五五・三〇	一枚	一	洋 三九二
濠洲北岸ダーウイン港　水路部製　昭和四　九七・五〇×六四・四五	一枚	一	洋 三八七
濠洲メルビル島　附載　ダンダス海峽及クラレンス海峽　水路部製　六六・〇〇×四六・八五	一枚	一	洋 三九六

濠洲北部及附近諸島諸海　水路部製　昭和三　六〇・七〇×九七・〇〇　一冊　一輯　亥　一五七

香字抄　解說共　貴重圖書影本刊行會發行　昭和八　複製　一　五六九　一四

孝子善吉　（勸善懲惡孝子譽）河竹默阿彌著　河竹繁俊校　昭和三（岩波文庫二八一―二八二）　一　五一五　六八

好日（歌集）　松田常憲　昭和五（水甕叢書第二〇篇）　一　六五〇　一八〇

膠質學　上卷　鮫島實三郎　昭和九　一　六〇八　二一〇

膠質狀態學（理論）　石井新次郎　昭和六　一　四七　三一九

膠質狀態理論　ヴェーマルン著　岩瀨榮一譯　昭和三　一　六〇四　三六〇

孝子德行錄　文部省編　昭和五　一　六四六　四

鋼矢板工法　宮本武之輔　昭和一〇（岩波全書第六二）　一　五二四　六八四

杭上家屋の研究　宮坂光次　昭和二　一　五五四　二三九

江城日誌　（考證精確）（維新日誌第二期第一卷ノ內　昭和九）　二　三四　二七一

康正二年造內裏段錢幷國役引付　（群書類從第二八輯雜部ノ內　昭和七）　五八三　一四

同　（新校群書類從第二二卷雜部ノ內　昭和八）　五八四　五

向上の人生　馬場峯月編　昭和四　一　五七〇　二六六

向上の伴侶　藤井治夫（常陽）編　昭和三　一　五六九　一一七

高士山岡鐵舟　葛生能久編　昭和四　一　五五六　三九四

交詢和歌集　卷一、二　交詢社歌道研究會編　昭和二　二　五四九　二五七

考證讀物集　岡倉書房發行　昭和八　三　一五六　一一六

第一　長谷川伸篇　（同人）

第二　平山蘆江篇　（同人）

第三　土師清二篇　（同人）

好色一代男　井原西鶴　（近代日本文學大系第三卷ノ內　昭和二）　五六〇　九

同　昭和七　（萬有文庫第四卷ノ內　昭和三）　六二九　二八

同　井原西鶴　（萬有文庫第四卷ノ內　昭和三）　五四五　五二

同　井原西鶴著　和田萬吉校　昭和二（岩波文庫九四）　一　五六九　一四

同　井原西鶴著　正宗敦夫校　昭和六　複製（日本古典全集西鶴全集第一卷）　一　五四三　一一三

好色一代男　里見弴　昭和六（現代語西鶴全集第一卷）　一　六〇三　二七〇

好色一代男註釋　卷上　神谷鶴伴　昭和六　一　六〇三　二九四

同　神谷鶴伴　昭和九（改造文庫第二部第二四九篇）　一　五六九　一四三

好色一代女　井原西鶴　（近代日本文學大系第三卷ノ內　昭和二）　五六〇　九

同　昭和七　（萬有文庫第四卷ノ內　昭和三）　六二九　二九

同　（萬有文庫第四卷ノ內　昭和三）　五四五　五二

同　井原西鶴著　正宗敦夫校　（日本古典全集西鶴全集第三卷ノ內　昭和八）　五四三　一一三

好色一代女　長田幹彥　（現代語西鶴全集第五卷ノ內　昭和六）　六〇三　二七〇

好色五人女　井原西鶴　（近代日本文學大系第三卷ノ內　昭和二）　五六〇　九

同　昭和七　六二九　二八

同　（萬有文庫第四卷ノ內　昭和三）　五四五　五二

カウシ

同　井原西鶴著　和田萬吉校　昭和二（岩波文庫一一〇）　一　五六九　一四

同　井原西鶴著　正宗敦夫校　複製（日本古典全集西鶴全集第三卷ノ內　昭和八）　五四三　一一三

同　井原西鶴著　和田萬吉校　昭和二　一　五六九　一四

同　長田幹彥　（現代語西鶴全集第五卷ノ內　昭和六）　六〇三　二七〇

好色一代男註釋　伊藤整一編　昭和三（日本古典全集西鶴全集第六卷ノ內　昭和六）　一　五八二　四二

好色盛衰記　井原西鶴著　正宗敦夫校　（日本古典全集西鶴全集第六卷ノ內　昭和六）　五四三　一一三

高燭增燈勸誘資料　照明智識普及委員會（森右作等）編　昭和四　一　五七六　一三三

好色旅日記　阿形赤貧居士編　昭和三　一〇　一七三　一四〇

好色獨逸女　秦豐吉　昭和三　一　五七五　二〇七

好色二代男　（一名諸艷大鑑）久米正雄　昭和六（現代語西鶴全集第二卷）　一　六〇三　二七〇

好色二代男　井原西鶴著　正宗敦夫校　複製（日本古典全集西鶴全集第二卷ノ內）　五四三　一一三

好色の戒め（隨筆）　武田麟太郎　昭和一〇　三〇四頁　一〇　一九八　四八九

好色祕事談綺　佐藤紅霞　昭和五　一　五一七　六五七

好色本解題　柳亭種彥　昭和四　一〇　一八三　六二〇

好書雜載　高木文　昭和七　一〇　二三三　四〇八

同　增補　昭和八　一〇　二三三　四〇八イ

耕耘ノ動作研究　田中作治郎　昭和六　一　五七六　一九五

耕耘法　磯野七平編　昭和五　一　六〇八　四八

		冊	函	號
高所より觀る	永田秀次郎　昭和五	一	六〇九	三四
孝子六兵衞之傳(修訂)	頌孝會編　訂三版　昭和一〇　一九頁	一	〇	三五八
行人	夏目漱石　昭和五（岩波文庫六八〇—六八二）	一	五六九	一四
更新家庭生活	大日本聯合婦人會編　昭和九（家庭教育叢書第一）	一	六六八	一五
行人記	吉田絃二郎　昭和九	一	六六五	四三
幸心四度次第	（弘法大師一千百年遠忌記念出版）　昭和七	一	〇九	一三六
庚申待と庚申塔	三輪善之助　昭和一〇（民間信仰叢書第一篇）	一	六一九	二七三
更新的造林學	藤島信太郎　昭和五	一	六〇八	一四〇
江水散花雪	大蘇芳年畫（櫻田驥動ノ圖）	枚別	三	三三六
更生(歌集)	水上赤鳥(健二)　昭和七	一	六三三	七九
更生記	佐藤春夫　昭和五（新潮社長篇文庫第一編）	一	五一七	六六九
高青邱集	第一、四、五、一〇卷　久保天隨譯解　昭和五（續國譯漢文大成文學部第一九至二二卷）	四	五八四	一
高聲器の理論と設計	眞下明　昭和九	一	六六二	一五七
鋼製客貨車	小坂狷二　昭和四	一	五七六	一五六
校正古丹後風土記	六人部是香校（丹後史料叢書第三輯ノ內　昭和一二）		五五四	一五七
更生資本主義	ウェーバー著　戸野原史朗譯　昭和七	一	六二一	一三二
更生展覽會概要	倉敷勞働科學研究所編　昭和一〇　七〇頁	一	六八三	六一
更生途上先人を偲びて叢書	日本青年館發行　昭和九—一〇	六	六六六	一五八
第一輯	義農作兵衞　三版（大日本聯合青年團編）			
第二輯	二宮翁の精神（同）			
第三輯	石川理紀之助翁　四版（同）			
第四輯	興國精神　三版（同）			
第五輯	片平信明翁、金原明善翁（同）			
第六輯	近江商人（同）			
更生日本の黎明	水口正一　昭和七	一	六三四	七〇
更生農業と其事例	桑原仁右衞門(仁雷)　昭和四	一	五八六	二九
更生農村	（北橘村の實情）　今井善兵衞　昭和一〇（農村更生叢書第二九）	一	六三〇	三
更生農村教育	山崎延吉　昭和九	一	二九一	二四
更生農村實例	社會教育會編　昭和七	一	六三四	一〇〇
更生農村の建設	若尾金造　昭和七	一	六三一	七五
更生農村の模範的事例	協調會編　昭和九	一	六六二	一六三
校正の研究	大阪毎日新聞社校正部編　昭和三	一	五八六	七三
同	昭和四　六四一頁	一	五八六	七三
同				
更生の誕生日(社會劇)	池田龍一　昭和三	一	五八六	七三
更生の春	原卓二著　武田德晴等編　昭和三	一	五四九	四六三
更生の哈爾濱鐵路圖書館	同館編　康德二　三頁	一	五三六	三六〇
甦生の日	水野鐘雄(星光)　大正一五	一	二七八	三三四
甦生の路を辿りて	服部他之助　昭和二	一	五四九	一八五
更生の村は輝く	（優良更生農村表彰錄）　富民協會編　昭和九年度	一	五七〇	六五
		一	六六六	一二

		冊	函	號
更生模様と近古模様	大丸呉服店意匠部編　昭和二	一	四二	一〇三
幸清流手附本	第一至四卷　幸清會編　昭和八	四	〇	一〇三
江西留日學生經理處一覽	民國一六年一二月至同一八年七月　鄧天民編	一	九八	四四七
港政論	井上範　昭和五	一	五九〇	一九八
江浙養蠶業ノ現狀	外務省通商局編　昭和五	一	六〇八	四一
剛節構理論	三浦耀　昭和四	一	六〇四	一三五
香雪齋藏品展觀圖錄	內藤堯實、有尾佐治編　昭和九	一	五五二	二五七
香雪叢書	實踐女學校出版部發行　昭和七至九	特一〇	四二八	三八
第一卷	紀行隨筆よもぎむぐら（下田歌子）	六	六二九	七
第二卷	歌雪の下草　（同）			
第三卷	日本の女性　（同）			
第四卷	婦人常識訓　（同）			
第五卷	家庭訓　（同）			
第六卷	源氏物語講義　首卷　總論及梗概　（同）			
降雪と桑樹病傷害との關係試驗成績	農林省蠶絲局編　昭和五	一	五六七	六一
交涉應對座談術	大日本雄辯會講談社編　昭和六	一	六〇七	三八〇
鋼船構造論	小野輝雄　昭和三	一	五八一	六三
高僧逸話集	小瀧淳　昭和八	一	六一九	一七〇
高祖遺文錄	小川孝榮校・一五版　昭和一〇（日明編　二四五九頁「扉等ニハ「日蓮聖人御遺文」トアリ）	一	三五	イ一七九
高祖以來代々明匠碩學皆同不受不施事				

		冊	函	號
	日壽編　昭和七	一〇	二三七	六一
高層架構論	坂靜雄　昭和五	一	六〇八	四
〔高層氣象臺〕彙報	同臺發行　大正一五至昭和五	四	一四六ニ	二六一
第二號	館野上空に於ける平均風（大石和三郎）			
第三號	氣流觀測法　（同）			
第四號	館野に於ける雲の高さ　（同）			
第五號	館野に於ける平均風（第二報）（大石和三郎等）			
高僧傳	日野良貫　昭和四	一	三八六	二五四
高僧傳	天野覺明等（佛教大學講座第六ノ內　昭和九、一〇）		七一一	五四
高僧傳二十講	日野良貫　昭和三	一	五七〇	一五三
高僧法顯傳	奈良美術研究會編　昭和四　謄寫版	一〇	二〇五	三〇七
高僧名蹟集	高柳光壽編　昭和六（日本名筆全集第五）	一〇	二三七	三七九
高僧名著全集	平凡社編　昭和五、六	一八	六〇二	一六
第一卷	傳教大師篇			
第二卷	弘法大師篇			
第三卷	源信僧都篇			
第四卷	法然上人篇			
第五卷	道元禪師篇			
第六卷	親鸞聖人篇			
第七卷	日蓮上人篇			
第八卷	無住禪師篇			
第九卷	明惠上人篇			
第一〇卷	覺如上人篇			
	存覺上人篇			

		冊	函	號
第一一卷	澤庵禪師篇			
第一二卷	白隱禪師篇			
第一三卷	蓮如上人篇			
第一四卷	元政上人、日達上人篇			
第一五卷	行誡上人、慈雲律師篇			
第一六卷	夢窓國師、一休禪師篇			
第一七卷	拔隊禪師篇			
	盤珪禪師篇			
第一八卷	一遍上人篇			
	榮西禪師篇			
同	第一至一二卷 昭和九、一〇	一三	六七七	一七
高僧山下現有上人	井川定慶 昭和九	一	六六三	一七
高速デイーゼル貨物船霧島丸	モータシップ雜誌社編（船舶設計圖集第一集）昭和八	一	四二六	四七
高速鐵道工學	清水照（高等土木工學第一一卷ノ内）昭和五	六〇八		一八一
高速度編物全書	大日本編物研究會編 一八版 昭和八	一	六五〇	四九
酵素化學	理論、實驗 森元七 昭和四	一	四七	六〇〇
酵素化學（訂正）	總論 田所哲太郎編 訂六版 昭和四	一	三四九	四二〇
酵素化學概論	田所哲太郎編 昭和九	一	四七	六九一
酵素化學講話	大島幸吉 昭和四	一	四七	五九八
酵素研究法	大谷武夫 昭和六（自然科學叢書第五編）	一	六〇一	二四
江蘇省及安徽省淮河流域歷史地圖				
	東洋圖書刊行會製 昭和七 八〇・七五×五二・三五	一	枚 六二五	一三
江蘇省立國學圖書館年刊	第三、五、六 民國一八至二一年度	三	二七八	一五八
	同館編 民國一九至二二			
（私立）江蘇流通圖書館館屋落成記念冊	同館編 民國二四 四〇頁	一	二七八	二六二
香郁遺藁	大塚香郁（直路） 昭和五	一〇	一四〇	二九七
交替の時（詩集）	喜志邦三 昭和七	一	六二三	五九
香道	杉本文太郎 昭和四	一	五五二	二九六
香橙	八高短歌會編（八高短歌會年刊歌集第三編） 昭和三	一	五六八	一二〇
講道館今昔物語（柔道發達史）	古賀殘星 昭和九	一	六五七	一三四
講道館柔道修練法（寫眞圖解）	金丸英吉郎 昭和一〇	一	六六七	一六九
耕道書	寫（手本）	一	帖 す	六一
孝道と基督敎	松田明三郎 昭和一〇 一七一頁	一	六七九	一八七
孝道の科學的研究	廣池千九郎 訂再版 昭和四	一	五七九	四五一
孝道の研究と我子の敎育	服部一二 昭和五	一	二七五	七〇
鋼道路橋の設計	光永一三男 昭和八	一	六四一	一四九
	香田勝太滯歐作品集 同人 昭和五	一	五六二	一二四
巷談大阪の商業及商人	（巷談大阪商業史）佐古慶三 昭和二	一	五二四	七五二
江談抄	第一回 古典保存會編 昭和四	一	一三九	三一六
同	昭和五	一	〇 一三九	三一六イ
同	第一至六（新校群書類從第二一卷雜部ノ内 昭和五）		五八四	五

講談全集	第一至一二卷 昭和三、四 大日本雄辯會講談社編	一二	五八三	四〇
耕地	平林たい子 昭和五（新鋭文學叢書第一編）	一	五九六	二五四
高知高等學校一覽	第四至一三年度（大正一五至昭和一一年）同校編	一〇	二八三	四六
高知氣象五年報	大正一〇至昭和一〇年 高知測候所編 昭和二	三	一四、六	七四イ
耕地擴張改良事業要覽	第二至一〇次 農林省農務局編 昭和二至一〇	一〇	一四、二	二〇八
耕地擴張改良事業概要	農林省農務局編 昭和二	一	一四、八	九九
耕地擴張改良事業ニ依リ不況ヲ緩和セル事例	農林省農務局編 昭和七	一	六二五	一六二
耕地擴張改良奬勵施設要項	農林省農務局編 昭和六	一	六一四	六四
耕地擴張改良ニ關スル參考資料	農林省農務局編 昭和三至九	四	三三七	四三三
康治元年大嘗會記	藤原賴長（群書類從第七輯公事部ノ内 昭和四）		五八三	一四
同	（新校群書類從第五卷公事部二ノ内 昭和七）		五八四	五
〔高知刑務所〕刑務一覽表	昭和六年 同所編 昭和七	一	一四、六	三五イ
高知縣移出入統計	昭和三年 第一回 同縣編 昭和四	一	一四、二	三四
高知縣衞生會沿革誌	同會編 昭和七	一	一四、六	三六五
〔高知縣〕米統計	昭和六年 同縣編 昭和七	一	一四、二	三五三
高知縣產業組合要覽	昭和四年度 同縣編 昭和六	一	一四、二	七〇八
高知縣蠶業試驗場事業成績	第一一號 同場編 昭和四（〔高知縣蠶業試驗場事業報告〕ノ改題）	一	一四、二	一七〇
高知縣蠶業試驗場事業報告	同場編 昭和三	一	一四、二	一七〇
高知縣蠶業試驗場試驗成績	同場編 昭和三	一	一四、二	一五一
高知縣蠶業試驗場事績報告	第一〇、一三號 同場編 昭和二、六（〔高知縣蠶業試驗場事業報告〕ノ改題）	二	一四、二	一七〇
高知縣蠶業試驗場報告	第二號 同場編 昭和四	一	一四、二	六三三
〔高知縣產業諸分布圖〕	溝淵志郎編 昭和七	一	一四三	一四四
〔高知縣蠶業取締所〕蠶業取締事務成績	大正一五年、昭和元年度 同所編 昭和二	一	一四二	一五一
高知縣誌	同刊行會編 昭和八	一	六四〇	一七五
高知縣史蹟名勝天然紀念物	第一、三輯 同縣編 昭和三、七	二	一四、五	二二七
高知縣史蹟名勝天然紀念物案內	武市佐市郎 昭和六	一	五九五	二九六
高知縣維新志士遺墨展覽會出品目錄	高知縣主催 同縣編 昭和三	一	五四九	四三〇
〔高知縣種畜場長岡分場〕業務功程報告書	大正一四、昭和二至七年度 同場編（昭和二至八〔後業務成績報告書トナル〕）	四	一四、二	五八三
高知縣神社誌	竹崎五郎 昭和六	一	六二	一三一
高知縣水產試驗場事業報告	第二四至二六卷 同場編 昭和二至五	三	一四、二	九六
高知縣統計書	大正一四至昭和八年 同縣總務部統計課編 大正一五至昭和九	二五	一四、四	四六
高知縣に於て結果したる貿生支那栗の調査と				

		冊	函	號
内地に於ける支那栗栽培に關する考察（豫報）	渡邊恒男、中津川俊吉　昭和七	一	六二五	九五
高知縣名士錄	昭和一〇年度　南人社編　昭和一〇　六九三頁	一	六七三	二八
〔高知縣〕養蠶統計	昭和六年　昭和七　同縣總務部統計課編	一	一四、二	三五八
高知縣立圖書館一覽	同館編　昭和四	一	二七八	一三八
高知縣立農事試驗場業務報告	昭和六年度　昭和九　同場編	一	一四、二 イ	四二一
耕地事業ニ關スル農用機械利用實績一班	農林省農務局編　昭和八	一	六三八	一二五
高知市統計書	昭和二年版　同市役所編　昭和三	一枚	一四、四	五四四 イ
高知市勢要覽	昭和七、九年版　昭和七、九　同市役所編	二	一四、四	一〇二九
交趾支那ツーレーヌ附近諸分圖	東京水路部製　昭和四　九四・〇〇×六四・四〇	一枚	支	三〇四
高知商業會議所統計年報	大正一四、昭和三年〔昭和三年ヨリ高知商工會議所統計年報ト改題〕　猪野勝利編　昭和二、五至六年五月、五年六月、昭和二至七年五月至九年六月開催、農林省農務局編　昭和二	二	一四、八	八四
耕地主任官會議要錄	昭和五年五、六月開催　昭和五	八	六三	七三
同		一	六三	七三 イ
耕地整理	戸倉莞爾　昭和一〇　三五七頁	一	六八五	一一七
耕地整理及開墾助成事業要覽	愛知縣編　昭和四	一	五三四	三三四
耕地整理登記詳解	耕地整理區劃整理　上、下卷初、再版　大栗丹波、水谷一　昭和三、四	二	五八八	一三五
耕地整理組合財務提要	長谷川正一　昭和九	一	六五七	八六
耕地整理換地處分詳解	耕地整理　大栗丹波　四版　大正一四	一	五三七	三七 イ
耕地整理事業ニ關スル經濟調査	第一輯　農林省農務局編　昭和六	一	六一四	一〇四
耕地整理登記通解	大槻源一　昭和三	一	五七五	三三四
耕地整理と土地改良	有働良夫（農村更生叢書第一二）　昭和八	一	六三〇	三
耕地整理法要論	大石芳平　昭和二	一	五七二	四
同	訂五版　昭和七	一	五七二	四 イ
耕地整理法規大全	帝國耕地協會編　訂二八版　昭和一〇　六二四頁	一	一四、七	七二一
高知測候所氣象年報	昭和六年　同所編　昭和八	一	一四、六 二	七四
〔高知測候所〕管内雨量日表	第二編ノ一　明治二七年至昭和二年　同所編　昭和四	一	一四、六 二	二八一
〔高知測候所〕調査報告	同所發行　昭和八	一	一四、六 二	三三
高知〔縱行一七橫行三二圖幅第二四三號地質圖〕	地質調査所製　昭和六　三八・八〇×六三・七〇	一枚	一三	五八七
高知縱行一七橫行三二圖幅第二四三號地質説明書	鈴木達夫　昭和六	一	一三	五八七
耕地ニ關スル施設一覽	農林省農務局編　昭和三	一	五七六	一一五
耕地ノ擴張及潰廢ニ關スル調査	第二次　農林省農務局編　昭和三	一	一四、二 イ	五五五
高知藩教育沿革取調	高知縣編　昭和七	一	二五五 一	一〇三
高知藩田制概略	吉村春峯（近世地方經濟史料第二卷ノ内）　昭和七）	一	六〇〇	二八〇
麹町區史	東京市麹町區役所編　昭和一〇　一三〇三頁	一	六四〇	三二六
同	一三五四頁	一	五五四	一三七
麹町之狀勢	高島末吉編　大正一五	一	二六四	六〇
校長學本論	水木梢　昭和六　校長訓導	一	二六三	一〇七
事務統制の新研究	山崎博　昭和一〇　七一〇頁	一	一四、七	五八九
交通運輸土木建築法規	附　法令總索引　柴田義彦編　昭和一〇（特別法規判例學説全集第一二卷）	一	六八六	三〇
交通及び聚落と地形（コール）	淡川康一譯編　昭和一〇　一九二頁	一	五八七	三三
交通概論	小島昌太郎（經濟學全集第一六卷ノ内　昭和五）	二	五七九	三六八
交通講演集（創立一）記念	第一、二輯　日本交通協會編　昭和四（日本交通協會會報第二、三號）	一	五六三	三八三
交通夏期大學講義全集	交通之日本社編　昭和五	一	五九〇	二六一
交通學と交通政策	ナップチン著　前田稔靖譯　昭和五	一	六〇四	三九
交通廣告資料	大倉高商廣告研究會編　昭和五	二	六四二	二七
交通關係資料	日本交通協會發行　昭和八、九　第三輯　交通夜話（同會編）　第六輯　科學の驚異ロケット（小原常人）	一	五八八	四四
交通經濟學概論	島田孝一　昭和四			
交通經濟學序説	早瀬利雄　昭和九	一	六五〇	二三三
交通經濟論	小島昌太郎　昭和五	一	六〇〇	八三
交通警察論	藤岡長敏　昭和三	一	五七三	二〇三
交通研究資料	日本交通協會發行　昭和五至一〇　第五輯　一九三〇年の交通問題（同會編）　第一〇輯　交通事業の經營（同）　第一二輯　自動車交通事業法（同）　第一三輯　世界航空界の現狀（戸川政治）　第一五輯　我國關係に於ける國際海運（渡邊水太郎）　交通事業に於ける連絡協調（中川正左）　第一六輯　我國海運測面觀（廣幡忠隆）　第一七輯　交通機關と吾等の使命（笠松愼太郎）　第二〇輯　最近の交通事業（同會編）　第二三輯　最近の交通事業（同）　第三〇輯　自動車事業の經營　附自動車交通關係法令集（同）　第三二輯　滿洲に於ける運送取扱事情（同）　第三三輯　航空に就て（四王天延孝）　都市交通に就て（筧正太郎）　第三四輯　航空日本の現在並に將來　附航空に關する統計（片岡直道）　第三五輯　自動車經營の理論と實際（同會編）　第三六輯　國際觀光事業に就て（田誠）　第三七輯　現代交通機關の發達・道路交通について（中川正左）　第三八輯　航空二十年（相羽有）　第三九輯　交通事業の諸問題（同會編）	一	二五五	一〇三
		一	六五〇	二三三
		一	六〇〇	八三
		一	五七三	二〇三
		二七	五八六	二九五

		冊	函	號
第四〇輯	東京市の交通機關に就いて（早川德次） 我が國海運の現狀と時事問題（渡邊水太郎）	一	五八一	七イ
第四一輯	戰爭と交通機關（新井堯爾） 交通盲目（道家齊一郎）	一	六〇六	二八二
第四二輯	東北の交通（同會編）	一	五六三	一一〇
第四三輯	自動車工業漫談（橋爪準一郎）	一	六六六	二
第四四輯	世界海運の大勢と我が海運國策（黒川新次郎）	一	六〇八	六九
第四五輯	日本は何處へ行く（山下興家）			
第四六輯	東西の陸と空（同會編）			
第四七輯	オリムピックと交通（同）			
第四八輯	東京市電の更生策（石山賢吉）			

交通原論	佐藤敏章　昭和八	一	五八一	三三五
交通今昔物語	清水啓次郎編　昭和八	一	六四二	一一八
交通慘禍は斯くして起る	（如何にして防止するか） 昭和一〇　二二二頁	一	六八二	九四
交通事故と賠償責任	佐瀬昌三　昭和五	一	六〇七	三八
交通詳解 大東京案内	昭和八年版　高谷義重　昭和七	一	六三九	一
交通詳解 大東京地典	昭和七年版　高谷義重編　昭和六	一	五八七	一九四
交通上より觀たる新宿の將來	礒谷道一　昭和一〇 一五頁	一	六一六	一三六
交通政策	（海運）寺島成信　昭和二	一〇	一四	七七二
交通政策	（鐵道）中川正左　昭和二	一〇	一四	七七一
交通政策	丸善發行　昭和三	一	五八一	七
交通保全の爲に	上野交通事故防止會編　昭和五	一	六〇四	一五
交通物語	三井高陽　昭和七	一	五九七	四三五
交通論	齋藤富太郎　昭和四 （近代經濟叢書第四編）	一	五七五	一三三
交通論	政經書院發行　昭和一〇	一	六二七	三一二
	第一卷　電氣鐵道經營要論（喜多直之助）			
カウツキーは共産黨をかく排撃する	カウツキー著　小池四郎譯 （社會民主主義叢書第一卷）	一	五九〇	二七二
カウツキー夫妻への手紙	ルクセンブルク著　淺野正一譯　昭和九 （改造文庫第一部第五六篇）	一	五六九	一四二
上野國分寺文字瓦譜	相川龍雄編　昭和九	一	六七一	一七
上野國一の宮國幣中社貫前神社誌	貫前神社々務所編　昭和九	一	六三一	四八二
上野國群馬郡總輪軍記	上卷（新校群書類從第一六卷合戰部ノ內　昭和三）		五八四	五
上野國佐波郡赤堀村今井茶臼山古墳	附埴輪家形成（帝室博物館學報第六冊） 後藤守一　昭和八	一	一四五	三一
上野國山上多重石塔の研究	（上野上代に於ける佛教精神史の展開） 千々和實　昭和九	一	六七三	一七九
上野國神名帳	（群書類從第一輯神祇部ノ內　昭和六）		五六六	六一
同	（新校群書類從第一卷神祇部ノ內　昭和七）		五八四	五
上野國新田郡史	附新田義貞公家訓　太田稻主　昭和四	一	五九四	一四〇
上野名跡誌	富田永世編（明治年間）	一	八四〇	九
校定出雲國風土記	島根縣皇典講究分所編　昭和四	一	一四〇	二九三
校訂眞淵宣長訓古事記神代卷	岡田米夫等編 昭和八	一	六四〇	一一
高調すべき國本教育	中野八十八　昭和五	一	二五三	四五七
鋼鐵のあらし	ユンゲル著　佐藤雅雄譯　昭和五	一	五一七	六五九
鋼鐵の男スターリン	廣岡光治譯（世界人傳記叢書第一ノ內　昭和六）		五九五	三三五
高電壓工學に於ける誘電體原象	第一、二卷　ピーク著　コロナ會譯編 昭和三、四（電氣工學最新名著第一一）	二	五七二	三七
高等有機化學	江見節男　昭和八	一	四七	六五五
高等醫家獨逸語講義	賀川哲夫編　昭和六	一	六〇	一〇四五
高等英作文	內山源一　昭和三	一	五八二	二〇四
高等英作文資料	高橋碧　昭和九	一	六五六	一五九
高等英文法	高谷實太郎　昭和七	一	五八六	三九九
高等英文法理論	久保進　昭和三	一	五八八	一七
高等學校	（進路と展望）帝國大學新聞高校部編　四版 昭和七	一	二八三	五九
高等學校高等科入學者選拔ニ關スル調	昭和六至九年　文部省專門學務局編　昭和六至一〇	三	二八三	三三
高等學校卒業者ノ大學入學ニ關スル調	昭和四至六年　文部省專門學務局編　昭和四至七	三	二八一	三一

高等學校大學豫科專門學校專檢高資 **受驗手續及心得** 昭和二年度 横田眞一編 昭和二　冊一 函二五九 號五六八

高等學校と左傾問題 高山秋月 昭和七　冊一 函二八三 號五三

高等學校用 **鑛物學教科書** 附 本書中の鑛物產地圖 和田八重造 昭和五　冊一 函五六三 號三八四

高等學科叢書 裳華房等發行 昭和四　冊二 函五九三 號一三

第一卷 化學全篇（橋本吉郎）

第二卷 物理學全篇（河路甲午郎）

高等家事化學 伊南世燈編 昭和五　冊一 函四七 號三三四

高等家事物理學 造賀常一 昭和一〇　冊一 函四六 號四〇六

高等漢文漢語詳解 霜島勇氣男 昭和二　冊一 函五三九 號二一二

高等化學 前編 箕作新六 昭和八　冊一 函四七 號六五八

高等化學綱要並問題解法 一瀬雷信 昭和七至九　冊三 函四七 號六五六

理論化學編

無機化學編

有機化學編

高等化學計算法 橋本吉郎、澄谷泉 昭和五　冊一 函四七 號三三三

高等化學計算法 樫本竹治 訂六版 昭和五　冊一 函四七 號五五八イ

高等化學計算法解義 江見節男 昭和七　冊一 函四七 號六三〇

高等化學總括 橋本吉郎 昭和九　冊一 函四七 號六九五

高等化學補習 北岡馨 昭和五　冊一 函四七 號六〇九

高等化學問題演習 岩永源作編 昭和一〇 二一八頁　冊一 函四七 號七一六

高等化學問題選 岩永源作編 昭和五　冊一 函四七 號六三三

高等化學問題と解義 津田榮、北岡馨 昭和七　冊一 函四七 號六四三

高等官同待遇 **職員錄** 三秀社編 昭和六　冊一〇 函一四一 號一三三

高等警察法講話 松華堂編 昭和二　冊一 函五六五 號二〇七

高等警察法論 警眼社發行 昭和二、四　冊二 函五六五 號一四七

前 編（川村貞四郎、星野武雄）

第三卷 選擧の取締と選擧犯罪（同）

高等音樂通論 眞篠俊雄 昭和六　冊一 函二六三 號二八一

高等家事原論 石澤吉磨 昭和六　冊一 函六一七 號五

高等 **鑛物・地質學** 上、下卷 吉井正敏 昭和五　冊二 函五六三 號四三七

高等兒童心理學 關寬之 昭和五　冊一 函三五二 號一七一

高等教育數學 東洋圖書株式合資會社發行 昭和四、五　冊五 函五八八 號二〇九

第一篇 三角法篇 附 對數表、三角函數表（市原哲治）

第二篇 代數學（大石喬一）

第三篇 座標幾何學（田中保房）

第四篇 微分積分學 上、下（柴田寬）

高等代數學 神部嘉之、高津巖 昭和七　冊一 函六一七 號八一

高等代數學 園正造 昭和八　冊一 函六二七 號二〇七

高等女子倫理學 佐々木秀一 昭和六　冊一 函六二二 號一二七

高等哲學概說 得能文、高階順治 昭和七　冊一 函五八〇 號一七二

高等電磁氣學 野邑雄吉 昭和七　冊一 函四六 號三七五

高等動物學 上、下卷 吉田貞雄 昭和六、七　冊二 函六〇八 號二八一

高等波動論・音響學・光學 庄司彥六 昭和九　冊一 函四六 號三九一

高等微分積分學 岡田良知 昭和一〇　冊一 函六六二 號一六八

高等微分積分學 上、下卷 高津巖、神部嘉之 昭和八　冊二 函六二七 號二一一

高等微分積分學新撰 岡田良知 昭和二　冊一 函五七二 號四三

高等物理學 上、下卷 佐藤充 昭和二、三　冊二 函四六 號三一八

高等物理學計算問題集 庄司彥六 昭和五　冊一 函四六 號三四七

高等物理實驗 大島久次郎 昭和一〇 一〇〇頁　冊一 函四六 號四一一

高等平面圖學 神門久太郎 昭和五　冊一 函六〇八 號六五

高等教育 物理學問題集 附註解 庄司彥六 補習複習 昭和一〇 二四四頁　冊一 函四六 號四一九

高等力學 野邑雄吉 昭和七　冊一 函六一七 號七八

高等力學・物性・熱學 庄司彥六、野邑雄吉 昭和一〇 四一三頁　冊一 函四六 號四一四

高等教員檢定試驗 英語科研究の手引 後藤卯吉、內藤乾藏 昭和六　冊一 函五八三 號三三〇

高等教員檢定試驗 國語科研究者の手引 檢定同志會編 昭和二　冊一 函二五九 號五八〇

高等教員 國語科の受驗研究 細川馨 昭和八　冊一 函二五九 號六四二

高等教科 物理學 熱及音學篇 出射榮 昭和二　冊一 函四六 號三〇一

高等教科 平面三角法 藤野了祐 訂 昭和一〇　冊一 函四三 號三四三ロ

高等建築學 常磐書房發行 昭和八至一〇　三六 六三五 一三

第一卷 日本建築樣式（大岡實）

第二卷 建築樣式 第二 西洋東洋建築樣式（同）

第三卷 建築材料（田中正義）

第四卷 構造力學 第一 材料の力學的性質（吉田宏彥） 材の力學（伊部貞吉） 土の力學（井坂富士雄） 複式汎論（小野薰）

第五卷 構造力學 第二 トラス（小野薰） 矩形ラーメン及アーチ（武藤清）

第六卷 地震學（今村明恒）

構造物振動論（河野輝夫）

第七卷 建築構造 第一 一般構造（八木憲一等） 耐火構造（濱田稔、石井達郎）

第八卷 建築構造 第二 煉瓦及石構造（八木憲一） 木構造（南省吾、森徹） 社寺建築（南角隆）

第九卷 建築構造 第三 鐵筋コンクリート構造（田邊平學、二見秀雄）

第一〇卷 建築構造 第四 鐵骨構造（齋藤龜之助、池部宗藏）

第一一卷 建築施工法 契約・仕樣・積算（山下壽郎） 施工計畫及施工設備（久良知丑二郎）

第一二卷 建築設備（中西義榮）

第一三卷　建築計畫　第一　計畫原論（渡邊要、長倉謙介）　一　五六　二五〇
第一四卷　建築計畫　第二　住宅（清水一）　一　六七七　二〇
アパートメントハウス（同）
庭園（北村德太郎）
第一五卷　建築計畫　第三　ホテル（高橋豐太郎）　一　四七　六七八
病院（高松政雄）
サナトリウム（小倉强）
第一六卷　建築計畫　第四　商店・百貨店（高橋貞太郎、平林金吾）　一　二五九　五九六
事務所（藤村朗、本多二郎）
銀行（中山元晴）
第一七卷　建築計畫　第五　工場（高橋貞太郎）　一　六〇　四四一イ
市場（小野二郎）
火力發電所（高橋豐太郎）
第一八卷　建築計畫　第六　倉庫（柳澤彰）　一　四七　六七八
サイロ（谷口吉郎）
冷藏庫（山越邦彦）
自動車庫（日下部東一郎、佐藤鑑）
格納庫（山越邦彦）
第一九卷　建築計畫　第七　遞信省の建築（張嘗堆）　一　二九三　四四
旅客驛（遠藤金之助）
刑務所（藤田金一郎）
第二〇卷　建築計畫　第八　學校（古茂田甲午郎、柘植芳男）　一　四三　二八八ヘ

圖書館（江崎伸市）　一　四三　二八八ヘ
第二一卷　建築計畫　第九　美術館（小林政一）　一　六四一　四六
博物館・商品陳列館（下元連）
第二二卷　建築計畫　第一〇　劇場・映畫館（木村榮二郎）　一　四三　二八八ホ
カフエ・レストラン（小林隆德）
ダンスホール（小野薰）
第二三卷　建築計畫　第一一　俱樂部（市浦健、船越義房）　一　六一七　二四三
運動場（小林政一）
體育館及演武場（同）
第二四卷　建築計畫　第一二　溫室（增田八郎）　一　五七〇　一一
葬祭施設（島田藤）
屠場・畜舍（小野二郎、石原憲治）
塵芥處理場（志知勇次）
第二五卷　建築法規（菱田厚介、本田次郎）　一　六六六　三〇七
都市計畫（笠原敏郎）
住宅經營（中村寬）
第二六卷　建築構造　第五　一　五〇八　二四
家屋耐震並耐風構造（佐野利器、武藤清）

江東工業會大講演會速記錄（同會報第二七號附錄）同會編　昭和三　一　五九六　一四五
高等口語法講義　木枝增一　昭和六　一　六一一　八四
高等國文法講義　木枝增一　昭和四　一　五八五　七七
高等三角法　東京高等工學校編　再版　昭和七　一　六二七　九〇
高等三角法　附表（對數表及眞數表）高須鶴三郎、加藤平左衞門　昭和八　二　六二七　二二五

高等產婆學講義　產婆看護婦學會編　昭和二　一　五六　二五〇
高等試驗行政科外交科司法科分類別問題集　昭和一〇年版　啓明社編輯部編　昭和一〇　一　六七七　二〇
高等實驗化學　櫻井武平　昭和九　一　四七　六七八
高等師範及新研究學校　紙上參觀　水木嶽龍編　昭和三　一　二五九　五九六
高等師範部　哲理治療法講義錄　鈴木美山　訂二五版　昭和四　一　六〇　四四一イ
高等商業教育調查資料　神戸高等商業學校商業研究所編　昭和三　一　二九三　四四
高等商業數學　上卷　小林行昌　訂一七版　昭和四　一　四三　二八八ヘ
高等商業數學　上、下卷　北條時重　昭和八、九　二　六四一　四六
高等商業數學　水口晉三郎　昭和七　一　六一七　二四三
高等商業數學　上卷　小林行昌　訂一六版　昭和二　一　四三　二八八ホ
行動主義心理學　ウツドウオース著　朝日直樹譯　昭和二　一　五七〇　一一
行動主義文學論　小松清　昭和一〇（紀伊國屋パンフレット第五輯）　一　六六六　三〇七
高等手藝染色法（最新實用）　青木良吉　昭和七（染織叢書第一三編）　一　五〇八　二四
高等受驗用　獨作と和獨要語　澤井要一　昭和四　一　五九六　一四五
高等諸學校一覽　昭和五年　昭和五　文部省專門學務局編　一　二八〇　二

高等數學　電機學校編　初版　昭和二（電機學校叢書第一七卷）　一　三三〇　三三ロ
高等數學要義　河村信一　昭和八　一　六四一　一四三
高等數學概要　掛谷宗一　改六版　昭和二　一　三八一　一〇七イ
高等數學概說　野村猛　昭和七　一　六一七　九三
高等數學概論　田中增太郎　昭和一〇　一　六七五　二三四
高等數學綱要　越智治成　昭和五　一　五八三　三一七
高等數學講義　松村宗治、服部博　昭和一〇　三〇九頁　一　六二七　二九九
高等數學十講　鈴木一郎　昭和五　一　五六三　三七一
高等數學初步　坂井英太郎　昭和六　一　六〇八　二六四
高等數學諸論概要　池田芳郎　昭和六　一　五六三　五三三
高等數學選要　鈴木一郎　昭和五　一　六〇八　一七七
高等數學總括　附官立大學入學試驗數學問題及び解答　野村武衞　昭和八　一　六五〇　一五〇イ
同　（昭和一一年度版）　昭和一〇　二三七頁　一　六五〇　一五〇
高等數學叢書　岩波書店發行　昭和五至七　五　五八一　一九〇
第一編　常微分方程式論（藤原松三郎）
第二編　一般函數論（掛谷宗一）
第三編　三角級數論（陳建功）
第四編　デイリクレ級數論（泉信一）
第五編　抽象代數學（正田健次郎）
高等數學通論　池田芳郎　昭和八　一　六三七　二三一
高等數學ノ思想ト手段　西谷茂喬　昭和四　一　五六三　二五一

		冊	函	號
高等數學の手ほどき	山崎喜重郎 昭和九〔ローマ字書〕	一	六六二	一二三
高等青年講座	青年教育普及會發行 昭和六	一二	六一五	七
第一 修養	（深作安文）			
第二 博物	（山内繁雄）			
第三 法制經濟	（關屋龍吉）			
第四 農業通論	（小出滿二）			
第五 國文學	（沼波武夫、各務虎雄）			
第六 國史	（中村孝也）			
第七 地理	（碧海康溫）			
第八 公民	（友枝高彥）			
第九 西洋史	（大類伸）			
第一〇 物理學	（竹内時男）			
第一一 化學	（西川裕）			
第一二 美術	（福井利吉郎）			
第一三 數學	（國枝元治）			
第一四 商業	（上田貞次郎）			
第一五 工業	（秋保安治）			
高等小學校教育の動向と實踐	關勝男 昭和九	一	二七二	一一
高等小學書方手本新指導書	高等一年男女併用 竹田津永安 昭和八	一	二六二 三	三三三
高等小學家事學習指導案	高等科第二學年 酒井すゑ子、小久保とみ子 昭和九	二	二六二 七	一九〇
高等小學家事新指導法	第一、二學年用 石澤吉磨 昭和八、九	二	二六二 七	一七八
高等小學幾何指導の理論及實際	塚本清 昭和七	一	二六二 四	一七五
高等小學現代の手工・工業教材	佐藤佐 昭和七	一	二六二 三	三一四

		冊	函	號
高等小學國語書キ方手本編纂趣意書	一學年用 文部省編 昭和八	一	二六二 三	三五八
高等小學國史課程の新展開	高一、二 昭和七 大松庄太郎	一	二六二 六	一七〇
高等小學國史挿畫解說	增澤淑 昭和八	一	二六二 六	二〇一
高等小學國史挿繪の解說と其の取扱	三浦喜雄、本條鎌治郎 昭和五	一	二六二 六	一四八
高等小學國史新指導書	上、下卷 大松庄太郎 昭和八	二	二六二 六	二一一
高等小學三學年新算術書解說	二階源市 昭和八	一	二六二 四	一八六
高等小學算術教育の精神と新指導法	第一、二學年 高木佐加枝、龍崎寅雄 昭和八	二	二六二 四	一九〇
高等小學算術教科書解說	二學年の卷 福地賢造 昭和六	一	二六二 四	一六六
高等小學算術書第一第二學年教師用兒童用	修正趣意書 文部省編 昭和四	一	二六二 四	一五七
同	昭和六	一	二六二 四	一五七 イ
高等小學算術書第三學年教師用兒童用	修正趣意書 文部省編 昭和六	一	二六二 四	一五七
高等小學修身學習指導案	高二 安部清見 昭和六	一	二六二 五	九二
高等小學修身書編纂趣意書	文部省編 昭和九	一	二六二 五	一三三
高等小學修身書編纂趣意書、尋常小學修身書	文部省編 昭和六			
修正趣意書	文部省編 昭和六	一	二六二 五	八七
高等小學修身の公民的研究	岡篤郎 昭和一〇 三〇七頁	一	二六二 五	一三七
高等小學修正地理書解說	高二 高橋勝 昭和九	一	二六二 九	二三五
高等小學修正理科書解說	高等一學年用 二階源市 昭和七	一	二六二 七	一六五
高等小學唱歌歌詞評釋	友納友次郎 昭和五	一	六一一	一二
高等小學唱歌の解說並その指導（新訂一）	第一、二學年用 林松木 昭和一〇	二	二六二 三	三七八
高等小學校手工科新指導	阿部七五三吉 昭和二	一	二六二 三	二三四
高等小學新家事指導書	高一、二 山本キク、岡田香 昭和八、九	二	二六二 七	一七七
高等小學新裁縫指導書	高一、二 山本キク、栗田とよ 昭和九、一〇	二	二六二 三	三六一
高等小學新修身書解說	高一、二 市村清次郎 昭和五、六	二	二六二 五	七八
高等小學教材の統合と其活用	福本重次郎 昭和九	一	二六二 四	二二三
高等小學女生用修身書解說	卷一、二 市村清次郎 昭和六	二	二六二 五	九一
高等小學圖畫の解說と其取扱	高一 三笘正雄 昭和一〇 三八九頁	一	二六二 三	三七七
高等小學讀本第一義疏	卷一 岩瀬法雲 昭和一〇 三九七頁	一	二六二 二	四六六
高等小學讀本卷一乃至卷四修正趣意書	文部省編 昭和四	一	二六二 二	三〇六
同	昭和六	一	二六二 二	三〇六 イ
高等農業教育原論	千葉敬止 昭和四	一	二九一	八一
高等小學農業指導書	上、下卷 千葉敬止 訂一〇、一五版 昭和一〇	二	二九一	九六
高等小學農村の家事教授	上、下卷 昭和九 第一、二學年 林勇記	二	二六三 七	一八七
高等小學北海道農業書の解說	高一 上、下卷 北海道農業教育研究會編 昭和八	二	二九一	八八
高等小學補習學校簿記指導書	單式篇 松本喜一、高橋福三 昭和四	一	二七五 五	三三
高等積分學	竹内端三 增訂九版 昭和二	一	五二一	二一 ロ
高等專門學校野球大會史	一〇周年記念 帝國大學野球部聯盟編 昭和八	一	二七六	五七三
高等代數學	高須鶴三郎、加藤平左衛門 昭和九	一	六五〇	一九〇
高等代數學	田中正夫 昭和四	一	五八八	一九六
高等代數學	上卷 群論 関正造 昭和三	一	五八一	一六四
高等代數學概要	石坂信次郎編 昭和九	一	六五三	二七三
高等代數學通論	增訂二版 昭和二	一	五四二	一六七 イ
同	訂三版 昭和五	一	五四二	一六七 ロ
高等圖學	東京高等工學校編 昭和九	一	六六二	八七
高等圖學	福田正雄 昭和三	一	五八一	一六七
同		一	五八一	一六七 イ
高等圖學解說	下卷 星野信之 昭和二	一	三二二	四三六
高等定性分析表	橋本吉郎 昭和七〔卷ニハ冠稱ニ「表式」トアリ〕	一	四七	六五三
高等獨逸語講座	第一至三卷（獨逸語短期大學高等篇ノ別名）三浦吉兵衛編 昭和六	三	六〇三	二七九
高等動物學	飯塚啓 昭和九	一	六五〇	二三四

高等土木工學　常磐書房發行　昭和六至八

		冊	函	號
第一卷	應用地質學（平林武） 應用地震學（物部長穂） 土性力學（山口昇）	二	六〇	一八一
第二卷	應用力學（高橋逸夫） 應用水理學（前編）（村野爲次）			
第三卷	測量學（關信雄）			
第四卷	土木材料（藤井眞透）			
第五卷	基礎工及土木施工法（谷口三郎）			
第六卷	鐵筋混凝土工學（前篇）（吉田彌七） 同（後篇）（永田年）			
第七卷	土木工事用器具機械（志水直彦）			
第八卷	隧道工事（瀧山興）			
第九卷	道路工學（牧野雅樂之丞）			
第一〇卷	橋梁工學（三浦七郎）			
第一一卷	鐵道工學（平井喜久松、岡田信次）			
第一二卷	軌道工學（佐藤利恭） 高速鐵道工學（清水淵） 上水工學（河口協介）			
第一三卷	下水工學（茂庭忠次郎）			
第一四卷	河川工學（福田次吉）			
第一五卷	港灣工學（鈴木雅次）			
第一六卷	發電水力工學（萩原俊一） 電氣工學（森田重彦、林誠一）			
第一七卷	溪流及砂防工學（赤木正雄） 都市計畫（内山新之助）			
第一八卷	建築工學（伊部貞吉） 土木行政（田中好）			
第一九卷	土木瑣談（牧彥七）			

		冊	函	號
	近世道路史論（和田篤憲） 交通運輸（江守保平）			
第二〇卷	鐵道工學特論（池原英治）			
高等微分學	竹内端三　增訂二一版　昭和二	一	三八一	一六九ロ
高等微分積分學	田中正夫　昭和八　三三四頁	一	六四一	一三五
同		一	六四一	一三五イ
江頭百詠	寺門靜軒（良）	一〇	八三八	三九
高等百科知識講座	日東書院發行　昭和八	一	六二五	二五八
第一	現代文藝思潮講話（小島德彌）			
高等佛作文研究	杉田義雄、吉田進　昭和八	一	六三三	一四九
高等物理學	上、下卷　竹内潔　昭和七	二	四六	三六八
高等物理學	裳華房發行　昭和二至四	六	四六	三二六
第一篇	重學（平塚忠之助編）			
第二篇	熱學（同）			
第三篇	光學（同）			
第四篇	波動論、音響學、物理光學（同）			
第五篇	電氣學、磁氣學　上、下卷（同）			
高等物理學一般	緒方信助編　昭和一〇　四四四頁	一	四六	四二四
高等物理學要論	造賀常一編　昭和八	一	四六	三八一
高等物理學講義	出射榮　昭和七	一	四六	三七〇
高等物理學講義	「物質の物理學」篇　竹内時男　昭和三	一	四六	三二七

同　昭和四

		冊	函	號
高等物理學講話	原子物理學　三村剛昂、助川巳之七　昭和八	一	四六	三七六
高等物理學講話	力學　三村剛昂、助川巳之七　昭和一〇	一	四六	四一〇
高等物理學提要	上、下卷　大島久次郎　昭和一〇	二	四六	四〇七
高等物理學補習	竹内潔　昭和四	一	四六	三四五
高等平面三角法	川本武司　昭和三	一	三三	四九五
高等平面三角法	鈴木一郎　昭和五	一	五六三	四三五
高等平面三角法	野村猛　昭和四	一	三八三	一六八
同	昭和五	一	三八三	一六八イ
高等平面三角法	附錄　對數表付　山崎榮作　昭和二	一	五七三	一二一
高等平面三角法	附錄付　渡邊秀雄　昭和三	一	五八一	一七六
高等平面立體圖學	市浦健、船越義房　昭和六	一	六〇八	二九六
同	訂三版　昭和八	一	六〇八	二九六イ
同	訂四版　昭和九	一	六〇八	二九六ロ
同	訂補五版　昭和一〇	一	六〇八	二九六ハ
高等無機化學	江見節男　昭和八	一	四七	六六七
高等無機化學（理論應用）	長谷川文雄、西岡國譽　昭和三	一	四七	三一七
行動より見たる優良兒不良兒	霜島新七　昭和二	一	二五五	一四〇
高等力學	東京高等工學校編　昭和九	一	六六三	八九

		冊	函	號
高等力學	平塚忠之助　昭和五	一	四六	三二七イ
高等立體幾何學	高須鶴三郎、加藤平左衞門　昭和六	一	五六三	五二四
高等立體幾何學	鈴木一郎　昭和四	一	三八三	一五六
高等立體幾何學通論	中川銓吉、黒河龍三　昭和七	一	六一七	一五八
幸德秋水集	同人（改造文庫第一部第三六篇）昭和四	一	五六九	一四二
幸德秋水評論集	同人（解放群書第三二編ノ内）昭和三	五四八		二七
江都督納言願文集	大江匡房著　平泉澄校　昭和四	一	五九二	九九
江南の經濟史的考察	清水泰次　昭和九	一	六七二	一八九
江南の詩の旅	細貝香塘（泉吉）昭和五	一	五一七	六六八
高二新家事教科書教材精說	石澤吉麿　昭和九	一	二六三七	一七九
高二新家事教材並指導法の研究	齊田コト　昭和九	一	二六三七	一九三
高二新地理指導精說	佐藤保太郎　昭和九	一	二六三六	二〇
抗日運動と天津事變	淺野護　昭和七	一	三七三	六一四
耕農要術	卷ノ一、二　西村茂樹譯　手稿本　二五丁	特二〇		八二七	一一三
江濃記	（新校群書類從第一六卷合戰部ノ内、昭和三）			五八四	五
孝の研究	服部一二　昭和二	一		五七〇	三三
考槃社支那名畫選	第二、三集　同社編　昭和二四	二〇		四一八	九七
硬筆書方教授法	齋藤梅雄　新訂　大正一五	一	二六三三	一七五イ
幸福	昭榮會編　昭和九	一〇		四二八	二六

			冊	函	號
幸福者	武者小路實篤	昭和二（岩波文庫六六—六七）	一	五六九	一四
幸福な宮樣（オスカアー・ワイルド）	ワイルド著 小山鬼子男譯註	昭和九	一	六五六	一九一
幸福の丘	横山美智子	昭和二	一	五五〇	一五七
幸福の獲得（ラツセル）	ラツセル著 島爲雄譯	昭和六	一	六〇九	二七七
幸福の源泉としての信仰	野依秀市	昭和八	一	六四五	五一
幸福の哲學	石丸梧平	昭和一〇	一	六六三	二一七
幸福の船	シュミットボン著 浦上后三郎譯註	昭和八	一	六四三	一二七
幸福への道	ヒルテイ著 平田元吉譯	昭和二	一	五三六	二八五
幸福論	ヒルテイ著 草間平作譯（岩波文庫一一七四—一一七五）	昭和一〇	一	五六九	一四
幸福論（ラツセル）	ラツセル著 富田義介、小倉兼秋譯註	昭和九	一	六五六	一七〇
江府名勝志	南陽子	享保一八	三〇	八三九	一七四
同	〔地ノ巻ヲ缺ク〕		二〇	八三九	一七三
康平記	平定家（新校群書類從第一九卷雜部ノ内）	昭和七）		五八四	五
航米日錄	（仙臺叢書第一七卷）	昭和四	一	五〇八	一三
神戸を中心とせる重要工業の鳥瞰	佐藤謙一編	昭和一〇 七〇頁	一	六八四	六二
神戸海運集會所	日本船舶レヂスター	一九三〇年 昭和五 同所編	一	四三三	三九五
神戸海港博覽會記念館出品目錄	神戸博覽會協會編	昭和六	一	二〇	二三一
神戸港外國貿易概況		大正一五、昭和元至三、五、七、八年 神戸稅關編 昭和二至九	六	一四、四	三〇七

			冊	函	號
神戸港大觀	神戸市港灣部編	昭和二	一	五一八	七五ホ
同	昭和三		一	五一八	七五ヘ
同	昭和四		一	五一八	七五ト
同	昭和五至一〇		六	五一八	七五
神戸高等工業學校一覽		第六至一四年 昭和二至一〇年 同校編	九	二九二	七五
神戸高等商業學校一覽		昭和三年四月調 昭和二至一〇 同校編	一	二九三	一三
神戸高等商業學校創立二十五周年記念論文集	同校編	昭和四	一	五五二	一五〇
〔神戸高等商業學校〕商業研究所講演集	同所發行	昭和二、三	一〇	一四、五	四一
第三二册	資本の維持と經營の維持	（原口亮平）			
第三三册	住所に關する考察	（齋藤常三郎）			
第三四册	限外發行論	（田中金司）			
第三五册	公債予租稅乎	（花戸龍藏）			
第三六册	稅法上の損益	（原口亮平）			
第三七册	支拂猶豫に關する法律的考察	（齋藤常三郎）			
第三八册	經營學に於ける實用主義	（平井泰太郎）			
第三九册	破產及び和議と信託	（齋藤常三郎）			
第四〇册	英蘭銀行券と政府紙幣との合併に就て	（田中金司）			
第四一册	商學の任務とその内容	（福田敬太郎）			
神戸高等商船學校一覽		昭和三年九月 同校編	一	二九七	六七
〔神戸高等商船學校〕創立十五周年記念誌	同校編	昭和一〇 二六七頁	一	二九七	七八
神戸港内に於ける艀乘組員竝に家族の					

			冊	函	號
生活狀態調査	神戸市社會課編	昭和四	一	五七九	四二四
神戸生絲檢查所事業成績報告		昭和七至九年 昭和八至一〇 同所編	三	一四三イ	七四六
〔神戸生絲檢查所〕調査時報		第一至八號 同所編 昭和九、一〇	三	一四二ロ	三三一
神戸生絲檢查所調査報告		昭和六至八年 同所編 昭和八至一〇 上、下卷	五	一四二イ	七三二
神戸觀光要覽	（神戸區觀光協會編）	昭和一〇 一八〇頁	一	六七九	二〇九
神戸觀光の栞	神戸市觀光課編	昭和九	一	六六六	一六一
〔神戸刑務所〕刑務一覽表		昭和三、五、七、一〇年 同所編 昭和四至一一	一	一四、六ロ	五六
神戸工業高等專修學校一覽（財團法人）		第一號 昭和一〇 同校編	一	二九二	九七
神戸古今の姿	岡久毅三郎	昭和四	一	四二二	一二六
神戸市衞生施設要覽	第一、二回	昭和八、九 同市衞生課編	二	一四、六ハ	二八〇
神戸市衞生統計書		昭和五年 昭和七 同市衞生課編	一	一四、六ハ	二六九
神戸市街線高架改築工事概要	鐵道省神戸改良事務所編	昭和六	一	三七二	四五一
神戸市行幸記念誌		同市役所編 昭和四	一〇	二〇五	三一四
神戸市國勢調査概報		昭和五年 同市役所編 昭和六	二	一四、四	八七三
神戸市國勢調査結果表		大正一四年 昭和二 同市役所編	一	一四、四	七三八イ
神戸市財政要覽		昭和二年度 第一九回 昭和二 同市役所編	一	一四、四	三三七
神戸市在住朝鮮人の現狀		昭和四年一一月現在 同市社會課編 昭和五	一	六〇四	二〇八

			冊	函	號
神戸市市勢調査結果表		上、下卷 昭和五年一〇月一日現在 昭和六、七 同市役所編	二	一四、四	九二
神戸市商工要覽	第二、三回	昭和五至九年 同市役所商工課編	七	五八一	四〇
神戸市商工名鑑		同市商工課編 昭和五、七	二	六一二	五
神戸市社會事業概況		昭和二至五、七、九、一〇年度 同市社會課編 昭和三至一〇	七	三七八	一三三
同		昭和元年度 昭和二	一	三七八	一三三ニ
同			一	三七八	一三三ホ
神戸市勢要覽		第一四至一六回 昭和六至一〇 同市役所編	三	一四、四	四一六
神戸市統計書		第一七回第一、三、四、七、九編 第一至四、七、八編 第一九回第一至五、七至九編 第二〇回第一至七、九編 第二一回第一、二、四、八、九編 第二二回第一編 昭和二至一〇 同市役所編	三九	一四、四	二四九
神戸市民祭みなとの祭	（昭和八年一一月七、八日）	同市民祭協會編 昭和八	一〇	六三三	三九
神戸商業大學一覽		昭和八年三月 同學編 昭和八	一	二九三	一三
神戸商業大學經營學研究室	産業合理化圖錄	平井泰太郎編 昭和七	一	六一六	二一
神戸商業大學創立三十周年	記念論文集	同學編 昭和一〇 七七七頁	一	六九〇	一二
〔神戸商業大學〕商業研究所講演集		同學發行 昭和五至一〇 〔神戸高等商業學校〕商業研究所講演集ノ改題）	四〇	一四、五	四一
第四四册	破產管財人の監督	（齋藤常三郎）			
第四五册	金本位制に於ける爲替統制	（田中金司）			

第四六冊　貨幣制度に於ける最近の傾向（高垣寅次郎）　一　六二七　二三三
第四七冊　法人信任の傾向（齋藤常三郎）　一　六二七　二三三
第四八冊　市場經濟と獨占的企業（福田敬太郎）　一　六二七　二三三
第四九冊　米價の統制に就て（内池廉吉）　一　六二七　二三三
第五〇冊　獨逸賠償金支拂理論の考察（生島廣治郎）　一　六二七　二三三
第五一冊　獨逸の外資輸入と賠償支拂の將來（增井光藏）　一　六二七　二三三
第五二冊　原價計算に於ける時價主義（林健二）　一　六二七　二三三
第五三冊　火災保險料率協定の效果（瀧谷善一）　一　六二七　二三三
第五四冊　私法原理の變轉（齋藤常三郎）　一　六二七　二三三
第五五冊　本邦外國貿易の實勢觀察（柴田銀次郎）　一　六二七　二三三
第五六冊　貨幣制度と國際經濟關係（高垣寅次郎）　一　六二七　二三三
第五七冊　破產・和議債權者の職業的代理人（齋藤常三郎）　一　六二七　二三三
第五八冊　國際均衡理論と金本位制の機構（田中金司）　一　六二七　二三三
第五九冊　中央卸賣市場の職能に關する一考察（福田敬太郎）　一　六二七　二三三
第六〇冊　預金流通速度と支拂準備金（田中金司）　一　六二七　二三三
第六一冊　利息制限法改正論（柚木馨）　一　六二七　二三三
第六二冊　オツタワ會議の世界經濟的意義（瀧谷善一）　一　六二七　二三三
第六三冊　市場權補償問題（福田敬太郎）　一　六二七　二三三
第六四冊　火災保險料率の理論（瀧谷善一）　一　六二七　二三三
第六五冊　會議外交と世界經濟との關係（生島廣治郎）　一　六二七　二三三
第六六冊　商權擁護運動批判（平井泰太郎）　一　六二七　二三三
第六七冊　米國株式取引所取締法案（福田敬太郎）　一　六二七　二三三
第六八冊　英國經濟最近の趨勢（田中金司）　一　六二七　二三三
第六九冊　ブラジル移民制限問題（金田近二）　一　六二七　二三三
第七〇冊　獨逸金本位制の危機（田中金司）　一　六二七　二三三
第七一冊　風水害保險の可能性（瀧谷善一）　一　六二七　二三三
第七二冊　中小經營の他力更生（平井泰太郎）　一　六二七　二三三
第七三冊　規範科學としての個別經濟學說（古林喜樂）　一　六二七　二三三
第七四冊　合衆國大審院の金約款判決（田中保太郎）　一　六二七　二三三
第七五冊　中立貨幣理論に於けるハイエクとケインズ（田中金司）　一　六二七　二三三
第七六冊　貨物交通に於ける鐵道と自動車の競爭（野村寅三郎）　一　六二七　二三三
第七七冊　仲裁約款に就て（齋藤常三郎）　一　六二七　二三三
第七八冊　信託會社の銀行的性質（新庄博）　一　六二七　二三三
第七九冊　百貨店統制の目標（平井泰太郎）　一　六二七　二三三
第八〇冊　爲替平衡資金論（田中金司）　一　六二七　二三三
第八一冊　貿易統計價額に於ける誤差（柴田銀次郎）　一　六二七　二三三
第八二冊　比律賓の獨立と其の經濟問題（金田近二）　一　六二七　二三三
第八三冊　最近に於ける國際貿易政策の傾向（瀧谷善一）　一　六二七　二三三
神戸商業大學　商業研究所叢書　實文館發行　昭和五至八　三　一四五　一九四
第二冊　中央市場卸賣人單複問題（福田敬太郎）　三　一四五　一九四
第三冊　獨逸輸出工業論（生島廣治郎）　三　一四五　一九四
第四冊　中央卸賣市場仲買人問題（福田敬太郎）　三　一四五　一九四
神戸商業大學　商業研究所論集　弘文堂發行　昭和九、一〇　三　五三〇　二八八
第二冊　日本和議法論　下卷（齋藤常三郎）　三　五三〇　二八八
第三冊　火災保險料率論（瀧谷善一）　三　五三〇　二八八
第四冊　經濟生活の本質及現象形態（丸谷喜市）　三　五三〇　二八八
神戸市立圖書館概要　昭和二年三月、同七年一〇月、同九年九月同館編　昭和二至九　三　二七八　七二
〔神戸市立圖書館〕市政關係圖書目錄　昭和八年七月現在　同館編　昭和八　一　六五三　五一
神戸市立圖書館增加　和漢圖書分類目錄　附　書名及著者名索引（大正一二年四月至昭和元年一二月增加）同館編　昭和四　一　三二七　七八
神戸市立屯田療養所年報　大正一五年至昭和三、六、七年　同所編　昭和四、九　二　一四六、八　二四四

神戸地方防空演習に於ける燈火管制　神戸市電氣局編　昭和八　一　六二七　二三三
神戸鐵道局年報　大正一四年、昭和二年度　昭和二、四　同局編　二　一四四　五〇二
神戸都市計畫街路圖　都市計畫兵庫地方委員會編　昭和二　一　三三七　四六四
神戸に於けるゴム取引所の必要と必然性　神戸產業經濟研究所編　昭和一〇　八〇頁　一　六八三　二一〇
神戸俳諧文庫目錄　神戸市立圖書館編　昭和五　一　六〇四　一六九
高峯文集　宋、廖剛　民國二三影印（四庫全書珍本初集部ノ内）　一二卷　特七〇　八四四　一四五
江北記　（新校群書類從第一六卷合戰部ノ内　昭和三）　五八四　五
河骨（句集）　飯田洲羽人　昭和一〇　一八四頁　一　六九九　五一
稿本隨筆集　船越政一郎編（浪花叢書第一一、一八）　昭和四　二　五五四　一三八
稿本叢書　國書稿本刊行會發行　昭和二、四　二　五六六　一四

第一卷　春庭家集（本居春庭）
千首のくり言（鹿持雅澄）
森光太郎歌之論　附　鈴木朖評論（森嘉基、鈴木朖）
名古屋の日記　一名「藤のとも花」（本居大平）
那岐佐能多麻（田中大秀）
面話之次第（人見璣邑、本居宣長）
慕景集作者考（前田夏蔭）
溫泉紀行（吉見幸和）
萬葉集東語栞（田中道麿）
志能夫草　上、下（夏目甕滿）
第二卷　廬假庵之集（齋藤彦麿）

同　第一卷　昭和二　一　五六六　一四一
同　昭和三　一　五六六　一四一
校本風葉和歌集　中野莊次　昭和八　一　六三三　一九〇
校本物類稱呼　諸國方言索引　吉澤義則　昭和八　一　六三三　一八六
稿本朝兵學家小傳　青柳武明編　昭和七　謄寫版　一〇　二一三　六一三
校本萬葉集　佐佐木信綱等編　昭和六、七　一〇、六一二　八八

第一卷　首卷、附卷　二〇　三〇二　一四三
第二卷第一、二　一　五六九　一四
第三卷第三、四　一　六七九　三
第四卷第五、六　五六〇　九
第五卷第七、八　一　五四三　二
第六卷第九、一〇　二〇　三三五　四一〇
第七卷第一一至一三
第八卷第一四至一七
第九卷第一八至二〇
第一〇　萬葉集諸本輯影

講孟箚記　上、下　吉田松陰　昭和一〇
講孟餘話　一名　講孟劄記　吉田松陰著　廣瀨豐校　昭和一一（岩波文庫一三八七—一三八八）
降魔表講話　（心の闇ひ）　加藤咄堂（熊一郎）　昭和一〇　二五三頁
高慢齋行脚日記　戀川春町（近代日本文學大系第一二卷ノ内　昭和二）
高慢と偏見　下卷　オースチン著　平田禿木譯　昭和三（世界名作大觀英國篇第九卷）
高名集　稀書複製會編　昭和七（天和二年版ノ複製）

	冊	函	號
孝明天皇聖德記　附會津の勤王　遠藤友四郎編　昭和八	一〇	二一五	二一一
肛門部病理の研究　名古屋肛門病院研究部發行　昭和一〇	二	五三	三六五
第二　痔核ノ研究　（池内晃）			
第四　肛門部腫瘍移植（肛門部腫瘍發生考察）（同）			
高陽院七番歌合　（新校群書類從第八卷和歌部ノ內　昭和三）		五八四	五
高野古今和歌集　卷五、八　紀貫之書カ　昭和八　複製（和漢名家習字本大成第一〇卷）	一〇	二四九	二八二
高野切幷名家歌集　紀貫之書　昭和二　複製	一軸	二り	三四
高野切幷朗詠切　紀貫之、藤原行成書　昭和二　複製	一軸	二り	三六
高野御幸記　藤原實行　（新校群書類從第二卷帝王部ノ內　昭和四）		五八四	五
高野山　伊丹親信編　昭和一〇	一〇	六三二	六〇
高野山學志　水原堯榮發行　昭和六、七	二	五五二	三二五
第一篇　高野板之研究　（同人）			
第二篇　高野山見存藏經目錄　（同人編）			
高野山學修灌頂修行記　大山公淳　昭和六	一	六〇九	二一三
高野山花鳥名作集　平安精華社編　昭和四　特	一	四二四	一一
高野參詣日記　三條西實隆　（群書類從第一八輯紀行部ノ內　昭和三）	一	五八三	一四
同　（新校群書類從第一五卷紀行部ノ內　昭和四）		五八四	五
高野山見存藏經目錄　水原堯榮編　昭和六　（高野山學志第二篇）	一	五五二	三三五
高野山燒失記　（群書類從第二四輯釋家部ノ內　昭和三）		五八三	一四
同　（新校群書類從第一九卷釋家部ノ內　昭和七）		五八四	五

	冊	函	號
高野山に於ける有栖川宮御寶塔に就いて　武田勝藏　昭和九	一	六七三	三七
高野山の傳說（神祕の一）　水原堯榮　昭和三	一	五七〇	一九九
高野山祕史　法緣夜話　吉川延　昭和九	一	六五六	八九
高野山遍照ヶ岡　遍照尊院　目黑隆見編　昭和一〇　一三頁	一	六八四	四〇
高野山略圖　澁井公英畫　四八・三〇×七三・一〇	一枚	亥二	一一五
高野大師行狀圖畫　第一至一〇　昭和六　後摺	一〇軸	亥二	一〇八
高野の生神　附名迫明神の事蹟と富貴莊の起原　中田法壽　昭和九	一	六六一	一一七
高野の義人　中里介山　昭和六	一	五九六	二八九
高野板英萃　水原堯榮編　昭和七	一〇	四三五	六一
高野板開板目錄　水原堯榮發行　昭和七　複製	一〇帖	二五七	一二八
高野山印板聖教目錄　附解說	二〇	二五七	一二八
高野山印聖教目錄　附解說			
高野板之研究　水原堯榮編　昭和六　（高野山學志第一篇）	一	五五二	三三五
高野領民一揆始末　井畑義珍　（近世社會經濟叢書第一〇卷ノ內　昭和二）	一	五五五	一九
航用潮汐學概論　水路部編　昭和五	一	水	五三
高麗史節要　上、中、下帙　朝鮮總督府朝鮮史編修會編　昭和七　複製（朝鮮史料叢刊第一）	特三〇	一九三	五四
香蘭叢書　泰文館發行　昭和七	一	七一七	一三四

	冊	函	號
第三編　歌合い扇　（川端千枝）	四	五七二	三七
交流機（ローレー）　第一至四卷　ローレンス著　コロナ會譯編　昭和三、四　（電氣工學最新名著第一一、一三、二五、三〇回）	一〇	一八八	五七九
幸流小皷しらべ掛方　瀨尾潔編　大正二五			
交流發電機　磯野達一郎　昭和八	一	六五〇	六二
交流變壓器　佐野志郎　補五版　昭和二	一	三四九	一九五ロ
交流理論　アーノルド編　春名由已譯　昭和二（アーノルド電氣工學叢書ノ內）	一	五七六	五
同（アーノルド）　第一、二卷　アーノルド著　コロナ會譯編　昭和二、三　（電氣工學最新名著第五回）	一	五七三	三七
同　第一卷　アーノルド著　コロナ會譯編　昭和二　（電氣工學最新名著第五回）	一	五七二	三七イ
交流理論　上、下卷　大島昊　昭和七	二	六一七	一二七
交流理論　降矢芳郎、赤野正信　昭和九	一	六六二	一八
交流理論　森兵吾　昭和四	一	五八八	一三三
交流理論と其實際　野崎林太郎　昭和四	一	五五二	二六三
江吏部集　大江匡衡　（群書類從第九輯文筆部ノ內　昭和四）		五八三	一四
同　上、中、下　（新校群書類從第六卷文筆部ノ內　昭和六）		五八四	五
香梁遺稿　河合辰太郎（省齋）編　昭和四	一	二〇五	三〇六
向陵誌　第一高等學校寄宿寮編　昭和五	一	二八三	五〇イ
降靈魔術　酒井潔　昭和六	一	六〇九	二三五
高梁（歌集）　安藤兼吉　昭和六（吾妹叢書第八編）	一	五六八	二七〇
香料及び其の應用　堀內利器　昭和二	一	五六三	一五六
香料の知識　堀田利器　昭和六（實用化學工業叢書第八）	一	六一三	四六
航路記　水路部編　昭和四（本州沿岸水路誌第一卷別冊）	一	水	四七
香爐之辨　負野英軒編　昭和二	一	五四九	三二
港灣　鈴木雅次　昭和八（岩波全書第一五）	一	六四六	四
港灣講演集　港灣協會編　昭和四、六	二	五八八	一四五
第二輯　自由港に就て　（森垣龜一郎）　地方港の改良　（直木倫太郎）　動ける稅關　（棟居俊一）　貿易と金融　（田中鐵三郎）　港灣と鐵道　（山田正隆）　港灣に於ける倉庫業務　（田中金之助）　水陸聯絡機關としての倉庫及上屋　（山本五郎）　港灣工事と天氣模樣　（坂本助太郎）　防波堤と防砂堤　（荒木文四郎）　軟弱なる地盤に於ける岸壁工事に就て　（高西敬義）　河　港　（眞田秀吉）　港灣と國旗　（松波仁一郎）　神戶築港に就て　（森垣龜一郎）　造船に就て　（菅田一實）　航海の發達　（米村末喜）　燈　臺　（服部正人）　港灣の勞働問題　（原靜雄）　築港經濟　（井上範）　港灣の施設と其管理統制　（三橋信三）　戰時輸送と港灣　（田尻昌次）　工業港　（鈴木雅次）　漁港と港灣　（關口四郎）			

カウワ—カエウ

		冊	函	號
航空港	（安達堅造）	一	六二七	二九
河川と港灣	（中川吉造）			
我國築港行政の現況	（三邊長治）			
港灣能率と水陸小運送	（中野金次郎）			
港灣貨物移動調査	鐵道省運輸局編　昭和六	一	六二七	二九
港灣經濟論	カンニンガム著　武若時一郎譯　昭和三	一	五八一	一六九
港灣經濟論	山本五郎　昭和九	一	六五〇	三〇二
同		一	六五〇	三〇二イ
港灣協會十年史	同協會編　昭和九	一	六六二	一五三
江灣工學	鈴木雅次（高等土木工學第一四卷）	一	六〇八	一八一
港灣工事計畫設計資料	農林省水產局編　昭和九	一	六六二	二一六
港灣狀況	日本及東洋方面　水路部編　昭和二	一〇	水　四三	
港灣（協會）調査資料	同會發行　昭和五、六（後「港灣調査資料」ト改題）	一〇	六〇四	三
第一輯	港灣能率增進問題（同會編）			
第二輯	水上小運送調査資料　其一（同）	一	六〇四	三
第三輯	橫濱港荷役調査（同）			
第四輯	東京港荷役調査（同）			
第五輯	新潟港及敦賀港荷役調査（同）			
第六輯	大連港荷役調査（同）			
第七輯	水上小運送調査資料　其二（同）			
第八輯	本邦港灣諸掛調　貨物關係之部（同）			
第九輯	朝鮮諸港荷役調査（同）			
第一〇輯	基隆港及高雄港荷役調査（同）			
嘉永阿波藩士分限帳	昭和九　謄寫版	一	六六六	三五六
嘉永刪定神代文字考	鶴峯戊申	一〇	八三七	六六
嘉永七日記	（繪入リ）寫［山田常典自筆日記ナリ］	特一	〇 り	五六
嘉永大嘗會御次第	［文久二］寫	一	〇 八三七	八五
嘉永年中行事考證	勢多章甫編　寫	特三	〇 ほ	七六
嘉永府中全町家順記	長尾權左衞門、石橋重吉校　昭和八（武生史料第一輯）	一	六三一	二六四
嘉永六年四年米國水師提督ペルリ浦賀表渡來之圖	伴天連書房發行　昭和二　複刻	一	教 へ	五四
歌謠音曲集	日本名著全集刊行會編　昭和四（日本名著全集江戶文藝之部第二八卷）	一	五四五	三二
歌謠曲集	第一至三卷　山田耕作　昭和五、六（山田耕作全集第一至三卷）	三	五六七	六二
歌謠作曲文檢受驗獨習和聲學	原田彥四郎、守安省編　昭和一〇	一	六八五	九二
歌謠集	上古篇、近古篇（小唄集）志田延義、正宗敦夫校　基本版　複製（日本古典全集第八ノ內　昭和九）	六五一	三三	
歌謠集	上、中、下　志田延義編　複製（日本古典全集ノ內　昭和七至九）	五四三	一二九	
歌謠俳書選集	藤井乙男編　昭和二、三	五	五六六	一〇
第四	古今集今鏡　六卷（本居宣長）			
附錄	六歌仙集			
第五	橘曙覽歌集（橘曙覽）			
附錄	藁屋詠草（同）			
	花廼佐久等（同編）			
第七	芭蕉七部集			
第八	萬葉集檜の柚（上田秋成）			
附錄	古葉剩言（同）			

		冊	函	號
第一〇	蜀山家集（大田南畝） 附錄　翁雜魚（赤松金鵞）			
加悅町誌	京都府與謝郡加悅町役場編　昭和六	一	六一〇	一〇六
加越能維新勤王史略	中田敬義編　昭和五	一	六一〇	五九
加越能古俳書解題	石川縣圖書館協會編　昭和五	一〇	三〇五	三三
加越能三州大路水經錄	石黑信由　寫	六〇	八二三	三七
家屋新築及修理に關する耐震構造上の注意書	震災豫防評議會編　昭和五	一	六〇四	四七
家屋設計の順序と仕方（通俗圖解）	笹治庄次郎　昭和八	一	六四一	一三一
家屋賃貸價格調査令詳解	戶田吉、東次郎（地方事務叢書第一三編）昭和五	一	五二〇	一九
家屋の衞生設備と保安裝置	相澤時正　昭和三	一	五八一	一一〇
雅歌	橫光利一　昭和七	一	六二三	一〇〇
呵刈葭	「アシカリヨシ」ヲ見ヨ			
河海工學	岡崎武夫　昭和九	一	六六二	五〇
河海工學	丸善發行　昭和二	二	三六五	九三
第五編	海工　上、下卷（君島八郎）			
同	昭和九至一〇	二	三六五	九三イ
第二編	地下水　改版（同）			
第三編	地表水　改版（同）			
同	第三編　昭和一〇	一	三六五	九三ロ
河海抄	源惟良　寫	一六	八三九	一〇七
加賀江沼郡昔話集	山下久男　昭和一〇　一四六頁	一	六八二	一四〇
同		一	六八二	一四〇イ
歌學	松岡靜雄　昭和五	一	五八二	二四四
雅樂語彙	日本放送協會編　昭和一〇　二八頁	一	六八四	九二
下學集	元和三	一〇	八三七	八〇
雅樂集	篳篥譜、龍笛譜、鳳笙譜　東儀文禮編　再版昭和九	三〇	一五六	一三一
價格統制論	河合良成　昭和八（日本統制經濟全集第三卷）	一	六三七	一一七
價格の研究	武田鼎一　昭和九	一	六四九	二三三
賀歌五首	藤原行成書　昭和一〇　複製	一軸	亥 二	一七〇
加賀鳶	（宣長屋梅加賀鳶）河竹默阿彌著　河竹繁俊校　昭和三（岩波文庫二七六—二七七）	一	五六九	一四
加賀二人集	金澤石楠會編　昭和八	一〇	二二六	七〇
菁々句鈔	（青柳菁々）			
砂丘句鈔	（小松砂丘）			
加賀の家中	岡本勇　昭和一〇　四一頁	一	六八四	一三三
加賀國手取川出水考	附流言蜚語考　玉井敬泉　昭和一〇　五五頁	一	六五三	三五七
加賀の千代女の生涯	吉松祐一　昭和四	一	五六八	四一四
香川景恒遺稿	附贈谷直好遺稿　青山霞村編　昭和一〇	一	六九二	一三
香川縣氣象年報	昭和二至五年　昭和三至六　同縣立多度津測候所編	四	一四六	三七

		冊	函	號
香川縣氣象累年報	明治二五年至昭和七年　多度津ノ部　香川縣立多度津測候所編　昭和八	一	一四六	三七イ
香川縣現代美術家名鑑	平田亘(玉泉)、岩本巖(苔峯)編　昭和六	一	六〇六	三三三
〔香川縣〕國寶並ニ史蹟名勝天然紀念物調査報告	香川縣史蹟名勝天然紀念物調査會編	一	六六九	一二
香川縣穀物檢査廿五周年記念誌	香川縣穀物檢査所編　昭和八	一	一四二イ	七四九
香川縣穀物檢査報告	第一〇至一五報　大正一五至昭和六年度　同檢査所編　昭和	六	一四二イ	四三三
〔香川縣〕米統計	大正一五年　香川縣編　昭和二	一	一四二ロ	一〇二イ
香川縣師範學校鄉土紀要	香川縣教育圖書株式會社發行　昭和七八	一枚	一四五	三一一
第二輯　香川郡地質概說　(坂田勳)				
第三輯　香川縣地質圖	六二・六〇×八六・六〇　(同)			
香川縣地誌	上卷(地文編)、中卷(經濟地理編)　桑島安太郎　昭和八	二	六一〇	一八五
香川縣天然記念物解說	第一輯　杉山鶴吉(讃岐鄉土叢書第四編)	一	六二五	八
香川縣統計書	大正一四年第一、三、五編　昭和元年第一至五編　二年第一至五編　三年第一至三、五編　同縣編　昭和二至六	一九	一四四	二三
香川縣の方言	村上唯雄　昭和一〇　七三頁	一	六八三	一八三
〔香川縣〕麥統計	大正一五、昭和五年　香川縣編　昭和二、六	二	一四二ロ	一〇二
香川縣立圖書館要覽	同館編　昭和一〇	一	二七八	二四二
賀川豐彥(傳記小說)	鐘田研一　昭和九	一	五六八	五一七
加賀藩勤王始末	野口之布編　再版　昭和三	一	五四九	四三四
加賀藩史料	前田家編輯部編	一三	五九四	四六
第一編	天文七年至慶長一〇年			
第二編	慶長一一年至寬永一七年			
第三編	寬永一八年至寬文二年			
第四編	寬文三年至元祿元年			
第五編	元祿二年至正德二年			
第六編	正德三年至元文二年			
第七編	元文三年至寶曆七年			
第八編	寶曆八年至安永三年			
第九編	安永四年至天明八年			
第一〇編	寬政元年至寬政一二年			
第一一編	享和元年至文化七年			
編外	備考			
同	第一至一〇編、編外	二	五九四	四六イ
加賀藩農政史考	小田吉之丈編　昭和四	一	五九一	四三
加賀本多家義士錄	澁谷元良編　昭和三	一	五七七	九九
鏡(感傷詩集一)	本田親男　昭和三	一	五四九	四五三
鏡草	佐佐木信綱編　昭和七	一〇	四一八	一六四
各務研究報告	岐阜高等農林學校發行　昭和四至六	二七	一四五	三三八
第二號	(歐文)			
第三號	日本產斑蛾科に關する研究　第一報(ミノウスバの生活史)　(高井政次郎)			
第四號	岐阜傘に關する調査研究　(岡村精次、神馬仁太郎)			
第五號	富有柿の所謂「落果病」に關する研究　(樋浦誠)			
第六號	農業植物の露菌病に關する研究(二)　胡瓜露菌病			
第七號	岐阜市に於ける蔬菜果實の取引實狀と荷造に關する調査報告　(高木輝治)			
第八號	愛知縣枇杷島靑物市場調査　(同校編)			
第一一號	農村社會學の學史及學論の研究　(鈴木榮太郎)			
第一二號	岐阜挑燈に關する研究　(岡村精次)			
第一三號	岐阜縣產米の理化學的性質に關する研究　(伊藤牛右衞門等)			
第一四號	枇杷(Eriobotria japonica Lindl)の種子の利用に關する試驗成績　(横山甫直等)			
第一五號	甘藷塊竝に甘藷莖の一新利用法に就いて　(小瀨伊俊)			
第一六號	栗種子の生化學的研究(第一報)　(伊藤牛右衞門等)			
第一七號	黍、粟、稗の蛋白質の理化學的性質に關する研究　(伊藤牛右衞門)			
第一八號	伊國農業教育の一斑　(井上陽之助)			
第一九號	農村社會學的部落調査方法　(鈴木榮太郎)			
第二〇號	甘藷切干ノ白粉ニ關スル化學的研究　(小瀨伊俊)			
第二一號	蓼藺の根塊の粘質物に就いて　(高橋悌藏)			
第二二號	百合の鱗莖より得らるるマンナンに關する研究　(同)			
第二三號	ビスケットに關する試驗成績　(同等)			
第二四號	農村社會學的貢獻としての英國ルプレー派社會學の研究　(鈴木榮太郎)			
第二五號	甘藷の微量成分に關する化學的研究　(第一報)　(小瀨伊俊)			
第二六號	昭和六年度生產に關する調査			
第二七號	農業教育の發達に關する數量的研究　(第一報)　(井上陽之助)			
第二八號	歐文			
第二九號	一新硬度計と其食品其の他に於ける應用に就いて　(高橋悌藏、横山甫直)			
第三〇號	秋大根の生物化學的研究　(同)			
鏡と劍と玉	高橋健自　再版　昭和六	一	三三五	二五一イ
照子淨頗梨(カガミノジヤウハリ)(地獄一面)	山東京傳　(近代日本文學大系第一二卷ノ内　昭和二)		五六〇	九
鏡葉(歌集一)	窪田空穗　昭和九　(改造文庫第二部第二四篇)	一	五六九	一四三
鏡村史	鄉土研究會編　大正一五	一	五五四	一四三
輝く一人一研究	大日本聯合青年團編　昭和九	一	六六六	一五五
輝く海軍寫眞帖	國防智識普及會編　昭和九	一〇	六三三	四六
輝く更生の村	三重縣奥鹿野活郷　社會教育協會編　昭和九　(民衆文庫第八八篇)	一	五六	五七
輝く皇國の現勢	皇道振興會編　昭和九	一〇	四三〇	三〇
輝く人生	椎名龍徳　昭和五	一	五一七	七一八
輝く姿	昭榮會編　昭和七	一〇	四一八	一六六
輝く廢墟	長與善郎　昭和六　(新潮社長篇文庫第一五編)	一	五一七	六六九
輝く滿洲帝國の現勢	滿蒙事情講習會編　昭和一〇　三八六頁	一	六九六	五九
輝け眞理の努力	張正行　昭和八	一	六四五	一〇八
篝火(詩華集一)	井上康文等　昭和三	一	五八二	一〇八
雅歌靈解	テイラー著　鈴木二郎譯　昭和三	一	五七〇	三二九
書かれざる作品	豐島與志雄　昭和八	一	六二三	一九五

		冊	函	號
ががんぼ（蚊蚋）句集	尾村蚕冥（太郎）昭和九（海蝶叢書第一篇）	一	六六四	八
牡蠣	林芙美子 昭和一〇 三五〇頁	一	六八七	一四四
家規	寫（麹町七丁目伊勢八事加太八兵衛家規）	一〇	二一八	六六
鍵（探偵實話）	美和庸三 昭和四	一	五九六	二二七
柿及其の加工品の生産取引	農林省農務局編 昭和五	一	六〇八	一七八
夏季講演集	靜岡法學院編 昭和四	一	六〇〇	一五
夏期講習會講演集	神宮皇學館發行 昭和七、八 昭和七年	二	三七二	五四五
郷土史に於ける國寶及史蹟名勝に就いて	（荻野仲三郎）			
郷土史	（柳田國男）			
社會教育に就いて	（關屋龍吉）			
昭和八年				
余の神道研究と國體私觀	（加藤玄智）			
神宮と國體	（木村春太郎）			
神宮に關する史蹟概要	（大西源一）			
同	昭和九	一	三七二	五四五
皇道社會及皇道經濟	（田崎仁義）			
卜部神道と尊皇思想	（土田誠一）			
神社建築に就いて	（角南隆）			
書方學習原論	岩瀬六郎、原田正雄 昭和三	一	二六三	二四七
書方草紙	横光利一 昭和六	一	六〇七	四〇九
書方手本新指導書（高等小學）	高等二年男女併用 竹田津永安 昭和九	一	二六三	三四七
書き換へられた重水素と重水	千谷利三 昭和一〇 四〇四頁	一	四七	七二三
柿栗梨桃無花果葡萄の栽培祕法	松原秀雄 昭和八	一	六三五	二七三
柿栽培の實際	野呂粲巳次郎、原攝祐 訂再版 昭和九	一	六六七	一六〇
佳氣（カキ）春天（ステ）	三村清三郎 昭和一〇 三六四頁	一	六八八	五九
嘉吉記	（群書類從第二〇輯合戰部ノ内 昭和四）	五八三		一四
同	（新校群書類從第一六卷合戰部ノ内 昭和三）	五八四		五
牡蠣と岬	吉田瑞穗 昭和一〇	一	六五五	一六〇
柿沼教授講演並臨床講義集	第一輯 柿沼昊作 昭和八	一	六〇二五四	
かきね草	藤井乙男 昭和四	一	五八九	八四
蠣の榮養の撰び方	德久三種 昭和六	一	六〇四	四五八
柿の種	寺田寅彦（吉村冬彦） 昭和八	一	六四三	二九
柿の蔕	坪内逍遙 昭和八	一	六三三	一六六
柿本朝臣人麻呂歌集之歌	賀茂眞淵（增訂賀茂眞淵全集卷四ノ内 昭和三）	四四		三一イ
柿本朝臣人麻呂勘文	顯昭（群書類從第一六輯和歌部ノ内 昭和九）	五八三		一四
同	（新校群書類從第一三卷和歌部ノ内 昭和四）	五八四		五
柿本影供記	藤原敦光（群書類從第一六輯和歌部ノ内 昭和九）	五八三		一四
同	（新校群書類從第一三卷和歌部ノ内 昭和四）	五八四		五
柿本講式	（群書類從第一六輯和歌部ノ内 昭和九）	五八三		一四
同	（新校群書類從第一三卷和歌部ノ内 昭和四）	五八四		五
柿本像綵色勸進狀	慶範（群書類從第一六輯和歌部ノ内 昭和九）	五八三		一四
同	（新校群書類從第一三卷和歌部ノ内 昭和四）	五八四		五
柿本集	柿本人麿（群書類從第一四輯和歌部ノ内 昭和五）	五八三		一四
同	（新校群書類從第一〇卷和歌部ノ内 昭和四）	五八四		五
柿本氏系圖	（群書類從第二八輯雜部ノ内 昭和八）	五八三		一四
同	（新校群書類從第二二卷雜部ノ内 昭和七）	五八四		五
柿本人麿	同鴨山考補註篇 齋藤茂吉 昭和九、一〇	二	六五五	一三四
「柿本人麿」批評集	佐藤佐太郎編 昭和一〇 一七九頁	一	六六六	三一三
牡蠣の宿	佐々木有風（久松）昭和九（雲母叢書第四編）	一	六五一	三
嘉喜門院御集	（新校群書類從第一二卷和歌部ノ内 昭和五）	五八四		五
柿屋の見たる花のいろいろ	塚本源三郎 昭和七	一	六三三	六五
歌曲考	山崎美成著 藤田德太郎校 昭和七	一	六三三	一五八
歌曲の作曲法	池尻景順 昭和四	一	二三二	四五六
歌曲の作り方	志賀靜男 昭和八	一	六三五	三三七
限りなき鋪道	北村小松 昭和七	一	六二〇	二〇五
家禽家畜圖譜	占野靖年、下村兼二編 昭和九	一	六五七	一九〇
家禽審査法	附 產卵能力檢定法 釘本昌二 昭和三	一	五六九	八〇
家禽審査祕訣	附 審査標準 大脇範 昭和三	一	五八六	九九
家禽圖鑑	同別册 三井高遂、衣川義雄 昭和八	二	四三〇	四
同	家禽統計 附 牧畜 昭和二年 長野縣編 昭和三	特二	四三〇	四イ
斯くあるべき	參觀と批評 三木英太郎 昭和一〇	一	二六三	四〇三
樂菴語錄	宋李衡 民國二三 影印 五卷（四庫全書珍本初集ノ内）	特一〇	八四四	一〇七
覺雄山大福田寶幢寺鹿王院記	（群書類從第二四輯釋家部ノ内 昭和三）	一一	四四	一二九
同	（新校群書類從第一八卷釋家部ノ内 昭和七）	一一	四四	一二九
學位大系博士氏名錄	昭和七、八、一〇年版 大日本博士錄編輯部編 昭和六至一〇	三	六一四	一三三
學位錄	明治二一年五月至昭和九年三月 文部省專門學務局編 昭和二至九	八	一四一	九四
架空索道計算法	皆名孝太郎 昭和一〇 一二八頁	一	六一六	一四四
架空索道の理論と其設計	眞島卯太郎 昭和九	一	六七五	八五
架空電線路建設要則	電氣協會編 五版 昭和三	一	五一三	二四五ハ
鶴翁集	說田彌曾八郎編 昭和二	特一〇	四一四	四七
鶴翁餘影	鶴友會編 昭和四	一	五九四	二八
角落戰の研究	關根金次郎監修 昭和一〇 一四八頁	一〇	三〇二	二二九
學界異聞	大塚虎雄 昭和六	一	二八二	四八
學界新風景	大塚虎雄 昭和五	一	六〇七	五五
學界新風景	殿井健治郎 昭和六	一	五九五	二八二
學校遊戲 振付の理論と實際	印牧季雄、井上德雄 昭和六	一	二七六	五一一

カキノ—カクカ

カクカ

		冊	函	號
學校衛生概論	岡田道一　昭和九	一	二七六	六〇一
學校衛生技師會議要錄	昭和二至四年　文部大臣官房體育課編　昭和五	一	二七六	四八六
學校衛生研究資料	本圖晴之助編　昭和三	一	二七六	四四九
學校衛生研究錄	廣島市小學校、廣島市學校衛生醫會編　昭和九	一	二七六	五九四
學校衛生兒童養護の實際	篠崎ハル　昭和九	一	二七六	六〇八
學校衛生制度施設概要	大西永次郎　昭和五	一	二七六	四九六
學校衛生叢書	帝國學校衛生會發行　昭和二至四	四	二七六	三〇八
第三輯	衛生教育（文部省編）			
第四輯	學校看護（同）			
第五輯	精神衛生（同）			
第六輯	學校給食（同）			
學校衛生と救急法	岡田道一　昭和四	一	二七六	四六九
學校衛生の理論と施設	岡田道一　昭和六	一	二七六	五二〇
學校園の新研究	田中圓三郎　昭和八	一	二九一 四	一七
學校應急手當看護法	延川靖　昭和一〇	一	二七六	六一三
學校を生活の場所としたる家事教育	神戸市初等教育研究會家事研究部編　昭和二	一	二六三 七	一三八
學校及學級の教化及統制	木下竹次　昭和九（學校進動論下卷）	一	二五三	五八三
學校及學級の本質及組織	木下竹次　昭和七（學校進動論上卷）	一	二五三	五八三
學校々庭の設計	森歡之助　昭和三（造園叢書第二二卷）	一	五六六	三八
學校講話新資料	教育資料研究會編　昭和七	一	二五九	六三〇
學校鑑賞說話選集	富助一編　昭和六	一	二六三	三四六
學校學級今後の特殊施設經營	學校經營研究會編　昭和九	一	二六二	九九
學校學級實踐訓育法	關原吉堆　昭和九	一	二五三	七一六
學校學級兒童圖書館經營	小林佐源治　昭和三	一	二七八	一二八
學校學級統整の根本的革新	關勝男　昭和五	一	二五三	四三二
學校學級統整の根本的革新	關勝男　昭和九	一	二六二	一〇〇
學校學級父兄懇話會細案	教育資料編纂會編　昭和九	一	二六二	一〇三
學校家庭英才教育應用及實際	高島敏　昭和二	一	二七一	一二六
學校家庭金錢の教育應用及實際	高島敏　昭和二	一	二七一	一二五
學校家庭教育資料保護兒童の研究	大西總治　昭和三	一	二五二 五	一五五
學校家庭最新唱歌全集	唱歌教材調査會編　昭和三	一	五八五	八
學校家庭兒童保健衛生	岡田道一　昭和四	一	六	三七〇
學校家庭手技及手工教材	藤五代策　昭和四	一	二六二 三	二五一
學校家庭で出來る化粧品の作り方	柚木卯馬　昭和一〇（一三七頁）	一	六八七	一三二
學校家庭文明傳染病の話	本村秀繼、加藤治三　昭和一〇（一五七頁）	一	五二	三七三
學校から實社會へ我が兒に何を爲さしむべきか	（性能と適職の研究）岡田怡川　昭和二	一	二五二 五	一三六
學校から社會へ	壽木孝哉　昭和五	一	六〇七	二〇三
學校看護	文部省編　昭和三（學校衛生叢書第四輯）	一	二七六	三〇八
學校看護法大意	岩原拓　昭和四	一	二七六	六一 三七一
學校球技の實際	佐々木等　昭和四	一	二七六	四七一
學校給食	文部省編　昭和四（學校衛生叢書第六輯）	一	二七六	三〇八
學校給食指針	大西永次郎、藤巻良知　昭和七	一	二七六	五四九
學校給食調査	東京府學務部社會課編　昭和八	一	二七六	五八二
學校給食と獻立の榮養學	原徹一　昭和一〇（四七三頁）	一	二七六	六一九
學校給食の實際	附一年間の獻立カロリー換算表　日原仁六　昭和九	一	二七六	五八九
學校競技の指導精神	安田弘嗣　昭和九	一	二七六	六一一
學校行事、處女會婦人會婦人問題新撰講話資料	市川源三　昭和九	一	二九九	八三
學校訓育と社會教育新時代の訓示講話大系	大澤作次編　昭和五	一	二五九	六二一
學校經營原論	北澤種一　昭和七	一	二五三	五四五
學校經營新研究	小林佐源治　昭和四	一	二六二	九三
學校經營と學級經營	大元茂一郎　昭和三	一	二六二	九〇
學校經營の具體化校長事務の系統的研究	友納友次郎編　昭和五	一	二六二	九四
學校經營の實際	沖亘寛　昭和二	一	二六三	八九
學校教育式辭訓話精義	野中吉光、根本清　昭和五	一	二五九	六一六
學校教育と鄉土教育	尾高豐作　昭和八	一	二五三	六二二
學校教育論	阿部重孝　昭和五	二	二五三	四七三
學校教會オルガン名曲集	草川宣雄、津川主一編　昭和七（世界名曲大系第三輯オルガン名曲全集第二卷）	一	四二六	一三
學校教材年鑑	昭和四年版　教材研究社編　昭和四	一	二六三	三三五
學校教練必携	前篇　軍事講話の部　陸軍省徴募課編　昭和八	一	二九七	七七
學校劇創作法と演出法	野村政夫　昭和九	一	二六三	三五七
學校劇選集	高學年用、低學年用　齋田喬編　昭和九	二	五六八	五一九
學校劇の實際	小谷武夫（綠葉）　昭和三	一	五七一	一九五
學校建築參考圖集	建築學參考圖刊行委員會編　昭和九	一	二五七	一二
學校建築圖集	日本建築協會編　昭和五	一	六〇五	三五
學校參觀と報告の仕方	水木梢　昭和七	一	二六五	一一
學校齒科衞生學	岡田道一、富取卯太治　昭和五	一	二七六	四八四
學校齒科衞生の施設と實際	シエンク著　豐田實譯　昭和四	一	二七六	四七七
學校齒科の焦點	橋本靜雄　昭和八	一	二七六	五七五
學校事件の教育的法律的實際研究	上、下卷　河野通保　昭和八、九	二	二五三	六八八
學校唱歌集	門馬直衞編　昭和七（世界音樂全集第三五卷）	一	八三	四四一
學校社會學	野瀨寬顯　昭和四	下	二五三	四一〇
學校宿直室物語	古賀殘星　昭和七	一	六三〇	七四
學校職員改正恩給法解義	（昭和八年改正）　門田重雄　昭和八	一	四七	六二〇
學校進動論	明治圖書株式會社發行　昭和七、九	二	二五三	五八三

		冊	函	號
學校及學級の本質及組織（木下竹次） 下卷　學校及學級の敎化及統制（同）				
學校生徒兒童身體檢査統計	大正一五、昭和二至六年　千葉縣知事官房編 昭和二至四	六	二七六	二一三
學校照明調査委員會調査報告	照明學會學校照明調査委員會編　昭和二	一	五二四	五七八
學校卒業者就職狀況調査	大正一五年度　東京市役所編　昭和三	一	二五九	五六二
學校體育と女性體育	小瀨峰洋　昭和九	一	二七六	五九二
學校體育の施設と經營	宮田覺造　昭和五	一	二七六	五〇一
學校體操解說	體育研究所編　昭和二	一	二七六	四三〇
學校體操敎育要義	早川敬止　昭和二	一	二七六	四四〇
學校體操精義	大阪體育學會編　昭和四	一	二七六	四七二
學校體操の學習と敎授	西海龍藏、谷池茂雄　昭和九	一	二七六	五九〇
學校體操の指導	大谷武一　訂四三版　昭和九	一	二七六	三七三イ
學校地理科の新經營	香川幹一　昭和九	一	二六三	二四五 六
學校と家庭	瀧澤又市　昭和二（母性讀本第八）	一	五〇〇	一
學校と家庭趣味と實用	ペースト圖案　岡登貞治、吉野正孝　昭和六	一	六〇六	二九一
學校と家庭の兒童衞生	岡田道一　昭和八	一	二七六	五七八
學校內救急處置	葛西明　三版　昭和三	一	六〇	四五六イ
學校に球技指導の實際	佐々木等、原榮一　昭和三	一	二七六	四五三
學校に於ける職業指導の實際	谷野巖　昭和四	一	一五九	六〇七
學校に於ける童話の活用	吉松祐一　昭和六	一	二六三	三〇三
學校農場管理法	佐々木喬　昭和一〇　一六〇頁	一	二九一	九八
學校の天使	マリタン著　木村太郎譯　昭和一〇 一一二頁	一	六九三	一三七
「學校放送」參考資料	第一至四輯　日本放送協會總務局計畫部編　昭和九　謄寫版	四	二七五 六	五一
學校放送の理論と實際	西本三十二　昭和一〇 二九九頁	一	五三	七六六
學校舞踊創作の心境と實際	澁井二夫　昭和七	一	二七六	五三七
學校舞踊と教材と指導解說	柿澤充　昭和一〇 一一三頁	一	二七六	六二八
學校舞踊より創作へ	體育研究所　昭和二 印牧季雄　昭和八	一	二七六	五六五
學校養護諦要	本圖晴之助　昭和四	一	二七六	四七三
學校用沙翁劇脚本	三浦成作　昭和四	一	五九六	四
學校放送の理論と實踐	峯地光重　昭和六	一	二五三	五〇五
各學年の敎室經營	大松庄太郎等　昭和六	一	二五三	四九八
樂家錄	第一至四（卷之一至四二）　安倍季尙編　正宗敦夫（羽塚啓明校）　昭和一〇　複製 （日本古典全集第五期）	四	六六三 六	二三七
角起術	澤村寫本堂發行　昭和九　謄寫版	一〇	二一五	二六五
學級經營原論	北澤種一　昭和二	一	二六三	八五
學級經營の原理と實際	水木梢　昭和七	一	二五三	六一七
學級經營の根本義と其立案の實際	安部溝見　昭和四	一	二五三	三九八
學級經營の根本問題	三木康至　昭和八（玉川文庫第三八）	一	六四六	一
學級經營の再反省	土屋周作　昭和九	一	二五三	七一五
學級經營の立案と實際	稻村玉雄　昭和九	一	二五三	七一八
學級協同社會の新敎育	大森保平　昭和九	一	二五三	七〇八
樂曲考	上、下卷　田安宗武著　羽塚啓明編　昭和三、四 （日本樂道叢書第五編）	二	一八三	六一七
各科考査法の要諦	齋藤榮治　昭和三	一	二五三	三七〇
各科學習指導の祕訣	水木梢　昭和八	一	二六三	三七二
各科學習の新機構	小林巖等　昭和一〇	一	二六三	四〇三
各科具體的指導要諦	渡邊昌司編　昭和六	一	二六三	三五四
各科敎育の新機構	靜岡縣濱松師範學校附屬小學校編 昭和九	一	二六三	三七九
各科敎育の烏瞰と批判	水木梢　昭和八	一	二六三	三七〇
各科敎材の鄕土化	（資料編）　橋本重次郎等　昭和七	一	二六三	三五八
各科敎授案の立て方	田中貳郎　昭和八	一	二六三	三七一
各科敎授實際案	田島體驗學校編　昭和二 （文化中心新敎授學大系第一四卷）	一	二五九 五	九九
各科敎授法及管理法	師範學校第二部用　大瀨甚太郎 昭和二	一	二六三	三二八
各科敎授法概說	梯英雄　昭和一〇　三一〇頁	一	二六三	四一六
各科視學要領批判	（文部省視學委員復命書） 中文館編輯部編　昭和五	一	二六五	一〇
各科成績考査法の科學的新研究	野間忠雄、土方惠治　昭和九	一	二六三	三九五
各科精說　理科實驗觀察の新建設	桑原理助　昭和九	一	二六三 七	一八三
各科專門家より見たる頭腦衞生法	富永哲夫編　昭和八	一	六一	四二五
各科專門診療醫典	上下卷　訂一七版　一三版　石川貞吉編修 昭和四、八	二	六〇	五〇三 八
同	下卷　一七版　昭和九	一	六〇	五〇三 二
各科專門擔執筆腹痛	醫界展望編輯室編　昭和一〇　四五一頁	一	五三	三七四
各科の學習心理	松田友吉　昭和六	一	二六三	三四五
各科豫習復習新指導法	塚本清等　昭和三	一	二六三	三三三
各科領域ニ於ケル最新療法	醫學業績研究會編　昭和八	一	六〇	二七二
學藝彙刊	商務印書館發行　民國一三	二	二七八	一三〇
一六　現代圖書館序說（馬宗榮）				
一八　現代圖書館經營論（同）				
學藝講演通信社パンフレット	同社編　昭和四	一	五二四	三八九
第三〇　回敎徒の新世界（伊藤龜雄）				
第三二　新興ドイツの現狀（寶田通元）				
第三三　文化の破產とフランス（同）				
第三四　英國に於ける所感數題（大森洪太）				
第三五　フランスの國民性と政治（町田梓樓）				
第三六　青年團指導の根本精神（田澤義鋪）				
第三七　ホキトマンと近代思想（野口米次郎）				
第三八　我國の產兒制限運動の批判と予の提唱（暉峻義等）				
第三九　宗敎法案に就て（今泉源吉）				
第四一　我が國人口問題と移植民政策（山本美越乃）				
第四二　英國政治史に於ける二大政黨制度（トレヴェリアン）				
第四三　日本に始めて出現せる自治自營の學校（水野常吉）				
第四四　人生の指標（尾關栗洞）				

			冊	函	號
第四五	文化の社會學的考察	（杉山榮）			
第四六	南島の歌謠に就きて				
第四七	世界語エスペラントの創成、その發展及び使命	（清見陸郎）			
第四八	國際聯盟と學藝協力	（佐藤醇造）			
第四九	精神文化の復活と農村問題	（東郷實）			
第五〇	物と人との利用厚生	（ハルムズ著　畠中博譯）			
第五一	婦人運動の思想的考察	（山田わか）			
第五三	現下の我が國防問題	（小林順一郎）			
第五七	國民道德の危機	（賀川豐彥）			
學藝會運動會の新研究	北村久雄　昭和七		一	二七六	五四五
學藝會演技資料大成	尋一至六、學習指導研究會編　昭和一〇		六	二七六	六四四
學藝會演出技術と資料集	上、中、下卷　加藤武雄監修　テアトルビツコロ編　昭和一〇		三	二七六	六四三
學藝小叢書	中華學藝社發行　民國二二		一	六五八	一三三
第九種	吉金彝器之辨僞方法	（鄒師許）	一〇	五六〇	四三
學藝叢書	岩波書店發行　昭和四				
第一	音樂概論	（兼常清佐）	一	二五三	四一七
第二	太陽研究の新紀元	（關口鯉吉）			
第三	素質の心理	（松本亦太郎）			
第四	フランスの近代畫	（板垣鷹穗）			
第五	ヘツベル	（吹田順助）			
第六	寄生蟲國日本	（小泉丹）			
第七	ノヅーリス	（小牧健夫）			
第八	浮世繪概說	（田中喜作）			
第九	建築に關する音の科學と藝術	（栗原嘉名芽）			
第一〇	老子と莊子	（武内義雄）			
學業成績の研究	青木誠四郎　昭和四				
同					
喀血の豫防及治療法	日本結核病學會編　昭和三		一	商六四	一
鶚軒游戲	土肥慶藏（鶚軒）　昭和二		一	五七〇	二〇
格言警句集	伊藤長七　昭和三（大日本百科全集第二五）		一	五六〇	三九
格言雜錄	西村茂樹編　手稿本　一二六丁		特一〇	八二七	一二九
鶚軒先生遺稿	上、下卷　土肥慶藏　昭和七		二	六二八	七三
同	昭和八		二	六二八	七三イ
家具工作法	工業教育振興會編　昭和七		一	六一七	七一
覺悟せよ！次の大戰	宗考社編　昭和七		一	六二一	五四
各國郵便切手目錄	昭和一一年版　日本郵券俱樂部編　八版　昭和一〇　五一二頁		一	六四七	一七六
各國移住法規の實際	拓務省拓務局編　昭和九		一	六四九	三七
同			一	六四九	二七イ
各國インフレーション形態の研究	細野孝一　昭和八		一	六四九	一三三
各國航海補助制度の現狀	日本船主協會編　昭和一〇　七八頁		一	六八四	五一
各國議院法規	（英國、獨國ノ部）　衆議院事務局編　昭和二（參考叢書第四編）		一	一四三	七五
各國基數及序數表	附索引　天野敬太郎編　昭和八		一〇	六五三	一二八
各國金解禁の實例から見たる我國金解禁の影響	野村證券株式會社調査部編　昭和三（野村放資研究叢書第七輯）		一	五四八	七二
各國貨幣の模樣調査資料	造幣局編　昭和五		一	五六三	四〇〇
同			一	五六三	四〇〇イ
各國軍備の知識	大井成元　昭和九（萬有知識文庫第一六）		一	六六四	一
各國經濟史	改造社編　昭和四（經濟學全集第二九卷）		一	五八七	三三
各國教育の現狀	辻幸三郎　昭和六（精神科學叢書第五）		一	六〇二	二
各國原產地標記法便覽	柴田英吉　昭和九		一	六五七	八二
各國工場勞働法制	有斐閣發行　昭和二		一	五二四	七五一
第一輯	日獨瑞西工場勞働制限制　（松澤清編）				
各國國旗の由來と國祭日	内藤堯　昭和六		一	五九九	三〇六
各國國勢調査法規	内閣統計局譯編　昭和一〇　二二二頁		一	一四七	七〇三
同			一	一四七	七〇三イ
各國倉庫業關係統制法令	日本倉庫協會編　昭和九		一	六六二	一六
各國社會經濟史叢書	章華社發行　昭和八至一〇		六	六五一	二九
第一卷	伊太利社會經濟史	（山口正太郎）			
第二卷	英吉利社會經濟史	（堀經夫）			
第三卷	日本社會經濟史	（内田繁隆）			
第四卷	支那社會經濟史	（森谷克己）			
第五卷	獨逸社會經濟史	（加田哲二）			
第六卷	亞米利加社會經濟史	（猪谷善一）			
各國所得稅制論	汐見三郎等　昭和九（財政金融研究會紀要第三卷）		一	六三七	六〇
各國人絹界最近の情勢	帝國人造絹絲株式會社調査室編　昭和五		一	五六三	三七六
同	訂三版　昭和六		一	五六三	三七六イ
同			一	五六三	三七六ロ
各國政府の報告に據る私生子の地位に關する研究	司法省調査課譯　昭和四（司法資料第一三六號）		一	一四五	五四
各國通商の動向と日本	外務省通商局編　昭和一〇（日本國際協會叢書第一三三輯）		一	五一五	五三
各國ニ於ケル乳牛檢定事業	農林省畜產試驗場譯　昭和二		一	五七二	二三
各國ニ於ケル輸出信用保證及保險制度ノ概況	加藤祐次郎編　昭和三		一	五七九	一六五
各國に於ける輸入制限	商工省貿易局編　昭和一〇　八頁		一	六八四	二一
各國の社會政策	協調會調査課編　昭和五		一	六〇七	四
各國の成人教育概說	（其の三）　文部省編　昭和九（社會教育叢書第三〇輯）		一	二五九	六〇
各國の政黨	追錄付　外務省歐米局編　昭和二、三		二	五七三	一三八
各國の消防機	三木信彌　昭和四		一	五八八	一一四
各國の勞働團結の自由	國際勞働局編　昭和二（各國法制上より見たる）		一	五七三	一〇七
各國比較會社法論	株式會社及び有限責任會社　佐々穆　昭和五		一	五八一	二〇二
各國複關稅制度ニ關スル調査	外務省調査部編　昭和一〇（日本國際協會叢書第一四七輯）		一	五一五	五三
各國婦女賣買の實情	廓清會婦人矯風會聯合編　昭和三		一	五四九	三六六
各國民間航空輸送事業概要	遞信省航空局譯　昭和二		一	五三四	七三八

		冊	函	號
各國莫大小輸入關稅	日本輸出莫大小工業組合聯合會編　昭和八	一	六三一	二六九
各國輸入關係手續要覽	商工省貿易局編　昭和九	一	六六七	一四六
各國勞働界の情勢	一九二六、一九二七年　協調會調査課編　昭和三	二	五四六	一五九
各國勞働組合及び無產政黨統計	協調會編　昭和二	一	五二四	五七二
各國勞働組合規約要項集	協調會調査課編　昭和二	一	五二四	七三三
各國勞働黨、社會黨、共產黨	藤井悌（社會科學叢書第一五編）　昭和四	一	五八三	一九
各國勞働賃金統計	協調會調査課編　昭和元	一	一四四	七五九
學古發凡（增補一）	高田忠周　昭和五	一〇	一七八	六〇 八
鶴山遺詠	正木照藏　大正一四	二	一六三	一三〇
學士院受賞者講演錄	昭和四、五年度、日本學術協會編　昭和五、六	二	五七九	五一九
樂式論	作曲學　クレール著　信時潔、片山顯太郎譯　四版　昭和六	一	六五〇	一四五
學士樣なら娘をやろか	奥野（西川）他見男　昭和四	一	五八九	六六
各時代の大爭鬪	末世之福音社發行　昭和七	一	六一二	二一三
現在・未來篇	（ホワイト著　同社譯編）			
同				
過去・現在篇	（同）	二	六一二	二一二 イ
現在・未來篇	（同）			
學古發凡（增補一）	高田忠周　昭和五	一	三七二	四四九
確實有利農家副業全書	渡邊敏郎編　昭和六	一	六六三	一八一
隔日隨想	三宅雄二郎　昭和九			

		冊	函	號
かくして外客を誘致せよ	久保平三郎、江野澤恒昭和五	一	五五六	四三四
學事統計	康德三年度　滿洲國文教部學務司普通教育科編　滿洲國文教部學務司普通康德四	一	二五八	二四
學事統計關係法規	兵庫縣內務部統計課編　昭和七	一	二五六	一一五
學事法規全輯	平山大八編　昭和三	一	二五六	一一二
學習院一覽	昭和五、八、一〇年　同院編　昭和六至一〇	三	二八二	五
學習院圖書館和漢圖書目錄	上、下卷、同館編　昭和五、六	二	三一七	六〇
學習園に依る教育と其實際	內田康平　昭和一〇	一	二九一	一九
學習各論	中、下卷　木下竹次　昭和三、四	二	二七九	四一
學習活動と教育活動	千種圓爾　昭和四（最新教育研究叢書第四）	一	二五九 五	一〇六
學習訓練の眞諦	栃木縣師範學校附屬小學校編　昭和一〇	一	二六三	四〇〇
學習訓練の方案と要領	水木梢　昭和九	一	二六三	三八七
學習指導原論	渡部政盛　昭和七	一	二六三	三五九
學習指導大系	帝國地方行政學會發行　昭和二、三	一〇	二五九 五	八三 イ
第一至三	尋常小學習指導書　第一至三學年（同刊行會編）			
第四、五 同	第四學年　上、下卷（同）			
第六、七 同	第五學年　上、下卷（同）			
第八至一〇 同	第六學年　上、中、下卷（同）			
學習指導大系	帝國地方行政學會發行　昭和二、三	八	二五九 五	九八
第一至八	高等小學學習指導書（同刊行會編）			
學習指導の着眼と方案	稻村玉雄　昭和九	一	二六三	三八六
學習指導讀方教育の實踐	河村豐吉　昭和一〇	一	二六三 二	四六二

		冊	函	號
學習受驗外國地理新講座	土肥正美　昭和二	一	五五六	一八二
學習受驗推理的化學學習法の實際	中谷德太郎　昭和八	一	四七	六六三
學習受驗物理學の第一步	藤村與市　四八八頁　昭和一〇	一	四六	四一八
學習受驗和文英譯精講	上野芳男　昭和六、	一	六〇三	三三一
學習諸問題の解決	木下竹次　昭和二	一	二七九	四三
學習資料百科全書	東洋圖書株式合資會社發行　昭和二三	五	五三九	七〇
第八卷	兒童の國文學（木枝增一）			
第九卷	兒童の化學（及川久太郎）			
第一〇卷	兒童の生理學　活動篇（桑野久任）			
第一一卷	兒童の鑛物學（神戶伊三郎）			
第一二卷	兒童の動物學　鳥類篇（同）			
學習心理學	久保良英　昭和四	一	二五三	四〇七
學習生活の指導原理	木下竹次　昭和六（特に修身科讀方科教育に於ける研究）靜岡縣靜岡師範學校附屬小學校編　昭和八	一	二五三	五二一
學習態度の訓練	野上豐一郎校　昭和六（岩波文庫七六五ノ內）	一	二六三	三七四
覺習條條	世阿彌著	五	六五九	一四
學習徒の斷想（寧人一隨筆）	秋田喜三郎　昭和六	一	六〇九	三五三
學習法の建設と文創作の指導	鈴木顯雄　昭和三	一	二六三 二	二六八
學習百科辭典	三省堂百科辭書編輯部編　昭和九	一	六三六	二七九
學習文庫	古今書院發行　昭和七	一	三一八	五七六
第一篇	聖德皇太子（信濃教育會編）			
學習本位尋六の地理教育	鶴居滋一　昭和六	一	二六三 六	一五三

		冊	函	號
革象新書	元、趙友欽　民國二三　影印　五卷（四庫全書珍本初集ノ內）	特	三〇	八四四 八九
家具寫眞集成	洪洋社編　昭和七至九	一五	六二八	三〇
第一　机				
第二至四、一五　椅子・卓子　第一至四				
第五　書棚　附テイーテーブル・小物臺・花卉棚				
第　七　食堂と臺所の家具				
第　八　寢臺と化粧臺				
第　九　子供室・ベランダ・庭園の家具				
第一〇　商店の家具				
第一一、一三　カフエーの家具　第一、二				
第一二、一四　和家具と折衷の家具　第一、二				
第一六　事務机				
學者の妻	シュニツツレル著　廣谷千代造譯　昭和八（世界名作文庫第二四〇）	一	六三〇	一
學者の橫顏	藤崎俊茂　昭和八	一	六三九	一四三
學者膝栗毛	三宅恒方　昭和四	一	五九五	九
各種運動競技規則全集	昭和六年度（運動年鑑附錄）朝日新聞社編　昭和六	一	三六〇	三九二
各種營業取締法規	第一卷　生石眞雄編　昭和四	一	一四七	四三三
各種徑間木桁及鐵筋コンクリート道路橋設計圖表	小林廣二　昭和八	一	六五〇	三九
各種建築構造（圖解一本位）	內山太市　昭和三	一	五八一	一〇九
各種債權の保全と回收の祕訣	並木信政　昭和九	一	六六〇	一一四
各種撮影法	前、後篇　長濱慶三等　昭和一〇（アルス最新寫眞大講座第五、六卷）	二	六一〇	三〇一
各種產業の現狀と前途の展望				

		冊	函	號
	荒木秀一編 昭和一〇（財政經濟叢書第三編）	一	六三一	二六五
各種試驗及任用法規	柴田義彦 昭和一〇（特別法規判例學說全集第一五卷）	一	一四、七	五八九
各種選擧法規	上、下 柴田義彦編 昭和八（特別法規判例學說全集第二卷上、下）	二	一四、七	五八九
各種ソース製造法	小野辰次郎 昭和五	一	五九七	三五三
各種「ソース」調味料講話	小野辰次郎 昭和二	一	五六四	二〇三
學術維新原理日本	上卷 蓑田胸喜 昭和八	一	六三六	一四七
同		一	六三六	一四七 イ
同		一	六三六	一四七 ロ
學術研究奬勵資金及事業便覽	昭和七年度 帝國學士院編 昭和七	一	二八九	一三
學術振興發明立國	學術振興發明立國社編 昭和七	一	六三八	三
學術論文の書き方	五島茂 昭和九	一	五六八	四九六
學書三訣	中村不折 昭和四	一	五五二	二六七
學書津梁	柳田泰麓 昭和六（書道講座第二四）	一	二二六	四四
學書の方法述	黒木欽堂 昭和四	一	五六三	二九〇
樂所補任	（群書類從第四輯補任部ノ內） 昭和四	一	五八三	一四
同	（新校群書類從第三卷補任部第二ノ內 昭和五）	一	五八四	五
樂書目錄類纂	小川守中編 昭和六（日本樂道叢書第七篇）	一	一八三	六一七
學思錄鈔	久米順利（訂齋）著 岡直養校 昭和六	一	六三一	二六五
革新增收 連合養蜂法	青柳浩次郎 訂三版 昭和七	一	三七二	四七六 イ
革新的修身教育原論	河野清丸 昭和八	一	二六三	一〇四 五
覺信尼公	眞宗大谷派宗務所編 昭和八	一	六三九	六三
覺信尼公行實の研究	藤原猶雪 昭和七	一	六一八	四五
革新日本の基本原理	日本評論社編 昭和七	一	六三四	一四七
革新日本の政治原理	佐藤清勝 昭和八	一	六三七	九四
革新論及び革新運動を戒む	齋藤隆夫 昭和九	一	六三一	五一五
樂聖映畫物語叢書	耕進社發行 昭和一〇	一	六七七	二一
第一 未完成交響樂	（山本和夫）			
學生英文學叢書	第六至一〇篇 三省堂編 昭和三	五	五六九	一三三
樂聖をめぐる（音樂隨筆ノ一）	藤本義輔 昭和六	一	五八二	三六八
學制改革案	調査報告 帝國教育會學制調査會編 昭和八	一	三五六	一一八
學制改革論	帝國大學新聞社編 昭和九	一	三五六	一一三
學生學園生活統計	昭和七年度 神戸商業大學學生課編 昭和八	一	二五八	一六 三
家具製作圖解	藥島棟吉 昭和六	一	五六七	八二
學生就職講座	東京市知識階級職業紹介所編 昭和一〇	一	五九九	五〇〇
學生思想問題	河合榮治郎、蠟山政道 昭和七	一	三五九	六三一
學生思想問題雜話	藤村一雄 昭和五	一	五九九	三七

		冊	函	號
學生時代	久米正雄 昭和三（新潮文庫第五編）	一	五六八	三二五
同	昭和八（新潮文庫第二八編）	一	六三〇	八
樂靜集	宋、李昭玘 民國二三 影印 三〇卷（四庫全書珍本初集ノ內）	特 六〇	八四四	一三三
學生社會運動史	菊川忠雄 昭和六	一	五九九	二八七
學生諸君に贈る就職の常識	穴田秀男 昭和一〇 一四一頁	一	六八七	一五一
學生生活	河合榮治郎 昭和一〇 四五四頁	一	六八一	一三一
家具製圖	鈴木太郎、高木三郎 昭和七	一	六三七	一七九
樂聖傳記叢書	共益商社書店發行 昭和一〇	一	六七六	一九
第四	ベートーヴエン（ヴアンサンダンデイ著 小松耕輔譯）			
學生年鑑	昭和四年 山海堂編輯部編 昭和三	一	二五九	五三七
學生の會計學	渡部明 昭和九	一	六四七	一一四
學生ノ細菌學及免疫學	四方敬一 昭和八	一	五九	八八
學生の日本地理（最近改訂）	三省堂編輯所編 四一版 昭和五 三一三頁	一	三七六	一三五
學生の婦人科學	忽滑谷精一 昭和八	一	五六	三四一
學生の見たるアメリカ	中村嘉壽編 大正一五	一	五五六	一三八
學生の藥理學	寺田文次郎 昭和九	一	五〇	三八九
學制頒布五十年記念陳列圖書目錄	函館市役所、函館教育會編 昭和三	一	五四九	四五九
革正祕錄光尊上人血淚記	三島了忠 昭和四	一	三七四	一三三
樂聖	フランツ・フオン・リスト傳 村田七光 昭和一〇	一	六三二	三三四
覺聖法然	矢吹慶輝著 金孝敬譯 昭和九	一	六四五	二一四
學說實例	土地收用法要鑑 駒崎熊次、片野眞猛 昭和二	一	一四七	三九六
學說判例・實際手續書式例解・必要諸稅	最新確實有利の諸契約と其損害			
豫防並回復策	岩崎徂堂 昭和一〇 四〇六頁	一	六八七	五八
樂全集	宋、張方平 民國二三 影印 四〇卷、附錄一卷（四庫全書珍本初集ノ內）	特 二〇	八四四	一一九
學村建設の實際	大木喜代之進 昭和二	一	二九一 三	一〇
樂堂古稀記念集	日新醫學社編 昭和一〇 五四二頁	一	六〇	一三四三
樂道纂解	上、下 宗覺（久修園）、羽塚啓明編 昭和四（日本樂道叢書第三編）	二	一八三	六一七
各黨の綱領政策	協調會編 昭和八	一	六三五	二七一
罌堂漫談	尾崎行雄 昭和四	一	五九五	一〇一
樂壇隨想	野村光一 昭和六	一	六〇六	二二六
各地織物生產高統計書	昭和六年度 大阪織物同業組合調査部編 昭和七	一	一四、三	三七四
各地敎護聯盟視察記	大阪府敎護聯盟編 昭和一〇 八七頁	一	二七九	六〇
格致餘論諺解	岡本爲竹（一抱子） 元祿九 七卷	一〇	二一三	六三〇

	冊	函	號
覺超僧都全集 延曆寺事務所發行 昭和八	一	二一五	二〇三
第二卷ノ上 胎藏三密抄 (同刊行會編)			
カクテール 政經書院發行 昭和一〇	一	六六四	九
第一輯 石語 (同書院編)			
樂典 音樂世界社編 昭和一〇 (初等音樂講座第一卷)	一	六六二	一八
樂典 門馬直衛 訂六版 昭和七	一	五四七	六八イ
樂典 附樂語略解 黑澤隆朝 昭和二 (洋樂叢書第一册)	一	五七二	四三
樂典解說 林幸光 昭和二	一	五二四	六八八
樂典問答 眞篠俊雄 昭和一〇 二三〇頁	一	六八五	一九
覺天流槍術祕書 近藤正春等編 寫 八二丁	一	〇一七	一九一
學童を持つ母親に贈る 岡田道一 昭和一〇 三三〇頁	一	二七六	六四一
學童を持つ世の母に捧ぐ 天野正儀 昭和九	一	二七一	一四九
學童相撲指導法 八尾秀雄 昭和九	一	二七六	六〇九
學童の家庭教育 大日本聯合婦人會編 昭和七	一	二七一	一三七
學童の相談と其解決 健康篇 竹田仁風 昭和七	一	二七六	五四二
學と道 常盤大定 昭和九	一	六四五	二四〇
嶽南史 第一至五卷 鈴木覺馬編 昭和六至一〇	五	六一〇	六七
學年、學期始と終の教育 附錄(學級經營實際案) 菊地秀男 昭和九	一	二五三	七一四

	冊	函	號
學年配當要目準據 衛生訓練の實際 大西永次郎 昭和四	一	二七六	四六五
各藩戰功錄 (維新日誌第二期第二卷ノ內 昭和九)		二三四	二七一
學半樓十幹集 伊藤鳳山 (續續日本儒林叢書第一册 解說部ノ內 昭和一〇)		五七四	一八
樂譜學習の新指導 北村久雄 昭和六	一	二六三	二八五
各府縣ノ學務課兩師範主事推薦 全國優良小學校の模範經營 學校經營編輯部編 昭和三	一	二七二	八〇
各府縣ノ用材出材量 附 北海道樺太ノ用材出材量 農林省山林局編 昭和三	一	五一八	三〇ロ
格物示蒙 卷之二 西村茂樹譯 手稿本 五九丁	特一〇	八二七	一三二
樂譜の知識 小松平五郎 昭和六 (西洋音樂文庫第二)	一	六一三	二一
角兵衛獅子 大佛次郎 昭和四	一	五六八	三四九
同 前篇 昭和二	一	五六九	一九八
角兵衛物語 長谷川伸 昭和八 (改造文庫第二部第二〇六篇)	一	五六九	一四二
學園逸民集 福井學園(緑) 昭和七	七〇	三三二	四三五
學園杉先生傳 中村助四郎 昭和一〇 三五二頁	一	六八五	一八
角間新田に關する調査 藤原光藏 昭和四	一	五五六	四三五
革命亞細亞展望 ボース、中谷武世 昭和五	一	六〇七	三三七
革命運動を暴く ユダヤの地を踏みて 安江仙弘 昭和六	一	五九九	三五八
革命及び反革命 マルクス著 由利英一譯 昭和二	一	五七五	一一
革命が生んだ今日の獨逸 ルーア著 豐田義道譯 昭和五	一	五七三	三五六

革命家演說集 第一、二、四、八、一二篇 白揚社編 昭和三 五 五四九 四八二

革命勘文 三善清行 (群書類從第二六輯雜部ノ內 昭和四) 五八三 一四

同 (新校群書類從第二〇卷雜部ノ內 昭和四) 五八四 五

革命期のアメリカ經濟 清澤洌 昭和八 一 六四四 一八八

革命期の大スパイ ジョセフ・フーシエ ツワイク著 大野俊一譯 昭和六 一 五八二 三三七

革命記錄 附 日本革命論 太宰嘉門 昭和五 一 五八六 三五八

革命藝術大系 尾瀨敬止 (解放群書第二四編) 昭和二 一 五四八 二七

革命後の文字 マクシモフ著 秋山炭六譯 昭和二 (新ロシヤの研究第一) 一 五六〇 三四

革命後のロシヤ文學 昇曙夢 昭和三 一 五八二 四五

革命草案 ウエルズ著 加藤朝鳥譯 昭和五 一 六〇七 一三〇

革命三人男 黑田禮二 昭和八 一 六三九 九二

革命支那農村の實證的研究 田中忠夫 昭和五 一 六〇〇 四五

學名中心羅典語法 永井一夫 再版 昭和一〇 一 五六八 五五七

革命途上の支那 佐藤慶治郎 昭和九 一 六六六 三八

革命の印度 ボース 昭和七 一 六三四 一三イ

同 一 六三四 一三イ

革命の陣頭に起ちて ピアトニツキー著 青木俊三譯 昭和三 一 五八七 四〇

同 ピアトニツキー著 三矢剛譯 昭和三 一 五八七 八六

革命婦人 ワイルド著 內田魯庵譯 昭和七 (世界名作文庫第四) 一 六三〇 一

革命裸像 わが生活 トロツキイ著 青野季吉譯 昭和五 一 五八二 三〇八

革命ロシア詩集 尾瀨敬止譯 昭和六 (サヴエート詩人選集第三卷) 一 五九六 一八三

革命論 平泉澄 昭和九 (思想問題小輯第三) 一 六六六 一四三

學問方法論 大關將一 昭和八 一 六四五 一一四

かくやいかにの記 (未刊隨筆百種第八ノ內 昭和二) 五六〇 二九

樂屋裏譚 石角春之助 昭和四 一 五九七 二三三

樂屋風呂(續篇) 川尻清潭 昭和二 一 五六四 一〇三

學用患者の手記 正木不如丘 昭和元 一 五一七 四六六

學庸新義 張新吾 民國二五 五九丁 一〇 三〇三 六一

學用品を主にした化學製品の製造法 山添長四郎 昭和一〇 一 六八二 九七

神樂歌考拜催馬樂考 寫 一〇 八四一 三九

神樂歌・催馬樂 武田祐吉編 昭和一〇 (岩波文庫一一九八—一一九九) 一 五六九 一四

神樂歌新釋 本居大平著 同豐顯校 同清造再校 (增補本居宣長全集第一二本居大平全集ノ內 昭和二) 四一 九八イ

神樂歌考證 井坂德辰 嘉永三 寫 一 六六九 一四

神樂研究 西角井正慶 昭和九 一 六六二 一二八

神樂舞面白草 松宮觀山 (國民精神文化文獻第一松宮觀山集第一卷ノ內 昭和一〇) 六八五 一イ

同 六八五 一イ

各水流水泳の第一步 中島博 昭和九 一 六五七 一八〇

確率及最小自乘法 北村友圭 昭和三 一 五八八 八六

		冊	函	號
確率論	渡邊孫一郎 昭和九（範疇高等數學講座第三四卷）	一	六五四	九
確率論及其ノ應用	龜田豐治朗 昭和七	一	六二七	二
學理的分類 判例債權法	總論 森山武市郎編 昭和一〇	一	一四七	七〇〇
同		一	一四七	七〇〇
學理的分類 判例物權法	森山武市郎編 昭和九	一	六七八	六五
學理と實地 初生雛雌雄鑑別秘法	增井清 昭和六	一	五九〇	四六七
かくれさと雜考	（實女値段考）上林豐明 昭和二（日本民族叢書第八）	一	五六〇	二〇
隱れたる江戸の吉利支丹遺跡	原胤昭、同補遺 昭和四	一	五六九	一六八
隱れたる勤皇家 菅原長好傳	菅聲編 昭和三	一	五七八	一八六
隱れたる教育家	「隱れたる教育家」編纂委員編 昭和六	一	二五五	九九
隱れたる事實 革命裏面史	英吉利篇、亞米利加篇、佛蘭西篇 藤澤基一 昭和三	一	五七八	一六八
同	昭和五	一	五五六	四六一
隱れたる事實 西洋裏面史	上古及中古史篇、近古史篇、近世史篇、現代篇 藤澤基一 昭和三	二	五七八	一四四
同	昭和七	一	一五八	二三六
隱れたる史實 日本裏面史	篠原豐 訂 昭和八	一	六二九	一〇七
隱れたる事實 日本裏面史	內外出版協會發行 昭和三	四	五七八	六七

	明治時代篇 大正時代篇（同）	一	五七八	六七イ
同	昭和五	一	五七八	六七
隱れたる事實（續）日本裏面史	北村治三郎 昭和七	一	一四七	七〇〇イ
覺王院義觀戊辰日記	義觀（維新日乘纂輯第五ノ內 昭和三）	六四	三三三	
佳花麗禽	松屋呉服店意匠部編 昭和四	一	四二四	一八
我觀眞宗	村上專精 昭和四	一	五九二	五八
我觀隨筆（小山自得ノ還曆記念）	小山忠雄 昭和二	一	五五八	六三
我觀談屑	水野錬太郎 昭和五	一	六〇七	一九七
我觀地理教育の實際	尋六の部 隈江信光 昭和五	一	二六三	六 一四五
影（句集ノ一）	三枝風伯（悟郎）昭和九	一	六六五	一八九
影（詩集ノ一）	鈴木葉子 昭和四	一	五九〇	四七
家系系圖の合理的研究法	太田亮 昭和五	一	六一〇	八
家計調査報告	內閣統計局編 昭和四至一〇	八	一四四	八二九
第一卷	記述の部（大正一五年五月至昭和二年八月）			
第二、三卷	給料生活者及勞働者の部 上、下（大正一五年九月至昭和二年八月）			
第四卷	農業者の部			
	榮養に關する統計表（大正一五年一〇月、同十六年五月）			
	昭和六年九月至七年八月			
	昭和七年九月至八年八月			
	昭和八年九月至九年八月			
	昭和九年九月至一〇年八月			
柯敬仲黑竹譜	博文堂編 昭和四	一	四一八	一三五
家計の妙味	（實踐分析による經濟生活の仕方）杉田瀨平 昭和一〇	一	六二七	二三一
影繪双紙	尾山篤二郎 昭和四	一	五九六	六八
影を踏む（隨筆ノ一）	土岐善麿 昭和一〇	一	六九三	一〇三
掛川誌	甲、乙、丙、丁、戊篇 昭和三、四（東海文庫第六至一〇）	五	五四九	三八六
歌劇大觀	大田黑元雄 大正一四	一	三五六	二六七ロ
歌劇大通	伊庭孝 昭和六	一	六〇六	一七七
歌劇名曲集	第一、二 伊庭孝譯編（世界音樂全集第一四、一五卷） 昭和五	二	八三	四四一
景清百人一首（夫れは小倉山ー是れは鎌倉山ー）	喜三二（近代日本文學大系第一二卷ノ內 昭和二）			
驅込駕訴記	寫（安政二年本多加賀守扱駕訴一件記事）	一〇	五六〇	九
崖の下	嘉村磯多 昭和五（新興藝術派叢書第九編）	一	三三三	二八〇
影のない樹木（詩集ー）	內田忠 昭和七	一	六〇三	一一三
影は夢みる（感想ー）	生田春月 昭和三	一	六二五	五二
同	昭和九（新潮文庫第九六編）	一	五八二	七一
覓教授還曆祝賀論文集	杉村章三郎編 昭和九	一	六三〇	八
懸佛と御正體（家藏ー）	伊藤庄兵衞編 昭和八	一	六四九	二〇八
翔けよ大空	井上四郎 昭和一〇 一二八頁	一	四二五	七八
かげらふの建築師	龍膽寺雄 昭和五	一	六六六	三五五
	カケイ—カコク	一	五一七	六九七

かげろふの日記	藤原道綱母著 吉澤義則譯（全譯王朝文學叢書第一一卷ノ內 昭和二）	三二九	三四六	
蜻蛉日記	藤原道綱母著 內海弘藏、物集高量校註（新釋日本文學叢書第一輯第四卷ノ內 昭和一二）	五七四	三	
蜻蛉日記（上）	池田龜鑑譯 昭和一〇（物語日本文學第八卷）	一	六六八	二八
蜻蛉日記解環	坂徽 昭和九（日本文學古註大成第一〇）	一	六七〇	一四
雅言解	鈴木重嶺 明治一二	四	八三八	一六
同		四	八三八	一六イ
雅言集覽	石川雅望 刊井寫（い至な 刊本ら至す 寫本）	一三	八三七	七九
同（增補ー）	（第二八卷ヨリ）石川雅望著 中島廣足補	三〇	八三八	一
家憲物語	報知新聞社編 昭和五	一	六〇九	一二九
雅言用文章	黑澤翁滿	二	八三七	一四
可驗錄	櫻田良佐 大正一五（仙臺叢書第一二卷）	一	五〇八	一三
架構應力研究	第一、二 鷹部屋福平 昭和四、六	二	五五三	二九三
加工紙製造法	片倉健四郎 昭和五	一	六〇八	一四一
加工紙とセルロイド製造法	黑川美雄 昭和八（實用製造工業叢書第四）	一	六五一	一三
架構新論	鷹部屋福平 昭和三	一	五八一	一〇六
夏侯陽算經	澤村寫本堂發行 昭和九 謄寫版	一	三〇二	三三
架構力學	小野薰 昭和五	一	五六三	三五六
霞谷叢書	平樂寺書店發行 昭和五	一	六一三	一八

	冊	函	號
第二篇　國譯扶桑隱逸傳（元政著　晉馬實藏校譯）			
歌語辭典　大町壯（五城）編　昭和二	一	五六八	一一〇
鹿兒島港修築工事誌　內務省下關土木出張所編　昭和一〇　一〇六頁	一	六三八	一八四
鹿兒島港出入船舶貨物統計書　大正一五、昭和元、三至六年　鹿兒島縣廳編　昭和二至七	五	一四、三	一二〇
鹿兒島高等農林學校一覽　昭和二至七年　同校編　昭和二至六	五	二九一	三〇
鹿兒島高等農林學校學術報告　鹿兒島高等農林學校開校二十五周年記念論文集　前、後篇　同校編　昭和九	二	六三八	一七二
同	二	六三八	一七二イ
鹿兒島高等農林學校學術報告　第七、八、九（歐文）至一一號　同校編　昭和四至一〇	五	一四、二	三八一
鹿兒島縣案內　同縣教育會編　昭和二	一	五七八	三六
鹿兒島縣溫泉誌　同縣警察部衛生課編　大正一五	一	五三七	一七三
鹿兒島縣氣象年報　大正一五、昭和元至七年　鹿兒島測候所編　昭和二至八	八	一四、六二	四三
鹿兒島縣鄉土系統史　一名鄉土史大系　松下重資編　昭和五	一	六一〇	三五
鹿兒島縣鄉土史大系　松下重資發行　昭和五至一〇	六	六一〇	三五
第一卷　鄉土系統史（同人編）			
第二卷　古代史（同）			
第三卷　島津創業史（同）			
第四卷　島津分裂史（同）			
第五卷　島津混亂史（同）			
第六卷　島津中興史（同）			
鹿兒島縣警察誌　同縣警察部編　昭和五	一	五九一	二〇一
鹿兒島縣警察統計書　昭和四至六年　昭和五至八　同縣警察部編	三	一四、六	四三
鹿兒島縣高城村沿革史　同續編　昭和六、八　鹿兒島縣薩摩郡　高城村史實保存會編	二	五九五	三三五
鹿兒島縣統計書　昭和元年（第二編）　同縣編　昭和四	一	一四、四	二四
鹿兒島縣圖書館一覽　昭和六年四月一日現在　昭和七　同縣立圖書館編	一	二七八	一二三
鹿兒島縣博物調查　第三輯　トカラハブとエラブウナギ　同縣教育調查會編　昭和三	一	五七九	一一〇
鹿兒島縣立糖業講習所業務報告　昭和三年度　附　講習所要覽　同所編　昭和四	一	一四、二	三五二ハ
鹿兒島縣立圖書館一覽　昭和二年四月一日現在　同館編　昭和三	一	二七八	一二三
鹿兒島縣立圖書館鄉土志料目錄　昭和六年一二月末現在　同館編　昭和七	一	三一七	八ヶ
鹿兒島縣立圖書館新築落成記念誌　同館編　昭和二	一	二七八	一二三
鹿兒島縣立圖書館和漢圖書目錄　工學、海事、軍事、藝術、娛樂、運動、產業、商業、交通之部　同館編　昭和九	一	六二四	一五一
鹿兒島縣立圖書館和漢圖書分類目錄　昭和九年六月現在　法制、經濟、財政、統計、社會、家事、理學、醫學之部　歷史、傳記、地誌之部　同館編　昭和九、一〇	二	六二四	一五一
鹿兒島市水道誌　同附圖付　同市役所編　昭和三	二	五八六	一八
鹿兒島市統計書　同市役所編　昭和二至七	三	一四、四	二四ロ
第一回　（昭和三年）			
第一八回　（昭和五年）			
第二〇回　（昭和五年）			
鹿兒島商業會議所統計年報　大正一五、昭和元年同所編　昭和二	一	一四、八	五四
鹿兒島商工會議所主催　國產振興博覽會誌　同所編　昭和八	一	六五〇	四八
〔鹿兒島商工會議所〕統計年報　昭和二、三年度　同所編　昭和三、四	二	一四、八	五四
鹿兒島〔縱行二三橫行四〇圖幅第三一四號地質圖〕　同地質說明書（伊原敬之助）付　地質調查所製　昭和六	一枚	一三	五八六
鹿兒島方言辭典　島戶貞良　昭和一〇　四五九頁	一	六七九	一〇五
賀古敎信七墓廻　近松門左衞門（近代日本文學大系第六卷ノ內）　昭和二	五六〇		九
同　（近代日本文學大系第五卷ノ內　昭和八）	六二九		二八
籠の中より　（寫眞隨筆）　三宅克己　昭和八	一	六四二	一三四
加西郡誌　兵庫縣同郡敎育會編　昭和四	一	八三	四七二
可齋雜藁　可齋續藁前後共　宋、李會伯　民國二三影印　五四卷　（四庫全書珍本初集ノ內）	二六〇	八四四	一六九
香西史　香川縣香西町役場編　昭和五	一	五七七	一三四
葛西志（東京地誌料）　第二、三卷　地誌刊行會編　昭和六	二	六一〇	四八
葛西善藏感想集　同人（改造文庫第二部第二六〇篇）　昭和九	一	五六九	一四三
葛西善藏小說集　第一至六卷　同人　昭和九（改造文庫第二部第二五四至二五九篇）	六	五六九	一四三
葛西善藏全集　同人　昭和三至五	五	五八二	一一〇

	冊	函	號
第一卷　哀しき父			
池の女			
奇病患者			
雪をんな			
兄と弟			
逃走			
急行券			
青い顏			
不能者			
遊動圓木			
愚作家と喇叭			
家鴨のやうに			
第二卷　春			
惡夢			
暗い部屋にて			
浮浪			
埋葬そのほか			
仲間			
本來の面目			
朝詣り			
不良兒			
おせい			
日なた			
ある夜			
第三卷　M君との話			
遺產			
妻の手紙			
椎の若葉			
湖畔手記			
バカスカシ			
惡魔			
贋物			
姉			
子をつれて			
呪はれた手			
泥沼			
火傷			
馬糞石			
風聞			
無心に			
千人風呂			
小さな犧牲者			
M氏の失策			
仲裁人（村のスケッチ）			
冷笑			
姉を訪ねて			
雨			
父の出鄉			
疵			
歲晚			
父の葬式			
病友			
迷信			
蠢く者			
落葉のやうに			
從弟			
血を吐く			
霜枯れ作家の話			

	冊	函	號
死兒を產む	弱者		
われと遊ぶ子	もぐる		
海岸にて	W老伯		
醉狂者の獨白	忌明		
第四卷 感想	醉狸州七席七題	不愉快な程度	
	敢て陳辯	小感十一篇	
	冗語二篇	醉狸州閑話	
	お詫び		
隨筆	東北の原野を夜汽車で過ぎる時など		
	近所の床屋の話	僕のポンチ・	
	歲暮酒話	愚痴とクダと嬉味	
	この頃	故鄉に歸り行く心	
	一種の寂寞とした感じ	三宿にて	
日錄	三月の日記	ボケ日記	
作品批評	讀んだものから	星湖氏の月評脫線ぶり	
	菊池君に	「戀愛行」の作者に	
人物記	相馬泰三氏の印象	廣津和郎氏の印象（一、二）	
	宮地嘉六氏の印象	谷崎精二氏の印象	
	宇野浩二氏の印象（一、二）	牧野信一氏の印象（一、二）	
	酒中印象二三	花袋先生の溫容	
第五卷 書簡集			
家相 本間五郎 昭和六			一 六〇九 三〇〇
河藻歌集 村上忠順編〔序、文久二〕			二〇 八三九 一三
家相眞法 戸田景明 昭和八			一 六二六 六二
家相正義 附方位相性 熊崎健翁 昭和八			一 六四五 三六
家藏日本地誌目錄 同續編 高木利太 昭和二、五			二 五七七 三三
同 續編 昭和五			一 五七七 二三イ
家相の神祕 高木乘 昭和五			一 五九五 二二〇
家相の話 松平英明、本間五郎 昭和五			一 六〇九 一四七
家相方鑑大全 飯田天涯 昭和七			一 六二七 九九
家相寶典 高木乘 四版 昭和四			一 五八六 二〇五
家相本位の住宅設計圖集 松平英明、本間五郎 昭和九			一 六五八 一二四
笠岡古城山沿革考 淺尾儀一郎 昭和一〇（淺尾叢書第一編）			一 六八三 一六二
笠掛記（群書類從第二三輯武家部ノ內 昭和五）			五八三 一四
同（新校群書類從第一八卷武家部ノ內 昭和七）			五八四 五
笠置戰役と越中石川 石川義忠編 昭和四			一 五九四 四一
家作を貸す祕訣 細木盛枝 昭和七			一 六二一 五五
鵲 滿鮮歌鈔 川田順 昭和六			一 六〇三 三五七
同 昭和七			一 六〇三 三五七イ
同 再版 昭和九 二六七頁			一 六〇三 三五七ロ
かささぎ集 安部佐之吉（山口烏橋） 昭和三			一 五八二 一一〇
笠觀音御緣起 歌舞伎出版部編 昭和二			一 一七五 一〇三
笠縫邑址調查書 笠縫邑顯彰會編 昭和四			一 五七九 三五四
累 宮地嘉六 昭和二			一 五六八 六八
重井筒 近松門左衞門著 藤井乙男校註（近松全集第八卷ノ內 昭和二）			五二〇 四〇
同			五二〇 四〇イ
笠の影 安井知之（小酒）校（燕門珍書百種一九編ノ內 昭和二）			五四五 四四
同			五四五 四四イ
笠森お仙 （怪談月笠森）河竹默阿彌著 河竹繁俊校（岩波文庫二八八—二八九ノ內 昭和三）			五六九 一四
傘弓袋圖記 寫			一〇 八四一 一七〇
飾馬考 （彩色圖入） 上、下卷 的場勝美 安政四			二〇 八四一 六
餝抄 上、中、下 上御門通方（新校群書類從第五卷裝束部一ノ內 昭和七）			五八四 五
霞山遺稿 卷之上、下 田島霞山 其昌）著 田島達道、下城庸作編 昭和一〇			二〇 三〇三 二〇〇
霞山集 篠崎霞山（順太郎） 昭和七			一 六三三 一六二
嘉山側面集 樋口實堂編 昭和八			一〇 一八〇 一四〇
家山圖書 民國二三 影印（四庫全書珍本初集ノ內）			特一〇 八四四 八三
家產法制定論 大谷美隆 昭和二			一 五三四 六四八
家事衣類整理綱要 菱山衡平 昭和六			一 五六三 四九八
夏秋期養蠶法 水野辰五郎 昭和四			一 五五二 三〇九
夏秋蠶飼育讀本 加納銳 昭和三			一 五八一 八八
夏秋蠶新飼育法 水井壽一郎 昭和二			一 五七二 七七
夏秋蠶統計 大正一五、昭和二年 東京府編 昭和二、三			二 一四二ロ 二一二ハ
夏秋蠶繭檢定成績 昭和三年度 昭和四 埼玉縣蠶業試驗場編			一 一四二イ 六四六
加州刀工系圖資料 中瀨眞亮編 昭和一〇			一 六七二 二五九
加州と福島縣人 南加篇 佐藤安治（一水） 昭和四			一 五九四 七六
家事衞生要義 藤原九十郎 昭和六			一 六一 四〇〇
河鹿の笛（童謠詩集一） 富田衞 昭和九			一 六五六 一〇八
貸金整理の法律的注意事項 井上勝馬 昭和一〇 二二八頁			一 六八七 一八六
家事教育と國民生活 竹島茂郎 昭和三			一 二六三七 一四〇
家事教材研究案 衣服篇、住居篇 昭和四 家事教授研究會編			一 二六三七 一四六
家事教材の理科的研究 堂東傳 昭和九			一 二六三七 一八八
家事教授の實際的新主張 戸澤イマ 昭和三			一 二六三七 一四一
家事研究大系 平凡社發行 昭和三			一 五五五 二四
第二卷 被服裝飾篇（甲斐久子）			三 五六三 四八二
家事裁縫手藝講座 玄海堂發行 昭和六			
第二卷 家事經濟（松平友子）			四 六一五 四二
第四卷 育兒・看護・結婚（紺戸廉平）			
第一一卷 和服裁縫（神谷ユキ〈）			
家事裁縫手藝叢書（文檢準備） 新和社發行 昭和七			
第一卷 最新家庭物理（近藤耕藏）			
第二卷 最新家事經濟（松平友子）			

		冊	函	號
カシサ—カスカ				
第三巻	結婚・看護・育兒・生理衛生 （紺戸廉平）	一	二七六	四三六
第四巻	食物榮養講義 （藤巻良知）	一	二六三	二九一
家事參考	衛生と看護及び育兒 土肥衛 昭和二	一	六六二	一三八
家事指導の實際	溝上泰子 昭和六	一	二五九	九九
家事新講	越智キヨ 昭和九	一	六七八	五四
家事新教授法	石澤吉磨 昭和二（文化中心新教授學大系第一〇巻）			
貸出金整理回收の實際	井上勝馬 昭和九			
夏日陪多田院廟前詠五十首和歌	足利義尙（群書類從第一四輯和歌部ノ内 昭和五）	一	五八三	一四
同	（新校群書類從第一〇巻和歌部ノ内 昭和四）	一	五八四	五
夏日夜話	東京朝日新聞社編 昭和二	一	五六九	三六
家事と作法の常識要項	林玉子 昭和四	一	五九七	二一九
賭博場（カウノ）殺人事件	ヴアンダイン著 伴大矩譯 昭和九	一	五六八	五〇三
カジノフオーリーレヴユー脚本集	カジノフオーリー文藝部編 昭和六	一	六〇三	三六二
第六巻	基督教史 （柏井園）	七	五一五	一二
續篇 第一巻	パウロ研究 （同）			
續篇 第二巻	耶蘇及び福音者研究 （同）			
續篇 第三巻	說教及び神學論文 （同）			
續篇 第四巻	時事評論及び史論 （同）			
柏井全集	警醒社、長崎書店發行 昭和二至一〇			
鹿島（縱行三橫行二三幅第一〇四號地質圖）	同地質說明書（三土知芳）付 昭和八、三九・〇〇×六一・八〇	一枚	一二	六一二
鹿島神宮誌	岡泰雄編 昭和八	一	六六六	四八
鹿島神傳直心影流	山田次朗吉 昭和二	一	五七二	一八三
鹿島神傳直心影流極意	石垣辰雄 昭和一〇 二四八頁	一	六八三	七
鹿島立、一日記	鬼澤大海 手稿本	一〇 別四	四	一六
鹿島治亂記	（新校群書類從第一六巻合戰部ノ内 昭和三）	五八四	五	
鹿島日記	高田與清	一〇	八三九	九八
貸家紛爭豫防と解決法	福島賞 昭和八	一	六三四	一七一
おし屋うけ人の事	（慶長一三年江戸町借家請文）	一枚 別四	一八	
賀春禧單	山崎美成 （天保二）	一帖	八四一	一九六
雅叙園天井繪集	雅叙園編 昭和九	一〇	六七二	四三
歌人石川依平	後藤肅堂 昭和四	一〇	五九四	六六
歌人西行	高根政次郎 昭和八	一	六三三	一八〇
同		一	六三三	一八〇 イ
炭塵（ガス）	三好十郎 昭和六	一	五九六	三七四
春日權現驗記	（群書類從第一神祇部ノ内 昭和六）		五六六	六一
春日權現驗記	（新校群書類從第一巻神祇部ノ内 昭和七）		五八四	五
春日祭禮之圖	寫	特一軸	亥二	一六〇
春日社記	（群書類從第一神祇部ノ内 昭和六）		五六六	六一
同	（新校群書類從第一巻神祇部ノ内 昭和七）		五八四	五
春日社參記	姉小路基綱（群書類從第一神祇部ノ内 昭和六）		五六六	六一
同	（新校群書類從第一巻神祇部ノ内 昭和七）		五八四	五
春日社三十講最初御願文	（群書類從第二四輯釋家部ノ内 昭和三）		五八三	一四
同	（新校群書類從第一八巻釋家部ノ内 昭和七）		五八四	五
春日神社文書	第一、二 春日神社社務所編 昭和三、九		六三六	一八三
春日神木御入洛見聞略記	（群書類從第一神祇部ノ内 昭和六）		五六六	六一
同	（新校群書類從第一巻神祇部ノ内 昭和七）		五八四	五
春日小社記	（群書類從第一神祇部ノ内 昭和六）		五六六	六一
春日潛庵傳	太田虹村 昭和三		五七八	七八
春日大明神垂跡小社記	（新校群書類從第一巻神祇部ノ内 昭和七）		五八四	二
春日若宮御祭禮記			八四一	三二
瓦斯器具懸賞募集經過概要	帝國瓦斯協會編 昭和一〇 九七頁		六八四	八
瓦斯傷ノ病理及治療	陸軍軍醫團編 昭和八		六〇	二四三
瓦斯事業要覽	大正一四年、昭和元至一〇年度 帝國瓦斯協會編 昭和三至一〇年		三三三	三六
瓦斯事業法概論	水越致和 昭和五		六〇八	一三
カスカ—カセ				
カスタノプリツヂの市長	前、後篇（ハーディ著 宮島新三郎譯 昭和九、一〇 世界名作文庫第三一、三二）		六三〇	一
和宮御事蹟	桑原隨旭 昭和二		五九六	二五九
ガスの用ひ方	工政會消費經濟委員會編 昭和七		六三三	二一
ガス・マスク	櫻井忠溫 昭和六		六〇三	二五六
霞の碑	（一茶叢書第九編小篇三十種上ノ内 昭和五）		五四八	五九
霞帶締如月（お高源次郎）				
粕谷獨逸語學叢書	五柳亭德升著 歌川國安畫 再版（人情本刊行會叢書第二六輯ノ内 大正一五）		五四五	三三
	南山堂發行 昭和二至四		三三三	七三五
第四巻	獨逸文典時と可能法の研究 （粕谷眞洋）			
第五巻	譯註ハイネ詩集 （粕谷眞洋譯）			
第九篇	獨英和對譯マーク、トウエンユーモア集 （同譯）			
第一〇篇	誰れにもわかる獨逸語の第一歩 （同）			
粕谷義三傳（竹堂）	粕谷義三頌德記念會編 昭和九		六六一	一四三
瓦斯熔接と安全心得	菅野久一 昭和七		三七三	六三六
ガスライト印畫法	佐々木彌太郎 昭和五		五八一	一九五
風	寺院篇 岡本東洋 昭和九	特	四二六	六〇
風	白井尙子 昭和八		六四三	六四
風	山本有三 昭和七		六三三	三五
風	山本有三 昭和八（新潮文庫第二五編）		六三〇	八

		冊	函	號
家政教育の根本問題	東亞學藝協會編 昭和七	一	二六三	一六六
家政新論	井上秀子 昭和九	一	六六二	一一九
歌聖としての宗良親王	高柳秀雅 昭和七	一	二三二	三五五
家政婦調査	名古屋地方職業紹介事務局編 昭和八 謄寫版	一	六二五	四〇二
可笑記	如儡子（近代日本文學大系第一卷ノ内 昭和三）		五六〇	九
同	昭和九		六二九	二八
夏小正校注	卷一至四 增島固（蘭園）昭和二（崇文叢書第二輯四九、五〇）	二	一五四	六〇
加世田〔縱行二四橫行四一 地質圖幅第三一九號〕	同說明書共 地質調査所製 昭和八、九 四〇・三〇×六五・四〇	枚一冊一	一三	六二三
風と影と	伊太利亞近代詩抄 秋吉敏西譯 昭和一〇 一八〇頁	一	六八二	一三八
風と鵜（民謠集）	松村又一 昭和四	一	五九六	七
風と林檎（童謠集）	有賀連 昭和七	一	六三〇	一七五
風爾津連奈幾物語	上、下 水野忠央編（丹鶴叢書第三、四册）	二	八四一	六四
風にやつれて	藤本浩一 昭和四	一	五六九	一七九
風に流れる	新居格 昭和五	一	五九五	一九九
河川及運河	山田陽清 昭和四（絲合工學全集第三二卷）	一	五九三	二一
河川漁業	第三輯（昭和四年分）附錄 農林省水產局編 昭和七 謄寫版	一	六三五	一五六
河川工學	末松榮 昭和六	一	六〇八	二三四
河川工學	福田次吉 昭和六（高等土木工學第一三卷）	一	六〇八	一八一
河川工法	附圖付 三輪周藏、萩原俊一 昭和二	一	二六三	一六六
河川水流の制御に就て	眞田秀吉 補 昭和一〇	一	六八四	八八
河川法論	安田正鷹 昭和一〇 三九二頁	一	六四〇	三一八
歌仙落書	久我通光（群書類從第一六輯和歌部ノ内 昭和九）		五八三	一四
同	（新校群書類從第一三卷和歌部の内 昭和四）		五八四	五
加增曾我	近松門左衞門著 藤井乙男校註（近松全集第七卷ノ内 大正一五）		五二〇	四〇
同			五二〇	四〇イ
同			五二〇	四〇ロ
雅俗幼學新書	森楓齋（源嵓）〔安政年間〕	二〇	八三八	六
家族、私有財產及び國家の起源	エンゲルス著 西雅雄譯 昭和二	一	五六五	一六二
同	昭和四（岩波文庫五三一—五三二）	一	五六九	一四
同（改譯一版）	昭和一〇	一	五六九	一四イ
家族制度の將來	吉田靜致、橋本文壽 大正四 四一七頁 訂再版	一	三五二	六一イ
家族的獨立小農法	橘孝三郎 昭和九	一	六五七	一三三
家族統計の範圍に就いて	岡崎文規（彥根高等商業學校）調査研究第三八輯）	一	五七九	五一二
家族と國民に應用したる優生學				
家族と國民	ホエザム夫妻共著 大塚小一郎譯（「家族と國民」ノ改題） 昭和九	一	三四二	二三六イ
家族と婚姻	戶田貞三 昭和九	一	六四九	一六七
家族の起源	ジェメツリー著 隈崎渡譯 昭和三	一	五八七	六七
同	昭和五	一	五八七	六七イ
家族の肖像（詩集）	守木清 昭和一〇 一三三頁	一	六八五	一二三
家族法論	家を中心として 角田幸吉 昭和六	一	五九一	二四九
家族本位の庭	吉村巖 昭和七	一	六三三	三四
「ガソリン」代用燃料の工業的製產	堀眞三郎 昭和四	一	五九〇	二二五
ガソリンポンプ圖解（發動機）	小野寺季六編（消防叢書第一編） 昭和二	一	三三七	四八二
ガソリンポンプ讀本	初等科 小宮正彌 昭和九	一	六七五	九七
稼村類稿	元、王義山（四庫全書珍本初集ノ内） 民國二三 影印	特一〇	八四四	一八三
荷田在滿家歌合	賀茂眞淵判 文化六	一	八三七	七五
可撓結構と可撓座標系	福澤三八 昭和九	一	六五三	一五三
河道州臨漢碑二種	石門頌、張遷碑 鷲見廣一（見山）編 昭和五	二	四二四	五四
稼堂叢書	黑本植（稼堂） 昭和六、七	五	一五六	一一三
第一	三州遺事 上			
第二	橫槊餘情			
	武邊詩史			
	山嶽詩史			
	百戰一首			
第三	神樂評註			
	催馬樂評註			
	萬葉百首短評			
	新百人一首偶評			
	後選百人一首評註			
	自讚歌註			
	刪修君臣歌			
第四	錦繡段俚解 上、下			
第五	病閑贅筆			
	頭川湯話			
	眼海一滴			
同 第二	昭和六			
稼堂文庫竝犀川文庫目錄	金澤市立圖書館編 昭和六	一〇	一五六	一一三イ
歌道本義神風之伊勢の海	村山守雄著 村山龍平編 昭和六	一	六〇四	四八八
片岡鐵兵集	片岡鐵兵（新進傑作小說全集第五卷） 昭和四	一	五六八	四五四
片岡鐵兵集（新選）	同人 昭和四	一	五六九	一五七
片岡鐵兵全集	同人 昭和七	一	五九六	九九
		一	三三八	三九八
詩 四篇				
創作（第一）				
芊狩	舌			
女の背姿	にがい話			
早業	幽靈船			
雲とゴルフの球	疲れた戀人			
綱の上の少女	寒村			
ある結末	身を固める			
我儘を云はない仲	今日と明日			

		冊	函	號
愛情	色情文化			
金錢に就て	小兒病			
藝術の貧困	甘茶			
面白くなる	年少の友			
微妙な貸借	大島爭議君			
打倒六鄕會	綾里村快擧錄			
死にきれず	菜の花月夜			
あんな男こんな男	強い男は居る			
總本山	踊りながら			
目立たぬ星	不自由な人々			
一人の女	アヂア太世界漫遊記(イギリスの巻)			
スキー讀物語	通信工手			
歩きつゞける男	電氣化學獨習書			
出世ばなし	一つの性格			
愛情の問題	發端			
通信事務員				
隨筆 六篇				
創作 (第二)	生ける人形			
太刀打ち	梨子と喜次郎			
娘三人記				
創作 (第三)	明るき日の物語			
夜明けの花畑	雲は空に			
女性讃				
第三の戀				
同				
片岡直輝翁記念誌 同編纂委員會編 昭和三		一	三二八	三九八イ
伽陀音樂論 多紀道忍、吉田恒三 昭和九		一	五七七	五九
片假名引 全國驛名ノ讀方 藤井友次郎編 昭和七		一	六五三	二六一
總畫引	改正五版	一	五六九	四〇四
復讎後祭祀 山東京傳 (近代日本文學大系第一二卷ノ內 昭和二)			五六〇	九
敵討伊賀越 菊山當年男 昭和七		一	三二八	五六一
敵打女鉢木 蓬萊山人龜遊 (近代日本文學大系第一二卷ノ內 昭和二)			五六〇	九
敵討駿河華 伊庭可笑 昭和一〇 (駿河叢書第二三篇ノ內)		一	二四九	二六八
敵討と切腹 谷田左一 昭和一〇 二〇七頁		一	六七九	一八
敵打蚤取眼 曲亭馬琴 (近代日本文學大系第一二卷ノ內 昭和二)			五六〇	九
加太邦憲自歷譜 同人編 昭和六		一	五九五	二九九
片言 正宗敦夫校 復製 (日本古典全集ノ內 昭和六)			五四三	一一五
片言まじりの 佛蘭西ゆき 新案日佛會話 田島清 昭和五		一	六〇三	一七
荷田全集 官幣大社稻荷神社編 昭和四至七		七	五九三	七
第一卷 創學校啓 (草稿)				
同 (刊本所載)				
荷田大人啓文註解 (神代名臣)				
伊勢物語童子問 八卷 (荷田春滿)				
萬葉集僻案抄 三卷 (同)				
萬葉集童子問 (同)				
第二卷 萬葉童蒙抄 卷第一至一一 (荷田春滿)				
第三卷 同 卷第一二至二四 (同)				
第四卷 同 卷第二五至三五 (同)				
第五卷 同 卷第三六至四六 (同)				
萬葉集劄記 (同)				
春葉集 二卷 (荷田春滿)				
第六卷 日本書紀神代卷劄記 (同)				

		冊	函	號
日本書紀神代卷抄 (同)				
古事記劄記 三卷 (同)				
令義解劄記 五卷 (同)				
第七卷 大嘗會儀式具釋 九卷 (荷田在滿)				
大嘗會圖式 (同)				
大嘗會便蒙 二卷 (同)				
大嘗會便蒙御答顚末 (同)				
田令俗解(四種) (同)				
貞觀儀式鼓吹司試生等儀解 (同)				
衞府雜錄 (同)				
名目抄紬繹 (同)				
羽倉考 (同)				
羽倉考拾遺 (同)				
令三辨 (同)				
本朝度制略考 (同)				
家記所繫考 (同)				
裝束色彙 (同)				
國家八論 (同)				
國家八論再論 (同)				
古今集左注論 (同)				
百人一首解 (下卷缺) (同)				
夜乎籠呂之歌釋案 (同)				
白猿物語 (同)				
落合物語 (同)				
彗星私辨 (同)				
在滿歌文集 (同)				
杉のしづ枝 (同)				
大江朝臣考 (同)				
菊渚綿考 (同)				
狹布考 (同)				
百題鄙詠 (同)				
人の歌を私に品定めするをいなむ辭 (同)				
片多德郎傑作畫集 同人畫 岡田三郎助、大隅爲三編 昭和一〇		特	一 六七四	一九
刀繪圖 大塚巧藝社發行 昭和一〇 複製		特	一 玄 一七三	
刀の手引 川口陟 昭和八			一 六四二	二六六
嘉多比沙志 前集 齋藤彦麿 萬延二			一〇 八三七	五一
傾ける大地 賀川豐彥 昭和三			一 五八二	一二九
同 昭和五			一 五八二	一二九イ
語る 久保田万太郎 昭和九			一 六五六	七五
歌壇史稿 安部忠三 昭和六 (水甕叢書第三七篇)			一 五一五	六八
可鍛鐵鑄物 岡島奈良藏 昭和五			一 五六三	四一四
同			一 五六三	四一四イ
梶井基次郎全集 同人著 淀野隆三、中谷孝雄編 昭和九			二 六五五	五二
上卷 母親 (斷片)	奎吉			
矛盾のやうな眞實	「檻檬」を挿話とする斷片			
夕凪橋の狸	太郎と街			
瀨山の話	犬を賣る露店			
檻檬	城のある町にて			
泥濘	路上			
雪の日 (斷片)	橡の花			
家 (斷片)	過去			
雪後	ある心の風景			
Kの昇天或はKの溺死	冬の日			

栗鼠は籠にはいってゐる　櫻の樹の下には　冊　函　號
器樂的幻覺　閨への書
閨の書（斷片）　蒼穹
筧の話　雲（斷片）
冬の蠅　奇妙な手品師（斷片）
ある崖上の感情　猫（斷片）
愛撫　閨の繪卷
琴を持つた乞食と舞踏人形（斷片）
海（斷片）　交尾
籔鶯亭（斷片）　のんきな患者
溫泉（斷片）
下卷　貧しい生活より（斷片）　彷徨（斷片）
歸宅前後（斷片）　小さき良心（斷片）
裸像を盜む男（斷片）
批評・感想・隨筆
青空同人印象記
川端康成第四短篇集「心中」を主題とせるヴアリエイション
六號記　「新潮」十月新人號小說評
「青空語」への感想　「亞」の回想
「戰旗」「文藝戰線」七月號創作評
「青空」のことなど　詩集「戰爭」
「親近」と「拒絕」
日記
書簡

同　下卷　昭和九　一　六五五　五二イ

價値學說史　嚴松堂發行　昭和四　一　五八〇　一二六

第二卷　墺國學派の價値學說（波多野鼎）

家畜保險資料　農林省畜產局發行　昭和二　二　五三四　四一五

第八號　牛馬數郡市別調　大正一四年末現在（同局編）　冊　函　號
第九號　佛蘭西家畜相互保險組合定款（同局譯）
價値觀へ高等小學國史教授の實際
止揚せる

上卷　初等教育研究聯盟編　一　二六三　九　三〇〇
昭和八
加除式　實務自治要覽　日本行政學會編　四版　昭和一〇　一〇　一四、七　七二四
八四八頁
加除自在　現行青森縣令規全集　第三綴　帝國地方行政學會編　昭和八　一〇　一四、七　六〇四
同　第一至三綴　昭和七、八　三　一四、七　六〇四イ
加除自在　現行鹿兒島縣教育法規集　鹿兒島縣教育會編　昭和九　一〇　二五六　一三
加除自在　現行奈良縣學令類纂　奈良縣編　昭和一〇　一〇　二五六　一二九
加除自在　現行奈良縣法例類纂　第一至四綴　奈良縣編　昭和六　四〇　一四、七　五三七
同　四〇　一四、七　五三七イ
勝尾寺文書　第一會編　大阪府史蹟名勝天然紀念物保存調查會編　昭和六　一　六一〇　九九
勝海舟　山路愛山（彌吉）　昭和四　一　五七八　二七四
勝海舟傳　德富猪一郎　昭和七　一　五〇五　八〇
（偉人傳全集第七卷）
脚氣　大森憲太　昭和二　一　五三　二五三
脚氣治法總要　宋・董汲　民國二三　影印　二卷　特一〇　八四四　八六
（四庫全書珍本初集ノ內）
脚氣とヴイタミン缺乏症　板津饒　昭和五　一　六〇　九六四
（普及最新治病研究第一册）
葛原詩話　前後篇　慈周　三三五　三七三
（日本詩話叢書第四、五卷ノ內　大正九）
葛原詩話糾繆　津阪東陽　（日本詩話叢書第五、一〇卷ノ內　大正九、一一）　三三五　三七三

葛原詩話標記　猪飼敬所　三三五　三七三
（日本詩話叢書第四卷ノ內　大正九）
上總與津　川瀨巴水畫　昭和一〇　特一枚　別七　三〇〇
葛飾　水原秋櫻子　昭和五　一　六〇三　三一
（馬酔木叢書第四編）
葛飾北齋　野口米次郎　昭和五　一　別（か）一
同　一　六〇五　九九
同　昭和七　（六大浮世繪師決定版ノ內）　特一　六一六　六三
合唱曲集　奉秋社編　昭和一〇　一　六七四　二四
（家庭音樂全集第一二卷）
合唱管絃樂指揮法　ベルリオース著　津川主一譯　昭和四　一　五五三　七八
合掌讀本　興教書院發行　昭和一〇　一　六八三　一二八
第一　想華篇（澁川敬應）
合掌の研究　澁川敬應　昭和八　一　六四五　七四
合掌の仕方と念珠のお話　伊藤古鑑　昭和八　一　六四五　一三三
合戰　直木三十五　昭和三　一　五八二　一三六
刈田郡誌　宮城縣刈田郡教育會編　昭和三　一　五九四　七
甲冑研究資料　（防長兩國に於て蒐集せる）　弘津史文　昭和七　一　六二八　一三
カットブック　井關經營研究所編　昭和四　一　五七九　二八二
鹿角郡根元記　中津山延賢校　（秋田叢書第三卷ノ內　昭和四）　五八四　一四
鹿角由來記　工藤市左衞門　（南部叢書第一册ノ內　昭和二）　五七四　七
河童（Der Kappa）　芥川龍之介著　高坂義之獨譯　再版　昭和九　一　五八八　四九八

河童　芥川龍之介　昭和八　一　五六九　一四
（岩波文庫八七四）
割烹實習要目　古澤クラ編　昭和九　一　六五七　四三
河童の巢（小說）　福田清人　昭和八　一　六四三　一〇一
合併貸借對照表論　ケスター著　沼田嘉穗譯　昭和七　一　六二一　一九七
勝間田町誌　正篇　襍田甚四郎編　昭和二　一　五五四　一五五
かつみ考　松平定信稿本　寫　特一〇　八二七　九三
勝山藩古事記　安田仁二郎　昭和六　一　六一〇　一〇八
桂川沿岸先史民族の遺跡　上　仁科義男　昭和五　一　五六二　一二六
桂川地藏記（尊經閣叢刊）　同解說付　育德財團編　昭和四　一〇　一四〇　二七八
桂太郎と原敬　人物評傳全集刊行會編　昭和一〇　一　六六四　一七
（人物評傳全集第八卷）　軸ニ
桂の落葉　同解說付　佐佐木信綱編　昭和六　一　ち　五七
桂本萬葉集　同解說付　佐佐木信綱解　昭和三　軸ニ　る　一四七
桂離宮御寫眞及實測圖　川上邦基編　昭和七　特一　四二六　八〇
瞎驢行　伊藤敬宗　昭和二　一〇　一七〇　二八
家編物要書　石藤壽子　昭和三　一　五八六　一三九
家庭友禪法　永島信子　昭和一〇　二四六頁　一　六九七　一三
家庭醫學　糸左近　訂補三一版　昭和五　一　六〇　二八三ニ
家庭醫學　岡本京太郎　昭和二　一　五六〇　三九
（大日本百科全集第二）
家庭醫學講座　婦人之友社發行　昭和四　一　六〇　九四五

カテイ

		冊	函	號
第一輯	子供に病氣をさせない爲に（同社編）			
家庭醫學講座	博文館發行 昭和二、三	二	六〇	八〇二
第四編	消化器病の最新療法			
	附 營養學と胃腸の强健法（小田俊三）			
第六編	乳兒及幼兒の育て方と其看護法 上卷（原田達三）	一	六〇	一五一
家庭醫學辭典	穗積光治編 昭和八	一	五六	三三四
家庭醫學 小兒病の智識と其手當	岡本孝 昭和八	一	六〇	一三五五
家庭醫學全書	同刊行會編 昭和一〇 二二七頁	一	六〇	八九〇
家庭醫學全書	報知新聞社家庭部編 昭和三	一	六〇	八五五
家庭醫學と治療の實際	正木不如丘 昭和二	一	六一	三九六
家庭衞生看護法	日本赤十字社岩手支部病院編 昭和五	一	六一	四三六
家庭衞生と救急法	渡邊房吉 昭和九	一	六一	四五七
家庭衞生メモ	日本放送協會編 昭和一〇 三六二頁	一	六五七	一一六
家庭園藝 花	垣本勇 昭和九	一	三七八	三四九
家庭應用 漬物と壜詰法	菊地久一郎 再版 昭和七	一	八三	四四一
家庭音樂集	ジエームス・ダン、門馬直衞編 昭和四、一〇（世界音樂全集第三五卷）	一	六七四	二四
家庭音樂全集	春秋社發行 昭和一〇	一		
第一至三卷	ピアノ曲集 第一至三（同社編）			
第四卷	ピアノ聯彈曲集（同）			
第五、六卷	ヴアイオリン曲集 第一、二（同）			
第七卷	オルガン曲集（同）			
第八卷	合奏曲集（同）			
第九卷	マンドリン、ギタア曲集（同）			
第一一卷	童謠唱歌集 第二（同）			
第一二卷	合唱曲集（同）			
家庭講座テキスト	我子の爲に 花の卷 東京中央放送局編 昭和四	一	五六	二七四
家庭學校資料と實際	性教育の研究 羽太鋭治 昭和二	一	六〇	八七二
家庭看護學	杉山仲 昭和五	一	六〇	一〇一四
家庭看護法	越智キヨ 訂三版 昭和五	一	六〇	六一六
家庭看護法	碓居龍太（醫學常識第一〇卷ノ內） 昭和五		六〇	九七五
家庭苦に悶える者に	宮澤英心 昭和三	一	五三六	三四三
家庭懷石 十二ケ月料理	赤堀峯吉 昭和二	一	五七一	四七
家庭科學大系	賀川豐彥編 昭和三至六	二三	五八三	四四
第九回	急性傳染病（村山達三）			
	飮食物の化學（黑野勘六）			
	女子競技（永井花子）			
	婦人と四季の釣（上田尙）			
	洋髪に就いて（大場靜子）			
	洋髪の結び方（メイ・ウシヤマ）			
第一一回	家庭遊戲（井上藤藏）			
	室內ゲーム（ミス・ギボンス）			
	果物の話（大島代次郎）			
	食用魚鳥の見立て方（上田尙）			
	婦人服（高崎道子）			
第一二回	臺所の科學（越智眞逸）			

		冊	函	號
	通俗ラヂウム講話（藤浪剛一）			
	陶器の話（富本憲吉）			
	彫刻の話（藤井浩祐）			
	婦人のめざめ（島崎藤村）			
	麻雀の遊び方（廣津和郎）			
	生物學と性教育の關係（木村德藏）			
第一三回	遺傳と優生學（池田林儀）			
	營養素とヴィタミンの話（中澤浩一）			
	寶石と指輪の話（高橋學而、柳沼得三）			
	迷信の話（富士川游）			
第一五回	民間藥（在原長藏）			
	洋式作法（本野久子）			
	玩具の話（藤五代策）			
	トランプの遊び方（池谷信三郎）			
	現代文學講話（伊福部隆輝）			
第一六回	乳兒保護問題（暉峻義等）			
	手藝圖案（廣川松五郎）			
	詩歌講話（生田春月）			
	婦人乘馬（莊豐子）			
	自由結婚と民族の退化（宗正雄）			
第一七回	良犬を得る秘訣（高橋虎雄著 益田甫補）			
	ビーズ細工の仕方（豐川エルザ）			
	四季飮料水の話（三浦節子）			
第一八回	洗濯の話（服部靜枝）			
	漬物の話（本田豐子）			
	生華（山田勤）			
	ゴルフ（赤星四郎）			
	紫外線（藤浪剛一）			
	接待（別所梅之助）			
第一九回	こどもの着物の作り方（佐賀房子、氏家壽子）			
第二〇回	社交ダンスの研究（玉置眞吉）			
	婦人と社會事業（田子一民）			
	精神療法批判（森田正馬）			
	日常生活と法律（鹽田環）			
	家庭と科學常識（石井重美）			
	家庭電化（伊藤奎二）			
第二一回	健康法（吉田章信）			
	民間藥（湯川蝸洋）			
	母乳榮養論（內村良二）			
	俳句概觀（河東碧梧桐）			
第二二回	嫁と姑及び兒童心理と教育（高島平三郎）			
第二三回	日本畫概說（瀧精一）			
	婦人服・改良服（福岡やす子）			
	家庭で日本菓子の作り方（秋穗敬子）			
	出來る			
	結婚前後の注意（吉岡彌生）			
	肺結核とはどんな病か（小酒井光次）			
	女中の扱ひ方（三宅やす子）			
	スキー術（高橋翠効）			
第二四回	運命判斷十二講（永島眞雄）			
第二五回	箏曲（宮城道雄）			
	ピアノの選擇（福島琢郎）			
	長唄概論（前篇）（町田博三）			
	女子と運動競技（人見絹枝）			
第二六回	長唄概論（後篇）（町田博三）			
第二七回	何が彼を不良兒にしたか（前篇）（村島歸之）			
	家庭生活の合理化（白木正光）			
第二八回	音樂シエーネベルグ日記（近衞秀麿）			
	隨筆			
第二九回	宗教々育入門 附 宗教入門（賀川豐彥）			
第三〇回	副業養魚の話（大村清友）			
第三一回	篇			
	政治講話（吉野作造）			

カテイ

		冊	函	號
第三二回	家庭物理學十二講（近藤耕藏）			
	何が彼を不良兒にしたか（後篇）（村島歸之）			
第三三回	おもと新栽培法（北神貢）			
	苺とトマトの新栽培法（高木輝治）			
家庭科學大系	文化生活研究會發行　昭和二、三	二四	五六六	一三
第　二	趣味の天文（山本一清）			
第　三	自然科學、氣象、地震（石原純等）			
第　五	婦人と經濟（太田正孝）			
第一四	和洋家具（木檜恕一等）			
第二一	衣裳の心理（賀川豐彥）			
第二二	和服裁縫（大妻コタカ）			
第二八	化粧の心理（賀川豐彥）			
	化粧醫學（中川清）			
第二九	新化粧法、整容醫學（早見君子、高橋毅一郎）			
第三四	毛絲編物（阿里吉子）			
第三七	染色の理論と實際（菱山衡平、木村和一）			
第三八	人形の作り方（矢野直子）			
	ツマミ細工（佐田豐山）			
第四三	日本料理作法（石井泰次郎）			
	榮養經濟料理（村井政善）			
第四四	西洋料理（早川昌一）			
第四五	西洋料理作法（東佐與子）			
第四七	和洋菓子の作り方（秋穗敬子、東佐與子）			
第五八	性の生理　上、下卷（永井潛）			
第五九	婦人病（根本豐治）			
第六〇	姙娠、分娩、產兒調節（山崎清、越智眞逸）			
第六七	育兒學（矢野雄）			
第六八	齒科、應急手當（島峰徹、正木俊二）			
第七二	兒童文學（松村武雄等）			
第八一	オペラと映畫（伊庭孝等）			
第八二	日本音樂講話（田邊尙雄、高野辰之）			
第八八	四季の園藝（三木泰治）			
家庭管理	德山敬子　昭和一〇　二二五頁	一	六九五	七
家庭管理法	井上秀子　昭和三（大日本百科全集第二二）	一	五六〇	三九
家庭訓	下田歌子　昭和八（香雪叢書第五卷）	一	六三九	七
家庭經濟提要	井上秀子　昭和七	一	六二四	一九
家庭經濟讀本	河津暹　昭和一〇	一	六七五	二一〇
家庭經濟と被服	被服協會編　昭和六	一	五九〇	四三二
家庭經濟の合理化	森本厚吉（婦人講座第三七篇ノ內　昭和八）	雜 一	五	四五
家庭經濟の祕訣	安く樂に暮す法　上野陽一　昭和五	一	三八六	二六七
家庭藝術趣味の染色手藝	新坂紫舟　昭和四	一	五九七	一四七
家庭教育叢書	大日本聯合婦人會發行　昭和九	一	六六八	一五
第　一	更新家庭生活（同會編）			
家庭教育の體驗を語る	今堀友市　昭和六	一	二七一	一三三
家庭教育の知識	志垣寬　昭和九（萬有知識文庫第三九）	一	六六四	一
家庭教訓	大日本百孝畫傳　大日本帝國忠孝畫堂發行　昭和八	一〇	二二五	二二三
第一編	二十四孝（秋山美鳳、秋山美紅）			
家庭造園と副業庭園	五十嵐孝治　昭和六	一	六〇六	三九七
家庭淨土の建設	宮澤英心　昭和一〇（「家庭苦に悶える者に」ノ改題）	一	五三六	三四三 イ
家庭手工精義	森禎之祐　昭和八	一	六四一	一七四
家庭趣味西洋料理法	林たま子　昭和四	一	五九七	二〇九
家庭新洗濯法	五十嵐健治　昭和四	一	五九七	六八
家庭生活の合理化	塚本はま子　昭和五	一	六〇七	九七
家庭染色法	上田柳子　昭和八（被服常識叢書第一〇輯）	一	六三一	四八
家庭染色法及プレッシング講話	大島龜吉　昭和五	一	五九七	二八五
家庭洗濯と染色（理論實際）	五十嵐健治、藤澤喜芳　昭和五	一	六〇八	一四九
家庭道德概說	武山魁芳　昭和八	一	六一九	二三五
家庭ダンス	小島耕作　昭和六	一	六〇六	三八六
家庭重寶野菜鳥魚の切り方と開き方及其利用法	一戶伊勢子　昭和八	一〇	二一四	三〇四
家庭漬物の漬方辭典	東光書院編輯部編　昭和九	一	六五七	八八
家庭で出來る手藝品製作法全集	藤井達吉　昭和二	一	五七一	六五
家庭で出來る飮物の作り方	秋穗敬子　昭和五	一	五九七	二八一
家庭電氣讀本	關重廣　昭和九	一	六六七	四
家庭と學校の兒童劇	伊達豐編　昭和七	一	六三三	一〇四
家庭讀本	石井滿　昭和一〇　三四九頁	一	六八一	一三七
家庭と購買組合	藤田逸男（婦人講座第五五篇ノ內　昭和九）	雜	五一	四五
家庭と電氣	大山松次郎（婦人講座第五一篇ノ內　昭和九）	雜	五一	四五
家庭並低學年童話範例	村上寬　昭和九	一	二七一	一五四
家庭に於ける實驗看護と民間醫藥	杉本毅　昭和五	一	六〇	一〇二
家庭に於ける中學生の父母	金子近次　昭和一〇　三六五頁	一	二七三	三八
家庭に必要な日常科學の知識	奉海嘉雄、坂本猛猪編　昭和三	一	五八六	九八
家庭日本芝居物語	岡本綺堂、額田六福　昭和八	一	六三三	一四三
家庭燃料とメタン瓦斯	附タンク築造法並ニ圖解入　駒田專之助　昭和三	一	五八六	三五
家庭の醫學と治療法	正木俊二（不如丘）　昭和七	一	六〇	一二〇八
家庭の鏡	碓氷龜太編　昭和九	一	六三六	二三八
家庭パンと洋菓子の作り方	糧友會調査部編　昭和九	一	六五七	二三八
家庭百科重寶辭典	婦女界社編　昭和八	一	六一九	二〇一
同		一	六一九	二〇一 イ
家庭副業案內	商店界社編　昭和二（生活安定叢書第一）	一	五六六	二八
家庭物理（最新）	近藤耕藏　昭和七（文檢準備家事裁縫手藝叢書第一卷）	一	六一五	四二
家庭メモ	日本放送協會編　昭和一〇　二六五頁	一	六四七	一六〇
家庭用冷藏函比較審查報告	日本冷凍協會編（冷凍叢書第三編）　昭和六	一	五七九	四八一
家庭療病の知識	萩原良一郎　昭和九（萬有知識文庫第二八）	一	六六四	一
家庭料理	秋穗敬子　昭和二（大日本百科全集第七）	一	五六〇	三九
家庭料理と榮養價	前篇　福井正三　昭和六	一	六〇六	三九四
家庭料理法大全	小林定美（婦人文庫第一輯）　昭和三	一	五六六	四六

カテン—カトリ

		冊	函	號
家傳	上（鎌足傳）（惠美押勝）下（武智麻呂傳）（延慶）（新校群書類從第三卷傳部ノ内 昭和五）			五八四 五
可傳集	明、袁華 民國二三 影印（四庫全書珍本初集ノ内）	特	一〇	八四四 二二四
河東	中内蝶二、田村西男編（日本音曲全集第一卷ノ内 昭和二）			五四五 六一
加藤櫻老小傳	塙瑞比古 昭和九			一 六五三 二九七
加藤清正公	笠田長繼 昭和一〇 二四三頁			一 六四〇 三二一
加藤清正論	參謀本部第四部編 昭和六			一 三七三 五六三
賀藤景林父子傳	鈴木一郎 昭和八			一 六四〇 一四九
加藤家庭溫熱瞬間療法	加藤幾太郎 再版 昭和七			一 六〇 一二〇三
家童示訓	岡川美祖（北信鄉土叢書卷一一ノ内 昭和一〇）			一 二二五 三三九
加藤司書傳	中野景雄 昭和八			一 六三九 一九一
加藤氏「日本件名標目表」削除・訂正・追加表	件名標目研究會編 昭和九			一 二七八 二一三
加藤先生還曆祝賀論文集	菊井維大編 昭和七			一 六〇〇 二八一
德川時代に於ける人賣及人質契約	（中田薰）			
中華民國海商法に於ける船舶制度に就て	（鳥賀陽然良）			
破產法の改正	（齋藤常三郎）			
舊約全書に現れた訴訟	（穗積重遠）			
訴訟當事者としての人格なき社團財團	（末弘嚴太郎）			
海商法の統一性と其の理論的基礎	（田中耕太郎）			
構成要件の修正形式としての未遂犯及び共犯	（小野清一郎）			
通船荷證券の研究	（小町谷操三）			
債權の所有權的關係	（勝本正晃）			
相互保險の相互性に就いて	（野津務）			
作爲又は不作爲を目的とする債權の强制執行	（我妻榮）			
身分法の統體法的性質につきて	（中川善之助）			
所謂手形交附契約欠缺の抗辯	（山尾時三）			
登記の欠缺を主張し得べき「第三者」について	（舟橋諄一）			
僞ロード海法	（原田慶吉）			
英法に於ける特定履行（Specific Performance）	（田中和夫）			
請求權と債務名義	（兼子一）			
英法に於ける裁判所侮辱の史的背景	（平井三次）			
維納競賣所に就て	（菊井維大）			
加藤高明 上、下卷	伊藤正德編 昭和四			二 五九四 三五
加藤高明傳	佐伯平造 昭和三			一 五七七 九八
加藤武雄讀物選集	同人 昭和六			一 六〇三 三四六
加藤咄堂氏大講演集	大日本雄辯會編 昭和二			一 五三六 二八〇
河東節（享保一）（新版）	享保一六	特	〇六	明 三 五二
河東節新曲		特	三〇	卯 七 五五八
加藤嘉明公	伊豫史談會編 昭和五			一 六〇四 三六七
かどで（戲曲集）	久保田万太郎 昭和九			一 六五六 一一三
家兎の飼育と其食肉	根村正位 補三版 昭和五			一 三八六 一五〇イ
家兎品種標準	芝田清吾 昭和六			一 五六九 三三〇
門間春雄歌集	同人 昭和六（アララギ叢書第二九篇）			一 三五七 一三九
河圖洛書大義	吳光耀（華峰） 昭和六			一〇 二三七 五六
楫取家文書	第一、二 大塚武松編 昭和六			二 六四 二五八
カトリシスム・トーマス・ニューマン	吉滿義彥 昭和九			一 六四五 二〇一
カトリシスムの本質	アダム著 吉滿義彥譯 昭和七			一 六一九 六〇
同 訂	昭和九			一 六一九 六〇イ
蚊とり線香竝除蟲菊製品一般製造法	藤原雅一 昭和六			一 五六三 四七四
カトリック教會と哲學	マウクナップ著 小林珍雄譯 昭和八			一 六三一 三五五
カトリック研究	東大カトリック研究會編 昭和五			一 六一三 三三
第一輯	聖書高等批評と最近考古學的發見（ベア著 岩下壯一譯）			
自然法の過去及び其の現代的意義	（田中耕太郎）			
Immortale Dei	（小林珍雄譯）			
ラテラノ條約に於ける聖座とヴァチカノ市國家の地位	（大澤章）			
ポール・ヴェルレーヌの「智慧」に就て	（アンベルクロード著 中尾文策譯）			
イエズスと律法	（岩下壯一）			
オックスフォードに於けるカトリック教	（デル・レ著 井上紫電譯）			
ニューマンとマシュ・アーノルド	（トリストラム著 木山實譯）			
カトリック思想史	フーピイ編 戶塚文卿譯 昭和二			一 五七〇 九九
カトリックの國家觀	田口芳五郎 昭和七			一 六三一 六三
カトリックの社會觀	ラウレス著 昭和八			一 六三五 二九一
カトリックの社會秩序改新策	ピオ十一世著 上智大學譯 昭和六			一 三七二 四三七
かなゑ會圖案集	第二、三 同會編 昭和八			二〇 四三三 一六六
假名書本觀念法門觀門義	西山（西山全書別卷第一ノ内 昭和一〇）			三七九 一
假名書手本	寫			一三 幅 八四三 一三
かながきろんご	川瀨一馬編 昭和一〇 五一丁（安田文庫叢刊第一篇）			一〇 三〇一 九四
同				一〇 三〇一 九四イ
金崎宮御祭神六百年大祭獻詠集	金崎宮御祭神六百年大祭奉贊會編 七三丁			一〇 三〇四 九一
神奈川港御貿易場御開地繪圖	一玉齋畫 安政六 一・六五×二四	特	一	枚 一四三 三三
神奈川縣川村震災記念誌	長坂村太郎編 昭和二			一 五三六 一〇七
神奈川縣雨量五年報	大正一〇至一四年 同縣測候所編 昭和三			一 一四六二 二七五
神奈川縣高座郡相模原土地利用計畫書	神奈川縣經濟部編 昭和一〇 一二八頁			一 六八四 三三〇
神奈川縣氣象年報	昭和三至五年 昭和四至六 同縣測候所編			三 一四六二 一六四
〔神奈川縣工業試驗場〕業務報告	昭和六、七年度 同場編 昭和七、八			二 一四三イ 七二五
神奈川縣工場要覽	同縣工場協會編 昭和五			一 六〇五 六三
〔神奈川縣蠶業試驗場〕事業報告	昭和元、二年度（第一二號）五年度（第一五號）六年度（第一六號）七年度（第一七號）同場編 昭和三至八			四 一四三イ 三六〇イ
	（第一二號ハ同蠶業試驗場事績報告）			
〔神奈川縣蠶業試驗場〕試驗報告	第一、二 同場編 昭和五、七			二 一四三イ 六八〇
〔神奈川縣〕史蹟名勝天然紀念物調查報告書				

カトリ—カナカ

		冊	函	號
第一、二輯	同縣編　昭和八、九	二	一四、五	三九
神奈川縣商工錄　分册(三市及半島編)　昭和五	橫濱名鑑社編	一	六〇五	七四
神奈川縣震災誌　同附錄付	同縣編　昭和二	二	五二六	一〇九
神奈川縣水產要覽　昭和九年九月　昭和九	神奈川縣水產會編	一	六七二	五三
神奈川縣廳舍競技設計圖集　同廳舍建築事務所編　三版	昭和八	一	五六二	一ノイ
神奈川縣統計書　大正一四至昭和二、六、七年　昭和二至九	同縣編	五・一四、四		三五
[神奈川縣]統計パンフレット	同縣內務部統計課編　昭和四	三	一四、四	二五ノハ
第七　市町村便覽				
第八　本縣の家禽				
第九　本縣の財政				
神奈川縣農會主催 小麥增收競技會(第二回)、小麥增殖成績競　第二回　昭和八	東京帝國大學經濟學部保險演習學友會編	一	六〇〇	二三五
神奈川縣ノ氣候　同縣測候所發行　昭和七　謄寫版		一〇	一四、六	三三〇
第二篇　新井城趾の氣候並に潮汐　(高木健)				
神奈川縣文化展覽會記念寫眞帖　附　文化史上の神奈川縣(石野瑛)	野澤屋編　昭和九	一〇	六四七	一〇九
神奈川縣無駄なし運動實施錄　同實施事務所編　昭和六		一	三七八	二九〇
神奈川縣名鑑　橫濱貿易新報社編　昭和一〇		一	六九一	七一
神奈川縣名鑑　昭和一〇年八月末現在　昭和一〇	同編纂事務所編	一	六八六	一一七
神奈川縣融和事業要覽　同縣青和會編　昭和五(融和資料第三輯)		一	五九〇	二九八
神奈川縣立工業學校一覽　同校編　昭和五		一	二九二	六三
[神奈川縣立農事試驗場]農事試驗成績　同場發行　昭和二至九		三	三九	八
第五三報　日本梨品種改良成績	(菊池秋雄)			
第五九報　芍藥の品種改良成績	(同場編)			
第六一報　農林省柑橘選果機ニ關スル試驗成績指定試驗柑橘選果機ニ關スル試驗成績	(同場編)			
神奈川史要(武相叢書史料篇第二編附錄　昭和五)				五九三　一九
金川砂子　石野瑛校　昭和五(武相叢書史料篇第二編)		一		五九三　一九
假名基本帖　高塚竹堂　昭和九		一	帖	亥ニ　一五二
假名古今集　仲田翰一書　昭和九(書道學習帖第一四)		一〇		二四九　二七〇
假名草子集　昭和三　(近代日本文學大系第一卷)		一		五六〇　九
同　昭和九　普及版		一		六二九　二八
金澤醫科大學一覽　同學編　昭和二至一〇		一〇		二八七　四
金澤遺文　卷上、中、下　大屋德城編　昭和九　複製		特 三〇		四二五　一三三
金澤高等工業學校一覽　昭和二至一〇年　昭和二至一〇	同校編	一〇		二九二　七〇
金澤氣象五年報　大正一五年、昭和元至五年　昭和七	金澤測候所編	一		一四、六ニ　二六
[金澤刑務所]刑務一覽表　昭和七年　昭和八	同所編	一		一四、六ロ　五七
金澤古蹟志　第一至五、七至一二編　日置謙校　昭和八、九	森田平次著	一二		六四〇　九九
金澤市紀要　同市役所編　改訂　昭和五		一		五七八　三三六
金澤測候所年報　昭和三年　同所編　昭和八		一		一四、六ニ　二六イ
金澤日本基督教會五十年史　中澤正七編　昭和五		一		六二二　六一
金澤藩年中行事　(近世地方經濟史料第五卷ノ內　昭和七)		六		〇〇　二八〇
金澤文庫本圖錄　上　同文庫編　昭和一〇　複製		特 一		四二六　八三
悲しき愛情　平林たい子　昭和一〇　三四七頁		一		六八八　五八
かなしき歌人の群　杉浦翠子　昭和二		一		五五一　二六六
悲しき青春(創作)　藤田草之助　昭和二		一		五六九　四四
哀しき父　葛西善藏　昭和二		一		五〇六　二六八イ
悲しき漫畫(詩集)　谷口邦憲　昭和二		一		五四九　三三三
假名書道概說　桑田明(笹舟)　昭和一〇　三九四頁		一		六八〇　八七
假名書道の研究　鷹見乙女(芝香)　昭和九		一		六六二　六七
同		一		六六二　六七イ
假名深窓秘抄　花輪たね子書　昭和九(書道學習帖第一二)		一〇		二四九　二七〇
假字遣奧山路　下卷　石塚龍麿著　正宗敦夫校　複製(日本古典全集第三期第一三ノ內　昭和四)				五六九　九四
假名遣改定案　臨時國語調査會編　昭和六　五六頁		一		六八四　五〇
假名遣改定案に關する修正意見　武藏野女子學院國語國文學部編　昭和六		一		三二六　四〇六
假名遣研究史　木枝增一　昭和八		一		六二三　一五五
假名遣と送假名詳解　附　常用漢語と句讀法　大正商工社編　昭和二		一		五四九　二八二
金澤市立圖書館藏書目錄(大禮記念)　增加圖書分類目錄第一號(昭和七年中)　同館編　昭和八		一		六四八　二六
金澤市立圖書館藏書分類目錄(大禮記念)　昭和六年一二月現在　同館編　昭和八		一		六二八　三三
金澤市統計書　昭和元年第一、二編　昭和二年第一至三、五、七編　昭和三年第一、六、七編　昭和四年第一至七編　昭和五年第一至七編　昭和六年第一至七編　昭和七年第二至七編　昭和八年第一至七編　同市役所編　昭和二至一〇				
金澤市統計圖表　昭和一〇年刊　同市役所編　昭和一〇		一		一四、四　三四五ノイ
金澤市勞働統計實地調查結果表　昭和二、五年　昭和三、六　編　同市		一		一四、四　七九五
金澤市立圖書館藏書分類目錄(大禮記念)　昭和六年一二月現在　同館編　昭和八		一		六二八　三三
金澤市立圖書館藏書目錄(大禮記念)　增加圖書分類目錄第一號(昭和七年中)　同館編　昭和八		一		六四八　二六
金澤市貨物輸移出入統計　昭和二年、第四回(昭和八年)　同市役所編　昭和四、八		二		一四、四　八二六
金澤市工場統計表　昭和二年　同市役所編　昭和二		一		一四、八　八三
金澤市史(稿本)　風俗編第一、二　政治編第一　同市役所編　昭和二至八		三		三四九　四二九
金澤市市勢調查　昭和五年一〇月一日現在　同市役所編　昭和七		一		一四、四　九三二
金澤市主催 產業と觀光の大博覽會協贊會會誌　同會編　昭和八		一		六四一　四〇
金澤市水道誌　同市電氣水道局編　昭和八		一		六四八　七一
金澤市水道小誌　同市役所編　昭和六		一		三七三　四四四
金澤市勢一覽　昭和六年分(昭和八年刊)、八年分(昭和九年刊)　同市役所編　昭和八、一〇		二		一四、四　九三ノイ
金澤市政概要　同市役所編　昭和二、五		一		五六五　二六〇

	冊	函	號
假名遣の歷史　山田孝雄　昭和四	一	五八五	八二
かなつき日滿會話　川瀨侍郎　昭和八	一	五六九	四二八
かなつき日露會話　八杉貞利　昭和七	一	五六九	三九四
かなつき日露露日會話　吉田薰　昭和一〇　三三九頁	一	六四七	一五三
假名手本忠臣藏　竹田出雲等（近代日本文學大系第八卷ノ內　昭和二）	五六〇	九	
同（近代日本文學大系第七卷ノ內　昭和九）	六二九	二八	
假名手本忠臣藏　藤村作等譯（物語日本文學第二三卷）昭和一〇	一	六六八	二八
假名の研究　桑田明（笹舟）　昭和七	一〇	二三三	三六一
假名範本　附調和體（綜合書道新講座第二）松下太虛書　昭和一〇	一〇	三〇一	一〇三
加納曉歌集　同人（アララギ叢書第四九篇）昭和六	一	三五七	一三九
假字便覽　大野廣城　天保六	一〇	八四二	九八
假名萬葉集　松下太虛書　昭和八（書道學習帖第一二）	一〇	二四九	二七〇
假名名跡集成　興文社發行　昭和一〇　複製	三〇	三〇一	九〇
第一　傳藤原俊成書昭和切（藤原俊成書カ）			
第二　傳藤原佐理筆筋切　上（藤原佐理書カ）			
第三　金澤萬葉集本（藤原定信書カ）			
かな名跡全集　同刊行會發行　昭和九、一〇　複製	二	三〇一	一〇
第一　傳藤原佐理筋切　第一至三　釋文付（藤原佐理書カ）			
第二　傳藤原行成和漢朗詠集　第一　釋文付（藤原行成書カ）			
第三　傳紀貫之萬葉集桂宮舊藏　釋文付（紀貫之書カ）			
第四　傳紀貫之寸松菴色紙　釋文付（同カ）	一	五六九	四二八
第五　傳藤原行成關戶本古今集　天　釋文付（藤原行成書カ）	一	五六九	三九四
第六　傳藤原公任金澤本萬葉集　天　釋文付（藤原公任書カ）	第七	傳藤原公任藍紙萬葉集　天（藤原公任書カ）	
第八　傳小野道風繼色紙（小野道風書カ）			
第九　傳紀貫之高野切　第一種（甲）（紀貫之書カ）			
金山太田誌　富岡牛松　昭和九	一	六六一	五七
金山詣　和田了頓（吉備文庫第一輯ノ內　昭和四）	五九八	二四	
假名朗詠抄　松本直書（書道學習帖第九）昭和九	一〇	二四九	二七〇
必ず成功するカナリヤの最新式飼養法　大竹悠村　昭和三	一	五七一	二三八
必ず治る疾病別仙掌術療法　柿坂茂　昭和八	一	六〇	二三五
必ず踏むべき人の道　帝國講學會編輯部編　二八版　昭和二	一	五五八	九三
必ず讀め（學者と實務家の熱論）講演聯合社編　昭和八	一	六四四	二九
假名論とローマ字論　日本ローマ字會編　昭和九（日本ローマ字會パンフレット第三冊）	一	四五	四〇五
河南省歷史地圖　東亞研究資料刊行會製　昭和五　七五・〇〇×五二・三〇	一枚	三七三	四一五
同　東洋圖書刊行會製　昭和六	一枚	三七三	四一五
かにかくに　杉村廣太郎（楚人冠）昭和一〇　三九〇頁	一	六九六	二
蟹工船　小林多喜二等　昭和六	一	五九六	三六一
同　小林多喜二　訂三版　昭和四（定本日本プロレタリア作家叢書第二篇）	一	五九八	三〇
蟹工船、工場細胞　小林多喜二　昭和八（改造文庫第二部第二二五篇）	一	五六九	一四三
蟹工船、不在地主　小林多喜二　昭和八（新潮文庫第八編）	一	六三〇	八
蟹の呟き　中川彰平　昭和二	一	五七〇	九六
金　三宅やす子　昭和五	一	六〇三	一五三
金が書く　シンクレーア著　富田正文譯　昭和五	一	六〇三	一一八
金子才吉事蹟（幕末福岡藩の偉材）下（其九至一二）大熊淺次郎　昭和二、三	四	三六八	一九六
金子爵歐米議院制度取調巡回記　海軍經理學校編　昭和三　謄寫版	一	五七六	六九
金子洋文集（新選）同人　昭和五	一	五一七	六七一
金田千鶴歌集　同人（アララギ叢書第六九篇）昭和一〇	一	三五七	一三九
金と惡魔　德久武治　昭和三	一	五八六	一〇三
金のない猶太人　ゴールド著　寺田鼎譯　昭和五	一	六〇三	二〇九
鐘紡罪惡史　第一卷　原哲夫　昭和五	一	五九〇	二八六
鐘紡の解剖　野中雅士　昭和五	一	六〇六	六〇
兼松石居先生傳　森林助　昭和六	一	五五四	二四一
貨幣實際談　岡辰押切り帳　谷孫六（矢野正世）昭和四	一	五八六	一七七
貨幣實際談　金儲新道　別名「金儲け狙ひ方と摑み方」附全國金滿家一覽表　日本經濟新聞社編　昭和四	一	五九七	一四三（イ）
同　昭和五	一	五九七	一四三（イ）
金儲實話　杉一郎　昭和四	一	五九九	一三四
金儲け新戰術　利殖研究會編　昭和二	一	五七一	一
金儲けの探し方と見つけ方考へ方　ガンバリズム			
谷孫六（矢野正世）昭和八（孫六貨殖叢書第一）	一	六三九	二九
金儲の素（チラシ廣告圖案文案集）東京實業商報社編　昭和六	一	六一四	一〇〇
兼盛集　平兼盛（群書類從第一一輯和歌部ノ內　昭和四）	五八三	一四	
同（新校群書類從第一一卷和歌部ノ內　昭和三）	五八四	五	
鹿足郡誌　野津左馬之助編　昭和一〇	一	六六九	一〇四
加能越金砂子　日置謙校　昭和六	一	六〇四	五三
加能越三州地理志稿　富田景周等編　昭和九	一	六四〇	二四八
加能越良民傳　日置謙校　昭和八	一	六五三	一四四
加能畫人集成　玉井敬泉編　昭和一〇　圖版八六枚	一	六九〇	五
我農生回顧錄　山崎延吉　昭和一〇　四一〇頁	一	六九三	二一八
狩野教授還曆記念支那學論叢　鈴木虎雄編　昭和三	一	五七六	一八
狩野教授還曆記念經濟學の諸問題　森莊三郎編　昭和一〇　七八四頁	一	六四〇	二六五
河津教授還曆祝賀記念會發行	一	五三六	三四七
「我」の研究綱要　山本淳二（無有子）昭和三	一	四三五	一四五
鹿子木孟郎畫集（不倒翁山人）附鹿子木孟郎畫伯小傳　同畫伯還曆記念會發行　昭和九	特	五六〇	二九
狩野五家譜　長田幹彥　昭和九（情話新集第二）	一	六四七	一二五
鹿の子草紙　岡本かの子　昭和九	一	六六三	一〇三
かの子抄（隨筆）岡本かの子　昭和九	一	六三三	一八八
彼女を破門せよ（長篇小說）杉浦翠子　昭和八	一	六〇三	二五四
彼女とゴミ箱（漫畫文學）一瀨直行　昭和六			

カノチ—カハサ

		冊	函	號
彼女には肉體がある	グウルモン著 堀口大學譯 昭和九	一	六四七	一二〇
彼女の履歷	林芙美子 昭和六	一	六〇三	三三八
彼女等と語る時	片岡鐵兵 昭和五	一	六〇三	二
狩野派	第六、七 東方書院編 昭和六、七 (日本畫大成第六、七卷)	二	六一四	一
狩野芳崖(戲曲)	豐田豐 昭和九	一	六六五	一三八
河	楠宗道 昭和二	一	五六四	二五三
可愛い女	チエーホフ著 原久一郎譯 (岩波文庫八九、六ノ內 昭和八)		五六九	一四
可愛い人	チエーホフ著 梅田寬譯 昭和九	一	六五六	一九三
川合清丸全集	同人 昭和六至八	一〇	五七四	三一
	第一 卷 三道平行篇			
	第二、三卷 神道卽國體門 上、下			
	第四 卷 儒道卽經世門			
	第五、六卷 佛道卽解脫門 上、下			
	第七 卷 諸子卽百家門			
	第八、九卷 經世時論篇 上、下			
	第一〇卷 詞藻及手柬篇			
川合清丸全集	第六、九、一〇卷 同人 昭和七、八	三	五七四	三一イ
川合教授還曆記念論文集	川合貞一教授還曆祝賀會編 昭和六	一	五五三	三四八
同	分冊 史學論文集 昭和七	一	五五三	三四八イ
河井繼之助	神村實 昭和八 (人物研究叢刊第一七)	一	五三四	五七九
河井繼之助傳	今泉鐸次郎 昭和六	一	六一〇	一一三
川魚之釣	上田尙 昭和四、五 (釣魚大全第四、五卷)	一	六四七	一二〇
雅邦集	第一至六卷 橋本雅邦著 座右寶刊行會編 昭和八、九	特六〇	四三五	八五
家寶聯瑾	宗像洋校	一〇	八四一	二六
川勝家文書	大塚武松編 昭和五	一	六四	二五六
川上郡史	原田龍右衞門編 昭和二	一	五七三	一一七
川口鑄物業實地調査	協調會編 昭和八	一	六五〇	一八二
川口鑄物業に於ける勞働運動十年史	上、下卷 東京鐵工組合川口支部編 昭和九 謄寫版	二	六七八	六九
川くるみ狀	(南部叢書第一冊ノ內 昭和二)	一	五七四	七
河越記	(群書類從第一六卷合戰部ノ內 昭和三)		五八四	五
川越圖書館圖書目錄	昭和六年三月三一日現在 昭和六 同館編	一	六〇四	五一九
川越城主年表	岸傳平 昭和二	一	五六九	五七
川越年代記	寫	一〇	八四一	二七
川越松山之記	(未刊隨筆百種第二二ノ內 昭和四)		五六〇	二九
革細工	婦人之友社編 昭和四 (手藝エンサイクロペヂア第二篇)	一	五九三	二四
川崎誌考	山田藏太郎 昭和二	一	五五四	一七六
同		一	五五四	一七六イ
川崎大師を語る	附 弘法大師御自傳 田村隆治 昭和一〇 八三頁	一	六六六	三四六
川崎大師大本坊客殿の建築構成	多田篤一編 昭和九	一	六五八	九六
川崎發電所工事概要	鐵道省電氣局編 昭和七	一	六一六	四五
川崎發電所仕樣書示方書並圖面	鐵道省電氣局編 昭和七	一	四三	一五三
		一〇	三六	三五
川島家と其事業	川島甚兵衞編 昭和六	特一	六三八	八七
川島理一郎畫集	同人 昭和八	一	六九三	一五八
樺島禮吉君傳	故樺島禮吉君傳記編纂會編 昭和一〇 二三九頁	一	六六〇	三九
爲替及爲替相場の實際	園顯雄 昭和九	一	六四四	六
爲替管理と其實際	長山浩 昭和八	一	五九一	三一九
爲替相場と物價	ミュラア著 金原賢之助譯 昭和六	一	六二一	一五四
爲替相場の騰落	園顯雄 昭和七	一	六三四	三三
爲替相場變動と爲替管理	鈴木益三 昭和七	一	六三四	八〇
爲替慘落と管理對策の發動	大久保一路 昭和七			
爲替戰爭の理解の爲めに	金本位離脫三ヶ年の回顧 串本友三郎 昭和一〇	一	六六六	一九八
川瀨先生の小傳と論文抄	大日本山林會編 昭和九	一	六六七	九七
爲替對策論	山口恭佑 昭和七	一	六二一	二〇六
爲替貯金讀本	貯金局編 昭和七	一	五三〇	二三九イ
爲替と金銀問題	大島堅造 昭和八	一	六四九	五
爲替と金と物價	財政經濟時報社編 昭和八	一	六二五	三三三
爲替取引の法理と實際	栗谷清一 昭和三 (銀行講座ノ內)	一	五四六	一六三
川瀨巴水版畫集	〔一〕、二 川瀨巴水畫 昭和一〇	二〇	別七	三〇三
川瀨牧草農業研究所發表論文	同所發行 昭和一〇 第一號 日本綿羊論 (川瀨勇)	一	六八四	一一一
爲替理論と爲替問題	谷口吉彥 昭和八	一	六三七	八九
爲替理論と金解禁問題	松崎壽 昭和二 (銀行講座ノ內)	一	五四六	一六三
河竹新七及竹柴其水集	春陽堂編 昭和四 (日本戲曲全集第三三卷)	一	五六六	四七
河竹默阿彌集	上、下 春陽堂編 昭和三、五 (日本戲曲全集第三〇、三一卷)	二	五六六	四七
河内忠勤つゞら	林總夫 昭和七	一	五八七	三五一
川路聖謨文書	第一至八 大塚武松編 昭和七至九	八	六四	二六五
爲替相場變動と爲替管理	鈴木益三 昭和七	特一〇	二二五	二九六
爲替慘落と管理對策の發動	大久保一路 昭和七			
川路村從軍記念錄	日露戰役三〇周年記念 帝國在鄉軍人會川路村分會編 昭和一〇	一	六六二	一七五
河内名所圖會	秋里籬島著 丹羽桃溪畫 享和元 河内=源氏物語 第一至一〇 目錄付 尾張德川黎明會發行 昭和九 複製	一〇	二二五	二九六
川路柳虹集	同人 昭和一〇 (新潮文庫第一四九編現代詩人全集(一一))	六	八三九	七八
爲替對策論	山口恭佑 昭和七	一	六三〇	八
爲替貯金讀本	貯金局編 昭和七	一	五九〇	一九〇
爲替と金銀問題	大島堅造 昭和八	一	六四二	九四
川釣の研究	魚住清適 昭和八	一	五六九	五五
川德	村上浪六 改版 昭和二	一	五七〇	四四
皮と肉	下村宏(海南) 昭和二			

カハサ—カハト

カハナ—カヒカ

川中嶋戰史	長野市教育會編	昭和三	一冊	五七七	八九
河鍋曉齋・歌川貞秀	大鳳閣編	昭和八（續浮世繪大家集成第二卷）	一	五六七	九四
河鍋曉齋粉本	同人自筆	寫	特七輪	別七	五四二
川波（歌集）	高田浪吉	昭和四（アララギ叢書第三九篇）	一	三五七	一三九
川西村誌	都筑與七郎編	昭和六	一	六一〇	一一四
かばの御さうし	稀書複製會編	昭和九 複製	一〇	一九八	四六三
川の釣海の釣	野崎小蟹	昭和四	一	五六九	一六四
川の釣海の釣 釣魚十二ケ月講座	春の卷第一 村上靜人	昭和八	一	六二九	三六
川のほとり（自選歌集）	古泉千樫	昭和四（改造文庫第二部第五七篇）	一	五六九	一四二
川端千枝全歌集	同人（川畑千枝）	昭和九	一	六六五	五七
川端茅舍句集	同人	昭和九	一	六六五	一六六
川端康成集	同人	昭和九	一	六七七	一四
第一卷 隨筆批評集					
川端康成、林房雄集	川端康成、林房雄	昭和四（新造傑作小說全集第一一卷）	一	五六九	一五七
河合社歌合	河合、蠟山兩教授共著	（新校群書類從第九卷和歌部ノ內 昭和五）「學生思想問題」を檢討す 滋賀多喜雄 昭和七	五八四	五	
河邊郡大觀	大塚定彬、上村丹薯編	昭和九	一	六六一	一一四
河邊貞吉說教集	河邊全集刊行會發行	昭和九	一	六六四	一三
第三卷 日本橋講壇（同人）					

川俣茂七郎	阿部正己	大正一四	一冊	五七四	一七九
河村瑞賢傳	河村瑞賢墳墓保存會編	昭和九	一〇	三〇二	六〇
川村女學院十年史	川村女學院鶴友會編	昭和九	一	二九九	八四
河村幹雄博士遺稿	同人著 河村幹雄博士遺稿刊行會編	昭和八	一	六三六	四九
同			一〇	六三六	四九イ
厠（加波夜）考	李家正文	昭和七	一	六二二	一四六
樺山幸一歌集	同人（地上叢書第九篇）	昭和一〇	一	五六八	四二七
川除樋橋圖	寫（彩色入）		特帖二	亥	一三〇
川より見たる越中	井上忠雄（江花）	昭和七（江花叢書第一〇卷）	一	三七三	六〇一
かはらよもぎ	本居內遠著 同豐穎校	同清造再校（增補本居宣長全集第一二本居內遠全集ノ內 昭和一二）	四一	九八イ	
加藩貨幣錄	森田柿園著 日置謙校	昭和一〇	一	六七八	一四三
鞄の塵	猪股忠次	昭和三	一	五六九	一〇〇
河畔の人々（シュミツトボン）	シュミツトボン著 郎譯註	昭和九 浦上后三	一	六五六	四六
買ひ被ぶつてゐた歐米	宮澤裕	昭和七	一	五九九	四〇二
貝殼一平	上、下卷 吉川英治	昭和八（新潮文庫第四四四、四五編）	二	六三〇	八
同	上、下卷	昭和四、五	二	五九六	二三六
貝殼追放	水上瀧太郎	昭和八	一	五四四	九六
同	上、下卷	昭和九（改造文庫第二部第二四二、二四三篇）	二	五六九	一四三
同 第四		昭和四	一	五四四	九六

貝殼の墓（詩集）	阪本越郎	昭和八	一	六三一	二三三
同			一	六三一	二三二イ
甲斐郷土史（國史連絡）	土屋操編	昭和八	一	六三五	二六九
蠶	石森直人 昭和一〇（岩波全書第四七）		一	六四六	四
甲斐國志	第一至三〇 松平定能	明治一七	三〇	八四〇	一七
蠶飼養法記	野本道玄	昭和六	一〇	二三三	三一九
蠶品種性狀ニ關スル調査	農林省蠶絲局編 謄寫版	昭和五	一	五六三	四一七
蠶のテトラプロイド雌の遺傳學的研究	橋本春雄	昭和八	一	六三八	七七
蠶の敗血症竝に一般軟化病の性質及び豫防法	佐藤利一	昭和二	一	五七二	八三
買占物語	狩野雅郎	大正一五	一	五六四	一八六
甲斐勝景寫眞帖	甲斐保勝協會編	昭和七	一〇	四二六	三三
甲斐志料集成	同志料刊行會發行	昭和七至一〇	一三	六一〇	一三七
第一 卷	日記・紀行	（同會編）			
第二、三卷	地理部	第一、二（同）			
第四至六卷	國志部	第一至三（同）			
第七至九卷	歷史部	第一至三（同）			
第一〇卷	教育・宗教	（同）			
第一一卷	史傳、文藝篇	（同）			
第一二卷	雜纂補遺	（同）			
甲斐叢記	一名甲斐名所圖會 大森欽（快庵）著 柳蹊等畫	嘉永四	五〇	八三九	八五

カヒカ—カフイ

甲斐叢書	同刊行會發行		八	六五二	七
第一卷	甲斐日記（廣瀨廣一、赤岡重樹校）				
第二卷	甲陽柳秘錄（同）				
第五卷	甲陽軍鑑 坤（同）				
第七卷	甲國律令雜輯（廣瀨廣一等校）				
第八卷	長寬勘文（同）				
第九卷	甲陽軍鑑末書結要本（廣瀨廣一、赤岡重樹校）				
第一〇、一一卷	甲斐國志 上、中（松平定能著 廣瀨廣一校）				
甲斐之考古	仁科義男	昭和八、一〇	二	六四〇	九八
第二編	富士山麓湖水發見舟の調査				
	八ケ岳南麓先史時代遺跡並遺物				
	中巨摩郡宮本村之一部及清川村先史時代遺跡並遺物				
	南都留郡船津村古代窯跡				
第三編	東八代郡右左口村豐古墳群の調査				
	富村 西八代郡大塚村				
甲斐の先史並原史時代の調査	仁科義男 昭和一〇		一	六六九	一一七
甲斐の名勝御嶽昇仙峽と其の奥	石原初太郎 昭和五（史蹟名勝天然紀念物叢書第二冊）		一	一四五	二六三
甲斐方言稿本	一名山梨縣方言辭典 羽田一成	昭和九	一	六五三	一四七
貝原翁書	貝原篤信（益軒）手書		特帖別二	九	二〇
鵞筆餘滴	藤代禎輔（素人）	昭和二	一	五七〇	五六
甲斐昔話集	土橋力（里木）	昭和五	一	五八二	二五一
甲斐歷代譜	河合素光（清溪）	手稿本	特一〇	ね	三七
甲寅京城炎上鈔	高橋仙果輯 寫		特一〇	は	九〇

			冊	函	號
甲寅地動鈔	上、下	高橋仙果輯 寫		特	二〇
荷風隨筆	永井荷風 昭和八		一	六四三	は 九一
荷風全集	第一、四卷	永井荷風 大正一五、昭和二	二	三一	八三四イ
カフエー（歡樂の王宮ノ一）		村島歸之 昭和四	一	五九九	一六〇
カフエー・コーヒー・タバコ		喜多壯一郎 昭和四	一	五五三	七七
カフエーの營業政策と新興建築		中田政三 昭和九	一	六五八	六〇
カフエーの家具	第一、二	洪洋社編（昭和八、九家具寫眞集成第一、二、三）	二	六二八	三〇
カフェー文化の諸現象		圓谷弘 昭和三	一	五三六	三三九
カフエ經營學	附	珈琲の知識 星隆造 昭和七	一	六一六	六九
カフエ通		酒井眞人 昭和五（通叢書第八卷）	一	六〇三	一
甲川中島戰史		北村建信 昭和七	一	六一八	一四
甲越古狀揃		倉鼠陳人編 橫山有裕書 安政二 五二丁	一〇	一一七	一八〇
歌舞演劇講話		高野辰之 昭和四	一	五六三	三六
歌舞音樂略史		乾、坤 小中村清矩著 長命晏春等畫 明治二一	二〇	八四〇	四八
同	再版	昭和六（岩波文庫二九六—二九七）	一	五六九	一四
甲賀源吾傳（回天艦長ノ一）		附 函館戰記 石橋絢彥 昭和七	一	六一〇	一七六
同	訂再版	昭和八	一	六一〇	一七六イ
甲賀三郎		近松門左衞門著 藤井乙男校註（近松全集第七卷ノ內 大正一五）		五一〇	四〇
同				五二〇	四〇
合金學		銅及銅合金、第三卷（亞鉛、金、銀、白金、其他貴金屬、水銀、蒼鉛、カドミウム、クローム、コバルト、タングステン、モリブデン、セリウム及其合金、雜合金、附 鐵及鐵合金） 後藤正治 昭和二、八	二	五七二	二七
合金鑄鐵製チルドロールの研究		谷口光平 昭和九	一	六五八	四三
甲金圖			一〇	八四一	一〇五
株金拂込論		西本寬一 昭和九	一	六七八	八〇
株相場實戰		中田利保 昭和五	一	六〇七	一四六
歌舞雜識		小川守中（日本樂道叢書第九編ノ內 昭和五）		一八三	六一七
甲州街道の今昔		石井正義 昭和七	一	三一八	五五六
甲州身延山及び七面山の樹木目錄		猪熊泰三 昭和九	一	六五八	五五
甲州黑川金山問堀一件		甲州山梨郡（天保中金山發掘願記錄ナリ）	一〇	一四〇	二九〇
株式講話		南波禮吉 昭和二	一	五五三	二八六
株式會社會計		株式及社債を中心とする會社法比較研究 栗栖趙夫 昭和四	一	五六四	二八
株式會社論		長谷川安兵衞 昭和九（會計學全集第六卷）	一	六五四	三〇
株式會社實務の手引		株式會社秀英舍 昭和二	一	五六二	七〇イ
株式會社資本調		日本興業銀行調査係編 昭和三至一〇	一	六八八	五一
株式會社資本調		日本興業銀行調査係編 昭和三至一〇	一三	一四四	七八三
株式會社會計		株式會社秀英舍 昭和二	一	五六二	七〇イ
株式會社實務の手引		日本評論社發行 昭和一〇	一	六八八	五一
株式會社資本調		日本興業銀行調査係編 昭和三至一〇	一三	一四四	七八三
株式會社設立と清算の話		日本法律知識普及會編 昭和九	一	六六〇	三五
株式會社重役論		西本寬一 昭和一〇 三二九頁	一	六九〇	五七
株式會社定款論		西本寬一 昭和九	一	六六二	一〇八
株式會社と其實務		當山寬 昭和二	一	五七三	一二八
同	再版	昭和三 六四七頁	一	五七三	一二八イ
株式會社の經營		橋本良平 昭和八	一	六三七	一七四
株式會社の財政		セーリヤーズ著 吉川義弘譯 昭和三	一	五七五	一二八
株式會社亡國論		高橋龜吉 昭和五	一	六〇七	一九九
株式會社法論		西島彌太郎 昭和八	一	六三七	一三
株式會社論	上	田貞次郎 昭和三（社會科學叢書第一一編）	一	五八三	一九
株式經濟記事の解說		公私經濟社編 昭和三	一	五八六	一〇六
株式罫線の見方		安田與四郎 昭和四	一	四二四	三三
株式罫線の理論と應用研究		井尻固 昭和七	一	六三四	九九
株式相場觀測の原理と實際		井尻固 昭和七	一	六二一	一九六
株式相場實戰祕訣		松尾五郎 再版 昭和八	一	六四四	一九一
株式相場全集		春陽堂發行 昭和五至七	八	六〇六	一三九
株價の構成と相場變動の見方		井尻固等 昭和一〇 三一九頁	一	六九六	二三
株價變動と週期性		千田理示造 昭和九	一〇	四二六	五九
歌舞伎繪大成		中央美術社發行 昭和五	特 二	五七六	一七七
歌舞伎俳草		松田青風 昭和四	一〇	一五七	九四
歌舞伎概論		飯塚友一郎 昭和三	一	五八一	一五一
歌舞伎狂言往來		渥美清太郎 昭和二	一	五七一	五一
歌舞伎隈取概觀		小林勝 昭和六	一	六一四	四
歌舞伎畫證史話		坪內逍遙 昭和六	一	六〇八	三〇六
かぶきさうし		米山堂發行 昭和一〇 複製	一〇	三〇一	三五
歌舞伎談義		岡本綺堂（舞臺叢書第一卷）	一	七〇七	三八〇
歌舞伎通		伊原青々園 昭和五（通叢書第一四卷）	一	六〇二	一
歌舞伎圖說		圖錄、解說篇 守隨憲治、秋葉芳美編 昭和六	二〇	四二四	八〇
歌舞伎年代記	上、下卷	立川焉馬著 正宗敦夫校 複製（日本古典全集第三期第四 昭和四）		五六九	九四
歌舞伎の型		鈴木春浦 昭和二	一	五七一	一〇三
歌舞妓始記評林		（未刊隨筆百種第四 濟生堂五部雜錄ノ內 昭和二）		五六〇	二九
歌舞伎屋漫談		高坂福德 昭和六	一	六〇六	二四一

			冊	函	號
株式會社設立と清算の話		日本法律知識普及會編 昭和九	一	六六〇	三五
株式會社重役論		西本寬一 昭和一〇 三二九頁	一	六九〇	五七
株式會社定款論		西本寬一 昭和九	一	六六二	一〇八
株式會社と其實務		當山寬 昭和二	一	五七三	一二八
同	再版	昭和三 六四七頁	一	五七三	一二八イ
株式會社の經營		橋本良平 昭和八	一	六三七	一七四
株式會社の財政		セーリヤーズ著 吉川義弘譯 昭和三	一	五七五	一二八
株式會社亡國論		高橋龜吉 昭和五	一	六〇七	一九九
株式會社法論		西島彌太郎 昭和八	一	六三七	一三
株式會社論	上	田貞次郎 昭和三（社會科學叢書第一一編）	一	五八三	一九
株式經濟記事の解說		公私經濟社編 昭和三	一	五八六	一〇六
株式罫線の見方		安田與四郎 昭和四	一	四二四	三三
株式罫線の理論と應用研究		井尻固 昭和七	一	六三四	九九
株式相場觀測の原理と實際		井尻固 昭和七	一	六二一	一九六
株式相場實戰祕訣		松尾五郎 再版 昭和八	一	六四四	一九一
株式相場全集		春陽堂發行 昭和五至七	八	六〇六	一三九
株式會社資本調		日本興業銀行調査係編 昭和三至一〇	一三	一四四	七八三

昭和二年一二月二五日調 附 同
昭和四年四、六至八月二五日調 附 同
昭和四至七年一二月二五日調 附 業別資本年次一覽表

カフキ—カフシ